材二十九圓安と暴落、東株大株共午後の立會を停止、十二日迄休會した。又東京期米各限百二十丁乃至百六十五丁安、東京綿絲十五圓乃至二十七圓安、横濱定期生絲各限十一圓乃至十九圓安といふ急落振りであつた

◇神絲生絲五百萬圓に增資

資本金百五十萬圓の神榮生絲會社は三百五十萬圓を增資して資本金五百萬圓となつた

八　日（木）

◇株式會社營島ビルデイング創立

同社は資本金五百萬圓を以て大阪に創立、左の役員を選任した

▽取締役橋本喜造、長井信太郎、金須文一郎、林榮三、橋本辰二郎▽監査役三谷長次郎、瀬原芳次

◇池貝鐵工所六百萬圓に增資

同鐵工所（資本金二百萬圓）は株主總會を開き、四百萬圓を增資して六百萬圓となす件を可決した

◇横濱港沖人夫の同盟罷業

横濱港三千人の沖人夫は待遇改善案を請負業者組合に提出し同盟罷業に入つた

十　日（土）

◇萬國海員殺規則の實施

同會は臺灣に於て飲食又は遊興及びこれに伴ひ消費した金額一圓に付十錢の割合で賦課するものである

◇日銀、財界救濟貸出を聲明

東京、大阪、名古屋の三株式取引所理事長は九日日本銀行に對し財界救濟資金融通を要請した結果、日銀は本日財界救濟貸出を聲明日銀の方針に基き銀行團に於て特定の救濟手段を採ることゝなつた

◇西陣綢子帶地團體、休機に決定

京都西陣機業界では既に特別注文以外全部休機し失業者二千五百名に達してゐたが、京都西陣綢子帶地團體共榮會は本日の會合に於て二十日から全部休機に決定、これによつて失業者七百名を出すことゝなつた

◇東華紡績會社の創立

同社は資本金二千萬圓を以て上海に設立され左の役員を選任した

▽取締役高倉傳三（社長）、寺田金藏、芝長五郎、吉田武衞、河崎助太郎、加島安治郎上田彌兵衞、廣澤幹作、原田光次郎▽監査役宮崎敬介、直川安次郎、横尾幸之亮、王一亭

◇東亞證券商品信託會社の創立

同會社（資本金二千萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役藏内次郎作、謝介以、森田退藏、加島安治郎、松井儀夫、木岡慶、久良志重治、伴幸之助、澁澤龜三郎、松浦和介▽監査役松井伊助、石田庄七、和登良吉、岩本重四郎、藤飯彌太郎

十一日（月）

◇國際海員勞働會議の日本代表決定

伊太利ゼノアに於て六月十五日から開催される國際海員勞働會議の日本代表者は、政府代表に元遞信次官内田嘉吉、法學博士松岡均平、船主側代表に大阪商船社長塲啓次郎が選ばれたが、海員側代表選定は非常な紛糾を來し、遞信省の選定協議會に於て漸く元東洋汽船會社西比利亞丸船長岡崎榮に決定、本日何れも正式に任命された

◇岩崎家、東京市に百萬圓寄附

岩崎家は百萬圓を東京市の社會事業施設費として寄附した

◇英國銀行の利上

英蘭銀行は正貨準備減少を防ぐため公定割引歩合を六分から七分に引上げた

十二日（火）

◇東西兩株式取引所立會開始

七日以來休會中の東京、大阪株式取引所は本日立會を開始した

◇甲斐絹織物業者の休業

山梨縣北都留郡の甲斐絹織物業者は不況のため休業した

◇東京市電の料金値上決定

本日の東京市會は市電料金を片道八錢、往復十五錢（通行稅共）に値上げし、六月一日から實施することを可決したが、電氣局の增收見込は年一千萬圓である

十四日（水）

◇東西株式、綿糸取引所立會停止

諸株暴落のため大阪株式取引所は本日前場から休會、東京株式取引所は前場開會したが午後から再び立會停止、兩取引所とも五月九日迄休會するに至つた。尙本日の重要株先物大引相場を前月十五日の大引相場に比較すれば東株百二十五圓安、新東百二十圓安、鐘紡百十二圓安、郵船三十八圓安、東京毛織六十二圓安、洋モス八十八圓安である。又東京綿糸は各限共前日に比し四十四圓乃至五十四圓方暴落したゝめ、大阪三品市場と共に本月十八日迄休會、期米市場も休會の止むなきに至つた

◇安治川土地二千五百萬圓に增資

資本金一千萬圓の同社は、一千五百萬圓を增資して資本金二千五百萬圓となつた

十五日（木）

◇横濱生絲取引所立會停止

本日の横濱定期生絲は各限共十圓乃至十九圓方暴落、先物は二百五十八圓引けとなり、遂に十六日から十九日迄休會するに至つた

◇遠州及紫運輸業の休機

遠州織物組合は臨時總會を開き、所屬百八十五工場をして本月十六日から二ケ月間三割休機せしめることに決定、又米澤織物業者も協議の結果二十日から一ケ月の間休機を決議した

◇横濱電纜、古河電氣工業と改稱

横濱電纜會社（資本金五百萬圓）は株主總會を開き、古河纖榮會社日光精銅所及び本所工場を五百萬圓で買收して、資本金を一千萬圓に增資して古河電氣工業株式會社と改名する件を可決した

◇秋田木材一千百萬圓に增資

同社（資本金五百萬圓）は株主總會に於て六百萬圓增資の件を決議した

十六日（金）

◇原首相、財界救濟を言明

大阪に開催の原敬首相歡迎會の席上、原首相は現下の財界を救濟する旨言明した

◇富山縣城端町機業家の休業

富山縣城端町の羽二重業者は本日から一齊に休業した

◇東洋棉花會社の創立

同社は三井物産の繊業科目中棉花、綿絲、綿布其他綿製品に關する業務一切を繼承し、資本金二千五百萬圓を以て創立された。役員左の如し

▽取締役藤瀨政次郎（社長）、兒玉一造（專務）、永田仁助、安川雄之助、瀨古孝之助、山崎一保、川畑敬太郎、武内倚一▽監査役廣岡憲三、北村七郎、平田篤次郎、岡井藤三郎

◇大丸呉服店の改組

大阪の大丸呉服店は本年二月火災のため全部を烏有に歸したので、新築に際し資本金一千二百萬圓の株式會社に改組、左の役員を選任した

▽取締役下村正太郎（社長）、美川多三郎、下村和之助、森八郎助、西村齊二郎、上野

栄三郎、辻孝次郎▽監査役下村昇之助、市田源三郎、市田文次郎

◇南満州鉄道増資　増資金五千万圓を融通することに決定した

◇東京大阪間無着陸往復飛行に成功　帝國飛行協會主催の東京大阪間無着陸往復郵便飛行に參加した山縣豊太郎は、六時間四十三分で飛翔した

◇鐘淵電燈、奥羽電氣を合併　資本金三百萬圓の鐘淵電燈會社は、奥羽電氣會社を合併、二百六十萬圓を增資して資本金五百六十萬圓となつた

◇和賀水力電氣會社の創立　同社は岩手縣和賀流域の水利權を利用し資本金六百萬圓を以て設立、創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役藤原銀次郎(社長)、大橋新太郎、田中銀之助、廣瀬爲久、藤山常一、近藤鐵次、濱田東稻▽監査役縣左右、柳莊太郎、伊藤欣亮

二十二日（木）

◇日銀總裁の財界前途觀　手形交換所聯合會の席上、日銀總裁は「現時財界の波瀾は投機思惑並に戰時中の好景氣の反動で、好況時代が長期に亘つたゞけ反動も激甚なるべく、又これに對する大整理を妨げるものは各人自らその分を甘んずして他に轉嫁せんとするにある」と述べた

◇大藏仲買員、自治的救濟を決議　大阪株式仲買員は總會を開き、株式暴落の善後策として自治的救濟をなすべく、委託者には解合を依頼し、成行賣に對しては買入を行ひ、新規買は一切禁止するに決定した

◇山形織物業者の休機決議　山形市の織物業者は、二十五日から五月二十五日まで休機し、取引を停止することを決議した

◇太平洋炭礦會社の創立　北海道の同社（資本金二千二百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役木村久太郎、近江時五郎、榊瀬軍之佐、木村泰治、松方正熊、西加二太、遠藤清一、荒井泰治、賀田金三郎▽監査役古賀三千人、牧山清砂、岩田讓三郎

◇太陽銀行の休業　鐘淵縣の太陽銀行（資本金百萬圓）は取付のため本日より向ふ一週間の休業を發表した

二十三日（金）

◇政府の財界救濟融資額決定す　政府は財界救濟策として、爲替資金約五千萬圓、砂糖資金三千萬圓、株式資金三千萬圓合計一億一千萬圓を日本銀行より各方面に融資するに決し、なほ不足の場合は更に一億五千萬圓程度の融資をなすことに決定した

◇國際聯盟協會の創立　官吏、實業家、新聞記者等により國際聯盟協會が設立され、會長に澁澤榮一、副會長に阪谷芳郎、添田壽一が推された

二十四日（土）

◇尼港救援隊派遣さる　尼港に於ける我居留民を救援し、必要に應じて北樺太在留邦人を保護するため、一部隊は軍艦三笠及び見島護衛の下に十九日小樽出發、二十二日歷山港に上陸、尼港到着は五月十日頃の豫定である旨陸軍省から發表された

◇東京株式仲買シンヂケートの成立　東京株式取引所仲買人七十九名中七十七名は仲買人シンヂケートを組織し、解合に努力することゝなつた

◇長岡機業家の休業決議　長岡の機業家は五月一日から一ヶ月間休業し、給金の三割の手當支給を決議した

◇日本製麻會社の創立　同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き

◇八大商業會議所代表、財界救濟を懇請　東京、大阪、京都、名古屋、横濱、神戸、函館、長崎の八大商業會議所代表は、大藏省及び日本銀行を訪問し、財界救濟方を懇請したが、決議文は次の如くである
一、確實なる貨物證券、有價證券及び商業手形に對しては融通の途を圖ること　二、輸出入爲替手形に對しては政府に於て特別便宜を誇ずること　三、預金及び貸出利子の利鞘を減少し事業資金の潤澤を圖ること

二十日（火）

◇富豪會大會で放漫政策を糾彈　大阪に開催された憲政會大會に於て總裁加藤高明は、普通選擧の必要を說き、政府西比利亞出兵の非を鳴らし、今回の不況に對する放漫政策の責任を糾彈した

◇朝鮮の會社、鐵道に鐵路設置　歩兵第七十五聯隊は會寧に、第七十六聯隊は羅南に設置された

◇滿鐵鐵道權益侵害の對支抗議　帝國政府は、支那の內蒙古胡蘆島から朝陽に至る鐵道敷設計畫は日本の滿蒙五鐵道の利益を侵害するものであるとして抗議したが、支那政府はこの計畫は外國資金によるものでない旨辯明した

◇日鐵、爲替資金五千萬圓融通に決定

左の役員を選任した
▽取締役大佳雅五郎(社長)、中川三郎、榊原正彦、豊田善次郎、河中喜作、山本市次郎、深田要治、守道源三郎▽監査役出水川與二、鵜島英次郎、松川泰外二名

◇米國實業團の來朝
米國の實業家フランク・ヴアンダリツプ一行二十四名は本日横濱入港の鹿島丸で來朝した。我民間有力者と日米兩國の政治經濟問題に關し隔意なき意見を交換するにある

二十五日（日）

◇東京市電從業員の罷業
東京市電從業員は八時間勞働制及び監督代理公選等を要求して今朝から罷業に入り、午後八時には全線の運轉が休止されたが、誠首と警視廳の檢束に遭つて慘敗し、五月一日から平常に復した

◇東京市內百餘名の莫大小業者の休業
東京市內百餘名の莫大小製造業者よりなる交友會は、本日から六月三十日まで製造休止に決定した

◇新潟中蒲原地方機業家の休業
新潟縣中蒲原地方機業家は本日から一ヶ月間休機し、賃下げとを行ふことに決定した

◇東京市電從業員の罷業
東京市電從業員は八時間勞働制及び監督代理公選等を要求して今朝から罷業に入り、午後八時には全線の運轉が休止されたが、誠首と警視廳の檢束に遭つて慘敗し、五月一日から平常に復した

二十六日（月）

◇綿絲更に暴落す
本日の定期綿絲は東京、大阪共に暴落、東京市場は先限三百八十圓十錢と前日に比し五十五圓安、其他各地各限共五十一圓乃至五十七圓方崩落した

◇岡山地方織物業者の休業決議
備前、備中、邑久、上道の各織物同業組合では五月十日から一ヶ月間休業することに決定した

◇合同肥料會社の創立
同社は大日本人造肥料會社、多木製肥所、久原鑛業會社の共同出資によつて資本金一千萬圓を以て創立され、左の役員を選任した
▽取締役久原房之助(會長)、堀内明三郎(專務取締役)、中山說太郎(同)、西川虎之助、多木三良、堀哲三郎、松村德松▽監査役安衆鉴道、竹内維彦

◇關西貯蓄、後藤田兩銀行の休業
德島市の關西貯蓄銀行(資本金百萬圓)は取付のため本日から十日間の休業を發表した。同行休業の報に阿波商業、德島の各行、明正銀行德島支店、高知銀行德島支店に取付が起つたが、漸次平靜に歸した。又廣島の後藤田銀行(資本金五十萬圓)は同行頭取後藤田千一が關西貯蓄の重役を兼任してゐる關係から取付に遭ひ、二十九日から十日間休業を發表した

◇關島居留民の不逞鮮人對策請願
關島龍井村居留民大會は不逞鮮人跋扈に對し當局の應急措置を電請した

二十七日（火）

◇總絲の輸出禁止緩和さる
政府は綿絲布の暴落が當業者に多大の打撃を與へたのに鑑み、二十番手以上の輸出を許可する旨各地方長官に通達した

◇東西銀行團の株、大株救濟決定
興銀、正金、臺灣、朝鮮、三井、三菱、第一、第百、十五、安田、第三、川崎の公債銀行團及豐國、東海、中井、村井四銀行の代表は日本銀行に集合協議し、東京株式取引所に對し解合差損金、受渡資金、仕切差損金、合計五千萬圓を融通することに決定した。又大阪銀行團も大阪株式救濟資金として二千五百萬圓を融資に決定した。而して右資金の貸出方法は日本銀行から融通された資金を取引所に貸付け、取引所はこれを特定銀行に預託して、特定銀行から仲買シンヂケートに貸付け

るものである

◇東武鐵道、東上鐵道を合併
東武鐵道會社(資本金一千百萬圓)は株主總會に於て、東上鐵道會社(資本金四百五十萬圓)を合併して一千五百五十萬圓に增資の件を可決した

◇大日本硝子工業を合併
同社(資本金三千八百萬圓)は臨時總會を開き日本硝子工業會社(拂込資本金二百四十萬圓)を合併し、四千萬圓に增資の件を可決した。合併條件は日本硝子五十圓拂込濟株四萬八千株に對し、同社同額拂込濟株四萬株を交付する

◇大阪の大綿絲布商巧く告發さる
大阪地方裁判所所屬辯護士中村儀造は三井物産、久原商事、伊藤忠商店、江商等大阪市の大綿絲布商百八十九名に對し、大阪地方裁判所檢事局に取引所法違反の告發を提出した理由は大阪市場に於ける先物取引によつて產出數量の數千倍に達する空賣買を行ひ物價騰貴を招來したのは不法であるといふにある

二十八日（水）

◇旭石材興業會社の創立
同社(資本金百萬圓)は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役高橋德之助(社長)、早乙女操三郎、清水邦雄外六名▽監査役島田嘉內、篠崎龍太郎外三名

◇佛國の奢侈品輸入禁止
佛蘭西は奢侈品、不必要品約二百種の輸入を禁ずる大統領令を公布した。日本に最も影響のあるのは羽二重の一千四百萬圓、貝釦の二百三十萬圓(大正八年度)である

二十九日（木）

◇日佛軍事協定の調印
本月十七日以來濱寧に開する協定は本日調印された

◇久留米絣業者の休業
久留米絣同業組合は本日代議員會を開き、二三工場を除く外全部五月五日から三十日間休業することを決議した

◇大阪友禪業者全休す
大阪府下の友禪業者は本月中旬以來續々休業し、本日までに五十四工場が休業するに至つた

◇明治製絲三千萬圓に增資
同社(資本金一千二百萬圓)は株主總會を開き、一千八百萬圓を增資して資本金三千萬圓とする件を可決した

三十日（金）

◇海上保險協會の創立
內外の同業會社によつて海上保險協會が組織された

◇臺灣製糖六千三百萬圓に增資
同社は株主總會に於て資本金二千九百八十萬圓を六千三百萬圓に增資の件を可決した

◇柿本銀行の休業
和歌山市の柿本銀行　資本金三十萬圓)は財界變動の餘波を受けて取付に遭ひ、本日より五月十三日まで二週間休業に決した

◇鹽水港製糖二千五百萬圓に增資
資本金一千百二十五萬圓の鹽水港製糖會社は、一千三百七十五萬圓を增資して資本金二千五百萬圓となつた(日不詳)

◇鐘紡製絲會社二千萬圓に增資
資本金二百七十六萬六千六百五十圓の鐘紡製絲會社は、一千七百二十三萬三千三百五十圓を增資して資本金二千萬圓となつた(日不詳)

◇東京瓦物一千萬圓に倍額增資
資本金五百萬圓の東京建物會社は、倍額增資して資本金一千萬圓となつた(日不詳)

【五　月】

一　日（土）

◇銀塊生絲取引所休會す
　休會中の定期生絲は內氣配不良のため立會開始危險と認めて取引を休止し、七日開會に決した

◇國有鐵道現業委員會の設置
　國有鐵道の現業從業員より選出した委員を以て同委員會が組織された。區域內に於ける共通の利害に關する事項につき當局の諮問に答申し、又進んで意見を開陳するものである

◇記料聯合會、記料輸出解禁を請願
　全國記料聯合會の陳情委員は當局に對し記料輸出解禁を陳情した

◇近江貯金銀行の休業
　大津市に本店を有する近江貯金銀行（資本金五十萬圓）片田支店に取付起り、本店にも波及したゝめ、同行は本日から十日間の休業を發表した

◇第一回メーデー擧行さる
　我國最初のメーデーは午後一時東京上野公園兩大師前廣場に於て、友愛會外十四勞働團體參加の下に擧行、參加勞働者一萬に及び（一）治安警察法第十七條の撤廢（二）恐慌來に際しての失業防止要求（三）最低賃銀法制定等を決議し四時散會した

二　日（日）

◇海軍工廠職工を佛國へ派遣
　潛水艦の建造及び飛行機の製造に從事する職工養成のため、海軍各工廠から五十名の職工を選拔し佛國へ派遣することゝなつた

◇聯合紙器會社の創立
　資本金二百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
　▽取締役新莊吉生（社長）、井上貞次郎（常務）、山田武三、川路利彥、村田貫一、澤田昇吉、ジエー・アール・ゲーリー▽監査役中村立三、三見昇、立川龍

三　日（月）

◇日佛通商航海條約批准書交換
　明治三十二年締結の日佛通商航海條約は佛國政府の豫告によつて本月十日限り失效する筈の處、兩國協議の結果締約國の一方が廢棄を解明する迄は效力を有し、廢棄辭明後三ケ月を經て失效することゝなつた旨外務省から發表された

◇臨時國庫證券二千七百二十五圓發行
　政府は臨時國庫證券二千七百二十五圓を年利二分、大正九年六月三十日償還の條件で發行した

◇佐久鐵道の敷設免許
　佐久鐵道會社に對し長野縣埴生村から須坂町に至る十五哩二十五鎖、建設費二百萬圓の蒸汽鐵道敷設免許狀が下附された

五　日（水）

◇鹿兒島絹織業者の休業
　鹿兒島絹織同業組合は日本銀行支店からの資金融通不能のため遂に全部休業し、五千の職工を歸鄉せしめることゝなつた

◇美久仁眞珠會社の開業
　眞珠の養殖加工販賣を目的とする同社（資本金百萬圓、社長松岡讓、專務取締役村上幸作）は本日開業した

◇横濱で敵國財產第一回競賣執行
　神奈川縣特殊財產管理課では、橫濱市內獨墺敵國人財產の第一回競賣を行つたが、總額五十萬五千圓に上つた

六　日（木）

◇小樽、札幌間の電鐵敷設免許
　北海道中央電鐵會社に對し小樽から札幌に至る二十七哩四十鎖、建設費七百萬圓の電氣

鐵道敷設免許狀が下附された

◇仲買人聯合大會の株式市場救濟決議
　東京築地精養軒に東京、大阪、京都、名古屋、神戶の五株式取引所仲買人大會を開催し株式市場の根本的改善方法として左の事項を決議した
　（一）前議會提出の所得稅法改正案の撤廢
　（二）大正七年六月禁止された小口路の復活（三）各取引所の增資

◇桑名、鵜問の綢繆物業者休業
　埼玉縣秩父綢繆物同業組合では本月末日迄全部休業し、同期間中新に輸出及び仕入を爲さゞることに決定、又輸出羽前羽二重生產地たる鶴岡町の機業家も本日から十日間休業に決定した

◇日東硫肥會社の借額增資
　同社は臨時總會で資本金百萬圓を二百萬圓に增資する件を可決した

七　日（金）

◇ウスリー鐵道引渡協定成立
　星野中將とウスリー鐵道長官との間に鐵道引渡協定成立し、この協定に基き十一日午前六時を以て鐵道業務は露西亞側に引渡されることゝなつた

十　日（月）

◇總選擧施行さる
　衆議院議員總選擧は本日施行されたが、開票の結果政友會二百六十九名、實政會百九名國民黨二十九名、中立派四十七名で政府與黨の大勝となつた

◇對獨損害賠償申告の外務省令公布
　巴里の賠償委員會に提出すべき本邦對獨賠償要求の資料に供するため、對獨戰爭に基因し帝國臣民の被つた直接間接の損害賠償に關する損害申告を提出せしむる旨の外務省令が公布された

◇臨時國庫證券五千三百萬圓發行
　政府は臨時國庫證券五千三百萬圓を日步二錢、支拂期日大正九年十一月九日の條件で發行した

◇株式市場立會開始さる
　東京及び大阪株式取引所は約一ケ月振りに立會を開始したが、人氣安定せず亂高下の商狀を呈した

◇大日本製紙會社の創立
　同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
　▽取締役　杉田利盛（社長兼專務）、福澤大四郎、渡邊晉吉、安宅武、茶谷保三郎、後藤六彌、佐竹源造▽監査役　伊藤俊一、服木松造、中村壯吉

◇帝國紡織機械會社の創立
　同社（資本金三百五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
　▽取締役　山口武彥（社長）、林一男（專務）高橋是賢、齋藤恂、小野一雄、上田彥次郎川崎仁吉、高木貞一▽監査役　首藤諒、藤井善助、西條濟三郎

十一日（火）

◇大井浦塩派遣軍司令官の聲明
　浦塩派遣軍司令官大井成元大將は、本日附を以て日本軍の極東露領に於ける行動に關し日本軍は何等領土的野心を持つものではなく唯極東露領に輿望に副ふべき一自治行政地域が形成され、兩國の經濟關係が恢復される前提として過激派軍と日本軍との間に緩衝地帶の設置を希望するものである旨聲明した

◇株式、綿絲一齊に暴落す
　本日の東京株式市場は諸株暴落、富士紡十八圓安、鐘紡新舊二十八圓安、東洋モス二十九圓安、杉之森市場は先物三百二十七圓と四十五圓安、其他各地各限共二十八圓乃至四十

七國方暴落した

◇對支借款團の成立

日、英、米、佛四國合同の對支借款團組織は、日本の滿蒙除外要求で行惱中のところ、來朝中の米國銀行團代表ラモンドと日本銀行團代表との間に諒解成り、更に英、佛の承認も得て、本日その調印を見た

十二日（水）

◇關西毛糸業組合、契約履行を要請

關西毛糸業組合は、取引先の賣買契約不履行又は代金不拂の場合は以後取引を停止し、又取引先に於て商品引取を拒み又は返送した場合はこれを組合員評價で賣却し、不足額を買主に請求する旨發表した

十三日（木）

◇日米兩國有志協議會の聲書發表

日米兩國有志協議會は四月二十六日から六日間に亘り、米國側ヴアンダリップ一行と日本側澁澤榮一委員長外委員出席、移民問題、山東問題、支那借款問題、西比利亞問題、朝鮮問題、滿蒙問題、日米共同事業問題、日米間海底電信問題等を協議したが、本日その協議内容に關し兩國委員間に交換された聲書が發表された

◇伊藤絣製造業者の休業

伊勢の一市二郡の機業家は、十五日から一ヶ年間製造を休止し、職工解雇の場合は十日分の給料を支給するに決定した

◇暴動に暴動勃發す

愛關に組織的暴動勃發し、警察署に襲撃を蒙つた警察署は五十餘に及び遂に軍隊の出動を見るに至つた

十四日（金）

◇尼港派遣軍、沿海州に上陸

尼港派遣の日本軍は本日沿海州デカストリー附近に上陸した

◇沼津伊東間の鐵道敷設免許

供豆鐵道會社に對し沼津町から伊東町に至る二十五哩六十鎖、建設費二百五十萬圓の蒸汽鐵道敷設が許可された

◇吉野鐵道の敷設免許

吉野鐵道會社に對し奈良縣八木町から葛村に至る七哩七十鎖、建設費九十八萬圓の蒸汽鐵道敷設が免許された

◇東京織市場救濟調成立す

織市場救濟のため東京市内織物問屋筋及び輸入商等聯合してシンヂケートを組織し、本日協議會を開催して（一）外國品注文を向ふ三ヶ月間休止し（二）市場在庫品一萬噸を一噸二百圓にて二百萬圓迄買取り（三）資金の一部は組合員より、一部は銀行の借入金により調達し（四）大阪方面同業者にも同一歩調を採用する等の方法を決定し、實行委員に問屋側は森岡、梅岡、岡谷、小川、倉田、輸入商側は三井、茂木、岩井、增田屋等を擧げた

◇柿本銀行の再休業

休業中なりし和歌山市の柿本銀行は本日開店したが、再び取付に遭ひ六月五日まで休業繼續に決定した

十五日（土）

◇鐵道院昇格して鐵道省となる

鐵道省官制公布され、これにより從來の鐵道院は鐵道省として獨立し、初代鐵道大臣に元田肇が親任された

◇關勢院官制改さる

國勢院官制が公布され即日實施された。同院は內閣總理大臣の管理に屬し（一）行政各部統計の統一に關する事務（二）行政各部に專屬せざる統計に關する事務（三）統計報告刊行及び內外統計表交換事務（四）統計職員養成並に各官廳統計主任者の招集及び會議に關する事務（五）軍需工業動員法施行事項の

統轄及び遂行事務（六）軍需工業從業員の調査事務を掌るもので、總裁に小川平吉が親任された

◇關進殿帶、ドルンに移る

前獨逸皇帝は和蘭アメロンゲンからドルンに移つた

十六日（日）

◇津輕尼港派遣軍司令官出發す

西比利亞ニコライエフスク港在留邦人救援の尼港派遣軍司令官津野少將は本日上野發列車で征途に上つた

十八日（火）

◇富士身延鐵道の一部開通

富士身延鐵道會社の一部甲斐大島、身延間二哩五分は本日開通した

十九日（水）

◇南夕張炭礦鐵道の敷設免許

南夕張炭礦鐵道會社に對し胆振國安平村から穌別村に至る二十一哩、建設費三百萬圓の蒸汽鐵道敷設が免許された

◇弘報堂の組織變更

新聞雜誌廣告取次業弘報堂は事業擴張のため株式會社に改組、社長江藤甚三郎、常務取締役河村貞、浮田永太郎、監査役花房敬秀、横井四郎を選任した

◇加奈陀の奢侈品關稅率引上げ

加奈陀政府は、從來奢侈品に對する二十パーセント半の關稅を、三十乃至三十五パーセントに改正實施したが、日本品中影響をうけるものは絹製品、天鵞絨等である

二十日（木）

◇北海道拓殖債券二百萬圓發行

北海道拓殖債券二百萬圓は、利率年七分五厘、發行價格額面、大正十一年七月十五日迄據置後八ヶ年內償還の條件で發行された

◇愛岐、濃尾鐵道の敷設免許

愛岐鐵道會社（愛知縣水野村から岐阜縣下石町に至る十一哩の蒸汽鐵道、建設費百五十萬圓）及び秩父鐵道會社の延長線（埼玉縣影森村、白川村間四哩七十鎖の蒸汽鐵道、建設費七十八萬圓）は何れも敷設を免許された

◇久留米絣の不況劃策協定

久留米絣同業組合は久留米市に工賃協定會を開き、六月一日から工賃を一割五分引下げ先般決議した五月五日から一ヶ月間の操業休止を更に二ヶ月延長し、又新シンヂケートを組織して十七銀行から資金借入をなすことを決議した

◇神戸市に織業者救濟團成立

神戸市の一流織業者はシンヂケートを組織して投物を買取ることに決定した

◇關東信託會社の創立

同社（資本金五千萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役　久米良作（社長）、前田青莎（副社長）、松方幸輔（專務）、山本昇雄（專務）、若尾謹之助、渡邊勝三郎、佐藤五百巖、成瀨正行、西脇濟三郎▽監査役　靑山幸宜、伊丹彌太郎、清岡邦之助

二十一日（金）

◇日本船主同盟會、船主協會と改稱

社外船主の團體たる日本船主同盟會は、郵船、商船、東洋汽船三社の入會に伴ひ組織を變更して日本船主協會と改稱した

◇三遠玉絲業者の全休決議

三遠玉絲業者は既に五割の操短を行つてゐたが、更に本日豐橋市に臨時總會を開き六月二十五日迄全休に決定した

◇太陽石油、日出石油を合併

太陽石油會社（資本金五百三十萬圓）は日出石油會社（資本金二百萬圓）を合併し、更に資本金を一千萬圓に增加する件を臨時總會

で可決した

◇日本綿織、大聖寺ペニーを合併
同社（資本金四百萬圓）は、東京の大聖寺ペニー會社（資本金百萬圓）を合併し、資本金を五百萬圓となす件を株主總會に於て可決した

◇支那、山東問題交渉開始を通牒す
支那政府は青島還附の直接交渉を我國と開始することを拒絶する旨回答し來つた。其理由は（一）同國は對獨媾和條約に調印せず、從つて同條約に基いて山東問題を協議し得ず（二）同國政府は山東問題直接交渉に反對の輿論を無視し得ずといふにある

二十二日（土）

◇東京商業會議所の綜合課稅反對決議
東京商業會議所は、前議會に提出された所得稅法改正法律案は產業發達を阻碍し、所得稅にのみ綜合課稅をなすは負擔の公平を失する故、源泉課稅主義によることを望む旨決議した

二十四日（月）

◇各定期市場一齊に暴落す
東京株式市場は東株先物百六十二圓と二十六圓十錢安、同新宮限百五十五圓五十錢と二十八圓五十錢安、鐘紡二十五圓安、同新三十一圓安、其他一齊に十圓內外激落。東京綿絲は各限二十四圓乃至四十八圓方暴落。東京期米市場は前日二圓方暴落のため本日から三日間休會。橫濱生絲市場は數日間に各限五六十圓方暴落のため本日休會、二十七日再開したが混亂を恐れて本日休會、二十七日再開したが各限更に十五圓乃至三十圓方暴落を演じた

◇七十圓銀行の休業
茂木惣兵衞の經營する橫濱市の七十四銀行（資本金五百萬圓）及び其分身たる橫濱貯蓄銀行（資本金五萬圓）は、本日から三週間の休業を發表した。今次財界動搖のため茂木關係事業は多大の影響を蒙り、就中茂木合名會社の海外貿易事業は、米國金融逼迫に遭つて一頓挫を來し延いて銀行に累を及ぼし、一方內地金融梗塞のため生絲、羽二重に對する貸出資金の回收困難を來した折柄、茂木惣兵衞の自殺說が流布されて高崎、大阪兩支店に及び、前日預金引出が現はれ、次いで本店に及び、前年末六千萬圓の預金額が本月二十一日は五千萬圓に減少、遂に休業に立至つたものである。同行休業の餘波をうけて全國各地に銀行の取付、休業が續出した

◇左右田銀行の取付
橫濱の左右田銀行（資本金百萬圓）及び左右田貯蓄銀行（資本金五十萬圓）は七十四銀行休業の影響をうけて本日取付に遭つたが、橫濱正金、第二兩銀行の保證を得て日本銀行から融資をうけ、二十六日平靜に復した

◇上州銀行の休業
高崎市の上州銀行（資本金三百萬圓）は七十四銀行を親銀行とする關係上取付に遭ひ本日から二十八日迄休業した

二十五日（火）

◇東京市に三百萬圓下賜
東京市の道路は凹凸甚だしく降雨の際は泥田と化する有樣で非難の聲高まり、爰に阿部東京府知事より根本的改良計畫を樹立するやう嚴重な警告を受けたが、兎くも東京市に對し道路修理補助費として三百萬圓下賜の御沙汰があつた

◇遊興稅及び觀覽稅を府縣稅に指定
遊興稅及び觀覽稅を府縣稅及び市町村稅として指定、六月一日から實施の旨公布された

◇鐵道公債一千萬圓發行
政府は鐵道建設改良費支辨のため五分利國庫債券總額一千萬圓を額面百圓に付九十四圓

五十錢、年利五分、償還期限大正十年十二月一日の條件で發行した

◇財界救濟のため國債現金償還
政府は財界救濟策の一方法として償還期限の到來せる國債を現金で償還し、更に日銀をして資金融通に積極的に乘出さしめることに本日の閣議に於て決定した。償還期の迫れる國債は左の如し

（種類）	（金額）	（償還期）
臨時國庫證券	七千萬圓	六月三十日
同	一億圓	九月一日
鐵道公債	三千萬圓	九月一日

◇貿機織寸組合の休業決議
日本貿機織寸同業組合では、不況のため六月一日から七月三十一日まで休業し、職工解雇の場合は手當として最高貸銀月額の三分の一を給與することに決定した

◇輸出絹物組合、七十四銀行整理に協力
橫濱輸出絹物同業組合は幹部會を開き、七十四銀行の休業が絹物輸出業に及ぼす影響の甚大なのに鑑み、組合員一致して同行整理に協力することを決議した

◇橫須賀商業、貯蓄兩銀行の休業
橫須賀市の橫須賀商業銀行（資本金五十萬圓）及び其分身たる橫須賀貯蓄銀行（資本金十萬圓）は、七十四銀行休業の影響を受けて取付に遭つたため本日から二週間の休業を發表した

◇濱貿銀行の取付
福岡縣の同行（資本金五十萬圓）は筑豐炭業不振のため取付を受けた

二十六日（水）

◇高橋藏相、財界徹底的救濟を聲明
藏相高橋是清は、財界救濟のため日本銀行をして各當業者シンヂケートのみならず個人に對しても確實なる擔保ある者に對しては相當の貸付をなさしめ、從來の金融施設を擴充して徹底的にこれを實行せしめる旨聲明した

◇橫濱繰絲貿易組合の緊急決議
橫濱繰絲貿易同業組合は臨時總會を開き、組合員及び長野縣製絲家出席して左の決議をなした

（一）新絲操業開始期は全國を通じ六月二十五日とす（二）六月十一日から七月五日まで新古絲を問はず絕對に荷受せざること

◇戶塚銀行の休業
神奈川縣の戶塚銀行（資本金三十萬圓）は橫須賀商業銀行と同じく內山敬三郎を頭取とする關係から取付に遭ひ、本日から二週間の休業を發表した

◇關東銀行の取付
神奈川縣藤澤町の關東銀行（資本金百萬圓）は橫須賀、戶塚兩銀行休業の影響をうけて取付に遭つたが、橫濱正金、神奈川農工兩銀行の後援により二十九日平穩に復した

◇神奈川、神奈川貯蓄兩銀行の休業
橫濱市の神奈川銀行（資本金二十萬圓）及び神奈川貯蓄銀行（資本金三萬圓）は、本日から二週間の休業を發表した

◇同興紡績會社の創立
同社（資本金一千五百萬圓）は創立總會を開き、大阪合同紡績の上海工場敷地を原價で讓受けることその他を可決した

二十七日（木）

◇憲政會關東大會、內閣倒壞を決議
憲政會關東大會は築地精養軒に開會、小泉又次郎、大津淳一郎外四十餘名出席し、現內閣の內外失政を糾彈し、これが倒壞を期する旨決議した

◇橫濱各銀行の生糸擔保價格引下げ
橫濱各銀行は生糸擔保價格を從來の九貫目建一棚に付七百圓を五百圓に引下げ卽日實施

した

◇綿絲救濟團、輸出綿絲組合成立す
綿絲暴落によつて惹起された會社對問屋間の既約品受渡難を解決するため、大阪綿絲商同盟會及び輸出綿絲商同盟會は、紡績業者及び銀行團の諒解を得て綿絲シンヂケートを組織したが、組合規約は大要左の如くである
（一）綿絲輸出を增進し綿業界安定を圖る（二）名稱輸出綿絲組合（三）存續期間大正十年末迄（四）組合員相互間及び紡績聯合會員と組合員間の大正九年五、六月限阪神渡綿絲約定品中未取引殘荷を買取り、主に海外に移輸出す
而して大日本紡績聯合會では、輸出綿絲組合の損失の半額を負擔することに決定、三十一日の締切迄の提供荷實渡申込數は九萬二千八百八十梱、又組合が融通された金額は爲替銀行團から三千五百萬圓、內地銀行團から一千五百萬圓であつた

◇輸出織物大會、七十四銀行救濟を陳情
全國輸出絹物聯合組合大會は本日橫濱に開催、橫濱七十四銀行の休業が蠶絲業に及ぼす影響甚大なるに鑑み政府及び縣當局にその救濟方を懇請することに決定した

二十八日（金）

◇大日本蠶絲會、絲價下落對策を決議
大日本蠶絲會では絲價暴落善後策として左の應急對策を議決した
（一）日本銀行及び其關係銀行より乾繭を預りたる倉庫證券を擔保に資金融通を求む（二）貸付價格は時價八掛以內を標準とす（三）乾繭收容倉庫は從來の日銀指定以外にも認めること（四）蠶絲業救濟資金は一億圓とし低利なること

◇天龍川水力電氣會社の創立
同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開催左の役員を選任した
▽取締役　井上公二（社長）、法元盛良（專務）、藤原有信（專務）、宮本甚七、長谷川鐵太郎、古庄鹿之助、藤村義苗▽監査役　中村藤吉、吉村信二、竹內純平

二十九日（土）

◇日本、國際航空條約に調印す
日本は佛國に於て國際航空條約に調印した

◇鹽の値上げ發表
本日の官報を以て左の如く鹽の値上げを發表した
▽一等五八五錢（前四二七錢）▽二等五四三（四〇四）▽三等五〇九（三八五）▽四等四八〇（三六九）▽五等四五六（三五五）
（以上百斤に付）

◇廣島市の各銀行取付
廣島貯蓄、廣島商業、廣島、崇德等の廣島市內各銀行は一齊に取付を受けたが、日本銀行廣島支店の應援で三十日平穩に復した

三十一日（月）

◇日銀、輸出綿絲布救濟融資に決定
日本銀行は五、六月中の輸出向綿絲布に對し十一月十五日迄の期限で爲替前貸金として約四千萬圓を融通するに決定した

◇モスリン先約全部解合に決定
モスリン界救濟のためモスリン先物約定は一等品時價標準値を一圓とし、先約値段との差額を算出し、その差額の一半を會社の損失とし、一半を問屋の損失として會社に支拂ひ全部の先約を解合とすることに決定、六月一日から實行した。而して現在各社の先約平均値は一碼一圓六十錢見當、先約總量約二萬俵で、右解合の結果問屋から會社に支拂ふ差損金は約八百萬圓である

◇五取引所に增資認可
農商務省は左記取引所に對し本日附を以て

左の如く增資を認可した
▽長崎株式取引所五十萬圓（現在十萬圓）▽廣島株式取引所五十萬圓（十一萬圓）▽博多株式取引所百五十萬圓（六十萬圓）▽岡山米穀取引所二十萬圓（十萬圓）▽鶴岡米穀取引所二十五萬圓（十二萬圓）

◇大野炭礦會社の創立
同社（資本金百五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役　橫尾彌門（社長）、三浦革（常務）渡邊文八郎、細梅三郎▽監査役　本郷良吉岡津恭正

◇合名會社田中銀行の改組
合名會社田中銀行は、資本金二百二十萬圓の株式會社田中興業銀行に組織を變更した

◇訪日伊太利機、東京に到着
二月上旬羅馬を出發した伊太利飛行機二機はフエラリン、ヤシエロ兩中尉操縦の下に航程九千哩、小亞細亞、アラビヤ、印度、支那朝鮮を經由、本日東京に到着した

◇株式會社荏原製作所の創立
荏原製作所は資本金三百萬圓を以て設立され、本日創立總會を開き左の役員を選任した
（日不詳）

▽取締役　畠山一淸（專務）、山岸靖一、酒井億尋▽監査役　嶋倉吉次

◇大阪シヤリング會社の創立
大阪シヤリング會社は鐵鋼材切斷及伸鐵ボンチング業を目的とし、資本金百萬圓を以て設立、本日の創立總會に於て左の重役を選任した（日不詳）
▽取締役　中西二郎、鶴間正祐、松元千代助、豐永政吉、村岡大太郎、多田藤吉▽監査役　細川喜三郎、小泉澄、千葉金三郎

【六　月】

一　日（火）

◇政府、蠶絲業救濟に決定す
政府は大日本蠶絲會の要求に基き製絲家及び養蠶家に對し日本銀行をして融資せしめることに閣議に於て決定した

◇西比利亞一部撤兵を閣議て決定
本日の閣議に於て西比利亞派遣軍のチタ方面撤兵を決定した

◇吾妻電力會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役　安田善三郎（社長）、小倉鎭之助田島達策、安田善五郎、安田善雄▽監査役　高津仲次郎、靑木正太郎、田島庄太郎

◇東京諸新聞の値上
東京朝日、東京日日、中外商業、國民、時事の各新聞社は物價低落期にも拘らず新聞用紙騰貴のため朝刊一部四錢を五錢に、一ヶ月一圓を一圓二十錢に値上げした

◇紐育準備銀行の利上
紐育準備銀行は商業手形割引步合を六分から七分に引上げた

三　日（木）

◇日本軍尼港を占領す
中村少將の統率する臨時海軍派遣隊は本日尼港に達し、午前七時半多門枝隊は同市を占領した

◇小口落復活勅令の公布
小口落復活勅令が公布された。要旨は（一）仲買人身元保證金を五千圓以上とし、原則として各取引所資本金の千分の五以上とす（二）小口落は委託者の意志に從つて禁止す（三）追證及び增證は半額迄現金とす（四）兩建證據金の免除及び減額を自由とす、等で七月一日から實施された

◇蠶絲組合の蠶絲救濟要請決議

蚕絲同業組合中央會は臨時總會に於て左の重要對策を決議した
（一）政府に絲價標準一千七百圓（上一番）維持目的を以て在荷を處理する爲補償金の支出を請ふこと（二）前價維持のため日本銀行、勸業銀行其他を通じて低利資金八千萬圓以内の融通を求めること
◇羅文等廣東議會消滅を宣言す
羅文、唐紹儀、伍廷芳、唐繼堯は廣東議會消滅を宣言した
五　日（土）
◇外國電線の米國經由法案通過す
外船壓迫を目的とする米國の船舶法案は、兩院協議會に於て修正の後、本日議會を通過した
六　日（日）
◇尼港在留邦人全部殺戮の公報
尼港在留邦人はパルチザンのため全部殺戮されたる旨本日海軍省から發表された
七　日（月）
◇紡績聯合會の操短決議
大日本紡績聯合會は六月十五日以降六ケ月間に次の方法に依る操業短縮を決議したが、生産減は二十二、三萬梱見當である
▽六ケ月間晝夜休業す▽毎日の晝夜運轉時間を十時間とす▽各社各工場の錘數一割を封絨す
九　日（水）
◇期米又も暴落す
期米又も暴落し二十九圓臺を現出した
◇三綿商事會社の創立
同社は資本金百五十萬圓を以て創立され、社長に中村愛作、常務取締役に湯本芳三郎を選任した
十一日（金）
◇綿絲又も暴落す
綿絲暴落し、杉之森市場では各限二十八圓乃至四十四方崩落、先物は大幅割れの二百八十九圓四十錢に引けた
十二日（土）
◇政府、電氣事業合同を慫慂す
經濟界の變動と共に資金梗塞又は前途不安から電氣事業の工事中止が續出するに鑑み、政府は本日遞信省電氣局長の名を以て地方長官宛に、電氣事業を合併せしめ基礎を鞏固にし事業信用を向上せしめるため合同に盡力すべき旨通達した
◇東京株式取引所の增資認可
東京株式取引所に對し資本金二千萬圓を四千五百萬圓に增資の件を認可した
◇茂木商店絲青支店の整理
茂木商店絲青支店の大債權者は同店の整理手續を執ることに決定したが、五月二十九日現在の資產一千二百三十萬弗、負債一千二百八十萬弗で、取立不能と計上された實際損失は約三百萬弗である
◇財界の長老豐川良平死去
貴族院議員豐川良平は六十九歲を以て死去した。土佐に生れ岩崎彌之助に從つて上京、慶應義塾に學び、百十九國立銀行頭取、三菱合資銀行部長、東京手形交換所委員長、東京倉庫會社會長、百十銀行取締役、東京市會議員等を歷任し、現に日本窒素肥料及び猪苗代水力電氣の取締役であつた
十五日（火）
◇外務當、山東交涉顚末發表
外務省は山東問題交涉の顚末に關し大要左の如き發表をなした
帝國政府は本年一月支那政府に對し山東問題直接交涉を申入れたところ支那政府は五月これを拒絕し來つた。然し帝國政府は將來何時にても本問題の商議に應ずべきこと

を此處に言明する
◇滿鐵九千人を解雇す
南滿洲鐵道會社は從業員九千人に及ぶ大量整理を斷行した
十六日（水）
◇關比利亞問題同實大會の決議
河野廣中、安達謙藏、內田良平、大竹貫一等の組織する對露同盟會は東京に演說會を開き（一）極東過激派を掃蕩し眞實なる露西亞人による確固たる政府樹立を期す（二）政府は對西比利亞政策失敗の責を負うて處決すべしとの決議をなし、大井西比利亞出征軍司令官宛の電文、鈴木第五師團長宛の感謝電文を議決した
◇尼港事件の眞相發表さる
外務省は本日尼港事件に關する顚末を發表した。これによれば過激派軍は三月十二日から十四日に亘り尼港守備隊及び副領事石田虎松外居留民を慘殺し、右戰鬪後生存の約百四十名の邦人は獄舍に拘禁され、五月二十五日我が救援軍の到着に先だち悉く慘殺されたもので、三百六名の將卒と三百五十名の居留民が犧牲となつた
◇日興證券會社の創立
同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開催左の役員を選任した
▽取締役　岩井重太郎（社長）、左右田喜一郎、彌永克巳▽監査役　西脇濟三郎、吉川孝秀
◇中央勞働職業紹介所の開設
東京府社會課經營の同紹介所は神田囂ガード下に設置、社會課長山縣三郎を所長として本日から開所した
十八日（金）
◇富內大臣に中村維次郎を親任
宮內大臣波多野敬直の後任として陸軍中將男爵中村維次郎が親任された
◇尼港一時的占領に關し決定す
尼港事件に對する善後策として秩序保持の名目の下に尼港及び其附近一帶を我軍に於て占領し、一時軍政を布いて該事件の解決を俟つことに閣議で決定した
◇日華實業協會成立す
全國商業會議所代表者の發起によつて日支親善を目的とする日華實業協會が設立され會長に澁澤榮一男、副會長に薩田平太郎男、和田豐治が推選された
◇橫濱、大阪三品兩取引所增資認可
橫濱取引所の資本金三百萬圓を六百五十萬圓に、大阪三品取引所の資本金二百萬圓を五百萬圓に增資の件は主務省から認可された
十九日（土）
◇滿鐵、社債一億圓發行を可決
南滿洲鐵道會社は定時總會を開き社債一億圓發行を可決した
◇張作霖北京に入る
張作霖は本日午後一時特別列車で北京に入城したが、目的は徐總統と段祺瑞の感情を融和し、南北統一實力派提携を決定、安福派を抑壓して、北京國會を處分せんとするにある
◇伍廷芳來朝す
廣東軍政府の外務總長伍廷芳は本日橫濱入港の米國汽船で來朝した
二十日（日）
◇邦人殺害及伏見砲撃事件の對支抗議
支那南軍が本月十六日湘潭碇船中の日淸汽船武陵丸を掠奪し乘組員一名を慘殺した事件及び長沙碇船中の邦銀伏見砲撃事件に關し、日本政府は本日正式に抗議を提出した
◇全國肥料業者、地方金融を請願
全國人造肥料業聯合會は、肥料業者救濟のため地方の產業組合又は確實なる農家に對し

て低利資金融通をなすこと、或は農工銀行をして資金を潤澤ならしめることを要路當局に請願した

二十二日（火）

◇福瀧水電員業會社の創立

同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役　中須養三、岩本定喜、林喜兵衛（以上專務）、西村精一、鈴木宗兵衛、岩谷嘉平、南勇太郎、小山清太郎▽監査役　佐藤博愛、森誠、平尾幸太郎、石橋毅

◇民族軍兩當、尼港事件調査を發表

内容は、事件勃發當時の實情は殆ど不可抗力的狀態にありしことを明かにし、慘事に就ては最に外務省の發表せるものと大體同樣であつた

二十三日（水）

◇羅馬尼皇儲御來朝

羅馬尼最高勳章捧呈の使命を帶びさせられた羅馬尼皇太子カロル親王殿下には、本日午前十時東京驛御着當ケ園離宮に入らせられた

二十四日（木）

◇東京綿糸シンヂケート成立す

東京綿糸商組合員有志は綿糸五、六月限の解合屑七千二十五梱を處理するため、大阪側とは別個に東京綿出綿糸組合を組織したが、組合規約は前月二十七日成立の大阪側のそれとほゞ同樣であつた。尙組合の綿糸買入資金は正金銀行から總額五百萬圓、年利一割、十一月十五日償還、綿糸擔保の條件で融通されることになつた

二十五日（金）

◇日銀總裁、財界救濟經過を說明

憲政會財界救濟調査委員會の質問に對し、井上日銀總裁は財界救濟經過を大要左の如く說明した

（一）本年三四月頃朝鮮、臺灣、正金等特殊銀行の市中コール使用高は五千萬圓に達したが、日銀は一般銀行への影響を慮りこれを中止せしめ、日銀から五千萬圓を貸付けた（二）有價證券救濟費は東京四千五百萬圓、大阪一千二百萬圓、名古屋三百萬圓計六千萬圓を支出（三）砂糖シンヂケートに對し三千二百萬圓（四）羊毛原料に對し二千七百萬圓（五）綿糸シンヂケートに對し五月三千萬圓、六月八千萬圓を支出、以上合計二億二千萬圓を救濟資金として貸出した

◇横濱蠶絲貿易商の絲價騰貴決議

横濱蠶絲貿易商組合は絲價暴落防止對策として左の決議をなした

（一）今日迄の約定品を除外し、七月十三日より横濱入荷の全部を通じて三割五分の荷受制限をなすこと（二）各地製絲業者に對し工場法による（一日十時間勞働、一ヶ月四回休業）勞働時間の操業短縮を勸告すること

◇芝浦製作所二千萬圓に增資

同社（資本金五百萬圓）は株主總會を開き一千五百萬圓を增資して資本金二千萬圓となす件を可決した

二十六日（土）

◇朝鮮瓦斯事業取締規則の發布

府令を以て同規則を發布し八月一日より施行することゝなつた

◇電氣鐵道資金一千萬圓支出決定

政府は政友會及び蠶絲中央會の要請に基き地方蠶業家に對し日本銀行をして一千萬圓を融通せしめることに決定したが、要領は左の如し

▽融通方法　勸業銀行を通じて各府縣農工銀行をして貸付を行はしむ▽期限大正十年

三月三十日限▽利息日歩二錢三厘

二十八日（月）

◇日本銀行、蠶業資金融通を決定

日本銀行は日本興業銀行を中心とし東京、大阪、名古屋の有力銀行と協力して、金融梗塞のため事業資金調達困難なものに對し融資を行ふことに決定した

◇大阪綿布組合解合に決定

大阪綿布商同盟會は本日の臨時總會に於て五月物以降の綿布仲間取引の標値總解合を決定した

◇鐘紡增資會社九百萬圓に增資

同社は株主總會を開き資本金六百萬圓を九百萬圓に增資の件を可決した

二十九日（火）

◇鹽戸事件の控訴判決

前東大助教授森戸辰男、同大内兵衛にかゝる筆禍事件の控訴公判に於て、森戸を禁錮三ケ月、罰金七十圓、大内を禁錮一ヶ月、罰金二十圓（二ヶ年間執行猶豫）に處する旨の判決言渡があつた

三十日（水）

◇臨時國庫證券六千九百萬圓發行

臨時國庫證券（に號）は左の條件で發行された

▽總額六千九百七十三萬六千九百七十五圓

▽發行價格額面▽償還期限大正十年六月三十日▽利率年二分

◇王子製紙五千萬圓に借額增資

同社（資本金二千五百萬圓）は定時株主總會を開き倍額增資の件を可決した。なほ同社は社長制を布くことゝなり、取締役互選の結果、專務取締役藤原銀次郎が社長に當選就任し、從來の會長、專務はこれを脫した

◇日銀、銀行業救濟資金一千萬圓支出

日本銀行は三井、三菱、大倉、東洋製鐵、田中の五大製鐵業者に對し、救濟資金一千萬圓を融通することに決定した（日不詳）

◇日銀の銅業者救濟と銅最低價格協定

日本銀行は三菱、住友、古河、久原、藤田の五大銅業者に對しその手持品約一萬五千噸を擔保として百斤三十一圓の割で六百萬圓を融通することに決定したが、三菱を除く四大銅業者は更に銅價維持のため六月限四十五圓七月限四十七圓、八月限四十九圓の賣出最低價格を協定した（日不詳）

【七　月】

一日（木）

◇第四十三帝國議會開院式擧行

第四十三特別議會は本日開院式を擧行した

◇日本合成肥料會社の改稱

大阪の日本合成肥料會社（資本金一千三百萬圓）は日本化學肥料會社と改稱した

二一日（金）

◇平和克復御報告の儀

宮中三殿に於て平和克復御報告の儀を行はせられた

三一日（土）

◇帝國政府の尼港事件聲明

政府は本日大要左の如き尼港事件に關する聲明を發表した

本年三月十二日以來五月末に亘り、ニコライエフスク港に於て帝國守備隊、領事館員在留民民七百名が過激派のために虐殺されたるは誠に悲慘の極なり。政府は國家の威信を全うせんがために必要なる措置を執らざるべからざるは勿論なりと雖も、目下實際上交涉し得べき露國政府なく、依つて將來正當なる政府樹立され本事件の滿足なる

解決を見るまで、帝國政府は同地方の必要と認むる地點を占領することあるべし

◇九年度追加豫算案提出

政府は大正九年度追加豫算案を衆議院に提出したが、內譯は歲入二億五千五百餘萬圓、歲出四億六千五百餘萬圓である

◇本蓄商事會社の創立

資本金五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽取締役　大石保(代表)、小林勝太郎、木村總吉、杉山龍太郎▽監査役　鍋長勝彥、山田學而

四　日（日）

◇外交調査會委員の補充

臨時外交調査會委員元田肇は、今回鐵道大臣に親任された結果、その補充が行はれ、大岡育造が委員となつた

◇資來溫泉土地建物會社の創立

資本金百五十萬圓を以て大阪に設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽取締役　細木松之助、村上彌治郎、上村浩、前川嘉雄、寺川作次郎▽監査役　太田安次郎、前田巳之助

六　日（火）

◇日本陸戰隊、實慶に上陸

支那南慶に土匪蜂起し放火掠奪を恣にしたので我軍艦鳥羽は居留民保護のため陸戰隊を上陸せしめた

七　日（水）

◇大阪貯蓄銀行の圖借增資

同行は株主總會を開き、資本金五十萬圓を二百萬圓に增資と決定した

八　日（木）

◇鐵組工業會社の創立

資本金百六十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て、左の重役を選任した

▽社長　浦邊襄夫▽取締役　大鳥襄三、內野五郎三、長澤倉吉、木村小左衞門、鵜島松男、宮澤鼎男▽監査役　渡邊亨、佐藤傳吉、鈴木重成

◇鐘淵電力、吾妻電力を合併

群馬電力會社は、臨時株主總會を開き、吾妻電力會社（資本金五百萬圓）を合併して資本金七百萬圓を一千二百萬圓に增加し、新に十二圓五十錢拂込株式十萬株を發行して、吾妻側十二圓五十錢拂込の株式に對し一對一の割合で交附する件を可決した

九　日（金）

◇永井柳太郎の口調穩當に附さる

本日の衆議院本會議に於て鵜澤總明は、曾日の永井柳太郎の演說中、原首相を非難し、西にニコライ・レーニンあり、東に原敬ありと言つたのは、議院の體面を傷つけるものにして、これを默過する能はず、とて懲罰動議を提出した。その結果二百五十六票對百三十二票で、永井柳太郎は懲罰に附された

十　日（土）

◇北海道拓殖債券二百萬圓發行

北海道拓殖銀行は、左の條件で債券二百萬圓を發行に決定した

▽利率年八分▽發行價格額面▽償還方法大正十一年九月迄據置以後八ケ年以內償還

◇尼崎佛銅會社の創立

資本金三百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長　佐渡島伊平▽取締役　鈴木茂雄、阪根武兵衞、神戶正樹、梶山秀男▽監査役　小出錠雄、淺野幸作

◇濱運銀行名古屋支店の開業

名古屋市中區南大津町に設置された濱花銀行支店は本日開業した

十一日（日）

◇苛性曹達五割操短に決す

財界不況の切抜策として苛性曹達の二割操短縮を實行してゐる曹達硝粉同盟會は、八月更に五割操短をなすに決定した

十二日（月）

◇普選案否決さる

衆議院本會議に憲政會、國民黨の在野黨より提出された普通選擧法案が上程され、二百八十六票對百五十五票で否決された

◇東京米穀取引所仲買人組合正副委員長決定

東京米穀取引所仲買人組合は委員會を開催して正副委員長の互選を行つた結果、委員長に有松尙龍、副委員長に高久彥一郎が當選就任した

◇帝國不動產會社の創立

資本金六十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽社長　坂本岩三郎▽取締役　庄司七之助、本富和助、瀧山米太郎、澤田半之助▽監査役　富田重樹　前田利國

◇東洋電極工業會社の創立

資本金五十萬圓を以て大阪に設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽取締役　森本恒造(代表)、鹽田達男、鵜澤永益藏、渡邊順治、松本一作

◇小野田セメント七百五十萬圓に增資

同社（資本金三百六十萬圓）は臨時株主總會を開き、工場擴張及び改築のため三百九十萬圓增資の件を可決した

◇天津に戒嚴令布かる

支那南北軍衝突のため天津に戒嚴令が布かれた

◇印度の石炭輸出禁止

印度政府は、特に許可を得たるもの、外、石炭の輸出を禁止した

十三日（火）

◇日英同盟延長を國際聯盟に通達

日英兩國は國際聯盟書記局に對し、日英同盟の期限を一ケ年延長する旨各々正式に通達した

◇帝國朝日銀行の創立

資本金三百萬圓を以て東京に設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽頭取　太田德九郎▽副頭取　鹿島清左衞門▽專務取締役　久田益太郎▽取締役　坂本嘉治馬、太田德三郎▽監査役　鹿島清次郎、高島嘉兵衞、加藤丑之助、松本忠次郎、亀崎浪重

◇富士瓦斯紡績職工の同盟罷業

同社押上工場の職工男女約二千名は、待遇上の不滿から同盟罷業を決行した

◇男爵川崎芳太郎死去

本日死去。享年五十二。明治二年鹿兒島に生れ、同十九年川崎造船所に入り、間もなく川崎正藏の養嗣子となり、同造船所が株式組織となるや專務取締役を經て副社長となり、傍ら國際汽船會社々長、川崎汽船會社々長、神戶川崎銀行頭取の職にあり、本年一月先代以來造船界に對する勳功により男爵を授けられた

十五日（木）

◇九年度追加豫算案可決

衆議院本會議に於て政府提出の九年度追加豫算案が可決された

◇九州石炭礦業會社の創立

資本金五百萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽取締役　矢島明之丞、佐々熊太郎、橋本圭三郎、日高榮三郎、石射文五郎、神谷忠雄、若旅喜一郎、橋田宗太郎、山內忍▽監

査役　吉野周太郎、早瀬太三郎、武井常助
藤田虎三郎

◇黒澤木材會社の創立
資本金百八萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽代表取締役　平野增吉、長谷川斗七▽取締役　田中清文、友田芳太郎、綿貫雪、服部小十郎、鈴木虎之助、野村安太郎▽監査役　山田鐵介、南部助之丞、橋林太郎

◇廣東軍政府の對日抗議
廣東軍政府は、日本が段祺瑞を援助し、軍費及び彈藥を供給してゐることに關し、至急日本に中止を勸告されたしと、廣東の外交團に要求した
十六日（金）

◇廣東軍政府の北伐宣言
廣東軍政府は段祺瑞の非を鳴らし、三軍を率ゐて元兇を誅すとの宣言書を發表した
十七日（土）

◇尼港犧牲者の遺骨到着
尼港に於てパルチザンのため悲壯な最後を遂げた石川中佐、三宅中佐、榊原機關少佐、中村主計少佐等の遺骨は、本日東京驛に到着した

◇木村實業會社の創立
資本金二百二十五萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長　木村平右衞門▽常務　坂本乙造▽取締役　鵜野喜太郎、清水市兵衞、磯文七▽監査役　澁山市郎兵衞、永田長次郎
十九日（月）

◇發註電報、北京へ參行
天津の日本駐屯軍は北京居留民保護のため各國駐屯軍と共に本日午後の臨時列車で北京に向つた

◇七十四銀行の休業繼續
本年五月二十四日以來整理中の橫濱七十四銀行は、本日開業豫定のところ未だ整理成らず更に向ふ六週間の休業を發表した

◇徐總統、段・曹兩軍に停戰命令
徐總統は總統令を以て段、曹兩派に對し即時停戰を命じた

◇支那國務員環段瓢璃、辭表を提出
段祺瑞は今回の兵變の責任を感じ、徐總統に辭表を提出した
二十日（火）

◇證券銀行の營業再開
過般取付に遭ひ休業中であつた福岡縣の同行（資本金五十萬圓）は福岡銀行の援助により本日營業を開始した
二十二日（木）

◇現物證券信託會社の創立
資本金三百萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の役員を選任した
▽取締役　片岡辰次郎（社長）、市村金次郎（兼務）、神田慶次郎（常務）、吉川太郎▽取締役　德永和充、米山利之助、本多巳之助　荒城誠次郎、平澤實太郎▽監査役　遠山芳三、德田昇平、岩井猪三

◇藤井總業會社の創立
資本金二十五萬圓を以て大阪に設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役　西谷松太郎、赤松作太郎、渡邊茂、薮野左右吉、森庄次郎、牧野誠一▽監査役　吉年忠雄
二十三日（金）

◇岩手農工銀行の借額增資
同行は臨時株主總會を開き、資本金百萬圓を二百萬圓に增資と決定した
二十四日（土）

◇憲政會、國鐵擴下反對決議案を提出
憲政會は、政府が國有鐵道の一部を京阪電

氣會社に拂下げの契約をなしたのを不當となし、反對決議案を議會に提出したが本日否決された

◇大阪耐火煉瓦四分の一に減資
財界の變動により赤字續きの同社は臨時株主總會を開き、資本金百二十萬圓を三十萬圓に減資と決定した
二十八日（水）

◇關西工業會社の創立
資本金三十五萬圓を以て設立された同社は創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役　郡山庄兵衞、中塚龍治郎、山西龜三郎、岸田與七郎、古根鹿藏▽監査役　豐野元造、中川芳兵衞

◇露皇尼皇太子殿下御歸國
最高勳章捧呈のため御來朝遊ばされ、御滯京中のルーマニア皇太子殿下には、東洋汽船コレア丸に御乘船、橫濱港より御歸國の途に就かせられた
二十九日（水）

◇第四十三議會閉會
特別議會終了し本日閉院式が擧行された

◇帝國製麻三千萬圓に增資
同社（資本金一千二百八十萬圓）は定時總會を開き、一千七百二十萬圓增資して資本金三千萬圓となすの件を可決した

◇內外綿會社一千六百萬圓に增資
資本金五百萬圓の內外綿會社は、一千百萬圓を增資して、資本金一千六百萬圓となつた（日不詳）

◇山形電氣五百萬圓に增資
資本金二百萬圓の山形電氣會社は、三百萬圓を增資して、資本金五百萬圓となつた（日不詳）

◇淺野セメント三千三百萬圓に增資
同社（資本金一千五百萬圓）は、臨時株主總會に於て一千八百萬圓增資の件を可決した（日不詳）

【八　月】

一　日（日）

◇吳佩孚、國民大會大綱を通達
吳佩孚は本日各方面に對し國民大會開催に關しての大綱を通達したが、その大要は、今後は國民自決主義を採り、南北統一、憲法制定、選擧法改正等の重大問題は、國民によつて決定せしめるといふのである

◇支那の安福俱樂部に解散命令
大總統令を以て安福俱樂部を解散し、政治團體としての認可を取消した
二　日（月）

◇賠償金特別會計法の公布
同法は本日の官報を以て公布、卽日施行された

◇實業教育費國庫補助改正法の公布
同法は本日の官報を以て公布、卽日施行された

◇日本特産織物會社の創立
資本金二百萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長　北小路資武▽專務取締役　宿谷雅男▽取締役　桑源龍、前田保雄、林字三郎▽監査役　猪飼精三郎、中根金之助、和田義文

◇英國飛行家、洲崎で墜死
東京洲崎に擧行された飛行競技大會に出場した英國飛行家キルビー及び同乘者サーモンは墜落慘死した

◇鳴作霖、國民大會に反對
吳佩孚の國民大會開催運動に對して、張作霖、曹錕等は極力反對することに決定した
三　日（火）

◇モスリン業者、即制減産を實行
日本毛織、東京モスリン、上毛モスリン、東洋モスリン會社の各代表者は、操短問題に就き大阪に協議會を開催、四割操短實行及び共同販賣所設置の件を決定した

◇帝國電化工業會社の創立
資本金百萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長　樞内幸雄▽取締役　立川勇次郎、橋本信次郎、渡邊孫吉、立川廣、矢崎曠、藤田經定▽監査役　中原岩三郎、青山綠郎　松本留吉

四　日（水）

◇同盟罷業理事會特別法の改正
同法は本日の官報を以て公布、即日施行された

◇鹽素製品、日本練乳を合併
森永製菓（資本金二百萬圓）は臨時總會を開き、日本煉乳會社（資本金五十萬圓）を合併して資本金を二百五十萬圓に增加する件を決定した

五　日（木）

◇第一回國勢調査に朝鮮を除外
本年十月一日施行される第一回國勢調査に朝鮮を除く旨官報を以て公布された

◇朝任獨逸大使着任
世界大戰以來七年振りで國交回復し、駐日大使に任命されたウイルヘルム・ゾルフ博士は、本日入京した

◇東東地下鐵道會社の創立
資本金一千萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長　古市公威▽常務取締役　早川德次▽取締役　根津嘉一郎、榊田清兵衞、松方五郎、增田義一、横山俊二郎、浦邊襄夫▽監査役　池田龍一、星野錫、大川平三郎

◇東洋鐵条工業會社の創立
資本金五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長　富永種興▽專務取締役　館田實男　鹿島金一郎▽取締役　館田繁司、角井蓉▽監査役　高田悅三、松本多利治

六　日（金）

◇英露、歸本より關聯夢出の內閣發表
同法は本日公布、八月二十九日より施行

◇關稅改正法の公布
議會の協賛を經た關稅法中改正法律は、本日の官報を以て公布され、八月二十九日より施行

八　日（日）

◇關關、英國の休職提議を拒絶す
露國勞農政府は、波蘭と十日間の休戰をなすべしといふ英國政府の提議を拒絶した

九　日（月）

◇哈爾賓産業會社の創立
資本金二百萬圓を以て東京に設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長　今村廣吉▽取締役　最上喜太郎、松浦龍吉▽監査役　田邊熊一、森御陰

◇支那關務總理に新雲鵬起用
徐支那大總統は、國務總理に新雲鵬を任命した

◇實業家山口建太郎死去
本日死去。享年六十三。新潟縣の富豪山口權三郎の長男として生れ、山口銀行の設立者にして北越水力電氣、日本水力電氣、日本電氣工業の社長、日本石油、新潟鐵工所等の取締役であつた

十　日（火）

◇進路公債法公布さる
同法は本日の官報を以て公布、即日施行された

◇帝國電業會社の創立
資本金三百萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長　鳥津久賢▽專務取締役　吉田敬藏▽常務取締役　大内幾松▽取締役　寺島誠一郎、佐竹義準、兒玉好雄、遠藤隆夫、愛甲候逸▽監査役　宮原武熊、高橋新八、日野辰次

◇皇國興業銀行、米澤興業銀行と改稱
山形縣米澤市の同行（資本金六十萬圓）は臨時總會に於て商號を米澤興業銀行と變更に決定した

◇米國、波蘭援助を伊國に通達
米國々務省は伊太利政府に對し、米國はポーランド國民が統一自治の國家を建設する力あるを信じ、同國の政治的獨立及び領土保全を希望するものにして、この政策を有効ならしむるためには米國は凡ゆる手段を用ふるものである、と通達した

十一日（水）

◇帝國電業會社の創立
資本金百萬圓を以て大阪に設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役　鈴木敬策、小林惣一、廣瀨澄彥　鳥博平▽監査役　土屋喜夫、田代愛次郎

◇支那の新雲鵬內閣成立
新雲鵬を國務總理とする支那の新內閣は、左の顏觸で組織された
總理兼陸軍總長新雲鵬、外交總長顧惠慶、海軍總長龍鎭泳、內務總長張志譚、交通總長葉恭綽、農商總長王正廷、財政總長周自齊、司法總長董康

◇波蘭政府の宣言
同國政府は、ワルソーに於て大要左の如き宣言書を發表した
波蘭政府が露國過激派の手によつて顚覆されることがあれば、それは露國の壓迫によることは勿論であるが、又一つには民主主義を自稱する世界諸國の無關心によるものである

十二日（木）

◇第一火災保險會社重要變更
同社々長坂田實は辭任したので、重役會を開き互選の結果、專務取締役柳莊太郎が昇任と決定した

十三日（金）

◇臺灣銀行頭取更迭
臺灣銀行頭取櫻井鉉太郎は辭表提出中のところ受理され、同行副頭取中川小十郎が頭取に就任した

◇露、獨同盟を締結
媾和條約破棄及び舊國境回復を目的として獨逸と露國勞農政府との間に軍事、政治、經濟同盟が締結された

十四日（土）

◇日本鑛業會社の創立
資本金百萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽代表取締役　淺野總一郎▽取締役　伊藤富藏、石田富次郎、淺野八郎、原正幹、安藤作太郎、三橋節敬▽監査役　淺野泰次郎　鈴木鉉次郎、淺野良三

◇東東タイム式精米會社の創立
資本金百萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長　柳澤保惠▽專務取締役　小柴定郎▽取締役　國澤新兵衞、門田義紀▽監査役　千秋秀隆、佐治喜代松

十五日（日）

◇波蘭首府ワルソー陷落
波蘭の首都ワルソーは露國過激派軍のため陷落した

十六日　（月）

◇國庫證券一億圓發行

本年九月一日滿期の臨時國庫證券一億圓は左の條件で借替發行と決定した

▽割引歩合日歩二錢▽償還期日大正十年二月十六日▽種類一千圓、一萬圓、十萬圓

十七日　（火）

◇日米漁業會社解散に決す

資本金一千五百萬圓を以て設立計畫中の日米漁業會社は、財界不況のため、發起人總會に於て解散することに決定した

◇支那政府、徐樹錚等の引渡を要求

小幡駐支公使が徐樹錚等を保護したるに對し、支那外交部は、徐等は大總統令による政治犯人なれば至急支那政府に引渡されたき旨の取次方を北京外交團に申込んだ

十八日　（水）

◇岩瀬興業銀行の創立

資本金百萬圓を以て設立された福島縣の同行は創立總會を開き、左の重役を選任した

▽取締役　小橋小太郎、吉田武七、吉川彌市、鎌田榮作、岡谷正七、柳沼兩輔、佐藤彌重、佐藤修一、渡邊半藏、相樂源次郎▽監査役　小濱久太郎、五十嵐米重、吉田勝太郎、鈴木秀助、石堂榮之助、鈴木勝吉、三島濟吉

◇株式會社德商店の創立

資本金百萬圓を以て設立された同商店は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽專務取締役渡邊俊雄▽常務取締役渡邊脩平、河合良三郎▽取締役筋仲治、伊藤義二▽監査役木村爭二、平本寛三、田中一男

十九日　（木）

◇藝備銀行の創立

廣島縣下七銀行を合同し資本金一千五百萬圓を以て設立された同行は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽取締役　海塚新八、橋本吉兵衛、井東幸七、谷口節、伊藤薫三、島津需吉、福永鐵之助、角倉晋造、非東茂兵衛、有村彥九郎橋本陽三郎、西宗俛一、長尾富太郎、松本濟助、島居幸雄、野田藤馬、古川久吉、柳父昌一、永尾司馬人、山本久▽監査役　倉田幾藏、山路邦吉郎、中道十兵衛、田原覺一久保田榮次郎、石田九郎治、熊見義憲、秋山九郎、宇都宮謙藏

◇佐久間製菓會社の創立

資本金二百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き、左の重役を選任した

▽社長　佐久間惣治郎▽取締役　原定吉、宮崎政吉、角良一▽監査役　今村太平次、堤德藏

◇鮮銀の新理事決定

朝鮮銀行本店總務部長吉田節太郎及び同大阪支店長掛井生治は、本日の定時株主總會に於て理事に選任された

二十一日　（土）

◇北海道電燈、美唄電氣を買收

北海道電燈會社（資本金一千六百五十萬圓）は、重役會に於て美唄電氣會社を三萬一千二百八十六圓で買收することに決定した

◇新日本火災海上保險會社の創立

資本金五百萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽社長　柳原義光▽專務取締役　金光庸夫▽取締役　橫山正躬、田村周藏▽監查役　松室致

二十三日　（月）

◇東京電話電機工業會社の創立

資本金五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽社長楠筒隆督▽取締役中川久次郎、金子

正一、上野達之助▽監査役加藤八五郎

二十四日　（火）

◇大藏省證券三千萬圓發行

政府は鐵道特別會計の現金不足補塡及び製鐵所損價運轉資金補充のため、各一千五百萬圓、合計三千萬圓の大藏省證券を左の條件で發行する旨發表した

▽發行日大正九年九月一日▽割引歩合日歩二錢▽支拂期日大正十年三月二十四日

二十五日　（水）

◇中川倉庫會社の創立

資本金六十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽社長　中川七次郎▽常務取締役　荒井勢二▽取締役　石川淺次郎▽監査役　鈴木吉兵衛、稻葉伊右衛門▽支配人　岡田儀作

二十六日　（木）

◇戰時保險局官制の廢止

同官制は八月二十八日限り廢止の旨本日の官報を以て公布された

◇朝鮮、米穀輸入税免除を撤廢

朝鮮關稅令、朝鮮關稅定率令その他廢止の件が公布され、米、粟、高粱、小豆、大豆、玉蜀黍、稗、小麥及小麥粉の輸移入稅免除は撤廢された

二十七日　（金）

◇篠崎インキ製造會社の創立

合名會社篠崎商店の營業一切を繼承し、資本金三百萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽社長　篠崎又兵衛▽常務取締役　篠崎濟三郎▽取締役　福井庄次郎、福井正太郎、淸水彥平、太田榮吉▽監查役　淸水孝平、山田元吉、永非龜之助

◇大阪株式取引所四千萬圓に增資

大阪株式取引所は臨時株主總會を開き、資本金一千四百萬圓を四千萬圓に增資するに決定した

◇岡本石材會社の創立

資本金二百萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽社長　坂本和吉▽取締役　安居叢一郎、香取利兵衛、橫田定三郎、糸永辰次郎、林廣吉、村山武助▽監查役　上田虎次、鯉沼定二、鈴木亮一郎

三十日　（月）

◇大和[illegible]栽培會社の創立

資本金百萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽取締役　植村俊平、藤本德之進、梅山柳輔、棟居喜久馬、賀田金三郎、河北勘七、小倉忠太郎▽監查役　藤本閑作、千々松安太郎、肥田恒祐、西成伍、三好柳助

◇エービーシー製菓會社の創立

資本金五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽取締役　內山晢、矢野英太郎、內田仁右衛門、佐藤松吉、巳野銀平、樋口登、吉野助次郎▽監查役　戸塚英之助、八木金七、加藤孝三

◇日本窒素肥料二千二百萬圓に增資

資本金一千萬圓の日本窒素肥料會社は、一千二百萬圓を增資して資本金二千二百萬圓となつた（日不詳）

◇十五銀行、三銀行を合併增資

資本金四千萬圓の十五銀行は、拂込二千三百萬圓の浪速銀行及び拂込四百五十萬圓の神戸川崎銀行を合併、更に拂込二百七十五萬圓の丁酉銀行を買收、六千萬圓を增資して資本金一億圓となつた（日不詳）

◇土肥金山四分の一に減資

資本金一千萬圓の土肥金山會社は四分の一

に繰替して資本金二百五十萬圓となすに決定した（日不詳）

【九　月】

一　日（水）

◇小額紙幣の八月中發行高
大藏省告示を以て、本年八月中の小額紙幣發行高及び銷却高を左の如く發表した
▽發行高五十錢紙幣五百十萬圓▽十錢紙幣百四十四萬圓▽合計六百五十四萬圓▽銷却高五十錢紙幣六十四萬圓

◇東雲倉庫會社の半額減資
同社は臨時株主總會を開き資本金百萬圓を五十萬圓に減資と決定した

◇丸善　三百三十萬圓に增資
丸善株式會社は臨時株主總會を開き資本金百五十萬圓を三百三十萬圓に增資する件を可決した

二一　日（木）

◇大阪梅田驛全燒、損害百萬圓
大阪梅田驛構内荷揚場より午前三時二十分出火、西風に煽られて倉庫、貨車等に燃え移り、更に出入絶運河内に繫留中の艀船四艘をも燒失して、五時二十分鎭火した。損害約百萬圓に上つた

三　日（金）

◇滿鐵社債一千萬圓引受決定
南滿洲鐵道會社の第十二回社債一千萬圓の發行は、日本興業、橫濱正金、臺銀、鮮銀、第一、三井、三菱、十五、安田、三十四の各銀行が左の條件で引受と決定した
▽利率年七分▽發行價格九十五圓▽償還方法一ケ年据置大正十二年九月一日迄に隨時償還▽利子支拂期毎年二月一日、九月一日

◇第二銀行高崎支店の取付
七十四銀行高崎支店支拂停止のため、預金者が神經過敏になつてゐる際、橫濱市の增田貿易商會が海外取引に多大の損失を招き、延いては第二銀行にも損害を及ぼすべしとの說が流布されたゝめ、同行は取付となり約一萬圓の拂戻しをした

◇久原商事の社員馘首
同社（資本金一千萬圓）は世界不況のため、社員百名中約四十名の馘首を斷行し、手當として退社後最初の一ケ月は全額、以後一ケ年は半額を支給するに決した

◇佛印政府の災害出解禁
佛領印度支那政府は前年八月米の海外輸出を禁止したが、本日解禁を公布した

四　日（土）

◇米國新商船法に對する我財界の輿望
東京、京都、大阪、名古屋、神戸、橫濱、函館、長崎の八商業會議所は、米國新商船法に關する協議會を開催し、大要左の如き建議案を決定、農商務、外務、遞信の各省に送達した

今や米國に於ては新商船法を制定し、內外船舶の間に不合理なる差別を設け、外國船に對し極めて不利益なる取扱をなし、米國海運の排外獨占を圖らんとす。吾人は米國が保護によりて自國の海運業を維持することに對して何等の異議を挿むものに非ずと雖も、その保護方法は他の諸國に於て一般に行はるゝ如く通商貿易に何等の障害を加へず、却つて、これを進歩せしむるが如き穩當なる方法によることを希望するものである。吾人はこの際米國政府に對して、深く以上の點を考慮して一層公正なる手段により國際道義に反せざる範圍に於て海運政策を樹立するよう反省を促すと同時に、我國に於ても海運政策上改むべき點あらば速にこれを改め、出來得る限り利害を同じくする各國と協調して、その目的を貫徹するに努力せられんことを要望する次第である

◇德冨蘆一男の辭職
長き邊りでは男爵澁澤榮一が、多年に亘り實業界及び社會事業、教育界その他に盡した勳功を思召され、本日子爵に陞爵の御沙汰あらせられた

◇日本赤十字社々長の更迭
日本赤十字社々長石黑忠悳は、老齡のため勇退し、平山成信が後任社長に就任した

◇橫濱財界の長老、增田嘉兵衞死去
老病にて本日死去。享年八十六。安政六年橫濱開港と同時に增田屋商店を開設し、砂糖貿易に從事、明治二年故原善三郎と共に爲替會社を創立し、爾來我國砂糖貿易の振興に努力した

五　日（日）

◇中央鳥業獎勵興業會社の創立
資本金二百五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役　菅原傳、友成四郎、河瀨龍、上野精陸、中澤信之夫、朝倉誠三、松永鐐五郎、上田猛、員王明治、最上境三郎▽監査役　於曾錄楼、加來廣次、神崎東藏、濱上敬治

◇東電淺會社の創立
資本金二十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役　酒井常次郎、林寅彦、齋藤惣一郎、石井巳之太郎▽監査役　神野與助、小川茂七、榎本文藏

◇安田貯蓄銀行の營業所移轉
同社（資本金三十三萬圓）は營業所を東京市日本橋區本町二丁目十一番地に移轉した

六　日（月）

◇富政會の蠶絲業救濟決議
富政會の蠶絲業救濟に關する政務調査會は左の決議を行つた
我貿易の大宗たる生糸價格の激變常なきは產業上の一大通患たり、政府は宜しく蠶絲業に對する根本政策を確立し、その安定を圖るべし

◇三共、內國製藥を合併增資す
三共株式會社（資本金五百六十萬圓）は臨時總會を開き內國製藥會社（資本金百萬圓內拂込五十萬圓）を合併し五十萬圓增資の件を可決した。なほ內國製藥社長關原有信は三共の相談役に就任した

◇朝鮮獨立運動の記事解禁
朝鮮の獨立運動に關する事項は、朝鮮總督府の方針として從來新聞雜誌に揭載を禁止してゐたが、今回方針を變更し、誇張煽動に亘らざる事實の報道は許可するに決した旨發表された

七　日（火）

◇尼港殉難者に御下賜金
天皇、皇后兩陛下に於かせられては、尼港殉難者遺族に對し金二千三百圓御下賜の旨御沙汰あらせられた

◇シベリア派遣第五師團凱旋
シベリア出征中の第五師團は本日宇品に凱旋した

◇關西電力會社の創立
資本金一千二百五十萬圓を以て設立された關西電力會社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役　山岡順太郎（代表）、池尾芳藏、武藤嘉門▽監査役　林安繁、木村清

八　日（水）

◇奉天省、防穀令を廢止
施行中であつた奉天防穀令は、九月十五日限り廢止する旨發表された

九　日（木）

◇護謨ゴム會社の創立
資本金二十五萬圓を以て大阪に設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役　丸岡寛三郎（代表）、丸岡久吉、小山五美、松田松藏▽監査役　丸岡龍太郎　垣内藤四郎

十　日（金）

◇株式會社森村商店の創立
自動車、自轉車の輸出入販賣を目的とし、資本金百二十萬圓を以て設立された同商店は創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役　森村金治、森村錦之助、村上顯久、川崎元治、辛島民富▽監査役　佐藤清　森村寺一郎、中島延太

◇遞賀農工銀行の借額增資
同行は臨時株主總會に於て資本金百萬圓を二百萬圓に增資と決定した

◇駐日支那公使副館長と決定
日本駐剳支那全權公使として胡維德が任命された

十一日（土）

◇日本綿業會社の創立
資本金百七十五萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長　秋本喜七▽常務取締役　樂谷要作　正夫

十五日（水）

◇正金ハンブルグ支店開設
獨逸ハンブルグに橫濱正金銀行支店が設置され、本日開業した

十六日（木）

◇大阪電燈會社の借額增資
大阪市との買收問題が不調に終つた同社は臨時株主總會を開き、資本金二千百六十萬圓を四千三百二十萬圓に增資と決定した

◇大阪纖工業倶樂部の創立
同社は資本金十二萬圓を以て設立され、創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役　栗本勇之助（代表）、中桐彦太郎　有光丑太郎、下村耕次郎、作山專吉、瀨戸文吾、橋本與吉▽監査役　高倉作太郎、久保田權四郎、平尾伊之助

十七日（金）

◇第十一師團に出動命令
第十一師團は本日出動命令を受けた。同師團はシベリヤに殘留中の師團と交代するものである

◇東洋拓殖社債六百萬圓發行
同社々債五百萬圓は、左の條件で神田銀行日本信託兩社が引受に決定した
▽利率年七分五厘▽發行價格九十六圓▽償還期限二年据置後三ヶ年間に償還▽利拂期六月一日、十二月一日

二十日（月）

◇內國自動車會社の解散
同社（資本金二百萬圓）は臨時株主總會を開き、財界不況のため解散と決定した

二十一日（火）

◇伊藤忠兩事會社の整理改革
伊藤忠商事會社（資本金一千萬圓）は臨時株主總會を開き、今回の綿業界の大整理に際し、專業を二分して、從來の商事會社は綿系布のみを取扱ひ、貿易部を獨立し資本金百萬圓の大同貿易會社を創立するに決定した

◇廣東軍、休戰條件提示
陸榮廷よりの媾和提議に對し、廣東軍總司令陣炳明は（一）廣西軍が二ヶ月以內に全部廣東省より撤退すること（二）廣東督軍莫榮新の解職（三）岑春煊以下廣西軍幹部の廣東退去を以て休戰條件とする旨回答した

◇米國加州政黨の邦人排斥盛調
米國サクラメント市に開催された加州リパブリカン黨大會は（一）日米紳士協約を廢止すること（二）法律により日米の寫眞結婚を禁止すること（三）米國市民となり得ざる者を兩親とする外國人の子は米國に於て出生する場合も市民たることを得ざるやう米國憲法を修正し、全アジア人の歸化を防止すること等の政綱を可決した

二十二日（水）

◇株式會社友田商店の創立
理髮機械製造販賣の目的を以て資本金五十萬圓で設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役　友田任三、壺崎竹夫、石丸茂三郎、本間勇三郎、松原孝慈、北野辰八▽監査役　廣瀨松次郎、大西要之助

二十三日（木）

◇日本製麻會社の創立
資本金百二十五萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長　加山喜助▽專務取締役　小野田喜久藏▽常務取締役　波多野謙太郎△取締役　河西旭、黒石充▽監査役　竹內万吉

二十四日（金）

◇歸還亞港出張所の開設
北樺太亞港に朝鮮銀行出張所が設置され、本日開業した

◇支那、警備公使の待遇を停止
支那は大總統令を以て駐國公使及び領事の待遇停止を公布した

二十五日（土）

◇帝國製糸會社の創立
糸價調節の目的を以て官民合同で設立された同社（資本金一千六百萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役　原富太郎、滝邊文七、工藤善助　今井五介、尾澤琢郎、小口善重、淺田德則　西谷金藏、前田建夫、綱野豐次郎、遠藤三郎右衞門、倭山駒二郎、降旗元太郎、武藤金吉、若尾幾造▽監査役　小口今朝吉、澁澤義一、富田勘之丞、新井高四郎、龍野周一郎

◇東京織糸紡績五百萬圓增資に變更
同社（資本金二百萬圓）は臨時株主總會を開き、本年三月二十七日の臨時株主總會に於て資本金八百萬圓を增資し一千萬圓とする件を決定したが、財界の現狀に鑑みてこれを變更し、五百萬圓を增資して純資本七百萬圓とすることに決定した

◇山口誠太郎、日石取締役に就任
日本石油會社は臨時株主總會を開き、取締役山口達太郎死去につき、後任は山口誠太郎と決定した

二十六日（日）

◇米國の親日銀行家シップ死去
米國一流の銀行家で、日露戰爭當時日本公債の米國市場賣出しに盡力したジエーコブ・シップは本日死去した。享年七十三

二十七日（月）

◇日本書籍會社の創立
資本金五十萬圓を以て大阪に設立された同社は、創立總會を開催し左の如く重役を選任した
▽取締役　坂本菊太郎（代表）、寺內俊一、山脇賢治▽監査役　宮浦福松、田中廣助

二十八日（火）

◇五分利國庫證券八千萬圓發行
政府は各種事業費支辨のため左の條件で五分利國庫證券八千萬圓を發行した
▽利率年五分▽發行價格九十五圓二十五錢▽償還期限大正十二年九月一日▽證券種類

二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、一千圓
五千圓、一萬圓▽利子支拂期三月一日、六月一日、九月一日、十二月一日
三十日（木）

◇市街地賃貸物法施行令の公布
同令は本日の官報を以て公布された

◇日本蓄積株會社の創立
資本金三十萬圓を以て大阪に設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役　竹和義丈（代表）、北宅貞治、森廣吉、谷卯市▽監査役　木下李太郎、西端武吉

◇大阪機械工作所、大阪工作所を合併
資本金百六十二萬五千圓の大阪機械工作所は大阪工作所を合併、三百三十七萬五千圓を增資して資本金五百萬圓となつた（日不詳）

◇帝國製絲會社の借額增資
資本金一千五百萬圓の同社は臨時總會を開き三千萬圓に倍額增資と決定した（日不詳）

【十　月】

一　日（金）

◇第一國會勢調査施行
本日午前零時を期して全國一齊に第一回國勢調査が施行された

◇府縣農會に國庫補助金交付
農商務省は左記各府縣農會に對し大正九年度國庫補助金追加交付を指令した
▽石川七百五十圓▽大阪六百圓▽群馬五百五十圓▽北海道、福井各五百圓▽鳥取四百五十圓▽神奈川、奈良、三重、愛知、滋賀、宮城、青森、山形、岡山、廣島、和歌山、大分、佐賀、熊本、宮崎、兵庫各四百圓▽高知三百九十六圓▽茨城三百六十圓▽埼玉三百五十圓▽京都、愛媛各二百圓

◇臺灣離地方費稅規則の制定
府令を以て同規則を公布、即日施行された

◇臺灣市街庄稅規則の制定
府令を以て臺灣市街庄稅規則を公布、即日施行された

◇株式大暴落を濟ず
久しく漸落歩調を辿つた株式市場は米棉安綿絲安に加へて公債八千萬圓發行が影響し、綿紡二十五回方の大暴落を筆頭に、各紡績株は十四五圓安、東株、實田石油、郵船は十圓內外安を演じた

◇日本機械勞働組合組織さる
組合運動の物興に刺戟されて大阪に日本機械勞働組合が組織され、發會式を擧げた

◇大暴風雨、關東・東海地方を襲ふ
三十日夜來關東、東海地方を襲つた大暴風雨は、今朝一時に至りその絶頂に達し、風速四十三米突、雨量二百一ミリを示した。倒壞家屋多數、電信電話の不通等被害甚大、特に神奈川、靜岡地方の被害甚だしく、東海道線は全部不通となつた

一一　日（土）

◇日本軍、ハバロフスク撤退
シベリア派遣軍は帝國政府の方針に基きハバロフスクより撤退を開始した

◇露革領事館襲撃さる
今朝馬賊の大集團琿春に襲來し、帝國領事館は襲撃を受けて放火され全燒した。領事影及び領事館員は無事であつたが、在留邦人中即死者七名、重傷者十八名を出した

◇勞農露國金工場の同盟罷業
勞農露國に大飢饉起り、西部戰線軍隊には平和運動物發し、ペテログラードの殆ど全部の工場勞働者は勞農政府の倒壞を叫んで同盟罷業を決行、工場暴動に於て二名の過激派委員を虐殺した

三　日（日）

◇東海道線復舊開通
關東地方の大暴風雨で不通となつた東海道線は本日復舊開通した

◇七十圓、横濱貯蓄兩銀行休業續行
休業中の兩銀行は整理案に對する債權者の承諾調印未了のため更に二週間休業を繼續する旨發表した

五　日（火）

◇英國、對露最後通牒を發す
英國外相カーゾン卿は七頁よりなる最後通牒を露國勞農政府に通達した

◇露波の休戰條約調印
リガに於ける露波兩國休戰會議は、各種難問題惹起して一時協定成立を疑はれてゐたが漸く妥協點に到達し、兩國委員の間に調印を了した

六　日（水）

◇宣政會の暹羅問題に對する決議
宣政會は二日物發せる暹羅問題につき協議會を開き、左の決議をなした
暹羅に於ける惨害は洵に痛恨の至りに堪えず、事態延いては國島に過る。政府は須らく居留民保護のため急速機宜の處置を執るべし

◇對露混合仲裁裁判所設置さる
對露條約批准に伴ふ露洪國との間に混合仲裁裁判所設置の件が樞密院に於て可決された

◇輸出絹業聯合會の綿繰改善決議
日本輸出絹業聯合會は總會を開き、綿繰及び絹紬改善に關し協議の結果、左の如く決定した
▽輸出綿繰に關する件（一）輻員不足については適當の製繰標準を定めること（二）量目の減少については各組合に警告して檢査を嚴重にすること（三）汚染の發生については各製造業者に警告改善を期すること
▽絹紬に關する件、各製造業者に注意して改善を促すこと

◇米國、日本の海底電線敷設を拒絶
米國國務省は日本の海底電線敷設せんとする交渉を拒絶した

◇阮英大使珍田捨巳歸朝
同大使は七年振りで賜暇歸朝した

◇萬朝報社々長黒岩周六死去
肺臟病治療中のところ死去した。享年五十九。明治二十五年萬朝報を起して今日に至り特異的存在として名をなした

七　日（木）

◇間島に自衛的出兵を決定
暹羅事件勃發に伴ひ間島方面に於ける居留民の危急を救ふため六日朝鮮守備隊より若干の軍隊を局子街、龍井村、頭道溝へ急派したが、該地方一帶は形勢不穩を告げ尼港事件の二の舞を演ずる虞れあるに鑑み、臨時閣議で間島方面に自衛的出兵をなすに決定した

◇合同肥料一千萬圓に減資
同社（資本金二千五百萬圓）は重役會を開き一千萬圓に減資の件を決定した

◇逓運集一參議辭祝賀會
子爵溢澤榮一翁の陞爵祝賀會が東京商業會議所主催で催され、知名の實業家數百名參會して盛大を極めた

八　日（金）

◇朝鮮罹災民に御救恤金下賜
天皇、皇后兩陛下には、本年數回に亘る豪雨のため朝鮮各地に於ける被害甚大なるを聞召され、罹災者御救恤として御內帑金一萬五千圓下賜の御沙汰あらせられた

九　日（土）

◇正貨在高二十億圓を突破
大藏省發表によれば、九月三十日現在我國

正貨在高は二十億二千七百萬圓で、同月十五日に比して三千百萬圓を增加、更に本年四月三十日の十八億六千萬圓に比すれば實に一億六千七百萬圓の激增である

◇キューバ政府モラトリアムを布く

キューバ國ハバナ市インターナショナル・バンク・オブ・キューバは、砂糖下落の影響を受け今朝支拂を停止したため各銀行に取付起り、同政府は遂に十二月一日までモラトリアムを布告した

十一日（月）

◇大阪工業會、鐵鑛入稅の撤廢決議

同會では鐵鑛輸入稅撤廢問題に關して左の決議をなし、臨時財政調査會長及び關係各大臣に提出した

銑鐵は一般產業に必要なる基礎的材料なるが故に關稅を脫し、外國品の輸入を奬勵し銑鐵製造業には關稅以外の方法により保護を講ずるを以て最良策なりと認む。又製造及び造船に對する政策を決定するに當り、これと共に一般工業の基礎たる機械工業の利害を十分に考慮することを肝要と認む

十二日（火）

◇鐵鑛の關稅復活

政府は物價下落の緩和策として發動關稅を復活すると同時に輸出制限中の左記品目に對し制限を撤廢することに決定した

▽輸入稅を復活するもの　米、麥、大麥、小麥及び小麥粉

▽輸出制限を撤廢するもの　製紙用パルプ、ザラ紙を除きたる印刷用紙、過燐酸石灰等の肥料、小麥粉、米、麥、綿織絲

◇株式會社證券交換所の創立

同所は資本金五百萬圓を以て創立計畫中であつたが、財界不況に鑑み資本金二百萬圓を以て設立することゝなり、本日創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役　村上先（社長）、畑山喜三郎（常務）、桂二郎、留川奥造外三名▽監査役　戸水寬人、佐々木文一

◇國際聯盟協會聯合會開かる

ミランに於て國際聯盟協會聯合會が開催され、參列國十九國、列席委員百八十五名に達した

十三日（水）

◇大正護謨の爭議落着

同社は臨時總會を開き資本金百萬圓を五百萬圓に減資の件を可決した

十四日（木）

◇全國都市街路改良費に國庫補助金支出

內務省道路評議會は、東京市を始め二大都市並に重要市區街路改良費として國庫補助額總額二億八千萬圓を六ヶ年に支出することに決定した

◇鐵鳥電燈、東洋化學工業を合併

資本金五百六十萬圓の鐵鳥電燈會社は、東洋化學工業會社を合併、二十萬圓を增資して資本金五百八十萬圓となつた

◇英國炭坑夫の爭議陣容化す

數ヶ月間惡化を辿つてゐた同爭議は、更に險惡化し、首相ロイド・ジョージに對し一日二志の貨銀値上を許可せざれば十六日より從業を停止する旨の通告をなすに至つた

十五日（金）

◇富士製紙社債五百萬圓發行

同社は左の條件で社債五百萬圓を發行した

▽發行價格九十七圓▽利率年八分▽償還期限一年据置後二年以內▽券面種類五百圓、一千圓▽利廻九分二厘八毛

◇日本郵船の運賃引上

同社はロンドン、日本間乘客運賃從來の九十四磅を百十磅に引上げ、アントワープ、リヴァプール間等も同樣引上げ、本日より實施した

◇日本興業銀行社債の改稱

同社は株主總會に於て社名を日本興業株式會社と改稱する件を可決、なほ重役改選の結果左の如く決定した

▽取締役板倉中（社長）、原田嘉吉（常務）、井出百太郎、大場秀吉▽監査役山田秀太郎　吉田嘉太郎

◇對支借款團、協定に署名

日・英・佛・米各銀行團代表者は對支借款協定に署名した

◇國際聯盟、支那の抗議を拒絕

ミランに開催中の國際聯盟委員會は、支那の提出した日本が青島の前獨逸租借地を占領したこと並に山東諸問題に關する抗議を討議することを拒絕した

十六日（土）

◇五分利國庫債券六百萬圓發行

臺灣事業公債法による五分利國庫債券六百二十萬七千七百圓は臺灣銀行引受により發行された

◇株式會社鐵保商店の創立

同社（資本金百萬圓）は本日創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役眞保眞二（社長）、鈴木常外二名▽監査役大津四郎

十七日（日）

◇滿鐵社債一千五百萬圓發行

南滿洲鐵道會社は豫定社債發行額六千萬圓中の未發行一千五百萬圓を興銀、正金、臺灣朝鮮、第一、三井、三菱、十五、安田、三十四の諸銀行引受により左の條件で發行した

▽利率年七分▽償還期限一ヶ年据置後三年以內▽發行價格九十五圓

◇七十四、橫濱貯蓄兩銀行更に休業續發

兩銀行の休業期間は十六日滿了したが尙東京方面の債權者約二百名內外の不承諾者ありを發表した

十八日（月）

◇橫濱電氣社債三百萬圓發行

同社は事業擴張資金に充當するため社債三百萬圓を左の條件で發行した

▽賣出價格九十七圓▽利率年八分▽償還期限二ヶ年据置三ヶ年償還

◇英京ロンドンに暴動起る

英國の石炭坑夫爭議は總同盟罷業宣言により事態險惡を告げつゝあつたが、本日倫敦市ホワイト・ホール及び政府諸官廳並に首相官邸のあるダウニング街に暴動發生、警官隊との間に衝突起り負傷者四十名を出した。暴徒は手に手に赤旗を持つて革命歌を高唱しダウニング街からホワイト・ホール及びトラファルガル廣場にまで殺到した

◇三井物產重役小室三吉死去

三井物產取締役小室三吉は急性肺炎に罹り死去した。享年五十六。文久三年東京に生れ、明治十七年三井物產に入り香港支店長代理、上海支店長、倫敦支店長を經て取締役に進み、三井同族理事を兼ねてゐた

十九日（火）

◇日支共同で馬賊討伐に決定

鄭春事件のため派遣された我討伐隊の日支共同討伐提議に對し、支那側は自國の體面に關することゝなしてこれに應じなかつたが、彼我折衝の結果漸く共同動作を執ることに決定した

◇朝鮮中央鐵道社債三百五十萬圓發行

同社は朝鮮銀行引受により社債三百五十萬圓を左の條件で發行した

▽發行價格九十六圓▽利率年八分▽償還一

ケ年据置後二ケ年以內

◇莫斯科に戒嚴令布かる
莫斯科及びペテログラードを含む露國內十二縣の各管理區域に戒嚴令が布かれた

二十一日（木）

◇國府津、小田原間の鐵道開通
國鐵熱海線の國府津、小田原間は本日開通した

二十二日（金）

◇瓜哇實業團一行の來朝
瓜哇の實業團一行十二名は觀光のため本日來朝した

二十三日（土）

◇上越北線の一部開通
國鐵上越北線の宮內、東小千谷間鐵道は本日運輸を開始した

◇名古屋電氣鐵道、市營に決定
名古屋市と名古屋電氣鐵道會社との間に買收交渉が進められてゐたが、兩者の意見一致し、本日佐藤市長、後藤、淺山兩助役、富田名電社長、上遠野常務會見の結果、一千二百五十萬圓で買收と決し假契約に調印した。交付する市債の條件左の如し
▽額面百圓▽發行價格九十五圓▽利率七分▽償還期限五年据置二十ケ年償還

◇横濱市の横濱電車買收成立
電車市營問題に關し横濱市長と横濱電鐵社長との間に交渉を重ねてゐたが、本日買收價格其他全部の確定を見た。買收價格六百二十萬圓、これに對し交付する市債は額面百圓、發行價格九十圓、利率年七分である

◇パルチザン、チタを占領
パルチザンはチタを占領し、セミヨノフ將軍は飛行機で逃亡した

二十四日（日）

◇日本銀行、國債賣買取扱を開始
日銀は國際市場に於ける內國債賣買の取次を開始すると同時に東京、大阪兩地間國債振替の取扱をもなすことゝなつた。取扱國債の種類は當分左記の四種とし、依賴人及び受取人双方共國債仲買人たる場合に限定した
▽特別五分利公債▽甲號五分利公債▽第一回四分利公債▽第二回四分利公債

二十五日（月）

◇帝國蠶絲に五千萬圓の融資認可
農商務省は興業銀行及び勸業銀行が五千萬圓を限り帝國蠶絲會社に對し貸付をなすことを認可した

◇矢作開墾會社の創立
矢作水電會社大株主が經營中の矢作開墾組合は、資本金五十萬圓の株式組織に變更、創立總會に於て左の役員を選任した
▽取締役　杉山榮（社長）、古島定二（常務）加藤重三郎、八木平兵衛▽監査役　荒川實之亟

◇不逞鮮人主魁洪範圖殺害さる
間島に於ける不逞鮮人の首魁洪範圖は部下のため殺害された

◇英國鐵道從業員組合總罷業中止
英國鐵道從業員組合は炭坑夫の爭議に呼應して同情總罷業をなすこととなり事態險惡化を傳へられてゐたが、輿論に鑑み總罷業を中止することゝなつた

二十六日（火）

◇日置益、駐獨大使に任命
特命全權大使日置益は獨逸駐劄を命ぜられた。大戰後初めての駐獨大使である

◇北海道拓殖債券五百萬圓發行
北海道拓殖銀行は左の條件で拓殖債券五百萬圓を發行した
▽發行價格九十九圓▽利率年八分▽償還期限二ケ年据置後三ケ年以內

◇高山線の一部開通
高山線の岐阜、各務ヶ原間鐵道は本日運輸を開始した

◇東洋紡績、第二東海ラミーを買收
東洋紡績會社は第二東海ラミー會社を三十七萬五千圓で買收した

二十七日（水）

◇中央統計委員會の設置
各種統計の蒐集、統計調査及び統計樣式の統一整備を期する目的を以て內閣に中央統計委員會を設置することゝなり、その官制が公布された

二十八日（木）

◇臺南製糖、宮古製糖を合併增資
同社（資本金一千七百萬圓）は臨時株主總會を開き宮古製糖會社（資本金三百二十五萬圓）を合併し、資本金を二千二十五萬圓とするに決定した

◇英國炭坑夫の同盟罷業解決
流血の慘事を見るまでに惡化せる英國炭坑夫の大爭議は、政府その他の調停により大要左の如き條件を以て解決した
一、極力出炭量の增加を期せんがため坑主協會及び坑夫聯合會は協力することを約しこの目的のため地方委員會並に全國委員會を設立する
二、坑主協會及び坑夫聯合會は利潤に照して行ふべき賃銀調節策に關し即時立案に着手し遲くも大正十年三月三十一日までに之を政府に提出する
三、右調節策の完成する迄賃銀は左記の基礎によりて調節する（イ）成年勞働者一人一日に最大限二志を即時增給する（ロ）右增給は十二月十八日までの五週間に於ける出炭量に應じて翌年一月三日より自働的に調節する（ハ）翌年一月三十一日以後の賃銀は前月の出炭量を基礎として右同樣に調節する

二十九日（金）

◇驅逐艦萩の進水式舉行
浦賀船渠會社に於て建造中の驅逐艦萩（八〇〇噸）は進水式を行つた

◇紡績聯合會、操短繼續を決定
同委員會は十二月十五日より更に六ケ月間操短を繼續することに決定した

三十日（土）

◇北海道釧路本線の一部開通
釧路本線厚岸四和田間鐵道は十一月一日より運輸開始の旨公示された

◇陳炯明廣東に入城す
陳炯明は本日廣東に入城し、廣東總司令の名儀で督軍發省長湯廷光を授ける旨宣言した

◇大阪堂島米穀取引所の增資
同所（資本金二百五十萬圓）は定時株主總會に於て三百五十萬圓を增資し、資本金六百萬圓とする件を可決した（日不詳）

【十一月】

一日（月）

◇明治神宮鎭座祭施行
明治神宮奉祀調査會が神宮奉建費三百四十五萬七千三百七十九圓を計上、閣議の協賛を經て大正四年四月三十日勅令を以て明治神宮造營局官制が公布されて以來六箇年、國民敬仰の象徵たる神宮御造營は竣工を告げ、本日盛大なる鎭座祭が施行され、參拜者は二十萬人に達した。三日間に亘り、晝は提灯行列が行はれ、また市電全線に花電車が運轉された

◇東京市の遊興稅認可
東京市が社會事業費に充當するため申請中の遊興稅は左の通り訂正認可され即日施行された

特別消費稅は東京市內に於て藝妓、娼妓、遊興人及び其他これに類する者を招致し飲食、遊興をなして金員を消費したる者にこれを適用す

◇五分利國庫債券二千萬圓發行
鐵道の建設及び改良費に充當する五分利國庫債券二千萬圓は左の條件で發行された
▽賣出價格九十四圓五十錢▽償還期限大正十四年六月一日迄▽利率年五分

◇北米航路往航貨物運賃引上げ
本邦諸港より北米太平洋沿岸行貨物運賃の引上が實施された

◇米國政府、排日法案不承認を聲明
米國政府は加州に於ける排日法案を承認せざる旨聲明した

◇極東共和國、各置廳並に政權へ布告
極東共和國臨時事務幹部會は極東露領住民一般、パルチザン及び各政權に對し次の要旨を布告した
一、後貝加爾以東太平洋に至る全露領は極東獨立共和國たることを聲明す
二、幹部會は十一月一日以降國家的權能の全部を掌握し領內に現存する各政權は國家的權能を失ひ州の行政機關となる
三、現存する總ての正規軍は極東共和國政府の唯一最高指揮官に屬しコルチャック、カツペリー、セミヨノフ及びバルチザンの軍隊は領內何れにあるものも遠かに總司令官に歸順するか若くは武裝を解除すべし

二一 日（火）

◇對米國民同志會の排日問題決議
同會は東京に幾會式を擧げ、左の決議をなした
一、吾人は加州排日問題に對し國民的抗議をなさんことを期す
二、吾人は帝國政府をして在米同胞の差別的待遇に對する世界的公論を喚起せしめんことを期す

◇日本興業銀行社債五百萬圓發行
同社は左の條件で社債五百萬圓を發行した
▽發行價格九十七圓▽利率年八分▽三ヶ年據置大正十五年十二月一日迄に臨時償還▽利拂期六月、十二月

◇大阪電氣、大同電力と改稱
同社（資本金二千萬圓）は臨時株主總會を開き木曾興業（資本金一千萬圓）及び日本水力（資本金一千萬圓）の兩社を合併し、資本金一億圓に增加すると同時に、社名を大同電力會社と改稱するに決した

◇雲島仲買員井上堅太郎商店の破綻
財界不況により破綻を暴露した同商店の債權者は會議を開き善後策を協議したが、客方に對する負債勘定は二十三萬圓に上つた

◇世界各國の國富と國債高
各國の國富、國債現在高及び國富に對する國債の割合につき米國最近の調査が左の如く發表された（單位百萬弗）

國名	國富見積高	國債現在高	國富に對する國債の割合
米國	三五〇、〇〇〇	二六、三〇〇	七・五
英國	九〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇	四四・四
佛國	六五、〇〇〇	三五、〇〇〇	五四・〇
露國	四〇、〇〇〇	二五、四〇〇	六三・五
伊太利	三五、〇〇〇	一五、〇〇〇	六〇・〇
日本	二六、〇〇〇	一、三〇〇	四・九
獨逸	八〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	六二・五
墺地利	二五、三〇〇	一七、〇〇〇	七二・三
何牙利	一六、三〇〇	九、〇〇〇	五四・五

米國の國富は他の諸國々富合計額を超過すること一千三百二十億弗に上り、國富對國債の割合は日本が各國中最低位にある

◇米國キユーバ間定期便飛行開始

試驗飛行に成功せる米國、キユーバ間の旅客及び郵便の定期飛行が開始された

四 日（木）

◇普選同盟の宣言決議
政界の革新、普選の獲得を標榜する尾崎、犬養、武富、島田、頴、押川、今井、松本等發起の下に憲政國民兩黨及び無所屬その他有志の普選同盟は東京築地精養軒に會合し、左の決議をなした
一、普通選擧實行案を作成し第四十四議會に於て通過を期す
一、政界の根本的革新を期す

◇陸軍軍人服役令の改正
同令の改正によつて從來三年在營制の野砲兵、重砲、工兵、鐵道隊、輜重、自動車隊、飛工卒、靴工卒（騎兵は改正されず）の各兵は二年制となり、大正九年徵集者から實施されることゝなつた

◇露領政府、航空機輸出を禁止
同政府は輸出禁止中の銃器、機械類及び金屬製品の解禁を發表した

◇英國炭坑夫の復業
未曾有の大爭議を展開せる英國炭坑夫の同盟罷業は遂に妥協解決を見るに至つたが本日より復業した

◇キユーバ大統領にザーヤース當選
保守黨候補ザーヤースはキユーバ共和國大統領に當選した

◇米國大統領にハーデング當選
米國第二十九回大統領選擧に於て共和黨のハーデングが當選した

五 日（金）

◇臨時國庫證券五千三百萬圓借替
十一月九日償還期限の臨時國庫證券五千三百萬圓は、割引日歩二錢、期限六ケ月の條件で借替と決定した

◇帝國製絲社債百萬圓を追加發行
帝國製絲會社は社債百萬圓を、利率八分、價格九十七圓の條件で追加發行した

◇鐘鳥輪出織物同業組合の同盟休業
對米羽二重輸出不振のため福島輸出織物同業組合は本日より十二月三十一日まで同盟休業をなすに決した

六 日（土）

◇甲府電力、甲陽カーバイトを合併
同社（資本金百九十三萬五千圓）は臨時株主總會を開き甲陽カーバイト會社（資本金六萬圓）を合併して六萬圓を增資、更に百萬千圓を增資して總資本三百萬圓となすに決定した

◇露大醫科の開設
東京四谷信濃町に建設された同大學醫學部の教室並に附屬病院は、本日開校並に開院式を擧行した

◇瓜哇糖の暴騰
瓜哇糖氣配急轉して現物倉渡三十五ギルダー乃至三十六ギルダーと四日の相場に比して四ギルダー五十乃至五ギルダー暴騰した

◇松井駐佛大使歸朝
駐佛大使松井慶四郎は本日歸朝した

七 日（日）

◇西比利亞派遣軍の一部歸還
シベリア派遣中の第十四師團は、本日凱旋した

◇毛斯綸聯合會、輸出振興策を協議
羊毛同業會第二部毛斯綸聯合會は、現行操短四割並に協定値段は現狀維持とし、毛斯綸界振興策として海外輸出の途を開拓すべく輸出調査委員會を設けることに決した

◇安田貯蓄の二銀行合併と增資
同行（資本金百萬圓）は臨時株主總會を開き小石川貯藏（資本金十萬圓）並に橫濱中央

（資本金十二萬圓）の鮮銀行を買收合併し、更に資本金を三百萬圓に增加するに決定した

◇英佛の對獨賠償問題意見一致

對獨媾和條約賠償金問題の條項解釋に關し英佛間に意見の相違を生じ保留されてゐたが漸く意見の一致を見るに至り同協定は事實上成立を見ることゝなつた

八　日（月）

◇日支軍事協定廢止に決す

同協定の廢止は從來幾度か支那側より提出され、帝國政府は未だその時期に非ずとして同意するに至らなかつたが、西比利亞撤兵と西比利亞の一般形勢よりしてもはや存置の必要なきに至つたので、同協定は無條件廢止に決定した

◇鐵島製絲同業組合の休業決議

同組合は臨時總會を開き、十一月二十日より大正十年二月十五日まで八十八日間休業、違反したものは一工場五百圓及びその持釜一箇につき十圓の割合で過怠金を徵收することに決定した

◇劇界の巨頭田村成義死去

劇界の巨頭田村成義死去。享年七十。三十五年間劇界生活を送り劇界向上發展に盡した功勞者である

九　日（火）

◇遣支艦隊の動靜

海軍省は遣支艦隊につき、第一遣外艦隊下の砲艦伏見は漢口より宜昌へ、隅田は九江より漢口へ、鞍鋼、第二十一驅逐隊の櫻、棣兩艦は廣東にありて警備中、上海に旗艦千歲、鳥羽南京に蜻蛉警備中なりと發表した

◇瑞典出兵に關する對支聲明

政府の訓令に基き小幡駐支公使は外交總長を訪ひ、瑞典出兵に關し若し兩國の認めたる場合には速に撤兵すべき旨を聲明した

◇東京市の人口二百十四萬七千人

國勢調査の結果東京市の人口は特別調査たる皇族、陸海軍部隊、艦船を除いて二百十四萬七千人と發表された

◇全國海員總同盟の結成

全國の各海員組合の大合同成り、參加團體は橫濱、神戶、大阪、門司、若松の三十七團體に及び會員約六萬人

◇東京市道路局の贈賄事件發覺

東京市道路局の砂利疑獄事件發覺し笠置道路掛長、白井主任等は警視廳に召喚された

◇支那綿絲布商の損失二千萬圓

最近に於ける上海の綿絲布輸入業者の打擊甚だしくその損失二千萬圓に上り、各商業會議所を介して海外當業者に對し解合方を懇請したが、その原因左の如し

（一）輸出不振のために銀塊流出して輸入の途なきこと（一）恐慌落のため市場動搖せること（一）各種物價値下りのため爲替と價格の二重損失を蒙むること（一）天災及び兵亂により販路の停止せること（一）金融逼迫せること

十　日（水）

◇朝鮮私設鐵道建設規程の施行

朝鮮總督府令を以て朝鮮私設鐵道建設規程を公布、卽日施行された

◇協調會、宣言書を發表す

財團法人協調會は同會の使命を明かにせる左記內容の宣言書を發表した

一、社會に於ける各所級特に勞資兩者が平等なる人格の基礎の上に立つて自他正當なる權利を主張し自制互讓協力以て產業の發展、文化の進步、國家の安寧福祉を最も有效に促進すべきことを主張す

一、鬪爭のための鬪爭主義卽ち社會的協調の餘地なき絕望的思想は本會の明かに否認するところなり

一、本會は勞資協調主義の宣傳普及により紛爭を豫防し社會政策の徹底的實行を期すると同時に、勞資兩者の意志の疏通を圖りその誤解及び偏見を除去せんことに努力するものなり

◇全國製絲業者大會の絲價維持對策

同大會は絲價維持のため生絲生產調節を徹底するため全國製絲業者並に橫濱製絲貿易商同業組合員會同して左の決議をなした

一、全國製絲家は更に大正九年十一月三十日より十年二月十五日まで（長野縣は三月三十一日迄）先約定の有無を問はず全國一齊に操業休止を續行すること

二、定期取引所に於て賣繰をなさゞること

三、賣込商は一切の荷受けをなさゞること

四、橫濱生絲賣込商及び輸出業者は本大會の決議に違反せる者の生絲を一切取扱はぬこと

五、各府縣に調査員若干を置き決議事項の實施如何を調査しこれを橫濱貿絲貿易商同業組合に報告すること

六、全國製絲家は各自職工の爭奪をなさゞること

七、操業休止中はその地方の狀況により職工に對し相當の給與待遇をなすこと

◇元北濱銀行支配人の判決

元北濱銀行支配人永田陽太郎の背任及び文書僞造罪の控訴事件（前判決懲役三ケ年）は名古屋控訴院に於て懲役一ケ年半（未決拘留二百日通算）と判決された

十一日（木）

◇徐總統に辭職要求

新國會を無視する南北統一令に憤慨した新國會議員等は上海、天津に會合して反徐總統運動を開始し、一千三百餘名の連名を以て總統に辭職を要求した

十二日（金）

◇第四十四回帝國議會召集

十二月二十五日帝國議會を東京に召集する旨公布された

◇憂慮禁壓發令の公布

同令は十二月一日より施行の旨公布された

◇日滿連運貨規則の改正

日滿連絡運輸旅客及び手小荷物運賃率規則中改正の件は、鐵道省告示を以て本年十二月十五日より施行する旨公布された

◇宣井炭礦會社の創立

同社（資本金百五十萬圓）は創立總會を開訂を要せざるやう簡明なる模範定款を作成する件（三）第二十二條の拂込資本金額の次に「及び積立金額」の五字を加へることを申請する件（四）借入金（手形割引を含む）をなし得る途を開くやう申請する件（五）地方資金に關し前年秋の大會に於て協議せられたる改正要項を實施せられたき旨稟請する件（六）農工債券郵便局取扱方法改善につき交涉する件（七）資金充實の方法を講ずる件

き左の役員を選任した
▽取締役　金井重雄（社長）、古山桂五郎、常務〻川上保太郎、三井徳寛、姉島軍司、瀧川喜平、齋藤正雄▽監査役　岡本國太郎、芝本勇、白柴貞助、小島國作

十三日（土）

◇尼港事件に關する支那の謝日囘答
尼港事件に關する日本の要求四ヶ條に對し支那は左の如き囘答をなした
一、支那政府の日本政府に對する陳謝の件に關しては、事件が遠隔の地に發生し且つ當時の事情及び實際の狀況上止むを得ずしてこの擧に出たものなれば艦隊自身の陳謝すべきものにして中央政府には責任なし
二、艦隊司令官の陳謝、責任者の處罰及び死者遺族に對する弔慰に關しては德義上これを承諾す

◇國鐵貨物運賃規則の改定
國鐵貨物運賃及び料金規則の改正が鐵道省告示を以て發表され、大正十年一月十一日より施行された

◇太平洋海上保險の增資と火保兼營
神戸の太平洋海上保險會社（資本金二百萬圓）は百萬圓を增資すると同時に火災保險を兼營することゝなり主務省に認可を申請した

十五日（月）

◇支那關側事件解決す
義に小幡公使より支那外交部に交附せる左の二通牒は支那の受諾するところとなり同事件は解決した
（一）關州事件につき日本政府は遺憾の意を表す（二）客年十一月十六日關州に於ける關國人衝突事件負傷者に慰藉金一千三百元給與、料理店に損害慰藉金八百元を支給する

◇樺東模範硝子社債五百萬圓發行
同社は株主總會に於て社債五百萬圓を左の條件で發行するに決した
▽價格九十五圓▽利率年一割▽償還期限三ヶ年據置五ヶ年償還

◇鐘淵水力電氣を合併
同社（資本金一千六百萬圓）は臨時株主總會を開き鐘淵水力電氣會社（資本金百萬圓）を對等條件で合併し一千七百萬圓に增資の件を可決した

◇第一回國際聯盟總會開會
國際聯盟加入國四十一ヶ國並に未加入國十二ヶ國代表者はゼネバに參集、第一回總會を開き左の委員會を設定した
一、一般組織委員會

◇日本製麻社債六百萬圓發行
同社は日本興業銀行引受により左の條件で社債五百萬圓を發行した
▽利率年八分▽發行價格九十七圓▽償還期限一ヶ年據置後二ヶ年隨時償還

◇亞細亞炭礦會社の創立
同社（資本金三千萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役　戸水寛人（社長）、津下精一、鳴部檢藏、松村鶴堆、山瀨俊貫、新田伸太郎　西澤四郎、山田忠一、西原馬太郎、田中猪作、三宅恒壽、長田愛三、橋上保▽監査役　桂二郎、上坂盛造、川邊德三郎、伊藤清夫郎、安部定緒

二、衛生、交通專門並に常任財政委員會
三、法律問題並に國際裁判所設置委員會
四、國際聯盟財務委員會
五、聯盟新加入國事務委員會
六、軍備並に委任統治委員會

十六日（火）

◇兵庫農工銀行短期債券發行
同行は不動產資金需要旺盛に鑑み七分五厘利付短期債券五十萬圓を發行した

◇關釜連絡船の建造、三隻に決定
鐵道省で新に建造する關釜連絡船二隻は三菱造船所で建造するに決定した。何れも四千噸で速力十七節四分の一、建造費二百八十萬圓である

◇埼玉機業者の操短決議
埼玉縣同業組合は大正十年二月十五日まで一齊に操業を休止し、その他は全國實業大會の決議に準據するに決定した

◇名古屋株式取引所六百萬圓に增資
同所（資本金二百五十萬圓）は臨時株主總會を開き三百五十萬圓を增資して資本金六百萬圓となすに決定した

◇米國、國際聯盟不參加を發表
國際聯盟の主唱者たる米國は上院に於て平和條約の批准を拒否したため、遂に今次の國際聯盟總會に代表者を派遣し得ざる立場となり、聯盟總會に參列者を派遣せざる旨公式に發表した

十七日（水）

◇大同電力會社の重役決定
木曾興業、日本水力を合併增資すると同時に大同電力會社（舊稱大阪送電會社）と改稱せる同社（資本金一億圓）は、重役增員改選の結果左の通り決定した
▽取締役　宮崎敬介、三根正亮、近藤茂、大澤善助、山本柔太郎、關口壽、島德蔵、寺田甚與茂、志方勢七、角田正喬、成瀨正行、渡邊龍夫、八木平兵衛、木村又三郎▽監査役　淺野長七、阪仲輔、祇園清永郎、田中博、藍川清成、馬場齊吉

十八日（木）

◇東洋生命保險の借額增資
東洋生命保險會社は臨時株主總會を開き資本金百萬圓を二百萬圓に增資と決定した

◇豐山銀行、横濱實業銀行を合併
豐山銀行（資本金五百萬圓）は對等條件で横濱實業銀行（資本金百萬圓）を合併し、資本金六百萬圓とするに決した

◇農工貯蓄銀行の休業
東京に本店を有する農工貯蓄銀行（資本金百萬圓）は流言浮說のため本所、深川、淺草支店が取付に遭ひ十日間休業を發表した

二十日（土）

◇日本化學肥料社債五百萬圓發行
同社は社債五百萬圓を左の條件で發行した三百萬圓は興銀よりの借入金償還、二百萬圓は事業資金に充當するものである
▽利率年九分▽價格九十七圓▽償還期限一ヶ年据置二ヶ年以內償還

◇能登鐵道の敷設免許
石川縣の能登鐵道會社線六十一哩十五鎖は敷設を免許された

二十二日（月）

◇政友會の金融策と燃料動力問題決議
政友會は政務調査會を開き、左の決議をなした
一、日本銀行並に各特殊銀行の制度を改善して統一運用の實を擧げしめ以て一層財政經濟の發展に順應するところの金融機關たらしめんことを期す
二、石油事業に對しては將來これが供給の途を確立し、石炭は埋藏量に限りあるを以

て平賓之が使用を節し經濟的利用法を研究し其濫採に關し監督を嚴にし、水力電氣事業に對しては合同を圖り一般工業發展に資せんことを期す

◇松竹キネマ會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長　大谷竹次郎▽取締役　白井松次郎　白井信太郎、城戸四郎、新免彌繼、田村善二郎、小山內薰▽監査役　關直彥、平井權七、丹澤善利▽支配人　堤友次郎▽顧問　太田勇之進

◇あかぢ貯蓄銀行の取付
同行（資本金十萬圓）は取付に遭ひ、殊に淺草支店は二十四日まで引續き預金者詰掛け混雜を呈したが、悉く引出しに應じたため平靜に歸した

二十三日（火）

◇綿絲界の巨頭柿沼谷藏死去
綿絲界の巨頭柿沼谷藏は本日死去した。享年六十七。紡績事業の發展に盡した外公益事業にも貢獻し、自ら日本橋女學館を興して教育界にも盡力した

二十四日（水）

◇英國佛公債五千萬圓借換と公債發行
大正十年一月十五日償還期限の英國公債五千萬圓は現金償還をなす旨の通知に接し、政府は金融市場の澁滯增加を慮れ、これが吸收のため軍事公債五千萬圓を左の條件で十二月二日より三日間賣出すことに決定した
▽發行價格九十三圓五十錢▽利率年五分▽償還期限大正十四年三月一日

◇東洋火災海上再保險會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役　安田善雄（社長）、安田善助、長松篤棐、中島鉦次、小松林藏▽監査役　中澤彥吉、志田鉀太郎

二十五日（木）

◇大阪化學工業重役等起訴さる
同社取締役森脇平吉並に販賣主任河野錄太郎は、漁油を混じた鰯子油等を倫敦の商會に賣却せること發覺して起訴された

二十六日（金）

◇田尻東京市長罷職す
東京市長田尻稻次郎は、市政の腐敗その極に達し土木事業に關する不正事件を發端として多數の罷狀を擧げられたため市政紊亂の責を引いて辭表を提出した

◇渡韓公使に川上俊彥任命
川上俊彥は初代の波蘭駐劄帝國公使に任命された

◇鳥卵、生牛肉の關稅減免期延長
鳥卵、生牛肉の輸入稅減免期限は本月三十日を以て滿期となるが、同品目は他品目と異り價格低落せず鑑賞の廣れあるため更に一ケ年間延長することに閣議で決定した

二十七日（土）

◇大東京の區域擴張發表
內務省都市計畫課は、東京市の區域を現在の東京市を圍繞する荏原、豐多摩、北豐島、南足立、南葛飾、北多摩の六郡八十三ケ町村に擴張し、面積百九十七平方哩、人口三百三十三萬餘人を包含せしめることに決定した

◇日本製氷一千萬圓に增資
同社（資本金九百三十七萬五千圓）は定時株主總會を開き五百六十二萬五千圓を增資し資本金一千五百萬圓とすることに決定した

◇天文學の泰斗一戸直藏死去
本邦天文學の泰斗一戸直藏博士は肺患で療養中のところ本日午前四時半死去した。享年四十三

二十八日（日）

◇總算閉議終了と決定豫算
豫算閉議は本日終了し大正十年度總算は左の如く決定したが、前年度に比し歲入、歲出共に二億二千七百萬圓の增加である
▽歲入經常部十二億三千六百萬圓、臨時部三億二千六百萬圓、合計十五億六千二百萬圓
▽歲出經常部九億三百萬圓、臨時部六億五千九百萬圓、合計十五億六千二百萬圓

◇佛國國拂公債の借替繼續
本日償還期限の佛國大藏省國拂公債三千三十四萬二千圓は更に借替繼續を行ふに決し、臨時國庫證券特別會計に於て引受けることゝなつた

◇農工貯蓄銀行の臨休
同行は整理のため十八日より休業して善後策を講じつゝあつたが、二十七日までの休業期限に解決を見るに至らず、更に本日より三週間引續き休業する旨發表した

◇富士製鋼の重役改選
同社（資本金三百萬圓）は臨時總會を開き舊重役全員辭任につき左の新重役を選任した
▽取締役　淺野總一郎、吉川雄輔、久保田權四郎、皆川芳造▽監査役　松岡虎吉、長谷川源次郎、

二十九日（月）

◇京都濱議事件の判決
京都府會濱議事件は京都地方裁判所に於て判決言渡があり、木內重四郎知事は罰金五十圓、その他府會議員はいづれも懲役を申渡された

◇齋藤總督暗殺未遂犯人の死刑執行
齋藤朝鮮總督の暗殺を企てた犯人姜宇奎は本日午後一時京城西大門監獄で死刑を執行された

三十日（火）

◇東京市參事會員辭職す
東京市參事會員は參事會室に緊急參事會を開き田尻市長、永井、戶野兩助役の辭職を承認した後連袂辭職を決定した

◇大北炭礦會社の減資
同社（資本金一千五百萬圓）は株主總會を開き資本金を三百七十五萬圓に減資する整理案を可決した

◇安部川村商業會社解散に決す
同社（資本金五百萬圓）は臨時總會を開き財界不況により經營困難となつたため解散に決定した

◇伊東米治郎、郵船副社長に就任
日本郵船會社は重役會を開き副社長互選の結果、取締役伊藤米治郎が當選就任した

◇帝國電燈の二社合併と改稱
同社（資本金九百萬圓）は臨時株主總會を開き外房電氣會社（資本金三十萬圓）並に豐國電氣會社（資本金五十萬圓）を合併し、新に資本金一千八百七十二萬五千八百圓の帝國聯合電燈會社設立の件を可決した

◇富士電氣、國電氣會社を合併
富士電氣會社（資本金一千六百五十萬圓）は株主總會を開き北海水力並に北海電氣の兩社を合併、四百八十萬五千圓を增資して總資本金二千五十八萬五千圓とし、更に十勝電氣會社（資本金百萬圓）及び北日本電氣會社（資本金十萬圓）合併の件を可決した

◇東京市の贈賄事件擴大
東京市道路局の疑獄事件で曩に警視廳に留置された笠置道路掛長、請負業川端文次郎等の收監に引續き、市會議員根岸治右衞門その他三名が收監されたが、本日更に疑獄の中心人物と目される政友會代議士市會議員高橋義信が收監された

◇原首相暗殺未遂犯人の判決
原首相を暗殺せんとして爆弾を製造中取押へられた元陸軍砲兵鉄工長伊藤伊三郎に對し懲役五年の言渡があつた
◇鹿兒島電氣一千萬圓に五倍増資
資本金二百萬圓の鹿兒島電氣會社は五倍増資して資本金一千萬圓となつた（日不詳）

【十二月】

一 日 （水）

◇聖徳太子奉賛會に四萬圓下賜
大正十年四月聖徳太子一千三百年御忌に當り、篤學の士に我が古代文化の研究をなさしめるため基金募集のこと天聽に達し、右研究費の補助として金四萬圓下賜の御沙汰あらせられた
◇六大都市に市街建築物法適用
都市計畫法で決定した市街地建築物法並に同施行令、施行細則及び警視廳同細則が本日より六大都市に適用實施された
◇日清紡績、岡崎紡績を合併
同社（資本金一千萬圓）は臨時株主總會を開き岡崎紡績會社（資本金百萬圓）を合併して一千百萬圓に増資する件を可決した
◇大正建物會社の創立
同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役 前田利彭（社長）、中野龍見、平工勝重、牛田義一、松崎喜三郎、小野孝太郎▽監査役 天本治
◇內國石材工業會社の創立
同社（資本金二百萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役 粟津清亮（社長）、田中留松（專務）、阪下捨五郎（常務）、喜早要人（同）、池原寧、武田宗治郎、豊島松太郎▽監査役 森田小六郎（常任）、清浦敬吉、佐藤長祐▽相談役 松原榮三郎
◇東京高工校長阪田貞一死去
東京高等工業學校長理學博士阪田貞一は肺炎に罹り午後十時東京牛込中町の自邸に於て死去した。享年六十四。人格者にして理學界の權威であつた

二 日 （木）

◇東京期米大暴落
東京期米相場は前日當限二十五圓七十錢に比し一圓六十九錢安の二十四圓一錢と大瓦落を示した
◇石川縣絹織同業組合の同盟休業
同組合は本月十五日より同盟休業斷行に決した
◇米支合辦太平洋商務銀行の設立
本店を上海に置く同行（資本金五百萬弗）は左の條件で設立された
▽一株百弗▽總株數五萬株、半數は支那に於て引受▽董事部は米支各五人、任期五ケ年▽計理支那人▽總理米人▽副總理支那人

三 日 （金）

◇赤十字社へ御內帑金五萬圓下賜
日本赤十字社病院維持費中へ大正十年以降五ケ年間に毎年一萬圓宛繼續下賜の旨御沙汰あらせられた
◇伊國汽船の日伊航路開始
伊太利は大戰の結果墺國から沒收したオーストリヤ・ロイド會社をトリエスト・ロイドと改稱し、大型汽船ピルナス號外五隻を以てトリエスト、橫濱間に定期航路を開始するに決した

四 日 （土）

◇五分利國庫債券三千三百萬圓發行
鐵道公債五分利國庫債券三千三百十九萬六百五十圓は、左の條件により大藏省預金部引

受で十二月十五日に發行と決定
▽發行價格九十三圓五十錢▽利率年五分▽額面種類二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、一千圓、五千圓、一萬圓▽償還期限大正十四年六月一日
◇廣東政府成立を布告
孫文、唐紹儀、伍廷芳、唐繼堯の四政務總裁の連名を以て廣東軍政府は十一月二十九日成立せる旨布告した

五 日 （日）

◇帝國製油會社新潟に製油開始
新潟縣新津に建設中の製油工場が竣工、同社は本日より製油に着手した。設備は二十三石及び十五石蒸溜釜二基宛四基で一日の製油能力一千二百石乃至一千五百石である

六 日 （月）

◇モルヒネ、コカイン取締規則制定
內務省令を以てモルヒネ・コカイン及び同鹽類の取締規則を公布大正十年一月一日施行
◇七十四銀行整理に橫濱興信銀行新設
休業中の七十四銀行（資本金五百萬圓）を整理し、併せて一般銀行業務並に信託業を兼業とする橫濱興信銀行（資本金百萬圓）が設立された
◇東京貯蓄銀行の取付
東京貯蓄銀行は本日取付に遭ひ、八日午後に至り漸く終熄したが、三日間の取付總額約二千三百萬圓に上り、預金總額の約四割五分に達した
◇橫濱稅關に疑獄事件起る
橫濱稅關に脫稅事件發覺、同稅關監査官補眞部博その他十五名は收監された
◇英國紡績會社、五割操短實行
英國の綿糸布界は不振を告げランカシャ紡績會社は操業時間を半減するに決した

七 日 （火）

◇日本政府、支那の撤兵要求を拒絕
支那外交部は東支鐵道沿線に於ける日本軍隊の撤兵を要求し來つたが、小幡駐支公使は本日、西比利亞に於ける日本軍との聯絡の必要上撤退する能はずと拒絕した
◇鐵道省、紡聯の運賃割引要求を拒絕
鐵道運賃引上につき紡績聯合會は綿糸、棉花、綿布に對する運賃特別割引を鐵道省に交涉中のところ、他品に波及の虞れありとの理由で拒絕された
◇長野縣製絲業者の操短反對決議
長野縣の國內用糸製造業並に橫糸業者百餘名は、帝國蠶絲會社創立に依り何等の恩澤に預らぬにも拘らず操業短縮の犧牲を餘儀なくされるのは不當であるとの理由から操短除外の請求を同縣生糸同業組合聯合會に提出したが容れられず、脫退して重要物產法に依る組合を組織する外なしとして本日正式に脫退屆を提出し、操業を繼續するに決した
◇大野銀行の臨時休業
千葉縣東金町の大野銀行（資本金百萬圓）は農工貯蓄、東京貯蓄兩銀行取付の影響を受け六、七兩日に亘り約五十萬圓の取付に遭ひ帳簿整理のため、本日より二週間の臨時休業を發表した
◇暴風雨と吳軍港の大被害
廣島地方に暴風雨の襲來あり、夜に入つて猛烈を極め吳軍港に碇泊中の驅逐艦磯波、綾波は陸岸に打上げられ、標的船三隻も打上げられ灣內に碇泊中の小舟三十隻は沈沒した。なほ吳海軍工廠起重機側の石垣崩壞して大砲の砲身數門海中に墜落、その他海岸埋立地十町餘崩壞した

八 日 （水）

◇全國石炭業者の運賃引上反對陳情
全國石炭業者は聯合大會を開き鐵道運賃引

上によつて全國同業者の負擔增額七百萬圓に上るため反對陳情をなすに決し、代表者は原首相、元田農相に陳情書を提出した

◇米佛合辦の石油會社の設立

重油及び石油の供給を容易にし且安價ならしめるためロサイテ・デ・スタンダード・フラコーアメリカの名の下に米佛合辦會社が設立された。出資割合は米國スタンダード石油が四割九分、巴里和蘭銀行が五割一分、社長はジユレス・カムボン（佛國大使）副社長はスタンダード社長エー・シー・ベツドフオードに決定した

九　日（木）

◇東洋モスリン、東洋紡織を合併

同社（資本金一千萬圓）は臨時株主總會を開き東洋紡織會社（資本金五百萬圓）を對等條件で合併するに決した

◇加州知事、排日法實施を國務省に通告

加州知事ウキリアム・スチヴンソンは、本日國務省に對し、加州の外人借地禁止法は今月十日より施行し、州知事は該法令を正當に且つ有效に施行するため憲法上の權能を行使して遺憾なきを期する考へであると通告した

十　日（金）

◇日本社會主義總同盟の結成禁止

日本社會主義總同盟は本日結成豫定のところ、總同盟臨時大會を差止められたので、總同盟臨時大會として開會せんとしたが解散を命ぜられ、夜の講演會も解散を命ぜられた。前日來社會主義者と警官の對立小競合が繰返され、會場たる神田青年會館は混亂に陷り、堺枯川、大杉榮を始め五十餘名が檢束された

十一日（土）

◇明治製糖、大和製糖を合併

同社（資本金三千萬圓）は臨時株主總會を開き、松山電氣軌道及び松山電氣興業會社を合併するに決した

十四日（火）

◇全國農會の米穀投賣防止決議

全國道府縣農會代表者協議會は米價暴落のため、左の如き米穀投賣防止及び農家救濟策を決議した

一、各府縣は此際一齊に投賣を防止し賣出開始は來る二十五日とすること

二、價格は三十五圓を以て最低とすること

三、目的の價格に達したる時は平均賣を勵行すること

四、產業組合、農工銀行、農業倉庫等と協商して金融の利便を謀ること

◇日本海員總會の設立

ゼノア海上勞働會議の結果世界の海員に與へられた權利の一たる海員組合の創設問題は紛糾を重ねてゐたが、郵船、大阪商船の商船五友會、商船同志會の加盟により三部合同の日本海員組合が設立され、實行委員長にはゼノア會議に海員代表として出席した東洋汽船會社の岡崎榮を推すことに決定した

十一日（日）

◇徐總統、南北統一宣言を發表

徐總統の南北統一宣布は實際に於て何等一の實力なく、廣東軍政府は成立し、北方に於ても王占元、張作霖は平和主義に反對して武力討伐を主張し、統一は當分絕望となつたため、總統は國務員、各省當路者にその旨通告を發した

十二日（月）

◇伊豫鐵道電氣會社、二社を合併

同社（資本金四百萬圓）は臨時株主總會を開き、松山電氣軌道及び松山電氣興業會社を合併するに決した

五、帝國農會は各府縣の報告を蒐集し日報を地方農會に通報すること

六、各府縣は最善の方法により堅固なる農民の結束を圖ること

十五日（水）

◇鐵道全狀態、貴族院委員に報告

研究會所屬貴族院議員伯爵廣澤金次郎は西班牙駐剳特命全權公使に任命された

◇輸出絲業者の絲業調査機關設置

輸出絹業組合聯合會は蠶糸救濟に伴ふ海外需要杜絕を慮れ、絹業國策樹立に關し、左の意見書を政府に提出、陳情するに決した

我國蠶糸年產額は約八十萬俵なるが、これが消費は內地織物及び加工品として二十萬俵、同輸出十八萬俵、蠶糸の儘輸出するもの四十二萬俵にして、その大部分は對米輸出なるが故に一朝米國の需要に變調あらんか、その影響は直ちに斯業に波及すべし。御々蠶糸救濟は大量消費をなす我國機業界の趨勢を何等考慮せず樹立せるが故にその根本に於て誤れる點尠からず。帝蠶設立により高壓生產制限を圖り全國十數萬の關係者並に我々絹業者に影響を及せる所絕大なるは、國家產業上寒心に堪えざる所なり

今次の蠶糸救濟は我國絹糸業に惡結果を來す愚策なるを以て、政府は多大の考慮を要すると同時に因襲的觀念を拂ち需要の擴汎にして兩も原料より一步を進めたる絹織物を根本として蠶糸製糸業の國策を樹立せざるべからず

◇富五銀行、八十三銀行を合併

三重縣津市の百五銀行（資本金五百萬圓）は伊賀上野町の八十三銀行（資本金百二十萬圓）を合併した

◇日本鯨羊毛會社重役、業務執行を停止さる

同社代表取締役代議士鈴木久矢郎、監査役松島榮等の不正事件に對し株主側より提起せる業務執行禁止並に失權處分の假處分申請が受理され、兩名は本日業務執行停止命令を受けた

十七日（金）

◇後藤新平、東京市長に就任

東京市疑獄事件から田尻市長の引責辭職に次いで市參事會の連袂辭職となり、後任市長決定に手を燒いてゐた東京市會は、男爵後藤新平を後任市長に選擧し、後藤男は就任を受諾した

◇日支渡航規則の一部改正

鐵道省告示を以て日支旅客及び手荷物運輸規則中左の通り改正し、十年一月一日より實施の旨公示された

（一）手荷物の無賃運送重量は各鐵道共旅客一人につき左の通りとす。但し半賃を支拂ひたる小兒はその半量とす。一等八十瓩二等六十瓩、三等四十瓩（二）托送手荷物一個の重量は百瓩を超過することを得ざるものとす

十八日（土）

◇第一回國勢調査の結果發表

第一回國勢調査の結果、內地總人口五千五百九十六萬一千百四十人、內男子二千八百四萬二千九百九十五人、女子二千七百九十一萬八千百四十五人、これに朝鮮、臺灣、樺太を合すれば總人口七千九百萬五千五百十人、內男子三千八百九十二萬二千四百三十七人、女子三千八百八萬三千七十三人と發表された

◇土佐セメント、職工百五十名を解雇

高知市外潮江村の土佐セメント會社（資本金二百萬圓）は事業縮小のため職工百五十名を解雇した

◇國際聯盟、委任統治の日本委任統治を認可

國際聯盟理事會は赤道以北の前獨領太平洋

諸島を日本の委任統治に、赤道以南ニューギニヤ其他の諸島を濠洲の委任統治とすることを確認した

二十日（月）

◇東京交換所の不適手形取扱手數改正

同所は定時總會の決議に基き不渡手形の取扱手續を左の如く改正し本日より實施した

一、不渡の届出は決濟銀行の一方より届出づべきこと

二、届出期間は不渡の翌日交換開始時刻迄

三、取消申出は翌日午後三時迄

◇瀬戸電機の借額增資

同社は株主總會を開き（資本金百萬圓）を二百萬圓に借額增資と決定した

◇田川銀行の臨時休業

福岡縣の田川銀行（資本金百五十萬圓）は本日より一週間臨時休業する旨發表した

◇浦賀船渠會社々長の更迭

同社々長町田豐千代辭任しその後任に山下龜三郎が選任された

◇中央開墾會社の創立

同社（資本金七百五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役　笹田四郎（社長）、木下彌八郎（專務）、安田善之助、佐藤清右衛門、嗣島道正

根津嘉一郎、小倉常吉▽監査役　中村圓一郎、栖原啓藏、板谷順助▽相談役　武井守正、益田孝、安川敬一郎

◇對支借款團、饑饉救濟借款を承諾

支那饑饉救濟會々長陸徵祥は日、英、米、佛四國對支借款團に、關稅增率より生ずる增收額を擔保として饑饉救濟借款四百萬元の締結を申込み借款團は應諾した

◇英國ファーロー・バンクの支拂停止

英國內に七十餘の支店を有するファーロー・バンク（資本金二百萬磅）は本日支拂停止を發表した

◇東華仲買人玉塚榮次郎死去

東京株式取引所仲買人玉塚榮次郎は東京本郷區湯島六丁目の自宅に於て死去した。享年六十一。天保錢主義の創唱者として知られた人である

◇繭業界の恩人和田維四郎死去

前製絲所長官和田維四郎は病氣療養中のところ死去した。享年六十五。枝光製絲所初代の長官となり日本鑛山會長、金屬鑛業研究所長を歷任した我が鑛業界の恩人である

二十一日（火）

◇農商會主に報効會に二十七萬圓下賜

長き邊りにては僧行社義濟會陸軍に十二萬圓、同海軍に七千八百圓、報効會に十五萬圓を夫々下賜の御沙汰あらせられた

◇正貨激增、二十一億圓突破

大藏省は十二月十五日現在に於ける我國正貨在高は二十一億一千七百萬圓に達し、十一月三十日より二千八百萬圓を增加した旨發表した

◇七十圓、橫濱貯蓄兩銀行の整理完成

兩銀行整理案は債權者側の承諾困難のため繰休を重ねてゐたが、本日全部の承諾を得たので兩行整理のため新設された橫濱興信銀行は政府より低利資金一千六百萬圓の融通を受けて預金の拂戻に應ずることゝなつた

二十二日（水）

◇帶圓製紙會社の內紛

靜岡縣の同社（資本金百萬圓）は創業以來の不成績に加ふるに支那方面輸出不振等で運轉資金に窮し、重役側は去拂込株金の拂込徵收を提議したが、株主側が反對したため社長金森島吉、支配人賀川邦作等は辭職し、工場は休業狀態となつた

二十三日（木）

◇五分利國庫債券一千萬圓發行

政府は鐵道建設及び改良費に充當するため五分利國庫債券一千萬圓を左の條件で翌年一月二十日發行する旨告示した

▽發行價格九十三圓五十錢▽利率年五分▽償還期限大正十四年六月一日迄

二十四日（金）

◇陸軍省、航空機競技規則を制定

陸軍省令を以て左の如き航空機競技規則が制定公布された

一、左の各號の一に該當する者に賞狀、賞金又は賞品を授與することを得（イ）航空事業發達に功勞ありたる者（ロ）航空機操縱者にして特に技術の優秀なる者又は優秀なる航空機器及び所要材料の設計若くは製作に從事したる者

二、航空に關する競技會又は共進會若くは之に準ずべきものゝ開設者には賞金を授與することあるべし

三、賞狀、賞金、賞品を受くべき者死亡したるときはその遺族に交付す

◇東株現物組合の結成と出資決定

東株取引所現物組合が結成され大正十年一月十五日開市するに決した。組合員の出資五千圓、組合費は各月額五十圓である

二十五日（土）

◇圖總山陰本線の一部開通

山陰本線淺利都野津間六哩六分は本日開通した

◇電氣化學工業、二會社を合併

同社（資本金一千二百萬圓）は定時總會に於て北陸水電會社（資本金三百萬圓）及び高砂水力會社（資本金二百五十萬圓）を合併するに決した

◇東京瓦斯專務總部保次敎鑒さる

東京市の道路疑獄事件は瓦斯問題に飛火し義に東京瓦斯會社秘書役池田峰太郎、同社重役參木綠郎、市參事會員中村鐵二が敎鑒されたが、本日同社專務磯部保次が敎鑒された

二十七日（月）

◇朝鮮土地改良事業補助規則の公布

朝鮮水利事業補助規則が廢止され、新に水利事業、灌漑改善、開墾開拓に對する朝鮮土地改良事業補助規則が公布された

◇關瓦斯鑛の職制改正

同社は定時總會に於て從來の社長、常務制を廢し、新に會長、專務、常務制に職制を改正し、その結果阪本社長辭任し、會長に須田利信、專務に宮永萬吉、常務に東條玉太郎が夫々就任した

◇元日本製鋼所社長高崎親章病死

貴族院議員高崎親章は病死した。享年六十八。嘉永六年鹿兒島に生れ薩軍軍部を振出しに、大阪府知事を經て大正二年日本製鋼所社長となり、同九年病氣のため辭職、明治三十六年貴族院議員に勅選された

二十八日（火）

◇中央絹器會社の半額減資

同社（資本金百萬圓）は定時總會に於て五十萬圓減資を可決した

◇東電、利根發電及橫濱電氣を合併

東京電燈會社（資本金一億二千四百萬圓）は臨時株主總會を開き利根發電（資本金二千二百萬圓）橫濱電氣（資本金一千五百萬圓）の兩會社を對等條件で合併するに決した。合併効力發生期日は利根發電は十年四月一日、橫濱電氣は十年五月一日である

◇大倉鑛業と川崎造船の紛爭

大倉鑛業會社々長大倉喜八郎は神戶川崎造船所社長松方幸次郎を相手取り三百十四萬四百十八圓の統制代金不足額並に損害賠償請求の訴訟を神戶地方裁判所に提起した

二十九日（水）

◇獨逸の賠償金額と支拂期日決定

對獨媾和條約に基き獨逸の聯合國に對する賠償金は四百億馬克と決定し、内二百億馬克は一九二一年五月一日までに支拂ひ、殘額は一九二六年までに支拂ふことゝなつた

◇住友電線製造所の改組

住友伸銅所より分離獨立した住友個人經營の住友電線製造所は、資本金一千萬圓の株式會社に改組された（日不詳）

◇京都取引所五百萬圓に增資

資本金二百萬圓の京都取引所は、三百萬圓增資して資本金五百萬圓となつた（日不詳）

大正九年統計

日本銀行兌換券發行高

	兌換券發行高 千圓	正貨準備 千圓	保證準備 千圓	制限外 千圓
一月	一、三七五、一六九	九四三、六二八	四三一、五四一	三一一、五四一
二月	一、三八〇、四七七	九五七、四三〇	四二三、〇四六	三〇三、〇四六
三月	一、三六八、〇五五	九三〇、七四七	四三七、三〇八	三一七、三〇八
四月	一、三六六、三七六	九一七、二一五	四四九、一六一	三二九、一六一
五月	一、三三六、八五六	九三八、八一二	三九八、〇四四	二七八、〇四四
六月	一、三四九、〇六五	九七九、三〇三	三六九、七六二	二四九、七六二
七月	一、二〇三、四三五	一、〇一一、二六六	一九二、一六九	七二、一六九
八月	一、二一七、〇七六	一、〇三九、九七〇	一七七、一〇六	五七、一〇六
九月	一、一七〇、一四四	一、〇七八、二二五	九一、九一九	—
十月	一、一九三、〇八一	一、一一七、一四八	七五、九三三	—
十一月	一、一八〇、二二六	一、一五一、九九六	二八、二三〇	—
十二月	一、四三九、二四〇	一、二四六、六八八	一九二、五五二	七二、五五二

東京組合銀行金利表

	證書貸付金 最高 錢	證書貸付金 最低 錢	證書貸付金 平均 錢	割引 最高 錢	割引 最低 錢	割引 平均 錢
一月	三•三〇	一•六四	二•五〇	三•五〇	一•五〇	二•五七
前年同月	三•二九	一•一〇	二•一四	三•〇〇	一•五〇	一•六四
二月	三•三〇	一•六四	二•五五	三•五〇	一•五〇	二•六五
前年同月	三•二九	一•一〇	二•一四	三•〇〇	一•五〇	一•九七
三月	三•五〇	一•六四	二•六三	三•五〇	一•五〇	二•七八
前年同月	三•三〇	一•一〇	二•一七	三•〇〇	一•五〇	一•九五
四月	三•五〇	一•五〇	二•六一	三•五〇	一•五〇	二•九一
前年同月	三•三〇	一•一〇	二•一七	三•〇〇	一•五〇	一•九一
五月	三•五〇	一•六〇	二•七四	四•〇〇	一•五〇	三•〇〇
前年同月	三•三〇	一•一〇	二•一六	三•〇〇	一•五〇	一•九七
六月	三•六〇	一•五〇	二•七八	四•〇〇	一•五〇	三•〇一
前年同月	三•三〇	一•一〇	二•一七	三•〇〇	一•五〇	一•九八

	證書貸付金 最高 錢	證書貸付金 最低 錢	證書貸付金 平均 錢	割引 最高 錢	割引 最低 錢	割引 平均 錢
七月	三•六〇	一•五〇	二•八八	四•〇〇	一•五〇	三•〇〇
前年同月	三•三〇	一•一〇	二•一七	三•〇〇	一•五〇	二•〇三
八月	三•六〇	一•五〇	三•〇一	四•〇〇	一•五〇	二•九六
前年同月	三•二九	一•六四	二•二〇	三•〇〇	一•五〇	二•〇一
九月	三•六〇	一•五〇	二•八〇	四•〇〇	一•五〇	二•九〇
前年同月	三•二九	一•六四	二•二一	三•〇〇	一•五〇	二•〇五
十月	三•六〇	一•五〇	二•八八	四•〇〇	一•五〇	二•八七
前年同月	三•二九	一•六四	二•二七	三•〇〇	一•五〇	二•三〇
十一月	三•六〇	一•五〇	二•八九	四•〇〇	一•五〇	二•八六
前年同月	三•五〇	一•六〇	二•三四	三•〇〇	一•五〇	二•三三
十二月	三•六〇	一•五〇	二•九三	四•〇〇	一•五〇	二•八一
前年同月	三•五〇	一•六四	二•四三	三•三〇	一•五〇	二•五四

東京交換所手形交換高

	枚	圓
一月	八二四、〇一五	三、〇六五、四九五、二七〇
二月	九三一、四七六	三、五三二、一〇一、六九八
三月	一、〇六九、二二一	四、一三五、三五八、四一九
四月	九三九、四〇一	三、一六八、五八六、六八二
五月	八六五、四〇六	二、九三三、〇五一、八九七
六月	八八一、六九五	二、五三四、三六二、六三〇
七月	八五四、四二四	二、一〇九、四五〇、九三三
八月	七六六、九五三	二、一三九、一五一、九四〇
九月	八〇三、一五三	二、〇三二、四三二、三〇一
十月	八六一、〇三四	一、九三二、八六一、九七一
十一月	八九一、四七二	二、三〇三、〇一三、一四〇
十二月	一、一一〇、九三三	二、八四一、〇六三、四〇六

外國爲替相場

		上旬 最高	上旬 最低	中旬 最高	中旬 最低	下旬 最高	下旬 最低
一月	倫敦宛 志片	二、六 9/16	—	二、六 9/16	—	二、七 13/16	二、六 9/16
	紐育宛 弗	五〇	四九 3/4	四九 3/4	—	四九 3/4	—
	上海宛 兩	三一 1/2	三〇	三〇 1/2	三〇	三〇 1/2	二九
二月	倫敦宛 志片	二、八 5/16	二、七 13/16	二、八 5/16	二、七 11/16	二、七 11/16	—
	紐育宛 弗	四九 3/4	四九 1/8	四九 1/8	—	四九 1/8	—
	上海宛 兩	二九	二八	三一 1/2	二八 1/2	三一 1/2	二九 1/2
三月	倫敦宛 志片	二、七 11/16	二、六 5/16	二、六 5/16	二、四 1/16	二、四 1/16	二、三 9/16
	紐育宛 弗	四八 7/8	四八 3/8	四八 3/8	四七 7/8	四七 7/8	—
	上海宛 兩	三一	三〇	三五	三〇 1/2	三一 1/2	二九 1/2
四月	倫敦宛 志片	二、三 9/16	—	二、四 1/16	二、三 9/16	二、三 9/16	二、四 5/16
	紐育宛 弗	四七 7/8	—	四八 1/8	四七 7/8	四九	四八 3/8
	上海宛 兩	三三	三一	三七 1/2	三四	三六 3/4	三三 1/2
五月	倫敦宛 志片	二、六 1/16	二、三 9/16	二、六 1/16	—	二、六 1/16	—
	紐育宛 弗	四九 3/4	四九	四九 3/4	—	四九 3/4	—
	上海宛 兩	四三	三六 3/4	四二 1/2	四一	四三	四〇 1/2
六月	倫敦宛 志片	二、六 1/16	—	二、六 1/16	—	二、六 1/16	—
	紐育宛 弗	四九 3/4	—	五〇	四九 3/4	五〇 1/8	五〇
	上海宛 兩	五二	四三	五三 1/2	四七 1/2	五〇	四六 1/2

月	宛							
七月	倫敦宛	志片	二、六1/16	—	二、六3/16	二、六1/16	二、七5/16	二、六9/16
	紐育宛	弗	五〇1/8	—	五一3/8	五〇1/8	五〇5/8	五〇3/8
	上海宛	両	四九	四八	四八1/2	四七1/2	四八1/2	四五
八月	倫敦宛	志片	二、八7/16	二、七15/16	二、八7/16	—	二、九1/16	二、八7/16
	紐育宛	弗	五〇5/8	—	五〇5/8	—	五一3/4	五〇5/8
	上海宛	両	四七	四五	四五1/2	四二	四四	四三
九月	倫敦宛	志片	二、九7/16	二、九1/16	二、一〇3/16	二、九7/16	二、一〇3/16	—
	紐育宛	弗	五〇3/4	—	五一3/4	—	五〇3/4	—
	上海宛	両	四七	四五1/2	四七1/2	四五1/2	四七1/2	四六1/2
十月	倫敦宛	志片	二、一〇3/16	—	二、一〇3/16	—	二、一〇3/16	—
	紐育宛	弗	五〇3/4	—	五〇3/4	—	五一3/4	—
	上海宛	両	五〇1/2	四七	五三3/4	五〇1/2	五四	五二
十一月	倫敦宛	志片	二、一〇3/16	二、一〇3/16	二、一〇7/16	—	二、一〇7/16	—
	紐育宛	弗	五〇5/8	五一1/2	五〇1/2	五〇3/8	五〇3/8	—
	上海宛	両	五三	五一1/2	五七	五三1/4	六〇1/2	五七
十二月	倫敦宛	志片	二、一〇7/16	—	二、一〇7/16	二、九1/16	二、九1/16	二、八7/16
	紐育宛	弗	五一3/8	五〇1/4	五〇	四九1/8	四九1/8	四八3/8
	上海宛	両	六八3/4	六二1/2	六九1/2	六六1/2	六五1/2	六一1/2

銀塊相場

月	倫敦 最高 片	倫敦 最低 片	紐育 最高 仙	紐育 最低 仙
一月	八五	七五5/8	一、三七	一、二八1/2
二月	八九1/2	八二	一、三五	一、一九
三月	八四	六九3/4	一、三三	一、一七
四月	七二1/8	六四1/2	一、二七	一、一一
五月	六五	五七5/8	一、一〇1/4	九九5/8
六月	五七5/8	四四	一、〇〇	八〇
七月	五六5/8	五一1/8	九九1/2	—
八月	六三3/4	五七	一、〇一3/4	九九1/2
九月	六〇3/4	五七5/8	九九1/2	—
十月	五九	五〇1/2	九九1/2	—
十一月	五九7/8	四六1/8	九九1/2	—
十二月	四四3/4	三八7/8	七〇1/2	六〇

外國貿易月表

月		圓
一月	輸出	一七六、三四七、五九四
	輸入	二〇四、七七六、六二六
	輸入超過	二八、四二〇、〇三二
二月	輸出	一七四、二八七、九〇三
	輸入	二七〇、六四二、八〇四
	輸入超過	九六、三五四、九〇一
三月	輸出	一九三、五七〇、四三八
	輸入	三二九、〇二七、九七七
	輸入超過	一三五、四五七、五三九
四月	輸出	二一七、四五七、三七六
	輸入	二九六、八三二、四三六
	輸入超過	七九、三七五、〇六〇
五月	輸出	一九三、三六三、〇五七
	輸入	二九五、九五〇、一五一
	輸入超過	一〇二、五八七、〇九四
六月	輸出	一八三、八一〇、四六五
	輸入	二二〇、一八三、八四九
	輸入超過	三六、三七三、三八四
七月	輸出	一五四、三一八、二〇三
	輸入	一五七、一三三、五〇七
	輸入超過	二、八一五、三〇四
八月	輸出	一七五、〇六〇、八三二
	輸入	一二三、一九七、九一二
	輸出超過	五一、八六二、九二〇
九月	輸出	一五四、三五四、五九四
	輸入	一一七、六〇〇、一五八
	輸出超過	三六、七五四、四三六
十月	輸出	一三三、八一四、四九一
	輸入	一〇七、六七〇、〇〇七
	輸出超過	二六、一四四、四八四
十一月	輸出	一〇四、六〇六、一一五
	輸入	一〇八、〇二二、九四一
	輸入超過	三、四一六、八二六
十二月	輸出	八七、四〇三、五四三
	輸入	一〇五、一四五、四一三
	輸入超過	一七、七四一、八七〇
一月以降累計額	輸出	一、九四八、三九四、六一一
	輸入	二、三三六、一七四、七八一
	輸入超過	三八七、七八〇、一七〇

東京株式取引所定期相場

月	銘柄	拂込 圓	配當率 分	最高 圓	最低 圓	平均 圓
一月	南滿洲鐵道	一〇〇	一〇・〇	一八八・〇〇	一七四・一〇	一八〇・〇〇
	日本郵船	五〇	一〇〇・〇	二四九・二〇	二三〇・〇〇	二四〇・九九
	北海炭礦	五〇	二〇・〇	一〇六・五〇	九五・七〇	一〇一・八七
	東京電燈	五〇	一三・〇	八二・〇〇	七六・〇〇	七七・八四
	鬼怒川水電	五〇	八・〇	七〇・〇〇	六五・六〇	六七・八八
	王子製紙	五〇	二五・〇	一四五・〇〇	一三四・〇〇	一三八・三五
	日本鋼管	五〇	一〇・〇	五四・九〇	四三・〇〇	四九・一〇
	鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	五二五・〇〇	四三〇・五〇	四七〇・六二
	東洋紡績	五〇	六〇・〇	三三四・九〇	三〇五・〇〇	三二四・六五
	大日本麥酒	五〇	三〇・〇	二五〇・〇〇	二二六・一〇	二四三・四四
	日魯漁業	五〇	一五・〇	一〇五・一〇	七〇・〇〇	八五・五〇
	臺水港製糖	五〇	三〇・〇	二四九・一〇	一八九・一〇	二二三・八七
	明治製糖	五〇	三二・〇	二〇二・〇〇	一八七・〇〇	一九五・八二
	日清製粉	五〇	三〇・〇	一六一・〇〇	一三七・五〇	一五三・一七
	人造肥料	五〇	二〇・〇	一四五・〇〇	一〇四・〇〇	一三三・三五
	淺野セメント新	二五	二五・〇	七三・九〇	六〇・〇〇	六四・二〇
	久原鑛業	五〇	一二・〇	一〇八・一〇	九五・一〇	一〇一・八〇
	日本石油	五〇	三九・〇	一四七・四〇	一三六・〇〇	一四一・二三
	東京株式新	五〇	二九・〇四	五〇七・〇〇	四四三・五〇	四八二・五五
二月	南滿洲鐵道	一〇〇	一〇・〇	一九二・〇〇	一七七・〇〇	一八四・八二
	日本郵船	五〇	一〇〇・〇	二三五・五〇	二一〇・〇〇	二二四・四〇
	北海炭礦	五〇	二〇・〇	一〇四・〇〇	九五・一〇	九九・〇五
	東京電燈	五〇	一三・〇	七七・五〇	七四・一〇	七五・三一
	鬼怒川水電	五〇	八・〇	六九・九〇	六四・一〇	六七・七五
	王子製紙	五〇	二五・〇	一六七・一〇	一四〇・一〇	一四五・二四
	日本鋼管	五〇	一〇・〇	六一・七〇	五一・六〇	五九・二九
	鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	四九六・六〇	四四五・〇〇	四七六・〇七
	東洋紡績	五〇	六〇・〇	三三六・五〇	三一五・三〇	三二六・五六
	大日本麥酒	五〇	三〇・〇	二五三・〇〇	二四四・〇〇	二四九・四八
	日魯漁業	五〇	一九・〇	八七・〇〇	七九・〇〇	八二・一一

臺水港製糖	五〇	三〇・〇	二四八・〇〇	二三七・五〇	二四三・八〇
明治製糖	五〇	三二・〇	二三〇・〇〇	一八六・〇〇	二〇〇・四二
日清製粉	五〇	三〇・〇	一六三・〇〇	一五四・〇〇	一五七・七八
人造肥料	五〇	二〇・〇	一五〇・六〇	一三六・九〇	一四四・二五
淺野セメント新	二五	二五・〇	九八・〇〇	八五・〇〇	八九・六八
久原鑛業	五〇	三一・〇	一〇四・五〇	九七・九〇	一〇〇・四三
日本石油	五〇	三五・〇	一五六・五〇	一四三・八〇	一四九・〇七
東京株式新	五〇	二九・〇四	四七六・九〇	四二〇・〇〇	四五三・七〇

三月

南滿洲鐵道	一〇〇	一〇・〇	二〇〇・一〇	一五〇・六〇	一七九・四三
日本郵船	五〇	一〇〇・〇	二三四・〇〇	一八八・一〇	二〇八・三一
北海炭礦	五〇	二〇・〇	一一四・〇〇	八一・五〇	九四・五九
東京電燈	五〇	一二・〇	七七・〇〇	六八・一〇	七三・〇〇
鬼怒川水電	五〇	八・〇	七六・五〇	五八・〇〇	六五・五八
王子製紙	五〇	三五・〇	一六六・五〇	一三五・〇〇	一四八・〇三
日本鋼管	五〇	一〇・〇	七四・八〇	五〇・六〇	六二・七六
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	五三三・一〇	四二三・〇〇	四七七・七五
東洋紡績	五〇	六〇・〇	三四二・五〇	二八〇・〇〇	三一二・七九
大日本麥酒	五〇	五〇・〇	二五五・〇〇	二〇五・一〇	二三九・九五
日魯漁業	五〇	一六・〇	八四・〇〇	四四・〇〇	六六・一九
臺水港製糖	五〇	五〇・〇	二五一・〇〇	一七八・〇〇	二一〇・五〇
明治製糖	五〇	三二・〇	二三四・九〇	一八五・九〇	二〇四・四〇
日清製粉	五〇	三〇・〇	一七一・九〇	一三三・四〇	一四九・六七
人造肥料	五〇	二〇・〇	一六〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一三五・六四
淺野セメント新	三七・五	二五・〇	一一七・四〇	六九・〇〇	九五・二三
久原鑛業	五〇	一二・〇	一〇〇・〇〇	七六・一〇	九二・三三
日本石油	五〇	三五・〇	一五九・五〇	一三〇・〇〇	一四七・二四
東京株式新	五〇	二九・〇四	五三六・一〇	三二〇・五〇	四四三・一〇

四月

南滿洲鐵道	一〇〇	一〇・〇	一六一・九〇	一一九・〇〇	一三七・四六
日本郵船	五〇	一〇〇・〇	一九一・五〇	一五七・〇〇	一七九・九三
北海炭礦	五〇	二〇・〇	八九・一〇	七三・五〇	七九・三〇
東京電燈	五〇	一二・〇	七〇・〇〇	六四・五〇	六七・〇〇
鬼怒川水電	五〇	八・〇	五九・五〇	四一・五〇	五三・二〇
王子製紙	五〇	三五・〇	一五六・〇〇	一二一・八〇	一三九・八八
日本鋼管	五〇	一〇・〇	五三・〇〇	四〇・五〇	四七・五三
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	四〇六・〇〇	三三〇・〇〇	三八〇・五七
東洋紡績	五〇	六〇・〇	三〇〇・〇〇	二六四・〇〇	二八六・九二
大日本麥酒	五〇	五〇・〇	一三五・〇〇	一一〇・〇〇	一一九・九〇
日魯漁業	五〇	一五・〇	五二・五〇	四六・四〇	五〇・九一
臺水港製糖	五〇	一〇〇・〇	一八五・九〇	一五〇・九〇	一七〇・四五
明治製糖	五〇	一〇八・〇	一六九・〇〇	一五三・一〇	一六三・六五
日清製粉	五〇	五〇・〇	一三〇・〇〇	九九・〇〇	一一七・七八
人造肥料	五〇	二〇・〇	一一一・五〇	八五・〇〇	一〇三・一八
淺野セメント新	三七・五	二五・〇	八七・一〇	六五・五〇	七九・九五
久原鑛業	五〇	一二・〇	七六・〇〇	七〇・九〇	七三・五〇
日本石油	五〇	三五・〇	一三四・〇〇	一一四・〇〇	一二五・三六
東京株式新	五〇	二九・〇四	三六七・〇〇	二六五・〇〇	三三八・〇七

五月

南滿洲鐵道	一〇〇	一〇・〇	一三〇・五〇	一一一・五〇	一二四・五〇
日本郵船	五〇	一〇〇・〇	一五九・〇〇	一三七・一〇	一四九・九〇
北海炭礦	五〇	二〇・〇	七五・九〇	六五・〇〇	七〇・六〇
東京電燈	五〇	一二・〇	六六・〇〇	六一・九〇	六三・五〇
鬼怒川水電	五〇	八・〇	四九・五〇	四二・一〇	四五・四八
王子製紙	五〇	三五・〇	一二四・〇〇	九九・〇〇	一一八・〇〇
日本鋼管	五〇	一〇・〇	五四・六〇	三五・〇〇	五〇・五八
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	三一一・九〇	二〇八・〇〇	二五七・七〇
東洋紡績	五〇	六〇・〇	二三五・二〇	一一五・四〇	二〇三・五九
大日本麥酒	五〇	五〇・〇	一一四・〇〇	八五・一〇	一〇五・八〇
日魯漁業	五〇	一五・〇	四〇・〇〇	三一・〇〇	三七・〇八
臺水港製糖	五〇	一〇〇・〇	一三五・〇〇	一一〇・五〇	一二三・八一
明治製糖	五〇	一〇八・〇	一六七・〇〇	一三八・〇〇	一五四・一三
日清製粉	五〇	五〇・〇	九二・五〇	七八・〇〇	八五・一七
人造肥料	五〇	二〇・〇	七〇・〇〇	四九・〇〇	六〇・九八
淺野セメント新	三七・五	二五・〇	六五・五〇	四九・四〇	五八・一六
久原鑛業	五〇	一二・〇	六三・二〇	五一・二〇	五七・四一
日本石油	五〇	三五・〇	一三〇・〇〇	一一三・一〇	一二〇・一六
東京株式新	五〇	二九・〇四	三三七・〇〇	一五五・五〇	二〇四・一〇

六月

南滿洲鐵道	一〇〇	一〇・〇	―	―	―
日本郵船	五〇	四〇・〇	一五五・〇〇	一一八・〇〇	一四一・五八
北海炭礦	五〇	二〇・〇	六九・八〇	五五・二〇	六〇・七二
東京電燈	五〇	一二・〇	六四・五〇	六〇・〇〇	六一・六九
鬼怒川水電	五〇	八・〇	四五・〇〇	三八・〇〇	四一・七九
王子製紙	五〇	五〇・〇	一一八・〇〇	七四・〇〇	一〇三・九六
日本鋼管	五〇	―	二六・九〇	一九・六〇	二一・八八
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	二六〇・五〇	一七九・九〇	二三一・六四
東洋紡績	五〇	六〇・〇	一三八・〇〇	九五・〇〇	一一五・八二
大日本麥酒	五〇	五〇・〇	一〇七・五〇	八七・〇〇	一〇五・六八
日魯漁業	五〇	一五・〇	四〇・〇〇	二八・〇〇	三四・四九
臺水港製糖	五〇	一〇〇・〇	一三三・六〇	八六・九〇	一〇七・二〇
明治製糖	五〇	一〇八・〇	一五五・〇〇	一一〇・〇〇	一三六・五一
日清製粉	五〇	五〇・〇	八一・〇〇	六〇・一〇	七五・二三
人造肥料	五〇	二〇・〇	五九・〇〇	四一・〇〇	五三・五六
淺野セメント新	五〇	二五・〇	七五・五〇	五一・五〇	六六・七一
久原鑛業	五〇	一二・〇	六〇・二〇	四一・一〇	四八・五〇
日本石油	五〇	三五・〇	一二四・一〇	八六・〇〇	一〇七・六〇
東京株式新	―	―	―	―	―

七月

南滿洲鐵道	一〇〇	一〇・〇	一〇一・八〇	九八・〇〇	九九・九〇
日本郵船	五〇	四〇・〇	一四八・四〇	一三〇・九〇	一三五・九五
北海炭礦	五〇	二〇・〇	六三・八〇	五三・〇〇	五六・一二
東京電燈	五〇	一二・〇	六四・五〇	六三・五〇	六三・九一
鬼怒川水電	五〇	八・〇	四三・一〇	四〇・一〇	四一・七〇
王子製紙	五〇	五〇・〇	一二四・五〇	一一〇・一〇	一一四・九〇
日本鋼管	五〇	―	二一・三〇	二〇・五〇	二〇・七五
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	二四七・〇〇	二一八・〇〇	二三三・〇七
東洋紡績	五〇	六〇・〇	一三六・九〇	一二一・六〇	一二六・九三
大日本麥酒	五〇	五〇・〇	九四・八〇	八七・七〇	九〇・五四
日魯漁業	五〇	一五・〇	三七・九〇	二六・九〇	三三・六三
臺水港製糖	五〇	一〇〇・〇	一三一・四〇	一〇九・六八	一一六・一九
明治製糖	五〇	一〇八・〇	一五一・〇〇	一三七・〇〇	一四四・二三
日清製粉	五〇	五〇・〇	八〇・〇〇	七五・五〇	七九・七七
人造肥料	五〇	二〇・〇	五四・九〇	四七・二〇	四八・三三
淺野セメント新	―	―	―	―	―
久原鑛業	五〇	八・〇	四八・〇〇	四五・五〇	四七・〇〇
日本石油	五〇	三五・〇	一〇九・八〇	一〇〇・五〇	一〇五・一〇
東京株式新	―	―	―	―	―

八月

南滿洲鐵道	一〇〇	一〇・〇	一〇九・〇〇	一〇一・八〇	一〇五・一九
日本郵船	五〇	四〇・〇	一四五・〇〇	一三一・〇〇	一三八・五八
北海炭礦	五〇	二〇・〇	五九・四〇	五四・〇〇	五五・八四
東京電燈	五〇	一二・〇	六六・九〇	六三・七〇	六五・三三
鬼怒川水電	五〇	八・〇	四五・五〇	三九・五〇	四一・二七
王子製紙	五〇	五〇・〇	一二六・五〇	一一〇・〇〇	一一一・九六
日本鋼管	五〇	―	三一・六〇	二〇・五〇	二五・〇三
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	二二七・九〇	一九一・四〇	二〇七・二四
東洋紡績	五〇	六〇・〇	一三五・八〇	八二・五〇	一二八・三八
大日本麥酒	五〇	五〇・〇	九一・八〇	八五・五〇	八九・九五
日魯漁業	五〇	一五・〇	四四・四〇	二八・五〇	三六・九五
臺水港製糖	五〇	一〇〇・〇	一一五・〇〇	一〇〇・四〇	一〇八・三七
明治製糖	五〇	一〇八・〇	一一九・七〇	一〇〇・四〇	一〇八・九三
日清製粉	五〇	五〇・〇	八五・〇〇	七八・〇〇	八〇・〇九
人造肥料	五〇	二〇・〇	五四・九〇	四六・九〇	五〇・五〇
淺野セメント新	―	―	―	―	―
久原鑛業	五〇	八・〇	四六・六〇	四四・五〇	四五・四三
日本石油	五〇	三五・〇	一一七・六〇	九八・七〇	一〇七・八八
東京株式新	―	―	―	―	―

九月

南滿洲鐵道	一〇〇	一〇・〇	一〇七・〇〇	一〇三・五〇	一〇六・一七
日本郵船	五〇	四〇・〇	一四九・九〇	一三九・五〇	一四四・七八
北海炭礦	五〇	二〇・〇	五七・九〇	五五・〇〇	五六・八二
東京電燈	五〇	一二・〇	六七・七〇	六五・七〇	六五・四四
鬼怒川水電	五〇	八・〇	五〇・六〇	四五・八〇	四七・〇五
王子製紙	五〇	五〇・〇	一〇四・一〇	八八・四〇	九六・五六
日本鋼管	五〇	―	二九・〇〇	二六・八〇	二七・六〇
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	二二一・九〇	一八七・〇〇	二〇二・四七

東洋紡績	五〇	六〇・〇	一三七・〇〇	一一一・五〇	一二八・六五
大日本麥酒	五〇	三〇・〇	九四・〇〇	八八・六〇	九一・八七
日魯漁業	五〇	一五・〇	四五・五〇	三七・〇〇	三九・四五
鹽水港製糖	五〇	一〇〇・〇	一一一・六〇	九六・五〇	一〇四・〇六
明治製糖	五〇	一〇八・〇	一〇九・九〇	九七・六〇	一〇三・四八
日清製粉	五〇	三〇・〇	八〇・〇〇	七六・一〇	七七・六六
人造肥料	五〇	二〇・〇	五三・四〇	四四・八〇	四八・九七
淺野セメント新	—	—	—	—	—
久原鑛業	五〇	八・〇	四五・〇〇	三六・五〇	四一・四五
日本石油	五〇	三五・〇	一一七・〇〇	一〇八・一〇	一一〇・四七
東京株式新	—	—	—	—	—
十月					
南満洲鐵道	二〇〇	一〇・〇	一〇三・五〇	一〇〇・八〇	一〇一・六九
日本郵船	五〇	四〇・〇	一五四・〇〇	一三六・九〇	一三八・二二
北海炭礦	五〇	二〇・〇	五六・七〇	五三・九〇	五五・〇七
東京電燈	五〇	一三・〇	六七・〇〇	六五・一〇	六六・〇一
鬼怒川水電	五〇	八・〇	四九・〇〇	四六・七〇	四七・五〇
王子製紙	五〇	五〇・〇	九四・五〇	八九・九〇	九二・〇八
日本鋼管	五〇	—	二六・四〇	二二・六〇	二三・五四
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	二〇一・四〇	一六六・〇〇	一八一・〇五
東洋紡績	五〇	六〇・〇	一一七・八〇	九九・〇〇	一〇八・一九
大日本麥酒	五〇	三〇・〇	九一・五〇	八六・六〇	八七・九四
日魯漁業	五〇	—	三三・四〇	二四・九〇	二九・八一
鹽水港製糖	五〇	五〇・〇	八二・七〇	六九・九〇	七六・四〇
明治製糖	五〇	六二・四	八二・九〇	七〇・三〇	七五・九七
日清製粉	五〇	三〇・〇	七六・九〇	七三・一〇	七四・九四
人造肥料	五〇	二〇・〇	四六・一〇	四三・一〇	四五・五五
淺野セメント新	—	—	—	—	—
久原鑛業	五〇	八・〇	三四・四〇	二八・五〇	三三・四五
日本石油	五〇	三五・〇	一一三・〇〇	一〇五・一〇	一一一・五五
東京株式新	—	—	—	—	—
十一月					
南満洲鐵道	二〇〇	一〇・〇	一〇五・三〇	一〇四・〇〇	一〇四・一七
日本郵船	五〇	五〇・〇	一五二・九〇	一四一・〇〇	一四七・五〇
北海炭礦	五〇	二〇・〇	六六・一〇	五五・二〇	五六・〇四
東京電燈	五〇	一三・〇	六九・五〇	六七・五〇	六八・三八
鬼怒川水電	五〇	八・〇	四九・四〇	四六・七〇	四八・一五
王子製紙	五〇	五〇・〇	一〇三・〇〇	九六・六〇	九九・九〇
日本鋼管	五〇	—	二六・一〇	二二・七〇	二四・四七
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	二四四・〇〇	二三三・〇〇	二三〇・四〇
東洋紡績	五〇	六〇・〇	一三〇・〇〇	一二〇・〇〇	一二五・一〇
大日本麥酒	五〇	三〇・〇	九二・九〇	九〇・五〇	九一・八六
日魯漁業	五〇	—	二八・五〇	二三・〇〇	二六・四一
鹽水港製糖	五〇	五〇・〇	九二・四〇	七九・〇〇	八三・六五
明治製糖	五〇	六二・四	九〇・〇〇	七七・九〇	八〇・三四
日清製粉	五〇	五〇・〇	九九・九〇	七六・〇〇	八〇・六五
人造肥料	五〇	二〇・〇	五一・五〇	四四・四〇	四七・四〇
淺野セメント新	—	—	—	—	—
久原鑛業	五〇	八・〇	四六・〇〇	三五・九〇	四〇・一三
日本石油	五〇	三五・〇	一五九・〇〇	一三六・六〇	一四五・八五
東京株式新	二二・五	一五・五六	七八・五〇	七一・五〇	七五・一三
十二月					
南満洲鐵道	二〇〇	一〇・〇	一〇四・五〇	一〇三・三〇	一〇三・〇一
日本郵船	五〇	五〇・〇	一四一・〇〇	一三五・七〇	一三八・一四
北海炭礦	五〇	二〇・〇	六六・〇〇	五八・九〇	六〇・〇六
東京電燈	五〇	一四・〇	七五・〇〇	六七・一〇	六九・三五
鬼怒川水電	五〇	八・〇	五二・〇〇	四五・〇〇	四六・〇五
王子製紙	五〇	二五・〇	九五・三〇	九〇・〇〇	九一・三三
日本鋼管	五〇	—	二五・六〇	一七・九〇	二一・三五
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	二三五・〇〇	二三五・〇〇	二三〇・九五
東洋紡績	五〇	五〇・〇	一一四・〇〇	一一〇・九〇	一一三・四五
大日本麥酒	五〇	三〇・〇	九七・五〇	九一・八〇	九三・四四
日魯漁業	五〇	—	二五・八〇	二三・二〇	二四・〇一
鹽水港製糖	五〇	五〇・〇	八二・九〇	七八・七〇	八〇・五五
明治製糖	五〇	六二・四	八二・五〇	七七・〇〇	七九・五四
日清製粉	五〇	三〇・〇	七九・〇〇	七五・一〇	七七・八七
人造肥料	五〇	二〇・〇	四六・六〇	四四・六〇	四五・一八
淺野セメント新	—	—	—	—	—
久原鑛業	五〇	八・〇	四五・三〇	三八・五〇	四一・〇五
日本石油	五〇	三五・〇	一五三・五〇	一四五・一〇	一四八・三六
東京株式新	二二・五	七・七	七五・八〇	七〇・四〇	七三・七七

東京米穀取引所定期相場

一月	一月限 圓	二月限 圓	三月限 圓
最高	五一・九九	五一・七九	五一・九八
最低	四八・一一	四七・九九	四七・八〇
平均	五一・四八	五〇・四八	五〇・六〇
二月	二月限	三月限	四月限
最高	五一・六八	五三・〇〇	五一・九三
最低	四八・四〇	四八・二〇	四七・九四
平均	五〇・〇九	五一・一三	五〇・〇一
三月	三月限	四月限	五月限
最高	五一・九五	五三・五三	五三・六九
最低	四六・二二	四六・五〇	四六・三〇
平均	四九・九一	五〇・〇〇	四九・九三
四月	四月限	五月限	六月限
最高	四七・八五	四七・四九	四七・〇〇
最低	四〇・〇〇	三七・九九	三七・五一
平均	四四・二七	四二・八六	四二・二三
五月	五月限	六月限	七月限
最高	四三・九九	四三・五〇	四二・四九
最低	三九・五一	三八・〇〇	三六・八〇
平均	四二・〇六	四一・三〇	四〇・三六
六月	六月限	七月限	八月限
最高	三九・七九	三八・三九	三八・四九
最低	三〇・一〇	二八・三三	二六・五九
平均	三五・一〇	三四・八四	三一・七一
七月	七月限	八月限	九月限
最高	四一・二〇	三八・六四	三六・三九
最低	三四・一三	三三・三〇	三一・三九
平均	三七・四六	三五・三〇	三三・七〇
八月	八月限	九月限	十月限
最高	四〇・三〇	三六・六九	三四・八〇
最低	三六・二〇	三三・八一	三一・九〇
平均	三八・八〇	三五・七七	三三・三七
九月	九月限	十月限	十一月限
最高	三五・八〇	二七・九〇	三〇・一九
最低	三三・七九	二六・三〇	二八・九五
平均	三〇・七五	二四・五一	二六・九七
十月	十月限	十一月限	十二月限
最高	三一・〇〇	二七・六〇	二八・四九
最低	二六・九〇	二五・一〇	二六・〇九
平均	二九・四六	二六・三三	二七・五四
十一月	十一月限	十二月限	一月限
最高	二七・三九	二七・八九	二七・一九
最低	二五・六〇	二六・一六	二五・三一
平均	二六・四一	二七・一一	二六・一六
十二月	十二月限	一月限	二月限
最高	二六・一九	二七・八三	二八・三一
最低	二三・二六	二三・三〇	二三・四八
平均	二四・六八	二五・二六	二五・五八

東京卸賣物價指數
（明治三十三年十月――一〇〇）

	總平均指數	前年同月
一月	三九八・〇〇	二七七・七三
二月	四一四・五九	二七五・九三

三　月	四二五・二五	二六七・五一
四　月	三九七・二五	二六七・九四
五　月	三五九・七〇	二七八・一六
六　月	三二七・六八	二九五・四二
七　月	三一六・六三	三一九・七三
八　月	三一一・〇四	三二四・六一
九　月	三〇四・九六	三三二・八八
十　月	二九八・四五	三五二・一四
十一月	二九二・七三	三七〇・一六
十二月	二七一・九八	三八三・二九

大正十年（西暦一九二一年 紀元二五八一年）

【一　月】

三　日（月）

◇米國の住宅拂底・不足額二十五萬戸
華盛頓商業會議所の調査によれば、米國に於ける住宅不足數は百二十五萬戸以上で、滿足なる住宅を得ざるもの四百餘萬人に達した原因は戰爭のため新築を休止したためである

四　日（火）

◇村井吉兵衞、左脚を切斷
村井吉兵衞は流行性感冒に罹つたのが原因で左脚全部が麻痺し、佐藤三吉博士の手術で左脚大腿部から切斷した

六　日（木）

◇新潟・岡山兩醫專、大學に昇格
新潟、岡山兩醫專は醫科大學に昇格した

七　日（金）

◇國有林野現業員共濟組合規則の改正
農商務省令を以て同改正規則が公布された

八　日（土）

◇東京瓦斯罷業事件で原運延次郎收監
東京瓦斯疑獄事件で東京市會議員辰澤延次郎は東京監獄に收監された。石渡東京瓦斯會社々長は辰澤延次郎の實兄である

九　日（日）

◇紡績界の重鎭日比谷平左衞門死去
日比谷平左衞門は本日死去した。享年七十四。新潟出身、十三才の時上京して棉花商松本屋の丁稚となり、その後奇才を認められ支配人に昇り、獨立して日比谷商店を開店、後東京瓦斯紡績會社を創立して日比谷商店を閉店、後鐘淵紡績會社々長、東京毛織會社相談役、九州水力電氣會社々長等に就任し、我が紡績界の巨頭であつた

十　日（月）

◇朝鮮紡織社債二百萬圓發行
同社は臨時總會に於て朝鮮銀行引受の下に左の條件を以て社債二百萬圓を發行に決定
▽利率年八分▽發行價格九十六圓▽償還期限一年据置後三ヶ年內

◇東京瓦斯會社の創立
名流縉紳人によつて計畫中なりし東京瓦斯會社は資本金三十萬圓を以て設立され、本日創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役兼悅孝子（專務）、小山富子（常務）

十一日（火）

◇大野銀行の休業繼續
休業中の同行は本日より更に三週間休業繼續を發表した

◇國際勞働會議日本代表の任命
本年四月ゼネバに於て開催の第三回國際勞働會議に出席する政府代表、資本家代表及び勞働代表は左の如く任命された
▽政府側代表前農商務次官犬塚勝太郎、前跡見季子、吉岡彌生、戶板せき、竹內茂代
▽資本家側代表拓植あい子▽鑑査役岡田德す、長谷川仲子
▽勞働側代表山脇房子▽相談役星野錫、堀田義一、三輪田元道、宮田修、下田歌子

◇三菱電機會社の創立
三菱造船所は神戶造船所の電機製作部を分離し、資本金一千五百萬圓を以て三菱電機會社を創立し、創立總會に於て左の役員を選任した
▽取締役武田秀雄（社長）、川井源八（常務）
木村久藏彌太、菊地幹二郎▽鑑査役青木菊雄、永原伸雄

◇瓦斯罷業進展、斯波厚收監さる
元東京市會議員斯波厚は東京瓦斯疑獄事件に連座して東京監獄に收監された

十一日（火）

◇大野銀行の休業繼續
休業中の同行は本日より更に三週間休業繼續を發表した

◇國際勞働會議日本代表の任命
本年四月ゼネバに於て開催の第三回國際勞働會議に出席する政府代表、資本家代表及び勞働代表は左の如く任命された
▽政府側代表前農商務次官犬塚勝太郎、前

農務局長道家齊▽資本家代表柄木縣地主田村律之助▽勞働代表松本圭一
十二日（水）
◇鐵員貯蓄銀行の創立
資本金五十萬圓を以て設立された同行は創立總會を開き、左の役員を選任した
▽頭取　鈴木喜左衞門▽專務取締役　金子彌四郎▽常務取締役　星野種一郎、山本龜次郎▽取締役　今井今助、千明新藏、小林光三郎、吉野和三郎、加藤善平、今井佐市▽監査役　桑原三之助、宮田留吉、中村門作、片野仙人
十三日（木）
◇社會事業調査會官制公布さる
此會事業調査會官制は本日官報を以て公布された
◇函館造船職工の罷業
函館造船會社職工四百名は從來日給二圓八十錢のところ前年十二月より二圓三十錢に引下げられ、その復舊方を要求したが拒絶されたため罷業を行つた
◇元帥伊集院五郎死去
元帥海軍大將正二位勳一等功一級男爵伊集院五郎は本日死去した。享年七十。薩藩兒島士伊集院才之丞の長男に生れ、明治四年海軍兵學寮幼年學舍に入り明治二十二年海軍少佐に任官、爾來累進して日露戰役當時海軍令部次長として樞機に參劃し、その功により明治四十年勳一等功一級を賜り男爵を授けられた。同年軍令部長となり、明治四十三年大將に昇進、大正六年元帥府に列せられて今日に至つた
十五日（土）
◇大藏省證券二千圓萬發行
製鐵所據置運轉資金補充のため大藏省證券二千萬圓を左の條件で發行した
▽割引歩合日歩一錢六厘▽支拂日大正十年七月十五日
◇東株現物市場開市
東京株式取引所現物組合は本日より新市場を開市し、取引に關する方法は從前通り行ひ決濟方法も依然帝國證券信託會社に於て特殊物件のみを取扱ふことゝなつた
◇農工鈔書銀行の休業繼續
休業中の同行は更に三月十日迄休業を發表した
十六日（日）
◇三菱造船、修繕職工に無期休業を通告
三菱造船所は財界恐慌のため修繕工その他二百五十餘名に對し本日より無期休業を申渡し、休業中當分の間日給の七割五分を支給す旨發表した
◇瓦斯騷擾で安倍、松山兩市議收監
東京市會議員安倍佐太郎、松山傳十郎の兩名は東京瓦斯疑獄事件に連座して東京監獄に收監された
十九日（水）
◇東京府の平和博覽會繼續可決さる
東京府の大正十年度、十一年度に亘る平和記念博覽會豫算六百萬圓は府參事會に於て可決された
◇浦鹽入港船に碎氷稅を賦課
從來露國政府に於て負擔した浦鹽港碎氷の費用は革命後負擔不可能となつたので、浦鹽商工務局は左の如く發表した
一、一月二十一日より浦鹽入港の全船舶に對し一噸につき金コペック三十コペックを碎氷稅として徵收すること
一、日本國旗の下にある全船舶は日本軍運輸部より提供する三千五百噸の石炭を代償とし本碎氷稅を免除すること
一、本碎氷稅は三月三十一日までの期間の

み課稅すること
二十日（木）
◇五分利國庫債券一千萬圓發行
鐵道の建設及び改良費に充當する國庫債券一千萬圓は左の條件で發行された
▽利率年五分▽價格九十三圓五十錢▽償還大正十四年六月一日迄
二十一日（金）
◇滿洲里に特務機關設置
滿洲里に特務機關設置され、浦鹽派遣軍參謀部佐田少佐が特務機關長に任命された
◇百二十五銀行の休業
代議士高橋辰二を頭取とする米澤市の同行（資本金五十萬圓）は前頭取鷹野源五郎に對し保管金引渡請求の訴訟を提起したため、市民は業績に疑惑を生じ今朝來預金引出者殺到し、翌日に至るも取付が續行したので、二十日より向ふ一ケ月間の休業を發表した
◇繼續に暴動勃發す
埃地利の首府維納に暴動起り、暴徒は暴利を貪る商人を威嚇して市外に逃亡せしめ、政府に對し生活必需品價格引下げを要求した
二十二日（日）
◇衆議院議員豐島與志雄議員辭職願を提出
無所屬俱樂部中野正剛は左の決議案を衆議院に提出した
衆議院議長は須く黨籍を離脫すべし
理由——議院の職權は帝國議會の體面に關し延ては法律の權威を損す。從來の經驗に徵するに議院の治まらざるは原因種々あらんも、要は議長に信用なきためである。現議長の態度足らざるに非ずして、政黨に屬するの故を以て偏頗の疑あるがためである故に議院の體面を保たんと欲せば、議長を超然の地位に立たしめざるべからず
二十四日（月）
◇豐山銀行、橫濱實業銀行を合併
豐山銀行は株主總會に於て橫濱實業銀行を合併し現在の資本金五百萬圓を六百萬圓に增資し同時に辛酉銀行と改稱する件を可決し、更に重役の改選を行ひ、頭取に金子元三郎、專務取締役に船津貞三、取締役支配人に富永種興が選任された
◇瓦斯騷擾の淺川保平收監さる
東京瓦斯疑獄事件に連座し起訴された東京市會議員淺川保平は逃亡行方不明であつたが本日逮捕され東京監獄に收監された
二十五日（火）
◇伊勢電鐵社債二百五十萬圓發行
伊勢電氣鐵道會社は左の條件で社債二百五十萬圓を發行した
▽利率年九分▽發行價格九十七圓五十錢▽償還期限一ケ年据置後一ケ年以內
◇東京一流銀行の當座貸越利下
三井、三菱、第一、十五の各銀行は從來の當座貸越日歩二錢九厘以上を、二厘方引下げ二錢七厘以上に改定し、本日より實施した
◇中武銀行、共榮銀行を合併
埼玉縣平方村の中武銀行（資本金五十萬圓）は臨時總會に於て同縣植木村の共榮銀行（資本金三萬圓）を合併することに決定した
二十六日（水）
◇瓦斯値上調査委員長棚橋一郎收監
東京市會議員、東京瓦斯値上調査委員長棚橋一郎は、瓦斯疑獄事件に連座し本日收賄罪で起訴され東京監獄に收監された
二十九日（土）
◇日支軍事協定廢止に關する公表
大正七年五月北京に於て、日支兩國陸海軍各委員間に協定調印せられた日支共同防敵軍事協定は、兩國最高統帥部に於て兩國共同防

敵の必要消滅したるにつき同協定を廢止するに決した旨外務省より公表された

◇パウルーに領事館設置

ブラジル國サンパウロ州パウルーに帝國領事館を設置し本日開館した

◇満鐵社債二千五百萬圓發行

南滿洲鐵道會社は社債二千五百萬圓を左の條件で發行した

▽價格九十六圓▽利率年七分▽償還期限一年据置四箇年以內

三十日（日）

◇横濱競馬場の火災と火保關約高

横濱の鳥屋吳服店地下室より發火、新館三階建及び舊館二階建の店舗と土藏一棟を全燒した。損害百六十萬圓（內商品八、九十萬圓）保險は東京、共同、帝國海上、東神外六社に七十萬圓の契約があつた

三十一日（月）

◇臨時治水調査會官制の公布

本日勅令を以て臨時治水調査會官制が公布された

◇満鐵の不正、議會で問題となる

本日の衆議院豫算總會に於て憲政會早速整爾は、満鐵が東洋炭礦會社所有の搭嘘炭礦を時價百萬圓のものを二百二十萬圓の高値で買收した理由及び満鐵の姉妹會社たる大連汽船會社が川中商會と六千噸の汽船買買契約をなしたに拘らず、その契約を廢棄し二十萬圓の賠償金を支出してまで內田汽船より八千五百噸の鳳山丸を買收した理由と、鳳山丸の買收價格二百七十六萬五千圓（噸當り三百二十五圓）は當時同型の汽船が噸當り二百八十圓で賣買された事實があり、斯く高價に買入れた理由を訊し、更に當時事業不振の日本電氣化學工業會社を二百五十萬圓の高價で買收したるは不當なりと、野田逓相、山縣關東長官等の監督責任問題について質問を行つた

◇鐘山電氣社債三百五十萬圓發行

同社は社債三百五十萬圓を左の條件で發行した

▽利率年八分▽發行價格九十八圓▽償還期限二年据置後一箇年以內

◇東京瓦斯元社長久米眞作收監さる

東京瓦斯疑獄事件に連座した元東京瓦斯社長久米良作は東京監獄に收監された

◇瓦斯關係事件で山口憲收監

東京瓦斯疑獄事件に連座した東京市會議員山口憲は東京監獄に收監された

◇中京財界の元老奥田正香死去

名古屋電燈前社長奥田正香は本日死去した享年七十五。名古屋出身、明治初年芝增上寺の僧となり後元俗して名古屋に於て味噌醬油の販賣をなし、その後尾張紡績會社々長、名古屋商業會議所會頭、名古屋株式取引所理事長、日本車輛會社長等に歷任し、更に名古屋電燈、東邦瓦斯、豐橋瓦斯、一宮瓦斯各社長の地位を占め中京財界の巨頭であつた

【二　月】

一日（火）

◇下關貿易銀行の創立

同行（資本金二百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役見目清八頭取）、高畠式（副頭取）、矢口長右衛門、宇津權右衛門、鈴木良一、加藤正信、小川源次郎、青木仁平、金子正臣、平石六郎、藤田和三郎▽監査役宇都宮藏、福富已之三郎、森與八郎

◇臺銀還行の休業

高知市の同行（資本金五十萬圓內十三萬二千五百圓拂込）は本日より向ふ二週間臨時休業を發表した

◇佛國勞働總同盟、解散を命ぜらる

ジューオーを首領に頂く佛國勞働總同盟はボルシエビキと聯絡關係ありとの理由を以て解散を命ぜられた

◇獨逸、賠償條件を拒絶

獨逸政府は聯合國最高會議に於て決定した賠償條件を拒絶し、新に獨逸側より對案を提出することに決定した。但し軍備廢止は實行することを誓約した

◇鈴木富士彌、登廳に附さる

一月二十六日の衆議院本會議に於ける質問演說に際し「二枚舌を使ふ中橋文相あり」との辭句を用ひた憲政會の鈴木富士彌代議士に對し、決戰投票により五日間の議會出席停止の懲罰動議が成立した

二日（水）

◇大阪の岩田商事、破産を申請さる

岩田商事會社は合同、東洋、鐘淵、大日本の紡績四社に對する債合金支拂問題に關し內狀を暴露し、債合金不調を名として合同五萬六千圓、東洋二十八萬八千圓、大日本十八萬錢紡三萬一千圓の各手形支拂を拒絶するに至つたため、四社は本日大阪地方裁判所に破産を申請した。因みに岩田商事の總債務は一千萬圓以上に達した

◇大阪鐵工所の職工大量解雇

大阪鐵工所は事業不振により職工八百九十三名を解雇し、退金として總額十二萬圓を支給した

三日（木）

◇普選案否決さる

憲政會及び國民黨提出の普通選舉法案は衆議院本會議に於て否決された

◇朝鮮特殊財產管理令の公布

內務省令を以て朝鮮特殊財產管理令が公布された

◇臨前高工學生、總退學を決行

東京高等工業學校の昇格問題より同校學生九百名は退學届を提出したので、學校側は取敢えず二日間の休校を掲示した

四日（金）

◇憲政會、尾崎・田川兩代議士を除名

憲政會は三日衆議院本會議に上程せる普選舉法案に對し黨員尾崎行雄、田川大吉郎兩君の採りたる態度は黨議を無視し、黨紀を紊すものなりとして除名處分に附した

◇羽田圖拳會社の創立

同社（資本金萬百圓）は本日創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役羽田伊之助（社長）、瀧田善藏（常務）、羽田昇、羽田義雄、羽田正治▽監査役羽田一雄

五日（土）

◇旭石油會社の創立

同社（資本金七十五萬圓）は創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役瀨島猪之亟（社長）、皆川廣量（副社長）、賀田金三郎、得能通夫、島田新助、岩出惣三、奥田友三郎、貴島辰雄▽監査役鈴木錠藏、岩瀨林造、鍵富武四郎、富岡俊次郎

六日（日）

◇全國肥料聯合會の協定價設決定

全國肥料組合聯合會は各社販賣肥料價格を左の如く決定、卽日實行に決した

▽二〇%物七貫五百目入一圓六十錢▽一六%物十貫入一圓八十錢

◇東京樂天地の創立總會無効訴訟

大正九年十二月資本金三百萬圓を以て創立された株式會社東京樂天地の株主岩井新太郎は、同社が通知後二週間を經過せずして創立總會を開催したること、發起人が完全なる拂

込を爲さざること、裁判所に提出せる創立總會決議書が事實と相違せることの三點を理由として東京區裁判所に創立總會無効の訴訟を提起した

七　日（月）

◇鳥羽造船所、職工一千名を解雇

神戸鈴木商店の經營に係る三重縣鳥羽町の帝國汽船會社鳥羽造船所は財界不況の影響を受け鈴木商店經營の神戸製鋼所と合併することに決し、全職工の半數一千名を解雇した

◇播磨造船、職工一千名を解雇

神戸鈴木商店經營の播磨造船會社は神戸製鋼所に合併することに決定したため職工五千名の中一千名に解雇を申渡し、解雇手當として勤續六ヶ月の者に對し日給二十三日分、一ヶ年三十七日分、二ヶ年五十三日分、三ヶ年九十日分、四ヶ年九十八日分、四ヶ年九十日分を支給した

九　日（水）

◇ハバナに領事館設置

玖馬國ハバナに帝國領事館を設置し本日開館した

◇日本郵船社長近藤廉平は本日死去

日本郵船會社々長男爵近藤廉平は本日死去した。享年七十四。德島縣の出身で慶應義塾卒業と共に日本郵船に入り累進して副社長となり、明治二十七年日清戰爭の際吉川社長を補佐して大いに軍需輸送に盡したる功に依り動四等に叙せられ、後社長となり、日露戰役に際し軍需輸送に盡した事と海運界に對する多年の功に依り四十年勳二等に陞叙、男爵を授けられた

◇村田銃の發明者村田經芳死去

村田銃發明者たる貴族院議員陸軍少將男爵村田經芳は本日死去した。享年八十四。薩藩兒島落士村田清齊の長男で、明治二年陸軍大尉に任ぜられ、爾後累進して明治二十二年少將に進級と共に豫備役となり、同年九月貴族院議員に勳選せられ、明治二十九年男爵を授けられた

十　日（木）

◇軍備制限決議案否決さる

尾崎行雄提出の軍備制限決議案は衆議院本會議に於て否決された

◇議會開院式

東京高等工業學校學生、全部復校す

東京高等工業學校昇格問題より總退校届を提出して休校中の同校學生九百名は、學校當局其他の慰撫により本日學生大會を開き全部復校することに決した

十四日（月）

◇東京瓦斯罷役盡く遡及召喚さる

東京瓦斯罷役事件に關し同社重役にして牛込區會議長たる渡邊朝は東京地方裁判所に召喚取調を受けた

十五日（火）

◇皇太子殿下の御渡歐御決定

本日宮内省告示を以て、皇太子裕仁親王殿下には三月三日御出發、海外御巡遊あらせらるゝ旨公布された

◇閑院宮殿下御歸朝御伴らる

皇太子殿下海外御巡遊につき閑院宮載仁親王殿下に對し隨伴仰付けらるゝ旨御沙汰あらせられたる趣き發表があつた

◇東宮御渡歐供奉員任命さる

東宮御渡歐の供奉員は左の如く任命された旨發表された

御用掛伯爵珍田捨己、東宮武官長奈良武次
宮内省御用掛三浦謹之助、東宮侍從長子爵入江爲守、侍從子爵土屋正直、式部官西園寺八郎、東宮御用掛山本信次郎、東宮主事戸田氏秀、侍從伯爵亀井玆常、侍醫高田壽外務書記官澤田節藏、東宮武官及川古志郎

同濱田豐城、宮内書記官二荒芳德

◇東都府農工銀行五百萬圓に增資

同行は臨時總會に於て現資本金三百萬圓を五百萬圓に增資と決定した

十六日（水）

◇東宮御渡歐遣艦費、滿場一致可決

東宮御渡歐に要する軍艦派遣費四百四十二萬圓は衆議院豫算總會に於て滿場一致原案を可決した

◇內閣不信任案、衆議院に提出

憲政會、國民黨、無所屬俱樂部三派共同の左の內閣不信任案が衆議院に提出された

▽決議案、衆議院は現內閣を信任せず右決議す

▽理由、現內閣成立以來內外の政策一定せず萬般の施設只眼前を糊塗するに過ぎず、外交は常に機宜を失し帝國の威信を損し、內政は紊莽放漫にして、經濟財政の紊亂を招き、國內の大勢に逆行し普通選擧を阻止し民心動搖して思想の變化測る可からず。甚しきは輔弼の重臣、君命に緘口して自己の責任を逃れ、公約を無視して天下の物議を招き、若し夫れ巧利の徒貪婪比周し國家の公器を亂用して一黨一派の私利を謀るに汲々たるに至つては綱紀の殲廢政界の墮落今日より甚しきはなし。明臣たるもの宜しく反省して速に處決する所あるべし

◇臨時國庫證券一億圓借換發行

政府は本日滿期の臨時國庫證券一億圓を日歩一錢七厘、償還期限一ヶ年の條件で借替發行した

◇神戸製鋼所、二社を買收

資本金一千萬圓の神戸製鋼所は同系統の播磨造船所及び鳥羽電機製作所を買收、倍額增資して資本金二千萬圓となつた

十八日（金）

◇全國基督教信徒合同聯合會の創立

全國基督教信徒の聯絡と實業の健全なる發達を期する目的を以て全國實業家組合聯合會を組織することとなり、その創立總會を東京に於て開催し、左の役員を選任した

▽副會長吉池慶正▽理事濱黑幸一（長野）、吉村源太郎（同上）、古屋清太郎（群馬）、佐藤三郎兵衛（山梨）、菅山野長右衛門（鳥取）、澁澤治太郎（埼玉）、大參茂市（愛知）、加藤知正（靜岡）、小池市松（島根）

◇訪歐聯合會、操短を決議

大日本紡績聯合會は操業短縮問題につき左の決議をなした

一、操業短縮を本年六月十五日以降更に六ヶ月間繼續實行すること。但し最初の三ヶ月間は現行の儘實行し、次の三ヶ月間は昨年八月五日の決議に依る一割操短を解除し其他の部分を實行すること

二、操業短縮は前記期間を以て終了すること

三、操業短縮終了後率盧勞働會議に於て決定せる深夜業就業を撤廢すべき期間に於ける操業は、右廢止に對する準備に關し別に委員を設けて研究すること

十九日（土）

◇內閣不信任案否決さる

憲政會、國民黨、無所屬俱樂部の三派共同提案の內閣不信任決議案は衆議院本會議に於て、賛成一四一票、反對二五九票、百十八票の差を以て否決された

◇富內大臣の更迭

宮內大臣中村雄次郎は某重大事件に關して引責辭職し、子爵牧野伸顯が後任宮相に親任された

◇日、比間便爲替交換約定を公布

日本帝國及び比律賓群島間郵便爲替交換約

定全文は本日官報を以て公布された

二十一日（月）

◇議員に懲罰議決
佛領印度支那西貢に帝國領事館を設置し本日開館した

二十二日（火）

◇鐘本工業の泊居バルブ工場燒失
鐘本工業會社の泊居バルブ工場より午前一時發火、事務室及び倉庫の一部を除き全燒した。保險は早川商會及び東邦火災の仲介により内外保險會社に總額百二十六萬八千圓の契約があつた

二十三日（水）

◇東商各銀行の預金利下決定
東西預金協定幹事銀行代表者會を東京銀行集會所に於て開催し、預金利下げにつき協議の結果左の新協定率を決定し、三月一日より實施することに決定した（括弧内上は甲種、下は乙種）

▽定期預金（五分七厘——六分二厘）▽當座及内國爲替預金（七厘——八厘）▽特別當座又は小口及貯蓄預金（日歩一錢一厘——一錢三厘）▽通知預金（一錢二厘——一錢三厘）▽別段預金、雜預金及地方銀行コールマネー（一錢二厘——一錢三厘）

二十四日（木）

◇五分利國庫債券七千萬圓發行
臨時軍事費支辨のため五分利國庫債券七千萬圓が左の條件で發行された

▽發行價格九十三圓五十錢▽償還期限大正十六年六月迄

◇日本郵船の正副社長決定
同社は社長近藤廉平死去により後任社長決定のため取締役會を開き、副社長伊東米治郎を社長に、取締役兼主計部長永富雄吉を副社長に互選した

二十五日（金）

◇大同電力社債一千五百萬圓發行
同社は臨時總會に於て社債一千五百萬圓を左の條件で募集と決定した

▽利率年七分五厘以内▽償還方法二ヶ年半以内据置後一ヶ年半に毎半期二百五十萬圓以上償還

◇東洋拓殖社債一千萬圓發行
同社は社債一千萬圓を左の條件で三十四、日本信託の兩銀行引受けの下に發行した

▽發行價格九十七圓▽利率年七分五厘▽償還方法二年据置以後三ケ年に償還

◇石川島造船所社債三百萬圓發行
同社は臨時總會に於て興業銀行、第一銀行引受の下に利率年八分で社債三百萬圓發行の件を可決した

◇東都商工貯金銀行の借額增資
同行は臨時總會に於て現資本金五十萬圓を百萬圓に增資を決議した

◇二見銀行五十萬圓に增資
兵庫縣二見町の同行は臨時總會に於て現資本金二十萬圓を五十萬圓に增資を決議した

◇東洋汽船重役原鉾三收監さる
東洋汽船會社取締役原鉾三は曩に横濱監獄に收監された前横濱稅關港務部長八戸厚一郎に對し贈賄した廉で横濱監獄に收監された

◇元久原本店總理事小池張造死去
元久原本店總理事小池張造は本日死去した享年四十九。茨城縣出身、東京帝大卒業と共に外務省に入り、總領事、大使館參事官を經て外務省政務局長に擧げられ、退官と共に久原本店總理事兼東亞興業取締役となつた

二十八日（月）

◇東京瓦斯の連累者早川庄太郎收監
東京市會議員早川庄太郎は東京瓦斯疑獄事件に連座し東京監獄に收監された

【三月】

一日（火）

◇横濱電車の市營許可
認可申請中の横濱電車市營案に對し認可の指令が下附された

二日（水）

◇船主協會々長・理事長決定
日本船主協會は理事會を開催し、理事長に伊東日本郵船社長を推薦し、會長に大阪商船社長堀啓次郎を互選した

◇大崎商業銀行の臨時休業
廣島縣豐田郡木入江町の同行（資本金五十萬圓、四分の一拂込）は大戰中造船業者へ融資してゐたが、大戰終了と共に業界不振の結果回收不能となつたので帳簿整理を名として本日より向ふ二週間の臨時休業を發表した

◇瓦斯疑獄で岩倉兩議收監さる
東京瓦斯疑獄事件で東京市會議員岩松彙經は東京監獄に收監された

三日（木）

◇東宮殿下横濱港御發
皇太子裕仁親王殿下に於かせられては閑院宮殿下を始め奉り供奉員を隨へさせられ、横濱港より軍艦香取に御乘艦、海外御巡遊の途に就かせられた

◇住友總本店の改組
住友總本店は資本金一億五千萬圓の住友合資會社に組織を變更し、業務執行社員に住友吉左衞門、鈴木馬左也、住友忠輔、中田錦吉、湯川寬吉が就任、會社代表社員に住友吉左衞門、總理事に鈴木馬左也が就任した

四日（金）

◇淺野總一郎、證人として喚問さる
東洋汽船會社々長淺野總一郎は、横濱稅關及び港務部疑獄事件に連座收監中の矢部港務部長及び同社取締役原鉾三に關する證人として横濱地方裁判所に喚問された

六日（日）

◇滿鐵正副社長背任罪で告訴さる
滿鐵の株主櫛部莞雄、古島義英、安東正臣は滿鐵社長野村龍太郎、副社長中西清一を背任罪として東京地方裁判所に告訴した。理由は、滿鐵が實際價格七十萬圓内外の塔連炭礦を東洋炭礦會社專務政友會代議士森恪から二百二十萬圓で買收し、その利益差金を政友會に多大の損害を與へたのは背任であるといふにある

七日（月）

◇大島白楊鐵道社長收監さる
福島縣白楊鐵道會社々長大島要三は同鐵道會社に組織を變更し、業務執行社員に住友吉左衞門、鈴木馬左也、住友忠輔、中田錦吉、湯川寬吉が就任、會社代表社員に住友吉左衞門、總理事に鈴木馬左也が就任した

◇戸野前東京市助役取調を受く
東京瓦斯疑獄事件について前東京市助役戸野周二郎は東京地方裁判所檢事局に召喚取調を受けた

八日（火）

◇野田醬油專務茂木佐平次收監
横濱稅關疑獄事件に關して同地方裁判所檢事局に召喚された野田醬油會社專務取締役茂木佐平次は横濱監獄に收監された

九日（水）

◇憲政朝鮮總督彈劾決議案否決さる
憲政會代議士小山松壽が提出した齋藤朝鮮總督の朝鮮統治に關する彈劾決議案は衆議院本會議に於て否決された

◇中樞文相問責決議案貴院に提出
貴族院幸三派及び無所屬團並に他派に屬する硬派議員より左の中樞問責決議案が貴族院に提出された

近時文部當局の言動に因り教育界の風紀弛

慨を致し、延いて一般の道徳に悪影響を及ぼすに至りたるは邦家のため憂慮に堪えず政府はその責任を明かにし風紀を肅すべきものと認む

十　日（木）

◇大日本人造肥料社債五百萬圓發行
同社は三井銀行引受により社債五百萬圓を左の條件で發行した
▽利率年七分▽發行價格九十六圓▽償還方法大正十一年四月二十日迄據置以後隨時償還し大正十四年四月二十日迄に完濟

◇目黒蒲田電鐵五百萬圓に增資
目黒蒲田電鐵會社は臨時總會を開き現資本金三百五十萬圓を五百萬圓に增資と決定した

◇山田童死刑の判決確定
鈴木辨藏殺害犯人山田童の上告判決は大審院に於て上告棄却され、第一、二審通り死刑の判決が確定した

◇露國反革命軍、露都を占領
露國反革命軍は二個所の停車場を除く露都ペトログラード全市を占領した

十一日（金）

◇中橋文相問責決議案否決さる
貴族院幸三派より提出の中橋文相問責決議案は本日貴族院本會議に於て賛成百二十六票に對し反對百六十四票で三十八票の差を以て否決された

◇瓜生東洋汽船重役召喚さる
横濱稅關疑獄事件に關聯して東洋汽船會社重役瓜生治は橫濱地方裁判所檢事局に召喚取調を受けた

十二日（土）

◇滿鐵紊亂の問責決議案提出さる
憲政會、國民黨は無所屬議員の賛成を得て左の決議案を衆議院に提出した
南滿洲鐵道株式會社內部の紊亂に對し政府は監督の任を忘り倍々その情弊を助長し綱紀の覺醒その極に達せり。政府は宜しくその責に任ずべし

◇三浦帝國火藥工業專務收監さる
帝國火藥工業會社專務取締役前代議士三浦逸平は東京瓦斯問題當時、同社取締役として市會議員に贈賄した廉で起訴され本日東京監獄に收監された

十四日（月）

◇郡制廢止法案、衆議院へ提出
政府は、府縣と町村との中間に郡自治體を存置するを要せずと認むるを以て郡制を廢止するの必要あり、との理由で郡制廢止法案を衆議院に提出した

十五日（火）

◇白木屋吳服店社債三百萬圓發行
同店は第一銀行引受の下に社債三百萬圓を左の條件で發行した
▽利率年八分▽發行價格百圓につき九十八圓▽償還方法二ヶ年據置以後三ヶ年內に隨時償還

◇東信電氣、明治電氣を合併
同社は臨時總會に於て、明治電氣會社（資本金三百五十萬圓、四分の一拂込）を合併し現資本金一千萬圓を一千百萬圓に增資の件を可決した

◇唐岡宇一郎、加藤高明に公開狀
政友會幹事長唐岡宇一郎は憲政會總裁加藤高明に對し非行摘發の公開狀を發送し、その累の黨に及ぶことを慮れ幹事長を辭任した。公開狀の內容は、加藤高明が普選運動を阻止するとの條件で內田信也より五萬圓の寄附を受けた點を非難したものである

◇美國銀行に破產の宣告
支拂停止中の大阪府東成郡中木町の同行（資本金二十萬圓）は預金者より破產を申請され、大阪地方裁判所に於て審理中のところ本日破產を宣告された

十六日（水）

◇床次內相彈劾案否決さる
國民黨代議士佐々木安五郎が提出した床次內相彈劾決議案は、衆議院本會議に於て否決された

◇服部時計店支配人收監さる
橫濱稅關及び港務部疑獄事件に連座した東京銀座の服部時計店支配人伊藤章次郎は贈賄罪として橫濱監獄に收監された

◇淺沼寫眞器店主收監さる
橫濱稅關疑獄事件に關聯し寫眞器輸出入商淺沼商店主淺沼藤吉は贈賄罪で橫濱監獄に收監された

◇英佛通商協定の成立
本日英佛通商協定が調印された

十七日（木）

◇滿鐵に關する政府問責決議案否決
衆議院本會議に憲政會及び國民黨の提出せる滿鐵の紊亂に關する政府問責決議案が上程されたが、百二十六票の差を以て否決された

◇內閣打倒國民大會の決議
憲政會主催にて內閣打倒國民大會を東京赤坂山王臺に開催し、左の決議を行つた
吾人は大和民族の發展を阻碍し國家の興隆を妨ぐる原內閣倒壞を期す

◇鹽鳥縣銀行協會の設立
同縣の本店銀行三十九行は本日群馬縣銀行協會創立總會を開き、會長に業佳判藏（農工銀行頭取）、副會長に佐藤猶平（下仁田銀行頭取）を推擧した

二十日（日）

◇臺灣電力社債五百萬圓發行
同社は臺灣銀行、日本興業銀行、第一、三井、三菱、十五、三十四各銀行引受の下に社債五百萬圓を左の條件で發行した
▽利率年七分五厘▽發行價格百圓につき九十七圓▽償還方法二ヶ年據置後大正十五年五月一日迄に隨時償還

◇獨逸議會、徵兵制廢止を可決
獨逸議會は本日の本會議に於て徵兵制を廢止し、陸軍兵數十萬人、海兵數一萬五千人となす案を可決した

二十一日（月）

◇羅哈噠派遣軍、要地占領を布告
我が羅哈噠派遣軍は棒太對岸に於ける尼港其の他の要地占領に關する左の要旨の布告文を發表した

布　告　文

日本帝國政府は羅哈噠州內の要地占領に關する昨年の聲明に基き近く尼港「デカストリー」「マゴ」「ソフイスク」等の要地附近に駐兵し民政を施行し以て同地民衆の安寧秩序を維持せんとす。
民衆能くその意を體し各その業務に安じて歸趨する所を誤る勿れ

◇國際平和協會の創立
政界、實業界、宗教界、新聞界の名流六百餘名賛同の下に、國際正義と人道の大義に則り凡ゆる國際間の妄想僻見を一掃し、東西文化の融和と各國の親善を圖り世界平和に貢獻するを以て目的とする國際平和協會を設立することとなり、本日その創立大會を東京帝國ホテルに開催、會長に蜂須賀侯爵が就任した

二十四日（木）

◇國勢調査評議會官制廢止さる
勅令を以て國勢調査評議會官制廢止の旨公布された

◇大藏省證券二千三百五十萬圓發行
政府は鐵道所據置運轉資金補足のため大藏省證券二千三百五十萬圓（內一千五百萬圓は

三月二十四日支拂期日の分債券、八百五十萬圓は新規發行）を左の條件で發行した
▽支拂期日大正十一年三月二十四日▽割引歩合日歩一錢六厘

◇新明製紙會社の設立許可
男爵大倉喜八郎と前吉林督軍孫寶琦と協同で吉林に設立計畫中の新明製紙會社（資本金五百萬圓）は吉林省農商部より設立を許可された

◇島田三郎、憲政會を脫黨す
憲政會代議士島田三郎は同黨總裁加藤高明が內田信也より五萬圓を收受した事件を不快なりとして同黨本部宛脫黨届を提出した
二十五日（金）

◇郡制廢止法案、貴族院を通過
郡制廢止法案は貴族院本會議に於て可決された

◇富士水電社債五百萬圓發行
同社は臨時株主總會に於て芝川發電所建設工事費に充當するため安田銀行引受の下に社債五百萬圓を左記條件で發行と決定した
▽利率年八分▽償還期限四ケ年以內に隨時償還▽發行價格百圓につき九十八圓五十錢

◇日魯漁業、佛系二會社を合併
資本金二千二百萬圓の太平洋炭礦會社は半額に減資して資本金一千百萬圓となつた（日不詳）

◇北海道電燈、二電氣會社を合併
大日本電力の前身たる北海道電燈會社（資本金二千五十八萬五千圓）は十勝水力電氣會社及び北日本電氣會社を合併、百五萬圓を增資して資本金二千百六十三萬五千圓となつた（日不詳）

【四　月】

一　日（金）

◇肥料改良獎勵規則の制定
農商務省令を以て肥料改良獎勵規則を公布即日施行された

◇朝鮮に經濟事務制を實施
勅令を以て朝鮮總督府專賣局官制を公布、本日より施行

◇對支借款團規約、外務當局より發表
外務省は日、英、米、佛の各國銀行團が對支借款の業務を商議實行する目的を以て組織された對支借款團の規約を發表した

◇朝鮮私設鐵道補助法公布
朝鮮私設鐵道補助法公布され、即日施行された

◇五分利國庫證券一千萬圓發行
政府は鐵道の建設及改良費に充當するため五分利國庫證券一千萬圓を發行する旨告示した。發行日は本月十五日、利廻は六分三厘、償還は大正十八年六月一日まで、全國郵便局から賣出す

◇大阪電氣軌道郡山線の一部開通
大阪電氣軌道の西大寺、郡山間三哩五鎖八十が完成した

◇横濱市電の事業開始
横濱電氣鐵道を買收した横濱市は本日より市營電車の事業を開始した

◇大倉商事と川崎造船の裏債問題
大倉商事會社對川崎造船所の擧爭となつた鉄鐵供給契約上の損害要償事件は、法廷を離れて財界有力者に仲裁方を依頼することとなり、大倉側は藤山雷太、川崎側は和田豐治を選定し、更に子爵澁澤榮一を加へて裁定することになつた

◇丹那トンネルの大崩壞
工事中の熱海線丹那隧道の東口から約百五十間奥の煉瓦卷工事の支柱を午後四時四十分取りはづした途端、大音響と共に岩石崩壞し現場に作業中の工夫三十三名は生き埋めとなつた

二　日（土）

◇鈴辨殺し山富の死刑執行
大正八年五月三十一日夜渡邊惣藏と共謀して横濱の米穀商鈴木辨藏を殺害し、山田庄平を加擔せしめてその四肢頭首を切斷しこれをトランクに詰めて信濃川に沈めた鈴辨殺し犯人、元農商務省技師山田憲は午前十時十分東京監獄に於て死刑を執行された

三　日（日）

◇大日本電絲會創立三十年祝賀會
大日本電絲會第十六回總會並に創立三十年祝賀會を午後二時より上野精養軒に於て開催全國各地より當業者約五千名參集、盛會を極めた

四　日（月）

◇米穀法實施さる
曩に議會を通過した米穀法（即日施行）及びこれに伴ふ米穀需給調節特別會計法（大正十年度より施行）が公布された。米穀法は米穀の需給を調節する必要あるとき、政府は米穀の買入、賣却、交換、加工又は貯藏を爲し得と規定し、輸出入及び輸出入稅等も含まれ同社は臨時總會を開き同系統の檢出食品會社（資本金三百十二萬圓）及び勸察加漁業會社（資本金五百萬圓）を合併し、現資本金七百萬圓を一千五百七十萬圓に增資を決議した
二十六日（土）

◇四谷新宿の火災と火保損害高
東京四谷區新宿三丁目より午後八時發火、七百二十四戸を燒失した。火災保險は橫濱八十萬圓、東京四十五萬圓、明治三十萬圓、大阪二十五萬圓、日本二十一萬圓、共同二十萬圓、神戸十五萬圓、千代田八萬五千圓の契約があつた
二十八日（月）

◇新宿の罹災者へ御敎恤金下賜
畏き邊におかせられては東京四谷新宿の火事罹災者に對し御救恤金として五千圓下賜の御沙汰あらせられた

◇山口縣下に海軍燃料廠設置
勅令を以て海軍燃料廠を山口縣都濃郡に設置の旨公布された

◇勝太蓋狐會社の增資
同社は臨時總會に於て現資本金十萬圓を十五萬圓に增資を決議した
二十九日（火）

◇攜帶統一調査會廢止さる
勅令を以て度量衡及工業品規格統一調査會廢止の旨公布された
三十日（水）

◇瓦斯事件で富崎代議士收監さる
代議士、東京市會議員宮崎三之助は東京瓦斯疑獄事件に連座し東京監獄に收監された
三十一日（木）

◇朝鮮總督府專賣局官制の公布
勅令を以て朝鮮總督府專賣局官制が公布された

◇東京市債一千五百萬圓發行
東京市は前年十一月市會に於て決定した市電氣軌道事業費に充當する起債豫定額の內一千五百萬圓を左の條件で發行することに決定した
▽利子年六分▽發行價格九十三圓▽償還方法一年据置以後四年間に償還▽拂込期日大正十年五月二日▽引受銀行日本興業、三井三菱、第一、十五

◇東京市電理事平井直成收監さる
東京市疑獄事件で市電氣局理事兼總務課長平井良成は東京監獄に收監された

◇太平洋炭礦半額に減資

てゐる。又、米穀需給調節特別會計法は特別會計を以て最高二億圓まで證券を發行し得と規定されてゐる

◇關濱鐵出協會の特定運賃率設定陳情

橫濱輸出協會は輸出不振の折柄鐵道貨物運賃に特定率を設けて保護せよと關係當局へ陳情した

五　日（火）

◇宇治川電氣社債五百萬圓發行

宇治川電氣會社は臨時總會を開き社債五百萬圓を左の條件で發行と決定した

▽利率七分▽價格九十七圓五十錢▽償還期大正十四年四月二十日▽引受大阪シンヂケート銀行團

六　日（水）

◇淺草一千二百餘戸を燒く

東京淺草區田町一丁目佛壁中村富右衞門裏手より午前八時三十分出火し、風速十四米の烈風に煽られて燃え擴り、馬道七丁目、象潟町、千束町等を燒失、午後二時漸く鎭火した全燒一千百二十三戸、半燒七十六戸。火災保險は、東京二萬圓、東邦三千五百圓、東神二千圓、共同七千圓、千代田七千圓、豐國一萬圓、日本共立二千圓、明治六千五百圓、帝國一萬三千圓で、保險會社の損害は比較的少いに於て可決された。但し二十日に至り審議未了で握潰しとなつた

七　日（木）

◇足尾銅山に怠業起る

足尾銅山坑夫は團結權承認外七ヶ條の要求をなして怠業に入り、怠業資金七千圓を擧して向ふ四十日間繼續すると聲明した

八　日（金）

◇借地法及借家法公布さる

社會政策的見地より立案制定された借地法（十一ヶ條）及び借家法（十八ヶ條）が本日公布された。地主家主の橫暴を抑へ借地借家人の保護を目的とするものである

◇丹那の生埋工夫十七名救はる

丹那トンネルの生埋工夫を救助すべく鋭意開鑿工事中のところ午後九時に至り埋沒以來八日目にして漸く目的を達し、殘想生存者十九名中十七名を救助、二名は死亡した

◇英國に大罷業起る

英國政府の炭坑管理廢止、補助金撤廢に反對して炭坑夫は罷業を開始したが、その主張を支持して鐵道從業員、運輸勞働者も罷業に參加し、未曾有の大罷業となつた

◇加州に邦人漁業禁止問題起る

排日議員インマンによつて邦人漁業禁止法案が米國加州議會に提出され、本日の委員會

九　日（土）

◇職業紹介法公布さる

議會の協贊を經た職業紹介法（十五ヶ條）が公布された

十　日（日）

◇下野・古河兩銀行の合併

宇都宮市の下野銀行（資本金五百萬圓）と茨城縣古河町の古河銀行（資本金五百萬圓）の兩行は株主總會を開き合併を可決した。合併期日は七月十五日である

◇橫濱市電從業員の罷業

橫濱市電從業員は橫濱電氣鐵道會社の解散手當が少いのを不滿として怠業を開始した

十一日（月）

◇貴金屬の製造禁止さる

國際勞働會議に於ける協定に基き議會の協贊を經た貴金屬製造禁止法（七ヶ條）が公布され、七月一日より施行

◇日本紙器會社の整理案決定

同社は大株主會を開催し、次の如き整理案を可決した

一、調査委員の調査に基き六百萬圓の缺損を承認すること

一、缺損六百萬圓中より積立金百萬圓を差引き現在資本金一千萬圓を二分の一の五百萬圓に減少すること

一、別に一千萬圓（內拂込四分の一）を增資し、總資本額一千五百萬圓とすること

一、增資方法は年一割二分配當の優先株一千萬圓を舊株一株に對し新株二株の割で割當てること

一、舊株主は向ふ一ヶ年間無配當を承認すること

◇東京府知事、贈賄事件の證人に召喚

東京府知事阿部浩は、東洋鐵路會社々長本山親清他六十五名に係る東京市疑獄事件の證人として東京地方檢事局に召喚され三時間に亙つて取調べを受けた

十二日（火）

◇住宅組合法の公布

大都市の住宅難緩和を目的とする住宅組合法（十六ヶ條）が公布された

◇尺貫法をメートル法に改正

從來の尺貫法を廢しメートル法を採用することゝなり、同改正法が本日公布された。實施は大正十三年七月一日である

◇五分利國庫債券八千萬圓發行

政府は各種事業費支辨のため五分利國庫債券八千萬圓を左の條件で發行することに決定した。發行價格九十三圓、利廻六分四厘弱、償還大正十七年十二月一日まで。使途は左の如くである

電話事業公債法に依る分	三四、四〇〇、〇〇〇圓
電信事業公債法に依る分	九、八〇〇、〇〇〇
道路公債法に依る分	四、三〇〇、〇〇〇
朝鮮事業公債法に依る分	一九、九六三、三〇〇
臺灣事業公債法に依る分	一〇、〇〇〇、〇〇〇
樺太事業公債法に依る分	一、五三七、七〇〇

十四日（木）

◇貯蓄銀行法の公布

新たに制定された貯蓄銀行法（三十三ヶ條）が公布された。大正十一年一月一日より施行

◇關釜試驗場及獸疫調査所を設置

農商務省は國立の關釜試驗場を靜岡縣庵原郡興津町に、獸疫調査所を東京府北豐島郡瀧野川町に設置と決定した

◇鳥取の大火、損害二千萬圓に上る

鳥取市東川町の一角より今朝一時發火、寶町、蓬萊町、末弘町、相生町、會所町、元町を燒き午前七時鎭火した。燒失家屋二千二百戸、主なる燒失家屋は聖保羅女學校、鳥取銀行、拓殖銀行支店、五十九銀行、劇場の蓬萊館、大正座、錦輝館、浪花館、福助座等で損害二千萬圓に上つた。保險總額は二百五十萬圓程度で、その內譯は左の如くである（單位千圓）

明治二六〇	扶桑海上二三二	千代田一二〇	東京海上一一六
大阪海上一一四	損害一〇三	共同一〇〇	東邦九八
神戶海上九五	大北七三	帝國海上五五	小樽貨物五三
東京四五	東神四五	東洋海上三一	日本簡易三〇
魯國二八	東京勸產二〇	日本共立二〇	エルエルジーニ七五
ノースブリテッシュ二二六	米井商店保險部一二〇	ニュージーランド三八	サン三三
ノールウイッチユニオン一〇			

十五日（金）

◇朝鮮取引所條例の施行

朝鮮取引所條例が發布された。仁川取引所に賣買手數料百分の十、取引高の一萬分の五の取引所稅を二十一日より賦課し、同時に仁川取引所以外に於ては有價證券穀物市場に於ける定期取引所と同一又は類似取引をなす者

を厳重取締ることとなつた

◇東京都市計畫第二期計畫案決定

内務省中央都市計畫委員會を内相官邸に開き、東京都市計畫第二期計畫案を可決した

十六日（土）

◇東京鐵道局員百三十五名を解雇

東京鐵道局は本日付を以て四百三十五名を解雇した。右解職者には雇員二千百一圓以下傭員一千七百七十三圓以下各手當を支給した

十七日（日）

◇問題の婦人、芳川鎌子死去

千葉心中で世に騒がれた故芳川顯正伯の四女鎌子は自動車運轉手田澤佐太郎の內緣の妻となり五年の詫住居を續けてゐたが、今曉三十一歳を一期として東京芝區明船町櫻井產婦人科醫院で死去した

十八日（月）

◇ヤップ島歸屬問題の日米交涉公表

外務省はヤップ島歸屬問題に關する日米兩國政府間の往復文書を公表し、帝國政府の委任統治を主張した

◇大連取引所の立會中止

大連取引所の建値變更決定に對する取引員及び貿易商の反對は前々日より猛烈となり休業中の高知華菱銀行頭取祭原直方は背任の廉で收監された

二十一日（木）

◇不當廉賣審査委員の初會合

農商務省の不當廉賣審査委員會第一回打合會を農相官邸に開き、今後の調査方針に就き協議した。本會は不當廉賣品の輸入又は輸入品の不當廉賣により本邦に於ける重要產業の損害を防止せんとするのである

二十二日（金）

◇製鐵業奬勵法の改正

製鐵業奬勵法中の改正法律を公布、七月一日より施行

◇關稅定率法の改正

關稅定率法中の改正法律が公布された。六月一日より施行

◇綠尾商業銀行の休業

妹尾商業銀行（頭取妹尾猪助）は親銀行たる川崎銀行に對し交換尻決濟不能に陷つたため、本日より二十八日まで帳簿整理を理由に休業した

二十三日（土）

日明けの特產取引と纖商取引は何れも立會を中止した

◇丹那隧道工事の工夫同盟罷業

熱海線丹那隧道崩壞側所塡鑿工事の賃銀問題で百餘名の工夫は同盟罷業を起した。要求は（一）本月一日より十五日までの賃銀は從業時間の如何に拘らず一日の日當を支給すること（二）十五日以後はヨキサシ一日六時間穴塡は一日八時間勞働とすることの二ケ條である

◇足尾坑夫の女房連、古河邸に押しかく

足尾銅山坑夫の女房連五名は罷業團家族を代表して東京府下西ケ原の古河虎之助男邸を訪れ、夫人に面會を求めたが拒絕された

◇足尾銅山の紛擾解決

一日以來罷業狀態にあつた足尾銅山の紛擾は足尾警察署長に官憲立會の下に會社側と坑夫側代表とが會見交涉の結果、妥協成立し解決した

十九日（火）

◇大阪商船下級船員の減給反對運動

大阪商船會社は海運界不況對策として下級船員に二割の減給を申渡したが、これに對し下級船員一同は、高級船員は減給せざるに拘らず、生活難に陷つてゐる下級船員に對して減給するのは當を得ぬと本社へ陳情した

二十日（水）

◇航空機操縱士免許規則の公布

陸軍省令を以て航空機操縱士免許規則（十八ケ條）を定め、卽日施行し、同時に航空機檢査規則を制定公布した

◇遞信省の遞信五十年祝典

遞信省は帝國劇場に於て通信事業創始五十年記念祝典を開催した

◇合同油脂グリセリンの創立

同社（日本油脂會社の前身）は資本金百五十萬圓を以て設立され、總會を開き左の重役を選任した

▽社長 長崎英造▽專務取締役 長久伊勢吉▽常務取締役久保田四郎、西村憲臣▽取締役住田多造、大橋退治、楠瀨正一、小山田孝、長郷幸治▽監査役金光庸夫、平田專太郎、南楠太郎

◇日本曹達會社總會で血の雨を降らす

日本耐酸窯業會社の臨時總會は本日午後三時、東京上野公園三宜亭に開催されたが、同社幹部派は壯士を雇ひ株主側に暴行を働いて血の雨を降らした

◇畜牛結核病豫防法の改正

畜牛結核豫防法中の改正法律が公布され、五月一日より施行

◇東海銀行・八十一銀行を合併

東海銀行（資本金一千百萬圓）は臨時總會に於て八十一銀行（資本金一千萬圓）を合併し、公稱資本金を二千萬圓（內拂込一千四百五十五萬七千五百圓）となすに決定した

二十六日（火）

◇工業品規格統一調査會設置さる

農商務省に工業品規格統一調査會を設置することゝなり、その官制が公布された

◇關西製絲同盟會の生絲市場新設運動

關西製絲同盟會は役員會を開き、生糸市場新設に就き具體案を協議し、左の實行委員を擧げた

▽北村良藏、小鳩銀次、若林高吉、勝野又三郎、福井大藏、幸大八、野崎能次郎、下元鹿之助、中山武平、河野駒太郎

◇國際勞働會議と農業勞働者問題

國際勞働會議理事會は今秋十月ゼネバに開催決定の同會議の參考として先きに次の事項に關する質問書を各國政府へ送附したが、帝國政府は農商務省其他關係省協議の上、これに對する方針を決定する事となつた

▽華盛頓會議の決議を農業勞働者に準用する件▽農業勞働者の住居及び寢室▽農業勞働者の組合及び同盟權の保障▽災害疾病廢疾老齡に對する農業勞働者保護▽白鉛の使用禁止

二十七日（水）

◇東京市、八億圓の市債計畫を提案

東京市は都市計畫實施、市廳舍及び公會堂の建設、上下水道工事、築港、道路改修、小學校增築等の新事業費として十三ケ年繼續で八億圓の市債發行を計畫し、本日の市參事會に提案した

◇日本ロイド協會委員會の設立

船舶等級檢査事業を經營するロイド協會の日本委員會設置に關し本部代表として來朝した米國檢査委員長フレンチ、日本檢査委員長コックス及び內田嘉吉等の間に於て協議を進めてゐたが、遞信當局の諒解及び本邦造船、海運、海上保險業者並に技術者の贊同を得て日本ロイド協會委員會が設立され、創立總會を開き左の委員を選任した

岸本兼太郎（岸本汽船）、川村貞次郎（三井船舶）、村瀨春雄（帝國海上）、松本鼎三郎（扶

桑海上)、渡邊嘉一(石川島造船)、目良恒(川崎造船)、永富雄吉(鄰船)、福啓次郎(商船)、鍋谷正輔(山下汽船)、金子直吉(鈴木商店)、陰山金四郎(淺野造船)、三木三郎(神戸海上)、木村林次郎(三菱海上)、多羅尾譲三郎(大阪海上)、各務鎌吉(東京海上)、井坂孝(横濱火災)、平生釟三郎(大正海上)右近和作(日本海上)、四井喜一郎(辰馬海上)、山本長方(工學會造船協會)、加藤良、平田保三郎(神戸製鋼)、松木幹一郎(浦賀船渠)、須田利信(横濱船渠)、橋本梅太郎(東洋汽船)、内田信也(内田汽船)、濱田彪(三菱造船)、内田嘉吉、山岡順太郎、加藤正雄、太田丙子郎、橋口牛次郎(以上三十二名)

なほ委員長に内田嘉吉、副委員長に永富雄吉、技術顧問に山本長方、技術委員に目良恒太田丙子郎、加藤良、橋口牛次郎の諸氏を互選した

◇横濱商業會議所役員の改選

横濱商業會議所は本日總會を開き役員選擧の結果、會頭に井坂孝、副會頭に澁澤義一當選し、常務員は會頭指名により左の七氏に決定した

左の如し

一、米穀買上の實行甚だしく遲延し既にその時期を逸せるの憾あり、政府は一日も速かにこれに着手せられたきこと

二、買上數量は四百萬石以上たること

三、第一回の買上げは期間一ヶ月以内に於て二百萬石以上たること

四、買上價格は生産費をも斟酌して定められたきこと

五、外米輸入を速かに制限せられたきこと

◇松竹キネマ五圓萬圓に增資

資本金百二十五萬圓の松竹キネマ會社は本日株主總會を開き、三百七十五萬圓を增資して資本金五百萬圓となすことに決定した(日不詳)

【五　月】

一　日　(日)

◇北海道、樺太の採炭制限實施

採炭制限の決議により、本日より北海道各炭礦は既往三ヶ年平均額の一割七分、樺太は九年度の一割二分五厘を採炭制限するため、各炭礦主はその手段として(一)勞働時間を短縮して賃銀を引上げ(二)廢休坑の向は相當の手當金を支給し圓滿解雇の方法を採つたが、解雇も比較的少く、全國三十二三萬の坑夫は平靜であつた

◇第二回メーデー

東京に於ける第二回メーデーは友愛會と聲援と折衝の結果、芝浦から芝口に出て、内幸町から外濠を小川町に拔け、昌平橋から上野公園へ行き解散と決定、參加團體は友愛會を筆頭に二十團體、總數一萬餘人に及んだが昌平橋附近で鈴木友愛會長が毆られる等の騒亂あり、上野公園に着くや否や解散を命ぜられた

◇宮小牧町一千二百戸燒失

北海道宮小牧町に大火あり本通、一條、二條、三條通、舊市街遊廓等目貫の大通り一千二百戸を燒失した

二　日　(月)

◇勤業債券一千萬圓發行

本日より十五日までの期限で第八十回割增金附勤業債券一千萬圓が賣出された

◇横濱正金銀行の輸出手形利下

同行は輸出貿易促進のため前年九月以來數回に亘つて輸出利付手形の利率を引下げたが更に一分方引下げ普通年六分、特別年五分と五厘とした

二十九日　(金)

◇鐵出綿絲布同業會の結成

輸出綿絲布同業會は創立總會を開いて規約及び取引方法に關する規定を決定、次で理事十名の選擧を行ひ日本棉花、東洋棉花、帝國棉花、伊藤忠、江商、八木、田附、不破、山本、横濱生糸當選し、會長は追つて臨時總會を開いて決定することゝなつた

◇絲屋商業銀行の休業繼續

二十二日より二十八日まで休業した絲屋商業銀行は更に五月十二日まで休業繼續を發表した

三十日　(土)

◇特殊法、實用新案法等の改正

特許法、實用新案法、意匠法、商標法の各改正法律を公布、大正十一年一月十一日より施行

◇辯理士法公布さる

新たに辯理士法が制定され、本日公布、即日施行された

◇全國農會長會議の米穀對策要望決議

全國道府縣農會長會議を東京に開き米穀法實施に對する希望條件を決議した。その大要し本日より實施した

◇臺灣電氣興業會社の創立

資本金六百萬圓の同社は創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役角源泉、永田準之輔、槇哲、伊藤勝蔵、小松吉久、麻生誠久、田中正夫、坂井郁太郎▽監査役李景盛、渡邊嘉一、山本悌二郎、川上熊吉

◇獨逸の賠償原則決定

聯合國最高會議は獨逸の聯合國に對して支拂ふべき賠償原則を決定した。内容は、獨逸は聯合國に對して六十七億五十萬磅を支拂ふこと、今次及び今後支拂能力に應じ五分利公債を發行してこれを支拂ふこと、獨逸は毎年一億磅を支拂ひ、且つ二割五分の輸出稅を支拂ふべきこと、若し發行せる公債利子諸雜費高りて之等の支拂額を超過する場合は、賠償委員會はその差額埋合せのため更に公債發行を求める權能を有すること等である

三一　日　(火)

◇米國船員十七萬五千人の同盟罷業

米國國際海員組合加入十七萬五千の海員は船主の賃銀三割減廢明に反對して同盟罷業に入つた

四　日（水）

◇東京市騒擾事件で鳩山一郎召喚さる
東京市疑獄事件に關し代議士、市會議員鳩山一郎は東京地方裁判所に召喚取調を受けた

五　日（木）

◇朝鮮銀行の貸出利子引下
同行は朝鮮及び內地金融の緩漫に鑑み本日より商業手形割引歩合を二厘方引下げ最低二錢四厘とし、同時に擔保貸付もこれに準じて利下を實施した

◇海外興業社債八十萬圓發行
同社は臨時總會を開き舊社債八十萬圓償還のため社債八十萬圓發行を決定した

七　日（土）

◇御外遊の東宮殿下、英國に御安着
御外遊の東宮殿下には二ケ月以上の長期航海を御無事に了へさせられ本日英國ポーツマスに御安着遊ばされたが、英國皇帝陛下には日本皇太子裕仁親王殿下に英國名譽陸軍大將の御位を御贈りになつた

◇臨時外米管理部廢止さる
勅令を以て農商務省臨時外米管理部が廢止された

◇農商務省に倉禮局設置
農に關議で決定した農商務省に倉禮局設置の件は本日勅令を以て公布された

◇朝鮮に水産試驗場新設
勅令を以て朝鮮水産試驗場の官制が公布された

八　日（日）

◇東京現株取引會社の創立
同社（資本金二百萬圓內四分の一拂込）は創立總會を開き、左の役員を決定した
▽社長栗原善太郎▽專務取締役山田一太郎▽常務取締役井林勇次郎、寺岡證三郎、河村保善▽取締役林誠吉、清水寅三、高岡秀雄、阿部常治郎▽監査役小林長次郎、金丸幸四郎、萩原彌太郎、石渡唯七

九　日（月）

◇大阪電燈會社の同盟罷業
同社從業員は、團體交涉權を認めること、期末賞與支給の件、退職手當增額給與の件、犧牲者を出さざることを要求したに對し、會社側は承役會を開き、不良分子三百餘名馘首の手初めとして安治川、春日出兩發電所の職工八百八十九名の解雇を發表したので、同盟罷業に入つた

十　日（火）

◇鐵道公債一千萬圓發行
政府は鐵道の建設及び改良費に充てるため五分利國庫債券一千萬圓發行を告示した。發行日は六月一日、償還期限は大正十八年六月一日

◇東北紡績、岩手電力企業と改稱減資
東北紡績會社は資本金一千萬圓（四分の一拂込）を二百萬圓（二分の一拂込）に減資しその事業目的を變更して岩手電力企業會社と改稱する件を臨時總會で決定した

◇獨逸賠償會の賠償承諾決議
獨逸帝國議會は聯合國の最後通牒たる賠償要求に對し二百二十一票對百七十五票を以て承諾に決定した

◇ランカシア綿業組合の賃銀引下通告
英國ランカシア綿業組合は使用職工に對し六月十一日以後賃銀三割引下方を通告した

十一日（水）

◇所得調査委員會の設置
大藏省令を以て所得稅法施行細則を公布卽日施行し、同時に所得調査委員會設置區域及び定員數を制定公布した

十二日（木）

◇加商銀行妙業寺支店長收監
兵庫縣加西郡北條町の加西銀行妙業寺支店長宇仁常繁次は既往四年間に行金三十一萬七千餘圓を費消したこと發覺、姬路分監に收監された

◇我國受領の賠償金額と列國受領高
獨逸が聯合各國に支拂ふべき賠償金額は英貨六十七億五十萬磅（獨貨一千三百二十億金馬克）であるが、その內我國の受領すべき金額は五千六十二萬五千磅卽ち邦貨約五億圓この內賠償決定と同時に受領すべき金額四百五十萬磅（邦貨約四千五百萬圓）本年十一月に受領すべき金額一千四百二十五萬磅（邦貨約一億四千萬圓）、卽ち本年內に合計一千八百七十五萬磅（邦貨約一億八千七百萬圓）を受領することに決定した

尙聯合各國の受領すべき賠償金總額と本年內に受領すべき金額は左の如し（單位千磅）

各國別	賠償額	本年中支拂高
佛國	三、五一〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇
英國	一、四八五、〇〇〇	五五〇、〇〇〇
伊太利	六七九、〇〇〇	二五〇、〇〇〇
白耳義	五四〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
塞爾比	五四〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
日本	五〇、六二五	一八、七五〇
葡萄牙	五〇、六二五	一八、七五〇
其他	三五、七五〇、〇〇〇	一三、二〇〇、〇〇〇
合計	六、七五〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇

十三日（金）

◇西比利亞派遣軍撤兵に決定
本日の定例閣議で我が西比利亞派遣軍は撤兵に決定した

◇富士電氣社債五百萬圓發行
同社は臨時總會を開き社債五百萬圓發行を可決した。使途は曩に合併せる北海道水力電氣、十勝水力電氣の三社の債務引受支拂及び阿寒川水力發電所建設費に三百十萬圓、殘額百九十萬圓は十勝送電線建設費其他に充當するもので、社債引受は安田銀行である

◇星製藥、帝國製藥を合併
星製藥會社（資本金一千萬圓）は國際製藥會社（資本金一千萬圓）を合併し資本金二千萬圓となす件を臨時總會に於て可決した

十四日（土）

◇米穀委員會の設置
米穀法施行に關し重要事項を調査審議するため米穀委員會を設置するに決し、本日の官報を以てその官制を公布、卽日實施された。

委員左の如し
▽委員內務省地方局長塚本靖治、大藏省理財局長小野義一、農商務次官田中隆三、農商務省食糧局長滿欽司、遞信省管船局長若宮貞夫、鐵道省運輸局長中川正左、矢作榮藏、藤田四郎、林博太郎、橋本圭三郎、濱口雄幸、關直彥、前田利定、山本悌二郎木村清四郎、中島久萬吉、波多野承五郎、志村源太郎、和田豐治、藤由雷太▽幹事農商務書記官平田慶吉、同馬場由雄

◇鐵濱船舶職工一千百餘名解雇
同社は業務不振のため職工一千百餘名を解雇した

◇淺野、安田兩翁の南洋視察
淺野總一郎（七十四才）と安田善次郎（八十四才）同義雄の三氏は長崎發の太洋丸で香港マニラ方面視察の途に上つた

十五日（日）

◇借地借家法、五大都市に施行
借地借家法は本日より東京、京都、大阪、橫濱、神戶の五大都市に實施された

◇株式會社共同水産販賣所の創立
同社（資本金百萬圓內三十萬圓拂込）は、現に營業中の日本水産會社東京販賣所の營業

權一切を買收し水產物の委託販賣を目的として設立され、左の役員を決定した
▽取締役山脇宗治（社長）、安倍小次郎（常務）、宮池平九郎、岡平八郎、千葉傳藏▽監査役三浦良次、萬代增次

◇富山銀行、北陸商業銀行を合併
富山市の富山銀行（資本金二百五十萬圓全額拂込濟）は同縣東礪波郡福野町の北陸商業銀行（資本金五十萬圓內拂込二十萬圓）を合併し、資本金二百七十萬圓となす件を臨時總會で決定した

十六日（月）

◇朝鮮方政策確立の滿鮮重要會議開催
帝國の新東方政策を確立すべき軍事外交に關する滿鮮會議を本日より首相官邸に開催した。出席者は左の如し
▽原首相以下各大臣、齋藤朝鮮總督、水野同政務總監、小幡駐支公使、赤塚率天總領事、山縣關東長官、立花西比利亞派遣軍司令官、河合關東軍司令官、大庭朝鮮軍司令官、由比青島軍司令官、阪西北京公使館付武官、秋山青島民政部長

◇軍事公債五千萬圓發行
政府は臨時軍事費支辨のため五分利國庫債券五千萬圓を本月二十五日發行に決定、本日告示した

十七日（火）

◇名古屋電氣鐵道の延長線敷設免許
同社に對し左の延長線敷設の免許狀が下附された
▽愛知縣丹羽郡犬山町より岐阜縣武儀郡關町に至る十哩三十五鎖▽建設資金百五十二萬圓

十八日（水）

◇山縣樞相・松方內府の進退問題
山縣有朋公の封事問題（內容不明）として世論を刺戟した問題のためその進退を注目されてゐたが本日優詔を拜して樞府議長の職に留任と決定した。これに關聯して松方內府の進退も問題となつてゐたが、同樣優詔を拜してこれまた留任に決定した

十九日（木）

◇對獨逸の賠償條約書公表
外務省は獨逸に交付せる賠償契約書の全文を公表した

◇興業債券二千萬圓發行
日本興業銀行は帝國興業會社へ貸付のため本日及び三十日の兩回に興業債券一千萬圓宛を發行したが、一般公募に附せず預金部に於て一手に引受けた

◇日本青年、第百物產會社と改稱
日本青年會社は臨時總會を開き社名を第百物產會社と改稱して營業目的中に木材、薪炭、石炭販賣等を加へ、重役の補缺選舉を行ひ左の役員を選任した
▽取締役林政太郎（專務）、小松敏郎、石原敬章、高良武季、山下佐太郎▽監査役後藤曼太郎、林壽太郎、加藤陸之助

◇臺灣商務總會の日貨排斥決議
臺灣支那人の組織する商務總會は大連取引所金建値問題に對してその非を鳴らし、遂に滿場一致を以て、日本品に對してボイコットをなすことを決議した

二十日（金）

◇滿鮮會議決定の四大要綱
本日を以て略一段落を告げた滿鮮會議に於て(一)山東還附問題、(二)滿鮮國境問題、(三)滿洲及び西比利亞に散在せる朝鮮人の保護問題、(四)西比利亞撤兵の時期始末、の四大要綱について政府の根本方針が決定された

二十一日（土）

◇原敬內閣の增資と改稱

同行は現資本金三萬圓を一躍百萬圓に增資し愛知合同銀行と改稱するに決定した

二十四日（火）

◇政府の米穀買上發表さる
二十三日の米穀委員會に於て成案を得、本日の閣議で最後の決定を見た米穀法による政府米穀買上げの買入場所、數量、價格並に時期は左の如く發表された
▽買入場所東京、大阪、神戸▽買入數量、本年度約三百萬石の豫定、第一回買入は約百萬石▽買入米の種類、道府縣積出檢査に合格したるもの▽賣却申込、六月十日より同三十日まで▽買入價格、銘柄と等級による（一例茨城一等三十一圓十二錢、同二等三十圓五十九錢、同三等二十九圓七十四錢同四等二十九圓）

◇十七銀行、宗像銀行を合併
福岡市の十七銀行（資本金百二十五萬圓全額拂込）は臨時總會に於て同縣宗像郡東鄕村の宗像銀行（資本金三十萬圓內拂込十八萬圓）合併案を可決した

二十五日（水）

◇日本絲綿貿易會社の創立
資本金百萬圓の同社は本日創立總會を開き左の役員を決定した
▽取締役高津久右衞門（社長）、增本芳太郎、西川剛一郎、中村誠司▽監査役土田求馬、高見貞藏

◇群馬銀行、二銀行を合併增資
群馬銀行（資本金七十五萬圓內拂込五十六萬二千五百圓）は、上毛貯蓄銀行（資本金百萬圓內拂込四十萬圓）及び前橋產業銀行（資本金二十五萬圓內拂込十萬圓）の兩行を合併し、資本金を二百萬圓に增加の件を臨時總會に於て決定した

◇蠶絲業改良同盟會の設立協議
今井五介、工藤善助、西尾金藏、長谷川伊平、田口百藏、大久保佐一、三浦良次、萬代增次から蠶糸業改良同盟會の設立協議會を東京に開催、各地製糸家有志六十餘名出席、會則及び理事十一名を決定、更に生糸正量取引實行促進のため委員五名を擧げた。理事、委員左の如し
▽理事今井五介、工藤善助、西尾金藏、長野友博、佐野利八、前田健次、田口百藏、綱野豐次郎、遠藤三郎兵衞、大久保佐一、飯島信明
▽委員前田健次、遠藤三郎兵衞、佐野利八、工藤善助、伊地知敏

◇米國政府、聯合國債務整理案を發表
米國政府は聯合國への貸出證書を整理する大統領ハーディングの新計畫を發表した。內容左の如し
從來證券の形式によらず、約束手形の形式で聯合國に貸付けた米國債權は此際回收することゝし、これに關し米國と聯合國との間に協定を遂げ、聯合國は米國に對し從來の約束手形に代るに長期公債を引渡し、この長期公債を米國政府保證の下に米國市場に賣出し米國民一般をして應募せしむることとし、これによつて得た資源を以て米國政府は從來發行した自由公債の償還財源に供せんとするものである。その結果、米國政府としては聯合國への貸付金を整理確保し得ると同時に自由公債を償還し得て年々利子支拂の負擔を輕減し得る譯である

二十六日（木）

◇滿鮮に反過激派のクーデター
ニコリフスク、ウスリスク、ラヅドルーエスパスク、ボロクヴスク等に於て過激派政府軍隊は反過激派のカツペル軍に降伏し、カ軍は政府官廳を乘取り、豫期されたクーデターも流血の慘を見ずして平穩に歸した。その間

日本軍は中立を守つてゐた

二十七日（金）

◇東北鉄道疑獄公判會社の創立

岩手縣會議員全員と同縣選出代議士等發企となり資本金一千五百萬圓（全額拂込）を以て設立され、同縣下閉伊炭田九十三礦區、面積約九千萬坪の石炭採掘並に盛岡、山田間七十九哩の新設官線鐵道に連絡すべく礦區地域貫通の小鳥谷、茂市間及び二升石、小本間約八十哩の鐵道敷設を目的とする東北鐵道礦業會社は本日東京に創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役前田利定（社長）、山本瀧太郎（專務）、松浦五兵衛（常務）、前田利常（同）、根津嘉一郎、大屋馬太郎、山口文右衛門、松平健雄、上館市太郎、鈴木巖、小野金之助、小山清太郎▽監査役小長井幸太郎（常任）、向井新太郎、日下義雄、村田彌太郎、千葉庄八

二十八日（土）

◇マスラ鐵工會社の減資

マスラ鐵工會社は資本金三百萬圓を五十三萬七千圓（拂込濟）に減資の件を臨時總會で可決し、更に會社事業の目的を「製線、鍛金業、電氣器具製造業及マスラ合金製造並にこれに附帶する事業」に變更し、本店を東京府下西巢鴨池袋に移轉と決定した

◇日本社會主義同盟へ結社禁止命令

內務省は日本社會主義同盟に對し安寧秩序を紊るものとして結社を禁止した。同時に會員全部に尾行を附することゝなつた。

◇北京の中伊銀行開業

支那と伊太利の合辦事業たる北京の中伊銀行は本日業務を開始した。資本金は一千萬弗內拂込七百七十五萬弗である

◇香港上海銀行の增資

同行（資本金一千五百萬弗、全額拂込）は五百萬弗を增資して資本金二千萬弗となすことに決定した

三十日（月）

◇米國證券發行規程の公布

大藏省令を以て米國證券發行規程を公布、卽日施行された

三十一日（火）

◇茂本合名會社の解散

七十四銀行の休業により破綻を暴露した茂木合名會社は本日解散した

◇帝國木管會社の整理減資

同社は臨時總會を開き、不況對策としての整理案に基き現在の資本金百萬圓を十七萬五千圓に減資し、更に五十萬圓に增資の件を決定した

◇農商貯蓄銀行百萬圓に增資

資本金十二萬圓の同銀行は臨時總會で百萬圓に增資と決定した

◇滿鐵正副社長の更迭

野村南滿洲鐵道會社々長及び中西副社長辭任し、早川千吉郎が社長、松本烝治が副社長に任命された

◇神戸瓦斯一千萬圓に增資

資本金四百七十五萬圓の神戸瓦斯會社は五百二十五萬圓を增資して資本金一千萬圓となつた（日不詳）

◇鐘淵紡績、二會社を買收

鐘淵紡績會社（資本金一千七百四十三萬圓）は若尾製糸會社及び國華製絲會社を買收した（日不詳）

◇東部電燈、信樂水電を合併

資本金一千五百七十五萬圓の京都電燈會社は信樂水力電氣會社（資本金一千四百二十五萬圓）を合併して資本金を三千萬圓に增加した（日不詳）

◇旭石油、旭精油を合併

資本金百五十萬圓の旭石油會社は旭精油會社を合併、七十五萬圓を增資して資本金二百二十五萬圓となつた（日不詳）

【六　月】

一日（水）

◇横濱取引所定期生糸立會復活

横濱取引所は當糸定期取引六、七、八、九の各限月共停止中のところ本日より立會を復活した

◇高年足袋會社の創立

資本金百萬圓（內拂込四分の一）の同社は創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役松永最一（專務）、東治平、小石川秀雄、大野角太郎（以上常務）、三浦覺一、松島謙三、龍阪邦雄、馬頭芳三郎、阪井靜川島余三郎、上原留吉、三浦嘉兵衛▽監査役山室倉之助、關屋親夫、富樫虎二郎、今井忠雄▽相談役平澤新、加瀨和三郎、有吉利平

◇協調會、中央職業紹介所を開設

財團法人協調會は中央職業紹介所を開設し積極的に勞働問題解決に乘出した

二日（木）

◇在白帝國公使館、大使館に昇格

外務省告示を以て在白耳義國帝國公使館を帝國大使館に昇格する旨發表した

◇財經調査會、財產稅創設を決議

臨時財政經濟調査會の稅制整理に關する小委員會に於て、地租及び營業稅を地方財源に移讓し、新たに財產稅を創設して現行の所得稅と併行せしめ租稅收入の中心となすことに意見の一致を見た

三日（金）

◇前滿鐵副社長中西清一起訴さる

前滿鐵副社長中西清一は塔連炭礦買收に關する背任罪で起訴された

四日（土）

◇水產會法施行規則の公布

水產會法施行規則は農商務省令を以て公布された

◇小麥市場狂騰、立會停止

定期小麥當限は買煽り一派の策動により狂騰し、前日に比し一圓五十一錢高の十二圓三十一錢を唱へて遂に立會を停止した。六日、再び停止、十五日に至つて再開した

◇留鷹町債を保險會社團引受け

北海道留鷹町は留鷹川切替、市街區劃整理、その附帶事業並に副港建設費に充當するため町債二百四十九萬四千圓發行と決定し、生命保險會社團と交涉中であつたが、左の條件で町債二百萬圓發行の契約が成立した

▽利率年一割▽償還期限大正十四年三月三十日▽引受會社帝國生命六十萬圓、徵兵及逐案五十萬圓、太陽十五萬圓、萬歲十二萬圓國光十萬圓、常盤十萬圓、大安五萬圓、日濟五萬圓、中央五萬圓、富士五萬圓、龜壽二萬圓、共保二十萬圓

◇大野銀行の休業繼續

休業中の大野銀行は本日開業の豫定であつたが整理進捗せず、更に十五日まで休業の旨發表した

◇支那宜昌に兵亂勃發す

支那湖北省宜昌駐剳の混成二十一旅の兵全部は兵變を起して掠奪を恣にし、日本領事館及び稅關、日淸汽船會社、武林洋行、永田洋行等いづれも損害を被り、市內五ケ所より火を發して死傷一千名に上り大混亂を呈した

◇ランカシア紡績工場全部開鎖

英國ランカシア紡績會社は炭礦罷業の餘波を受け職工の動搖から操業困難となり、同地

紡績工場は全部閉鎖した

五　日（日）

◇貴衆兩議員、二百三十萬圓贈賄

兵庫縣武庫郡良元村實業郵便局長拓植精一は同類七名と共に前後三ケ年に亘り收入印紙を橫領し、その總額二百三十萬圓に達した

◇元三越呉服店常務取締役藤村喜七死去

元三越呉服店常務取締役藤村喜七は喉頭癌のため死去した。享年七十一。嘉永四年十一月三重縣に生れ青年時代より三井呉服店に入り、同店が組織を變更して株式會社三越呉服店となるに及び推されて常務取締役となり、數年前第一線を退いて平取締役となり余生を送つてゐた

六　日（月）

◇朝鮮總督府、產業調査委員會を設置

朝鮮總督府は產業調査委員會を設置することゝなり同官制を公布した

◇米穀保管の倉庫決定

政府は米穀法の運用による買上米を保管すべき倉庫を左の如く決定發表した

▽東京　商業、渡邊、益澤、三菱、東神、住友各倉庫

▽橫濱　橫濱船渠、橫濱、京濱、三菱各倉庫

▽大阪　東神、三菱、住友、杉村、濱華各倉庫

▽神戸　三菱、兵庫、住友、川西、東神各倉庫

◇東商、工場調査機關の統一を建議

東京商業會議所工業部會は同所に開會、工場調査監督機關の統一に關する建議を農商務省及び內務省に上申すること、同時に東京に於ても工業會社の考課狀を蒐集して調査の參考資料とし、併せて全國各會議所にもこれが調査方を勸誘し綜合的に工業政策を講究することを決議した

◇日本鋼管社長の更迭

同社取締役社長白石元治郎は辭任して平取締役となり、大川平三郎が社長に推薦された

◇相馬商店社長相馬哲平死去

北海道第一の富豪たる前貴族院議員相馬哲平は本日死去した。享年八十九。文久元年函館に渡り、日傭となつて奮闘し、多少の資金を蓄へるに及んで米商に轉じ、爾來勤勉努力の結果千萬長者となり貴族院議員に列した

八　日（水）

◇稅務委員會、財產稅新設を決議

財政經濟調査會の稅制整理特別委員會は直接國稅整理に關する小委員會を開き、財產稅新設の件を決議した

◇藤永田造船の同盟罷業

大阪の藤永田造船所職工は團體交涉權、解雇手當その他の要求をなして容れられず、全職工三千名は同盟罷業をしたが、これに同情して大阪に於ける友愛會系の小野造船所の一千名、神戸棧橋造船所の八百名、相澤造船所の二百名、增田伸銅所の三百名、油谷鐵工所の二百名、旭鐵工所の二百名はいづれも同情怠業の擧に出でた。尙藤永田造船所は職工の同盟罷業に對抗して九日より向ふ三日間の休業を聲明し、翌日に至り友愛會幹部十數名は治安維持法違反として檢擧された

九　日（木）

◇山梨陸軍次官、陸相に親任

陸軍大臣田中義一は病氣のため辭任し、同次官山梨半造はその後任として本日大臣に親任された

◇都市計畫法施行の三十都市決定

內務省參事官會議に於て六大都市以下の都市にして都市計畫法を施行すべき主要都市を左の如く決定した

▽福岡、熊本、小倉、八幡、門司、大牟田、長崎、鹿兒島、下關、呉、廣島、岡山、尼ケ崎、山田、大垣、濱松、津、四日市、岐阜、金澤、新潟、長岡、富山、高知、橫須賀、高崎、前橋、松山、今治、高岡

十　日（金）

◇旭石油會社の增資と重役改選

同社は臨時總會を開き、現資本金二百二十五萬圓を六百七十五萬圓に增加の件を可決し左の如く重役を改選した

▽取締役濱島猪之吳（社長）、成瀨正行、橋本圭三郎、田中次郎、津下紋太郎、四本萬二▽監査役皆川安星、岩橋林造

十一日（土）

◇東京市と東京瓦斯の意見對立

後藤東京市長は東京瓦斯會社に對し、大正九年度分報償金二十六萬餘圓を本日附を以て請求し、東京瓦斯會社の小池取締役は法文の解釋を異にする以上市長の催告は受納れ難いと言明した

◇阿片密賣買事件で古賀廉造起訴

阿片密賣買の黑幕の線疑により古賀廉造は旅順地方法院に於て取調中であつたが、本日起訴收監された

十四日（火）

◇日英同盟改訂案閣議で決定

政府は定例閣議に於て日英同盟改訂案を決定し、臨時外交調査會へ諮問した

十五日（水）

◇小橫濱太鰹路に新造汽船就航

日本郵船會社は小樽—太間の定期航路に新造の千歳丸（總噸數二千七百噸、建造費百六十萬圓、橫濱船渠會社建造）を就航させた。同船は防寒暖房裝置を完備し碎氷機關を無儘してゐる

◇橫濱輸出商工大會の決議

橫濱輸出協會主催の輸出品生產業者及び輸出業者大會は左の決議を可決した

（一）生產組織の統一を圖り製品の改善をなす（二）一般物價の低下を圖り輸出貿易の進展を期す（三）實質取引の最善を圖りその圓滑を期す（四）海外需要方面の調査を遂げ販路の擴張をなす（五）前各項の目的を達成するため生產業者輸出業者間に統一的聯絡機關の設置を期す

十六日（木）

◇宇治川電氣、近江水力電氣を合併

宇治川電氣會社（資本金二千五百萬圓）は近江水力電氣會社（資本金六百四十萬圓）を合併し三千百六十萬圓に增資の件を本日の臨時總會に於て決定した

◇鬼怒川水力電氣、鬼怒川興業を合併

鬼怒川水力電氣會社（資本金二千七百萬圓）は鬼怒川興業會社（資本金一千八百萬圓）を合併し資本金四千四百萬圓となすの件を臨時總會に於て決定した

◇英國商務官、不敬商標に抗議

神戸市田野廣三郎製造の自動車、自轉車等のタイヤ商標に、英國皇室の御紋章を使用しあるは尊嚴を傷けるものであると、同國商務官より外務省に抗議を申込んだ

◇東京瓦斯の二重役起訴さる

東京瓦斯會社取締役渡邊福三郎、同監査役渡邊朔の兩名は疑獄事件に關聯して不拘束のまゝ起訴された

◇住友電纜製造所職工の怠業

同所職工一千五百名は歡願書の形式を以て會社側に團體交涉權その他を要求したが、容れられぬため怠業に入つた

十七日（金）

◇政府の米買上げは成績不良

政府は米價調節の目的を以て米穀法により

本月十日より第一回の正米百萬石買上げに着手したが、十七日までに僅か六萬五千石買上げたに過ぎず、正米市場にも定期市場にも殆ど反響なく、相場は無付の商勢を示した

十八日（土）

◇日本鋼管會社の半額減資
同社は株主總會を開き資本金二千百萬圓を一千五十萬圓に減資する件を可決した

十九日（日）

◇鐵來田造船の職工、爭議と衝突
爭議中の鐵永田造船所の職工五百名は爭議の永引くのに自棄を起し八十名の警官隊と衝突して警官十五名、職工三十名の重輕傷者を出した

二十日（月）

◇淺野セメント三千三百萬圓に增資
資本金一千五百萬圓の同社は一千八百萬圓を增資して三千三百萬圓となす件を臨時總會で決定した

◇株式會社長瀨商店の減資
株式會社長瀨商店は臨時總會を開き、資本金六百萬圓（內拂込三百七十五萬圓）を二百萬圓（全額拂込）に減資し、常務取締役長瀨傳治郎は監査役となり、監査役長瀨半次郎が常務取締役に就任して經營にあたることに決定した

◇內田造船所、大阪鐵工所に買收さる
內田信也を社長とする橫濱市山下町の內田造船所（資本金五百五十萬圓）は債務百四十萬圓に上り大阪商船會社系の大阪鐵工所に買收されることに決定した。このため同社は一千二百四十名の職工を解雇したが、解雇手當僅少のため、職工は友愛會へ增額交涉を依頼した

◇東京瓦斯、誤視て告發さる
神田橋稅務署は、東京瓦斯會社が虛偽の記帳をなし第一種所得稅の脫稅額三十萬圓に上ることを發見し、監督官廳と打合せの上關係書類を具して東京區裁判所に告發した

◇關東醸造會社の社長宣役等收監
埼玉縣川越町の關東醸造會社々長野々山喜右衞門、取締役名方延次郎、町會議員安齋權十郎の三名は同社疑獄事件に連座して浦和監獄に收監された

二十一日（火）

◇佛國國庫債券五千萬圓借替發行
七月十二日償還期日に當る佛國國庫債券五千萬圓は左の條件で借替發行した

▽償還大正十一年七月八日▽利率年六分▽引受銀行、第一、三井、三菱、十五、第百、日本興業、朝鮮、臺灣、安田、第三、日佛東京支店、正金、三十四、住友、鴻池、加島、近江、山口

◇讃岐鐵の一部開通
讃岐線伊予土居、伊予西條間十六哩は本日開通した。新設驛は喜多濱、新居澤、伊予西條の三驛である

二十二日（水）

◇三越本店の新館落成
東京日本橋の三越呉服店は三百萬圓を投じ舊館に接續して新館を增築中のところ工事竣成、本日落成式を擧げ、二十六日より營業を開始に決定した

◇九州水力、博多土地建物を合併
九州水力電氣會社（資本金三千五百萬圓）は博多土地建物會社（資本金百六十四萬圓）を合併し資本總額三千七百萬圓（內拂込二千二百三十萬圓）となす件を臨時總會で決定した

二十三日（木）

◇茨城無煙炭販賣會社の創立
茨城採炭、茨城無煙炭、大日本炭礦、東光炭礦、山口炭礦の五社協議の結果共同販賣の

目的を以て茨城無煙炭販賣會社（資本金二百萬圓、內拂込四分の一）を設立するに決し、創立總會を開き左の役員を決定した

▽社長阿部吾市▽副社長岡本宗之▽專務取締役古賀春一、岡部正樹▽常務取締役高西淑次、田口虎次、山口貞亮、北村久義▽取締役千澤平三郎、的場良誠、遠藤良弼▽監査役生駒東一、山口藤三郎、山崎時三郎、松本俊吉▽相談役伊藤幹一、山口嘉三

◇大日本製鐵會社の借額增資
資本金百萬圓の同社は臨時總會を開き二百萬圓に倍額增資と決定した

◇東京電燈・第二東信電氣を合併
東京電燈會社は定時總會を開き、第二東信電氣會社（資本金五百萬圓）を合併し、第二東信が既設工事費として負擔せる社債二百萬圓は東電が償還の義務を負ひ、第二東信電氣の既設工事全部を七百萬圓で買收する件を可決した。その結果、東電の總資本金は一億七千百萬圓となつた

◇東京電燈百萬圓を東東市へ寄附
東京電燈會社は定時總會に於て第二東信電氣合併可決後、創立三十五年を紀念して利根發電と橫濱電氣兩社合併前の重役に對し三十萬圓、其の他の從業員に對し三十萬圓、計六十萬圓を繰越金中より分割贈與するに決し、更に紀念の意味に於て東京市に電氣研究基金として百萬圓を寄附する件を可決した

◇富豪銀行の利下
英蘭銀行は公定日歩を五厘方引下げ年率六分の割とし即日實施した

二十四日（金）

◇東株重取引の賠償制實施
東京株式取引所は從來直取引に就てその實買遂約によつて生じた損害賠償の責に任じなかつたが、今回現物仲買人設置に關聯して賠償制度の必要を認めるに至り、本日の株主總會に於て左の如く定款の一部を改正するに決定し、直ちに主務省に申請の手續をとつた

▽直取引の遂約によりはその全部又は一部の賠償をなすことあるべし

◇全國商業會議所聯合會の三大問題對策
全國商業會議所聯合會を東京商業會議所に開き、左の三大議案を各十五名の委員に附託した

一、稅制整理案（イ）稅制の整理は先づ行政の整理を前提とすること（ロ）現行稅法の不備欠陷の改廢整理を第一とし、已むを得ざる場合新稅を創設すること（ハ）營業稅は速かに廢止すること

二、貿易振興機關の設置　貿易振興上必要なる資料の蒐集報道、金融機關の整備、品質の向上等十ケ條

三、軍備と軍費（イ）軍備制限は我國が率先して英米に提案しその實現を期せられんことを望む（ロ）軍備は積極的に整理節約し國民負擔の輕減を期すること

◇四星兆全肥料會社の創立
資本金三十萬圓（四分の一拂込）の同社は創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役篠原重治郎、市川國五郎、藤居藤作、永井利一郎、牧野吾作▽監査役大塚半兵衞、木下藤重、飯塚貞三

◇富士身延鐵道の借額增資と電化
富士身延鐵道會社は株主總會を開き、資本金四百萬圓を倍額增資して八百萬圓となす件を可決し、增加資本を以て鐵道電化資金に充當することに決定した

二十五日（土）

◇大阪市債一千二百萬圓發行
大阪市短期事業公債一千二百萬圓は藤本ビ

ルブローカー、野村、小池の三銀行引受の下に發行と決定した。條件は利率年七分、償還期限大正十三年三月三十一日、拂込期七月十五日である

◇王子製紙、樺太產業・朝鮮製紙を合併

王子製紙會社は定時株主總會を開き、樺太產業會社（資本金五百萬圓）を買收し、朝鮮製紙會社（資本金五百萬圓）の資本を二百萬圓に減少して合併し、資本金を五千百萬圓となす件及び社債一千萬圓發行の件を可決した

二十六日（日）

◇商議調合會、同盟會議所に加入

全國商業會議所聯合會は東京商業會議所に大會を開き、國際會議所加入の件を可決した

◇三菱內燃機に機關組合生る

三菱內燃機製造會社職工一千餘名の內八百名は橫斷組合たる神戶發動機工組合を組織して發會式を擧行、賃銀引上、勞働時間短縮、團體交涉權確認を會社へ要求するに決した

二十七日（月）

◇賃銀調約に對する電氣協會の決議

電氣協會は日本電氣協會上野吉三郎、中央電氣協會山岡順太郎、九州電氣協會松永安左工門の名を以て各團體自治團體に對し、既に履行不能となれる市町村に對する報償契約を永く保持するの要なき旨を警告し、左の決議を送附した

報償契約は大正八年四月發布の道路法の實施により無效に歸したるものと認む。依つて當業者は相手方たる市町村に對し契約無效の確認を請求するを適當の措置と信ず

◇日華紡織、臺灣紡織を合併

日華紡織紹會社（資本金一千萬圓）は臺灣紡織會社（資本金百萬圓）合併の件を臨時總會で決定した

◇東京馬車自動車會社の創立

資本金五十萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を決定した

▽取締役武田輝太郎、藤田藤固、山下吉太郎▽監査役井上業敎、古川英造

◇九州電氣鐵道會社五千萬圓に增資

同社は株主總會に於て資本金一千六百萬圓を五千萬圓に增資の件を可決した

◇鎭兵工廠職工大會の陳情

東京砲兵工廠職工三萬人によつて組織される小石川勞働會と日本工友會は、大阪砲兵工廠八千の職工に依つて組織される向上會と東西相呼應して職工大會を開き、今回の九時間制の實施により勞働時間は一時間短縮に拘らず賃銀は一割五分乃至三割削減された不滿と團體交涉權の確認を當局に陳情した

二十八日（火）

◇內務省、富豪の不純な寄附拒否を通牒

內務省では各事官會議を開き、富豪が寄附の名目で財團法人を設立することは、その名は社會事業でも實は私財の保護であり、財團存續中その利子は社會事業に充當せられるが解散後元金は寄附者にその儘戻るものであるから、以後私財保護を目的とする富豪の寄附は許可せざるよう、地方長官に嚴達するに決定した

◇大日本紡織の半額減資

同社は定時總會を開き資本金一千萬圓を半額減資して五百萬圓となす件を可決した

◇日本製鋼二百八十萬圓に減資

同社は定時總會を開き資本金五百六十萬圓を二百八十萬圓に減資する件を可決した

◇吉見紡織、樽井紡績を合併

同社（資本金四百萬圓）は樽井紡績會社（資本金五十萬圓）を合併し同時に五百萬圓に增資の件を株主總會に於て可決した

◇英國の炭坑失業解決

英國炭坑夫罷業はその基準賃銀率を戰爭前より二割增給する條件で解決、七月四日より復業に決した

二十九日（水）

◇政府、米穀證券を發行す

政府は米穀法による米穀買入代金として正金を渡さず米穀證券を發行することゝし、本日約二萬圓の同證券が日本銀行本支店出張所を經て市中に流れ出た。證券は無利子、日本銀行は日步二錢二厘、その他一般銀行は低利金融をなし、償還期は大正十一年四月一日である

◇大阪工業會、勞資協調の調査を決議

大阪工業會は常議員會を開き勞働爭議の頻發に鑑み、勞資協調の調査に積極的に乘出すことを決議し、常議員六十名全部がこれに當ることになつた

◇東京精米信託五分の一に減資

同社は株主總會を開き資本金五百萬圓を百萬圓に減資する件を可決した

◇東洋纖維工業會社の減資

同社は株主總會を開き資本金五百萬圓を八十七萬五千圓に減資の件を可決した

◇東京市街自動車會社の半額減資

同社は定時總會を開き資本金一千萬圓を五百萬圓に減資する件を可決した

◇福濱魚油會社の減資

同社は定時總會を開催し資本金七百六十萬圓（拂込四百七十五萬圓）を減資して二百二十一萬六百五十圓（拂込百五十萬四千五十圓）とすることに決定した

◇東京瓦斯の鐵價金問題解決

東京瓦斯會社の東京市に對する九年度報價金二十六萬三千五百五十四圓は、會社は契約無效を理由に納付を怠り、東京市は不納の場合は差押を執行すると主張して紛糾したが、會社側が折れて全額納付することに決定した

◇農業勞働會議委員及關係會議決定

本年十月二十五日ゼネバに開催される第三回萬國農業勞働會議に參列すべき政府代表として犬塚勝太郎、道家齊、資本家代表として松本圭一が內定したが、道家齊は辭任したゝめその後任命されたが、道家齊は辭任したゝめその後任として農務局長岡本榮太郎に內定し、顧問は橫井時敬、矢作榮藏、伊藤悌藏、星合莊之助、竹內可吉、明石弘、塚本明德、吉阪俊紀、北原安衞、佐藤寬次、星野錫、那須皓、里見純吉に內定した

◇傳染生活者のため相互金庫創立

傳染生活者に簡便に金融、貯蓄の途を開くため、貴族院議員星島謹一郎、衆議院議員星島二郎、法學博士吉野作造等によつて「相互金庫」が創設され事務所を東京に置いた

三十日（木）

◇臨時國庫證券六千九百萬圓借替發行

政府は歐國軍需品代金決濟處理のため發行した本日滿期の臨時國庫證券借替のため二分利附臨時國庫證券六千九百七十三萬六千九百七十五圓を發行した

◇電業納錄會社百萬圓に減資

資本金二百五十萬圓の同社は臨時總會を開き百萬圓に減資する件を決定した

◇日本電氣興業會社五分の一に減資

同社は定時總會を開き資本金百萬圓を二十萬圓に減資する件を可決した

【七月】

一日（金）

◇株式會社島田商會の減資

大阪の株式會社島田商會（資本金二百五十萬圓）は前期の缺損金百二十五萬圓を補塡するため百七十萬圓に減資する件を臨時株主總

會に於て可決した

◇千住製絨所職工の賃銀値上運動
陸軍千住製絨所職工一同は東京南千住飛町神社境内に賃銀値上問題に關する大會を開催したが、南千住署に解散を命ぜられた

一一日（土）

◇印度、雲母鑛を免除
印度政府は雲母未加工品に對し輸入稅を免除する旨發表した

四日（月）

◇在露邦人逮捕命令發せらる
露國政府は、同國在住日本人にして共產黨に屬せざるものは悉く逮捕すべしと發令した右は日露兩國が交戰狀態にあることを公式に證明したものである

◇臺灣物產會社の創立
資本金十五萬圓を以て設立された同社は創立總會を開き、左の重役を選任した
▽取締役副澤岩夫、山元本吉、加藤吉五郎
山元千代▽監査役平川可賢、猿木保老

◇東京市騷擾事件の審理決定
東京市の大疑獄として世人の耳目を聳動した東京市政（瓦斯料金値上問題、道路不正問題等）に關する賄收賄事件は六月二十八日を以て豫審終結した。有罪と決定した主要人物は左の如くである
▽東京瓦斯會社常務職部保次、同參木儀郎若尾銀行頭取若尾謹之助、帝國火藥工業會社常務三浦逸平、代議士東京市會議員高橋義信、東京市技師笠置正元東京相撲協會理事市會議員根岸治右衞門元警視總監保安部長龍谷巖、同渭藥市會議員辰澤延次郎

五日（火）

◇給岡洋右、滿鐵理事に就任
正五位勳三等松岡洋右は南滿洲鐵道會社理事に任命された

◇英國の石炭輸出解禁
英國政府は石炭の輸出禁止を解除した

六日（水）

◇住宅組合法及同施行規則の公布
住宅組合法及び住宅組合施行規則が公布され、十日より實施された

◇陸軍廣島造船所の火災
字品陸軍運輸部附屬廣島縣安藝郡金尾島造船所より本日午前一時三十分發火し、同工場を全燒、建造中の汽船一隻、傳令船二隻燒失して同四時鎭火した。損害約三百萬圓

七日（木）

◇皇太子殿下、巴里御出發
歐洲各國御訪問中の皇太子殿下には巴里を御出發遊ばされ、伊太利に向はせられた

◇川崎運送會社の創立
資本金六十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役大木貞次郎（代表）、土川晉三郎、米本庄五郎、小林種六、宮澤實、岡村伊三郎▽監査役井谷彥太郎

八日（金）

◇富政會東海大會の內閣糾彈決議
富政會東海十一州大會は名古屋に於て開催され、所屬代議士及び黨員約二千名參集し、左の決議をなした
吾人は內外の失政に對し現內閣の責任を糾彈す

◇市政革新會、濱機市總に歸機勸告
東京市の瓦斯値上問題に反對した關田又一、木內傳之助、松田義隆外三十名は東京市政革新會を組織、豫審で有罪と決定した市會議員高橋義信、山口憲、辰澤延次郎、酒井泰、安住佐太郎、松山傳十郎、增野豐、中村鐵二、岩松彙經等に對し、卽刻辭職すべしとの決議

文を送達した

◇五分利國庫債券一千餘萬圓發行
臺灣及び鐵道兩事業費の財源に充てる五分利國庫債券一千百四十七萬九千三百圓は左の條件で發行された
▽發行價格九十三圓▽償還期限大正十八年六月一日迄▽引受先六百四十七萬九千三百圓臺灣銀行、五百萬圓大藏省預金部

◇神森川農工債等五十萬圓發行
同行は臨時株主總會を開き、左の條件で農工債券五十萬圓の發行を決定した
▽利率年七分七厘▽發行價格額面▽償還期限二ケ年据置後八ケ年償還

◇株式會社吉田組の創立
資本金百萬圓を以て設立された株式會社吉田組は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽專務取締役吉田豊吉▽常務取締役相原伊之助▽取締役近藤忠平、鈴木長兵衞、喜多村鏞治、齋藤半平、江幡保男、野口喜多治志賀文太▽監査役立川芳、大塚日現、本橋雄三郎、鈴木太作

十日（日）

◇航空評議會官制公布
航空評議會及び航空研究所の官制が公布され、卽日實施された

◇阿片事件の豫審決定
前拓殖局長官古賀廉造及び前大連民政署長中野有光等に關する阿片不正事件の豫審終結し、何れも有罪と決定した

◇神戶勞働組合の示威運動
神戶勞働組合聯合會は爭議中の三菱、川崎兩造船所に對する示威のため約四萬の職工を動員し神戶市內を行進して氣勢を擧げた

十一日（月）

◇皇太子殿下、ナポリ御着
御外遊中の皇太子殿下には伊太利ナポリに御到着遊ばされた

◇臺灣總督府總務長官の更迭
臺灣總督府總務長官下村宏は後進に途を開くため辭職し、後任は同總督府專賣局長官賀來佐賀太郎と決定した

◇石川工業會社の創立
資本金三萬五千圓を以て設立された同社は創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長吉田泉次郎▽專務取締役石川淺次郎▽取締役森村森麗、中井晉松▽監査役鈴木勝三郎

十二日（火）

◇米國の軍縮會議豫備會に日本參加
日本政府は米國大統領ハーヂングの軍備縮小會議に關する提議を承認し、支那招待についても贊成した

◇東亞汽船會社の半額減資
神戶の同社（資本金一千萬圓）は臨時株主總會に於て財界不況のため五百萬圓に減資と決定した

十三日（水）

◇佛國、軍縮會議に參加
佛國は米國大統領ハーヂングの軍縮會議參加招待に對して承諾の旨回答した

◇米國、潛艦の輸入を禁止
米國檢事總長ドアーテーは「酒類を積載せる外國船舶が米國領海內三哩以內に入り來る場合は押收さるゝことあるべし」と發表した

十四日（木）

◇皇太子殿下、區馬御着
皇太子殿下、閑院宮殿下を始め奉り隨員一行は伊太利皇帝陛下、アオスタ公、ボノミ首相等の御出迎へを受けさせられ、羅馬に御安着あらせられた

◇横濱組合銀行の生絲擔保價增額
横濱組合銀行は、生絲市況の不振に鑑み生

絲の增保價格を從來より五十圓下げの四百五十圓とし、本年六月六日より實施したが、米國方面の買氣旺盛により生絲相場も漸次昂騰を示して來たため、本日の定例集會に於て生絲增保價格を五百圓に復舊し本月十六日より實施と決定した

◇川崎造船所職工、警官隊と衝突

爭議中の神戶川崎造船所職工は會社側が十四日までに最後の要求を容れぬ場合は工場を占領するとの聲明を發表したので、會社側は本日早朝、向ふ十日間の臨時休業を發表すると共に約一千名の警官並に憲兵を以て工場を嚴備した。これに憤激した職工側は警戒線を突破せんとして遂に警官隊と衝突し、多數の職工が檢束された

十五日（金）

◇小田原電鐵會社に低資融通

政府は小田原電氣鐵道會社に對し左の條件で公債百八萬一千圓を交附した

▽利率年五分▽償還期限五年据置後五十年內に償還

◇名古屋鐵道會社の創立

資本金一千二百萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽社長富田重助▽常務取締役上遠野富之助▽取締役岡本清三、松居庄七、後藤幸三、跡田直一▽監査役江口理三郎、村瀨周輔、高橋彥次郎

◇日本花崗石材會社の創立

資本金五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽取締役保坂永吉（代表）、井上藤作、森清太郎、稻野達仙太郎、近藤剛三▽監査役新名宰太、廣瀨久彥

◇三菱造船所の職工代表上京

神戶三菱造船所の罷業は神戶に於て交涉不調となつたが、實行委員安井喜藏外九名は、飽くまで目的を貫徹すべく本日入京、直接本社重役と會見することになつた

十八日（月）

◇皇太子殿下御歸國の途に就かせらる

御外遊中の皇太子殿下には、本日伊太利を御出發遊ばされ、御歸國の途に就かせられた

◇豆滿鐵橋撤去の對日要求經緯

日本軍が間島に出兵、豆滿江に假鐵橋を架設したに對し、支那政府は至急撤去を要求したが、我政府は應じて撤去し難しと回答した

◇白木屋吳服店の社長更迭

白木屋吳服店は臨時株主總會を開き、社長大村彥太郎の辭任を承認、後任に西野惠之助を選任した

◇矢吹銀行の創立

資本金五十萬圓を以て設立された鳥取縣矢吹町の同行は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽頭取仲西勇吉▽副頭取大木代吉▽取締役水野谷八郎、酒井寅三郎、藤田熊五郎、佐久間七右衞門、窪田多惣治▽監査役水野谷德次郎、會田道之助

◇靜岡商業銀行百二十萬圓に增資

同行は臨時株主總會を開き現在の資本金五十五萬圓を百二十萬圓に增資と決定した

◇臺灣製糖、神戶工場を閉鎖す

貨銀值上問題で本月十四日以來爭議中の臺灣製糖神戶工場の善後策に關し同社は重役會議を開いた結果、右工場を閉鎖し全職工五百二十六名を解雇と決定し、職工側に通達したが、解雇手當は規定により、一人平均一千圓であつた

十九日（火）

◇三井物產の新重役決定

同社は定時株主總會に於て取締役三名增員

の件を可決、田中文藏、瀨古孝之助、平川篤次郎の三名を選任した

◇利根銀行の六倍增資

群馬縣の同行は臨時株主總會を開き資本金五萬圓を三十萬圓に增資と決定した

二十日（水）

◇國庫債券一千萬圓發行

政府は鐵道建設及び同改良費に充てるため五分利國庫債券一千萬圓を左の條件で發行する旨告示した

▽發行日大正十年八月十五日▽賣出價格九十三圓▽償還期限大正十八年六月一日迄

◇遠江銀行、曳馬銀行を合併

濱松市の遠江銀行（資本金二百萬圓）は臨時株主總會を開き同市の曳馬銀行（資本金三十萬圓）合併の件を可決した

二十一日（木）

◇村上貯蓄銀行、村上產業銀行と改稱

新潟縣の同行（資本金十五萬圓）は臨時株主總會を開き、貯蓄銀行條例改正の結果貯蓄銀行業を廢止し、同時に行名を村上產業銀行と改稱する件を可決した

◇加州の日本人勞働者放逐さる

米國カルフオルニア州スタニスロースの果樹園に於て果實摘取りに從事中の日本人勞働者五十八名は、低賃銀で働くとの理由で白人勞働者のために放逐された

二十二日（金）

◇正金銀行、名古屋に出張所設置

橫濱正金銀行は名古屋に出張所を新設し本日營業を開始した

◇東京大理石工業會社の創立

資本金三十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した

▽取締役島津傳之助（代表）、池內仲藏、竹村照治▽監査役島親午良、岸本光次郎

二十三日（土）

◇帝國電燈社債三百萬圓發行

帝國電燈會社（資本金二千四百萬圓）は臨時株主總會を開き、左の條件で社債三百萬圓發行を決定した

▽利率年八分▽發行價格九十八圓▽償還方法二ヶ年据置後三ヶ年間に償還

◇加島貯蓄銀行、加島銀行に合併

大阪の加島貯蓄銀行（資本金三萬圓）は臨時株主總會を開き、貯蓄銀行條例の改正に伴ひ加銀行たる加島銀行（資本金一千五百萬圓）に合併する件を可決した

◇岡本銀行の組織變更

東京の合資會社岡本銀行（資本金二十萬圓）は臨時株主總會を開き、資本金を二百萬圓に增加し株式組織に變更する件を可決、重役を左の如く選任した

▽會長岡本善二▽專務取締役岡本忠三郎▽取締役兼支配人松本莞爾▽監査役中澤文治

◇水澤貯蓄銀行、三陸銀行と改稱

岩手縣の同行（資本金二百萬圓）は臨時株主總會を開き、貯蓄銀行法實施後は普通銀行業に重點を置くことゝなるので行名を三陸銀行と改稱することに決定した

二十四日（日）

◇永守貯蓄銀行の借額增資と改稱

富山縣の同行は臨時株主總會を開き、資本金五十萬圓を百萬圓に增資し、同時に貯蓄銀行條例改正に伴ひ貯蓄銀行業を廢止し永守銀行と改稱することに決定した

二十五日（月）

◇國庫證券一億圓借換發行

政府は九月一日償還期限の臨時國庫證券一億圓を左の條件で借換發行する旨告示した

▽利率年五分▽發行價格現金應募九十五圓二十五錢、臨時國庫證券乘替應募九十四圓

七十五錢▽償還期限大正十五年六月一日迄
▽利拂期年四回

◇千代田電氣會社の創立
資本金二十萬圓を以て設立された同社は、
創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長太田雪松▽取締役川崎覺治、關永佐太郎、今橋叔良、對馬卓▽監査役和田周平
西田定次郎

◇日本傷害火災海上保險の社長更迭
同社は臨時株主總會を開き、社長栗津清亮
辭任につき後任に安樂兼道を選任した

◇警都に戒嚴令布かる
職工の反亂を鎭壓するためペトログラードに戒嚴令が布かれた
二十八日（木）

◇中日實業社債百二十萬圓發行
同社（資本金五百萬圓）は臨時株主總會を開き、左の條件で社債百二十萬圓の發行を決定した
▽利率年八分▽發行價格九十六圓▽償還方法一ヶ年据置後四ヶ年に償還

◇武田銀引銀行、幹證銀行業務を廢止
東京の同行（資本金五十萬圓）は臨時株主總會を開き、從來貯蓄銀行業務を兼營してゐたが、貯蓄銀行條例改正の結果これを廢止する件を可決した
二十九日（金）

◇北海道拓殖貯蓄銀行の業務變更
同行（資本金五十萬圓）は臨時株主總會を開き、貯蓄銀行條例改正に伴ひ斜然たる普通銀行とする件を可決した
三十一日（日）

◇選擧當に航空局新設
航空局官制が公布され、八月一日より遞信省に航空局が新設された

◇東華紡績中藪毛織を合併
資本金二千萬圓の東華紡績會社は中藪毛織會社を合併、一千萬圓を增資して資本金三千萬圓となつた（日不詳）

◇南亞公司、三勝織會社を合併
資本金二百五十萬圓の南亞公司は、宿大護謨會社（拂込資本金三十六萬六千六百六十六圓）（同二十萬圓）及び朝日護謨會社（同四十八萬圓）を合併、百六十四萬圓を增資して資本金四百十四萬圓となつた（日不詳）

【八　月】

一　日（月）

◇鐘淵紡績・土一・鐘淵を合併
同社（資本金五百萬圓）は臨時株主總會を開き土乃護謨會社を合併して百五十萬圓增資の件を可決した

◇賀川豐彥收監さる
神戸の三菱、川崎兩造船所等の爭議に活躍した賀川豐彥は、神戸地方裁判所檢事局に召喚取調中であつたが、騷擾罪として起訴され橫分監に收容された

◇遞信丸、アフリカ沖で坐礁す
大阪商船の遞信丸（四千五百八十三噸）は本日午前零時五十五分アフリカのグアダフイ岬沖に於て坐礁したが、皇太子殿下供奉艦鳥島が右地點を通過救助した

◇印度で英太子の來遊をボイコット
全印度國民大會は委員會に於て、英國皇太子の印度來遊をボイコットする決議案を可決した

二　日（火）

◇遞信中央研究所官制の公布
同官制は勅令を以て公布、卽日施行された

◇朱支那特使、國書捧呈
一日入京した支那徐大統領の特使朱啓鈐は內田外相の手を經て國書捧呈の手續を執つた

◇株式會社瀨谷商會の破產
東京日本橋區の株式會社瀨谷商會（資本金百五十萬圓）は、南洋貿易不振から大打擊を蒙り東京地方裁判所に於て破產を宣告された

◇阿仁川電力會社の創立
資本金二十五萬圓を以て設立された同社は創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役稻垣泰之助（代表）、柾丹治、小關金之助、佐藤哲吉、宮越惣兵衞▽監査役庄司龜治、荻原申八

◇大株運搬長島德藏告訴さる
大阪株式取引所理事長島德藏は、理事長の職にあり乍ら大仕掛の株の賣買をなすは取引所法違反であるとの理由で、神戸市の中橋代吉より大阪區裁判所檢事局に告發された

◇總洞南督軍、宣戰理由を宣布
支那湖南督軍趙恒惕は、王占元を驅逐し湖北省民の自治を擁護するとの宣戰理由を宣布し、同時に軍隊に對し左の八ケ條の告示を公布した
紀律の嚴守、友軍と親睦、人民を愛撫、外人保護、內政不干涉、爭亂を醫む、捕虜優待、商業維持

三　日（水）

◇長門銀行の支拂停止
山口縣の同行（資本金三十萬圓）は報告整理を名として本日より三週間の休業を發表した

◇吳佩孚、鄂に委員提議
支那北方聯合軍司令吳佩孚は湖南督軍趙恒惕に對し、王占元の引退を條件として湖南軍の湖北攻擊中止を提議した

四　日（木）

◇太平洋會議開催期日決定
米國政府は、太平洋會議を來る十一月十一日ワシントンに於て開催することに決した旨正式に日本外務省に通達してきた

五　日（金）

◇名古屋農產銀行の三倍增資
愛知縣の同行は株主總會を開き資本金五十萬圓を百五十萬圓に增資と決定した

◇東北運總會社の創立
資本金二十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役渡邊廣治（代表）、本田興俊、渡邊虎徹▽監査役田中富五郎、堀田滋隆

◇三菱造船の爭議調停に有吉知事乘つ
有吉兵庫縣知事は神戶の三菱造船所の勞働爭議調停に乘り出した

◇王占元の放逐を通達
支那湖北自治軍及び省會代表孔庚は、北京公使團及び漢口領事團に宛て王占元を放逐すべき旨を通達した

六　日（土）

◇運送信託會社の創立
資本金十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役中川米太郎（代表）、鈴木五三郎、增田宇三郎▽監査役木津川友三郎

◇王占元罷免を提出す
米國政府は、太平洋會議を來る十一月十一日ワシントンに於て開催することに決した旨正式に日本外務省に通達してきた

五　日（金）

◇名古屋農產銀行の三倍增資
愛知縣の同行は株主總會を開き資本金五十萬圓を百五十萬圓に增資と決定した

◇東北運總會社の創立
資本金二十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役渡邊廣治（代表）、本田興俊、渡邊虎徹▽監査役田中富五郎、堀田滋隆

◇三菱造船の爭議調停に有吉知事乘つ
有吉兵庫縣知事は神戶の三菱造船所の勞働爭議調停に乘り出した

◇王占元の放逐を通達
支那湖北自治軍及び省會代表孔庚は、北京公使團及び漢口領事團に宛て王占元を放逐すべき旨を通達した

六　日（土）

◇運送信託會社の創立
資本金十萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽取締役中川米太郎（代表）、鈴木五三郎、增田宇三郎▽監査役木津川友三郎

◇王占元罷免を提出す
米國政府は、太平洋會議を來る十一月十一日ワシントンに於て開催することに決した旨正式に日本外務省に通達してきた

七　日（日）

◇伊國、總罷の輸入を禁止す
伊太利政府は動植物性化學染料及び右製造に供せらるべき動植物各種原料品の輸入を禁止した

◇天一坊・松谷元三郎死去
株界の飛將軍として活躍した松谷元三郎は病氣のため死去した。享年四十六。明治九年

和田利兵衛の長男として生れ、十一歳の時、當時株式組取商の成功者と謳はれた加賀市太郎商店に丁稚奉公し、その後蚕島、鯛浦町、兜町等の投機場裡に現はれ度々乾坤一擲の大投機を演じて「天一坊」を以て謳はれ、その生涯は豪快そのものであつた

九日（火）

◇東京瓦斯電氣會社の創立

資本金二十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役田中仙次郎、築瀬兵、堺頼吉、田島豊三郎、矢島哲二、西澤淨次▽監査役巖本善吉、前田卯之助、鎌田九平

◇王占元の辭職許可

湖北都督王占元は辭表提出中のところ、大總統令を以て辭職許可が發表された

◇三井物産社長三井養之助死去

三井物産社長三井養之助は病氣のため死去した。享年六十六。安政三年三月二十二日三井三郎助の三男として生れ、明治五年米國に遊學、歸朝後三井物産會社の創設に參劃してその重役となり、爾來海外貿易に盡すこと四十餘年、現に同社々長たる外、鐘紡取締役會長、東神倉庫社長等の職にあつた

十日（水）

◇勸業債券一千五百萬圓發行

日本勸業銀行は三井銀行引受の下に左の條件で債券一千五百萬圓を發行した

▽發行價格額面▽利率年七分▽償還期限十一ケ年

◇寺作寅、湖北新督軍に要求を提出

湖南の寺作寅は新任湖北督軍肅南に對し左の要求を提出した

（一）湖北全省に自治を宣布せよ（二）今回の義軍を湖北の境に駐屯せしめよ（三）自治條項に合はざる時は改革を決行せよ（四）王占元の軍隊は全部解散せしめよ

十三日（土）

◇外務省に情報部を新設

外務省に情報部を新設することゝなり本日の官報を以て同官制が公布され、即日施行。尚通商局長田中都吉が情報部長兼任を命ぜられた

◇英國ヤロー造船所、無期休業に決定

世界造船界に於て有名な英國のヤロー造船所に於て有名な英國のヤロー造船所に於て受渡期限を履行することが出來なくなつたので、十月一日より當分無期限に休業することに決した

十四日（日）

◇水瀧電車會社の創立

資本金百五十萬圓を以て水戸市に設立された同社は、創立總會を開き、左の重役を選任した

▽社長竹内惣兵衛▽專務取締役竹内勇之助▽取締役宮本逸三▽監査役稻見耕作

十五日（月）

◇武陵丸、武昌上流で砲撃さる

日清汽船の武陵丸は今朝支那武昌の上流二十五哩の地點に於て南軍のために烈しく砲撃されたが、死傷者は無かつた。但し上流の汽船往復は益々困難となつた

◇國際聯盟總會の日本代表決定

九月十五日よりゼネバに開催される第二回國際聯盟總會に出席する日本代表は、林權助石井菊次郎、安達峰一郎と決定した

◇大阪毛織會社職工の要求提出

同社の職工九百名は、職工大會を開き、左の要求書を平田專務に提出し、拒絶された場合は罷業決行を決議した

（一）工場委員制度を採用のこと（二）退職手當を改善せよ（三）昇給の件

◇東洋紡績職工の暴動

紡績工組合の創立運動を開始した友愛會に加入してゐる首謀者三名が本月十二日檢束されて以來、紛擾中であつた大阪府西成郡の東洋紡績西成工場職工百余名は、職工大會を開き賃銀値上、解雇手當等の要求を宮地工場長の許に提出したが、拒絶されたため憤激して同工場長宅を襲撃した。急報により朝日橋署から警官が急行、職工四十名を引致した

◇太平洋會議に對する支那態度の宣言

徐大總統は、太平洋會議參加に際し、大要左の如き宣言書を發表した

米國大統領ハーデイングの發起にかゝる太平洋會議は、軍備制限及び極東問題を討議し、これによつて國際紛議を解き公平に國際間共通の原則を確定するものと信ず。本大總統は我に國民を代表して米國大統領の提議を歡迎し併せて平和を維持し、我國民の希望を中外に宣明せんとするものなり

十六日（火）

◇廣島電氣會社の創立

廣島電燈（資本金六百萬圓全額拂込濟）と廣島臭電力（資本金五百十一萬五千圓全額拂込濟）の兩社が合同し、新たに資本金二千五百萬圓を以て設立された廣島電氣會社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長海塚新八▽副社長川北榮夫▽取締役谷口節、鹽谷孝吉、横島直彌、澤原精一、木村靜嗣、松本清助、西村喜平、島本幸助、式村茂、井原外助、井東茂兵衛、鈴川貫一、稻葉實、守屋義之▽監査役島津需吉、松本直太郎

◇日本郵船會社の創立

資本金百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽專務取締役片岡鎭吉▽常務取締役柴田利八、大針信次四、井木隆作▽取締役柴田利八、大針信次▽監査役寺島權藏、川名正吉郎

◇張作霖、蒙古統治方針を通達

張作霖は支那中央政府に對し左の如き蒙古統治方針を通達した

（一）活佛をして外蒙を治めしめること（二）蒙古四族により內蒙を治めしめること（三）自然の境界により軍管區を區劃すること（四）滿蒙銀行を設立し金融を整頓すること（五）蒙古兵團を組織し匪賊の根源を除去すること（六）學校を設立し民智を開發すること（七）實業を奬勵し民を正業に安んぜしむること（八）牧畜法を改良すること（九）開墾を奬勵すること（十）交通の發達を圖ること

十七日（水）

◇露國、太平洋會議除外に抗議

露國勞農政府は、本日附を以て米國外務省に通牒を送り、太平洋岸に廣大なる領土を有する露國を太平洋會議より除外したるに對し嚴重なる抗議を提出、同會議に於ける一切の決議を承認せずと聲明した

十八日（木）

◇東宮殿下御乘艦香取、朝鮮後を出港

御歸朝の途にあらせられる皇太子殿下の御乘艦香取は、在留日本人の歡送裡にシンガポールを出港した

◇北海道拓殖銀行の借額增資

同行は臨時株主總會を開き資本金一千萬圓を二千萬圓に增資と決定した

◇大阪毛織會社、休業を發表

本月十五日の職工側の要求提出により爭議中の大阪毛織會社は、會社側に於て對策考究中のところ本日に至り同社平田專務は「會社側に於て自發的に賃銀一割二分五厘値上の計畫あれども職工側提出の要求は全部承認し難し」と回答し、當分（期限なし）休業の旨を發表したので職工九百名は益々結束を固め爭議

は惡化の形勢を示した

◇奥島飛行機工場の火災

民間唯一の飛行機製作所として著名な群馬縣新田郡尾島飛行場より本日午後八時四十分出火、格納庫及び飛行機六臺を燒失し、同十一時に鎭火した。原因は發動機修繕中傷らの瓦斯ランプがガソリンに引火したもので、損害約百萬圓

◇吳佩孚、湖南軍攻擊に決定

吳佩孚は十九日を以て南軍總攻擊を開始するに決定した

◇支那湖北軍の掠奪

孫傳芳等の湖北軍隊は王占元の命により戰線を退却し武穴に向つたが、沿路猛烈な掠奪を行つた

十九日（金）

◇鈴田帶革會社五百萬圓に增資

同社は臨時株主總會を開き資本金四百萬圓を五百萬圓に增資と決定した

◇近江帆布會社の借銀增資

同社は臨時株主總會を開き資本金三百萬圓を六百萬圓に增資と決定した

二十日（土）

◇三井社員拉致の馬賊、五百萬圓要求

馬賊草上飛答のため本月十一日拂曉人質に取られた支那吉林三井出張所員宮本治郎作の救出に關し、三井では直に同地方の事情に精通せる支那人を派遣して狀況を探らしめたところ、馬賊は金五百萬圓及びモーゼル銃彈丸九千發と交換すべしとの要求を提出した

◇獨逸、賠償金の一部を支拂ふ

獨逸はモルガン商會を通じて英國及びベルギーに對する本月末支拂賠償金の一部として五百萬弗を支拂つた

◇英國の賠償執行委員任命

英國政府は巴里最高會議の決定に基き露國救濟委員としてサーピー・ロイドグリーム、サー・ジョン・ハウエット及び前モスコー總領事ウオアドロップの三名を任命した

二十一日（月）

◇佛領マダカスカル、鮮人移民を募集

佛國政府より日本政府に對し、佛領マダカスカル島へ朝鮮人の團體移民を募集したしと申込があつたので、外務省は朝鮮總督府へ照會、總督府は左の五條件附を容るゝに非ざれば移民は許可し難しと回答した

（一）移民は家族同伴を許し、その旅費全部を支給すること（二）移民は隨意に歸國を許し旅費をも支給すること（三）醫療機關の設備を充實し、移民の治療費をも支給すること（四）移民の勞銀は土人又は支那人以上の相當額を支給し生活の安定を保證すること（五）移民の保護は佛國政府に於て全責任を負ふこと

◇山下汽船、青島定期航路を開始

同社は從來橫濱及び青島間に不定期船として配船してゐたが、同航路は青島積鹽、礦石、コークス、牛及び橫濱積日用品雜貨等相當の積荷があるので、九月上旬より一ケ月二回の定期航路とし、三千噸級の汽船二隻を配船することに決定した

◇關銀行の組織改正

同行は組織を左の如く改正した

（一）文書課廢止（二）總務部支店課を獨立せしめ、支店課を新設（三）總務部調査課を廢し、總務課に於てその事務を分掌する

◇吳佩孚、南北調停條件を發表

吳佩孚は南北調停のため奔走中の湖北省出身者に對し、左の如き交涉條件を發表した

（一）蔣作賓にして湖北自治政府を取消すに於ては余は何時にても和議の交涉に應ずべし（二）各省自治に就ては余は元より主義に於て之に贊成す。されども各省が省憲法を作ることは、中央政府と離反し國家の組織を根底より覆すものなるを以て之に贊同することを得ず。各省の自治は中央政府が自治條例を制定するを俟ち初めて行はるべきものとす

二十二日（火）

◇日本軍、パルチザンに襲撃さる

日本軍の裝甲列車は浦鹽ウソリー驛とシマコフカ驛の中間に於てパルチザンの襲撃を受け死傷者十數名を出した

◇不逞鮮人續發に出兵

朝鮮平安北道厚昌郡に七月二十四日潛入した不逞鮮人約四百名は、慶北咸南兩道の森林地帶に逃入して、更に七十名を增加し、咸南警察部の必死の防壓にも拘らず益々その勢が猛烈となつたゝめ、羅南第三十七旅團は警察部の要請により出兵に決定、即時行動を開始した

◇湖北軍の日本軍艦旅使用に抗議

支那湖北軍は軍隊輸送に際し日本軍艦旅を使用したので、長沙日本領事は蕭耀南に對し嚴重抗議を發した

二十四日（水）

◇軍縮會議參加の對米正式回答

日本政府は米國大統領の軍備縮小會議招請に對し參加す可き旨を正式に回答した

◇三井物產會社々長更迭

同社は臨時株主總會を開き、代表取締役社長三井養之助死去につき後任は三井守之助と決定した

◇農元洪の南北調停條件

黎元洪は代表を武昌に派遣し、吳佩孚に對し左の調停案を提出した

（一）吳佩孚の巡閱使、蕭庸南の督軍を更迭せず（二）周樹模を省長となす（三）湖北省自治を實行し先づ武昌より施行す（四）蔣作賓孫文の募集したる自治軍は民兵となす。軍隊は全部湖南に撤退す

以上の條件は湖南軍の承認したものである

二十六日（金）

◇獨逸前副宰相射殺さる

前獨逸副宰相エルツベルガーは汎獨逸主義の兇漢のために拳銃を以て射殺された

二十七日（土）

◇東都府農工債券五十萬圓發行

同行（資本金五百萬圓）は臨時株主總會を開き、左の條件で債券五十萬圓の發行を決した

▽利率年七分五厘▽發行價格額面▽債券種類五十圓、百圓、五百圓、千圓▽償還期限大正十年十月一日より十二年五月三十一日迄據置以後每年二回抽籤により償還▽利拂期六月、十二月

◇吳庭農工債券百萬圓發行

同行（資本金六百萬圓）は臨時株主總會を開き、左の條件で農工債券百萬圓の發行を決定した

▽利率年七分五厘▽發行價格百圓に付百圓▽種類五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓▽償還方法大正十一年三月一日より同二十一年二月二十八日迄每年二回抽籤により償還▽利拂期三月、九月

◇山陰線の一部開通

鐵道省告示を以て來る九月一日より山陰本線都野津、濱田間（九哩一分）開通の旨發表された

◇神關海上火災保險會社の創立

資本金三百萬圓を以て大阪に設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役岸本五兵衞、岸本彙太郎、岸本鑑之助、猪飼九兵衞▽監査役岸本萬紀、貴田

拾兵衛

◇帝國土地開拓會社の創立
資本金五千萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長安藤謙介▽副社長伯爵芳川寛治▽專務取締役今橋清一、石井淳、遠藤清一▽取締役深水鋒、清水倉次郎、生井喜一郎、關井榮太郎、加納藤右衞門、松前勝廣、平岡貫之助▽監査役瀨戸藤太、關道守、坂東秀太郎、淺藤儀太郎▽相談役住友吉左衞門、須藤喜吉、鴻池新十郎

二十八日（日）

◇關島電燈會社の不正發覺
同社（資本金八百萬圓）の不當支出百二十萬圓が發覺し、株主片平長右衞門、三嶋音五郎、桴村眞外十三名の株主、重役等が關島地方裁判所檢事局に召喚され、同社長大島要三專務菅原道明等は引責辭職した

二十九日（月）

◇ヤップ島の委任統治問題解決
國際聯盟が日本に委託し、米國がこれに反對してきたヤップ島委任統治問題は、米國側が日本の提案（日本はヤップ島を國際管理に附さんとする米國の提議を承認せぬ代りに阿

【九　月】

一　日（木）

◇東京織維貿易會社の創立
資本金二十五萬圓を以て設立された同社は創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役片岡茂三郎（代表）、大友佐平、安岡克美、加藤榮助、山田常次郎▽監査役奈良龍三、前田藤助

◇桃源鑛業會社の創立
資本金三十二萬圓を以て設立された同社は創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役松永安左エ門（代表）、角田正喬、關澤駒吉、增田次郎、下出義雄、井東悅造、石山賢吉▽監査役寒川恒貞、松山榮、成瀨正忠

◇布哇淺野貯蓄銀行の開業
布哇ホノルル市のパシフキック・バンク（資本金二十萬弗）は從來淺野總一郎が株主となり同地人を中心として營業を續けてきたが、今回淺野側でその株式の大部分を買收し、布哇淺野貯蓄銀行と改稱して本日より開業した

◇三菱造船、工場委員制度を採用
三菱造船所は時勢の進運に鑑み工場委員制度を採用すべく計畫中であつたが、本日工場委員會規則を發表し、長崎、神戸、彦島、名古屋の各關係工場に實施した

◇阿片事件の損害賠償を提訴
古賀廉造、中野有光等に關する阿片事件公判は大連地方法院に於て開廷されたが、關東廳は同事件の被告等の背任によつて生じた百二十六萬九百七十五圓の損害賠償の私訴を大連地方法院に提起した

一一　日（金）

◇東洋機艇會社の創立
大阪に設立された同社（資本金二十萬圓）は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽專務取締役今津勢助▽取締役排西源造、川原茂、伊藤榮三郎、三宅吉之助▽監査役福井源右衞門、井上福藏

三　日（土）

◇皇太子殿下、御歸朝遊ばさる
本年三月三日海外御巡遊の途に上らせられた皇太子殿下には、本日午前十時橫濱に御上陸、御歸朝遊ばされ、同十一時十五分東京驛御着車、直ちに東宮御所に入らせられた

◇日本陸戰隊、漢口に上陸
支那南北軍衝突のため漢口市中は混亂狀態となつたので、帝國軍艦伏見は日本領事館及び日清汽船會社を保護するため陸戰隊を上陸せしめた

◇支那南北兩軍の停戰成立
湖南軍代表趙湖僊は、岳州に於て湖北軍代表吳佩孚と會見し、大要左の如き條件で停戰することゝなつた
岳州附近の南北軍は、汨經江を以て境界とし、三日後より湖南軍は湖陰白水以南に引揚げ、北軍は黃砂街長樂方面に駐屯すること。北軍によりて包圍された湖南軍は武裝を解除せずして湖南に撤退すること。南北兩軍は命令を受取りたる日より直ちに指定地點に向け撤退すること

四　日（日）

◇皇太子殿下、日光に行啓
皇太子殿下には、日光御用邸に行啓遊ばされ、天皇、皇后兩陛下に御對顏遊ばされた

◇米穀有志大會の決議
全國米穀同業者有志大會は東京深川正米市場事務所に開催され、東京外十四府縣代表者三十餘名出席、左の決議をなした
（一）正米市場は會員組織とし、その會員は

島の海底電信設備と管理とを米國に讓る）を承諾し、同問題は漸く解決した

◇關神電鐵社債一千萬圓發行
同社（資本金二千五百萬圓）は臨時株主總會を開き、左の條件で社債一千萬圓の發行を決定した
▽利率年七分▽發行價格九十七圓▽償還期限六ケ年

◇古河鑛業、古河商事を合併
同社（資本金二千萬圓）は株主總會を開き、古河商事會社を合併し二百五十萬圓を增資することを可決した

◇長崎紡織、南海紡織を合併
長崎紡織會社（資本金五百萬圓）は臨時株主總會を開き南海紡織會社（資本金百四十五萬圓）を左の條件で合併し、三十八萬圓增資する件を可決した
長崎紡は南海紡の五十圓拂込舊株三株に對し五十圓拂込の一株を交附し、南海紡の債金七十五萬圓を繼承する

◇ロツクフエラー來朝
米國の大富豪ロックフェラー一行は、北京のロックフェラー財團設立の大學開校式に臨む途中、本日橫濱入港の加奈陀太平洋汽船エムプレス・オブ・エシヤ號で來朝した

◇元宮內次官死去
病氣のため死去した。享年七十九。天保十四年五月信州に生れ、北海道廳長官、內務次官、宮內次官に歷任し、明治三十三年男爵となり、明治四十三年宮內大臣に親任せられ、同四十四年伯爵を授けられた

◇明電舍五百萬圓に增資
資本金二百萬圓の明電舍は三百萬圓增資して資本金五百萬圓となつた（日不詳）

◇日本樂器製造、西川繊維製造を合併
資本金三百萬圓の日本樂器製造會社は西川樂器製造會社を合併、四十八萬圓を增資して資本金三百四十八萬圓となつた（日不詳）

◇鐘紡、山陽・佐賀兩農工を合併
日本勸業銀行（資本金四千萬圓）は山梨農工銀行及び佐賀農工銀行を合併、百六十八萬圓を增資して資本金四千百六十八萬圓となつた（日不詳）

◇株式會社野遠屋呉服店の創立
橫濱の同呉服店は資本金百萬圓の株式會社に改組、創立總會に於て左の重役を選任した（日不詳）
▽取締役淵定助、鬼頭幸七、殿木三郎、堀

當業者に限ること(二)正米市場は主要需要地及び集散地に置くこと(三)新設正米市場は一地區内に一ケ所限りとすること

◇宣諭四川軍、宜昌を占領
四川軍は宜昌を占領し城の内外で大掠奪を行つた

五　日（月）

◇帝國通運會社の創立
資本金二十一萬圓を以て設立された同社は創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長小島富十郎▽專務取締役吉崎久一▽取締役堀市太郎、正高相吉、津田光次郎、星野陸作、竹内喜兵衞▽監査役中村甚三郎、成宮德太郎、野村莊平

◇宜昌領事團の休職警告
支那宜昌駐在各國領事は、南北兩軍司令官に對し目下進行中の兩湖會議に鑑みて休戰成立に努力されたしと通達した

六　日（火）

◇國庫債券五千萬圓發行
政府は臨時軍事費支辨のため五分利國庫債券五千萬圓を左の條件で發行した
▽發行價格九十五圓▽償還期限大正十五年十月一日迄▽利子支拂期三月一日、六月一日、九月一日、十二月一日

七　日（水）

◇小幡駐支公使、山東還附條件を提示
小幡駐支公使は支那外交部を訪問、概外交總長に對して日本政府の訓令の下に膠州灣還附條件を示し、直接交渉の開始を促進する公文書を交附した

八　日（木）

◇東京平和博覽會の正副會長決定
大正十一年三月東京上野に平和記念東京博覽會開催に決定せるを以て同博覽會後援會を組織することゝなり、帝國ホテルに協議會を開き、澁澤榮一子爵を會長に、東京商業會議所會頭藤山雷太及び東京市會議長樋島像一を副會長に推薦した

九　日（金）

◇日本國際石油會社の創立
資本金三百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長副永吉之助▽專務取締役東勝熊▽常務取締役酒井孝夫、角田駒治▽取締役成瀬省一、佐藤二郎、有馬秀雄、近藤貞一、加藤八郎右衞門、富安保太郎▽監査役槇武、村津重利

◇松浦鐵道會社の設立
資本金五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽常務取締役松浦富雄▽取締役小林和助、富田芳三郎、尾崎增吉▽監査役森廣金作

◇諸戸議會、禁酒法案を可決
同國議會に提出された禁酒法案は六十二票對四十一票で可決された

十　日（土）

◇東京電氣の社員大量解雇
マッダランプ製造完たる同社は一般財界不況のため經費節約に努めることゝなり、全社員八百名中百五十名の淘汰を決行した。解雇手當は最低一ケ月、最高六ケ月である

十二日（火）

◇神田銀行の借額增資
同行は臨時株主總會を開き資本金五百萬圓を一千萬圓に增加と決定した

十四日（水）

◇大正石炭會社の創立
資本金二十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽專務取締役松浦富雄▽取締役小林和助、富田芳三郎、尾崎增吉▽監査役森廣金作

殺人俠田辨三郎

◇鳥銃捜索の三井物産社員奪還さる
吉林省に於て馬賊のために人質とされた三井物産會社吉林出張員宮本次郎作は、支那官憲の手によつて無事救助された

◇駐米支那公使の山東問題聲明
駐米支那公使施肇基は、ワシントンに於て山東問題に關し左の聲明をなした
支那は山東問題解決のため日本側の提案の可否につき討議しつゝあり。要するに支那は總ての列强に對して門戸開放及び機會均等に努力しつつあるものにして北京政府は山東問題の恒久的解決のため關係各國に對し公平且つ公正ならんと欲するものである

十五日（水）

◇製粉三割五分減産に決定
製粉製造業者十三會社の代表者は大阪ホテルに會合して十月の操業率を協議し、九月の操短より更に五分減少して、三割五分の操短實施を決議した

十六日（金）

◇商銀信託會社の創立
資本金五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役南部修三、高橋訓、田中亮二▽監査役堺永八七男

◇富士製紙社債五百萬圓發行
同社（資本金三千五百六十五萬圓）は臨時株主總會を開き、左の條件で社債五百萬圓發行を決定した
▽利率年七分五厘▽償還期限四ケ年据置後三ケ年に償還▽引受銀行日本興業銀行

◇宮城縣の電氣事業統一計畫頓挫
宮城縣では縣財政の基礎を確立するため、縣下の電氣事業を統一經營する計畫を樹て同縣算一千五百萬圓を縣會に於て議決し、縣下の大崎、鳴瀨、仙北、石取の各電氣會社に對し買收の交渉を進めてゐたが、縣の査定せる買收額（公表なし）は會社側の希望額との間に約十割以上の差があり、各社は到底縣の申出に應ずること能はずとして、文書を以て買收交渉謝絶の旨を縣に回答した

◇奨水港製鐵社債五百萬圓發行
同社（資本金二千五百萬圓）は臨時株主總會を開き、左の條件で社債五百萬圓發行を決定した
▽利率年七分▽實出價格九十八圓▽償還期限二ケ年据置後五ケ年に償還

◇暴利を貪る問屋組合に警告
東京府下には産業組合法による組合が二百餘もあるが、これ等の中には團體勢力を利用して不當價格の協定をなし暴利を貪つてゐる者も少くないので、府當局は白米、砂糖、酒、醤油、牛乳の各組合に嚴重なる警告を發した

十七日（土）

◇重要會議出席の大藏省側隨員決定
ワシントン會議に出席すべき大藏省側隨員は、駐英佛財務官森賢吾、駐米財務官田昌、理財局調査課長津島壽一、主計官川越丈雄の四名と決定した

◇支那新銀團、調査提出
支那國務總理靳雲鵬は財政、外交問題及び安徽省盧山會議の諸問題に行惱み、總統の下に辭表を提出した

十八日（日）

◇憲政會北陸大會の開催決議

憲政會北陸大會は新潟市に開催され、加藤總裁、下岡忠治、小泉又次郎、降旗元太郎、永井柳太郎、中野正剛等の各代議士及び地方黨員一千五百餘名出席し、左の決議をなした

民心の善導は綱紀の肅正にあり。國運の進展は外交の刷新にあり。吾人は政局の現狀に慊み國家の進運を阻害する現內閣の倒壞を期す

◇東京市會の公和會、解體に決す

東京市會に於て從來多數派の市友會を壓倒して來た公和會は、今回の市疑獄に高橋義信外五名の被起訴者を出したので、箱根塔の澤に於て總會を開き、鳩山一郎、小坂梅吉外十一名出席、同會を解散して次の市會までに新團體を組織することに決定した

◇札幌電氣社長本鄕高之助死去

本日病死した。享年六十六。同地方財界の重鎭であつた

十九日（月）

◇警視廳管下の閉鎖工場數

不景氣のため警視廳管下工場の閉鎖並に職工の解雇數は日一日と增加してゐるが、本日警視廳工場課發表による前月末までの都下に於ける工場閉鎖數は三千七百三十三で、業務別にすると染織工場五四五、機械工場一七五六、化學工場七一六、飮食物工場一一〇、雜工場五七九、特別工場二七となつてをり、解雇職工は男工十萬七千百七十五名、女工五萬二千四百九十五名、合計十五萬九千六百七十名である

◇總會在留支那人の國粹代表參列要求

在紐育の支那人三千名は、廣東政府代表者のワシントン會議參列を要求する決議文を米國大統領ハーデング及び國務卿ヒューズに送達し、旗行列を行つて示威運動をなした

◇衆議院議員の支那視察團員決定

銓衡中であつた衆議院派遣の支那視察團員は左の如く決定した

▽政友會　渡邊修、小田切秀太郎、鳴田余四郎、吉村陽▽憲政會　荒川五郎、飯塚泰太郎▽國民黨　前川虎造

◇株式會社中央商會の創立

資本金五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役中野信吾、今井善藏、山岸喜藤太新津恒吉、幸田慶三郎▽監査役石崎清助、藤波又三郎

◇米國提出の軍縮會議案內容

米國政府は軍備縮小會議に對し作成した大要左の如き議題を參加各國に送達した

▽軍備問題（一）海軍軍備制限の件（二）戰爭に使用する新式武器取締規定に關する件（三）陸上軍備制限に關する件

▽太平洋及び極東問題（一）支那に對する諸問題及び之に對し適用さるべき原則（イ）領土保全（ロ）行政保全（ハ）門戶開放及び行政產業上の機會均等（ニ）租借權獨占權其他經濟的特權（ホ）鐵道事業開發（ヘ）優先的鐵道運賃率（ト）現在負ふ所の義務の猷勞並にシベリアに關する諸問題及び支那に關する之と同樣の問題（三）委任統治諸島問題

二十一日（水）

◇華府會議日本代表の乘組決定

ワシントン會議に出席する日本代表者の乘船は、日本郵船の鹿島丸及び東洋汽船のコレヤ丸と決定した。コレヤ丸は十月一日、鹿島丸は十月十五日橫濱港を出帆する

◇英米訪問の實業團團員決定

彼我實業家の接觸により相互の意志疎通を圖り、外國實業界の現狀を視察せんとする英

米兩國訪問實業團の人選は澁澤榮一、關豕藤井上準之助、鄕山雷太、和田豐治の諸氏が各方面と交涉詮衡中であつたが、左の如く決定した

▽東京、（三井）團琢磨、（博文館）大橋新太郎、（三菱）串田萬藏、（古河）中島久萬吉、（大倉）門野重九郎、（王子製紙）藤原銀次郎（富士紡）持田巽、（山下汽船）鈴谷正輔、（日清紡）宮島清次郎、（三井）坂井德太郎、（電氣化學）馬越恭平

▽大阪、（大商副會頭）稻畑勝太郎、（加島銀行）星野行則、（住友）八代則彥、（大阪商船）深尾隆太郎

▽橫濱、（橫商會頭）井坂孝

▽神戶、（神商會頭）濱川儀作

▽名古屋、（名商副頭取）伊藤守松

▽京都、（京商議員）仮田新太郎

◇三井合名參與小野友次郎死去

三井合名會社參與小野友次郎は病氣のため死去した。享年五十八。三井鑛山、北海道炭礦汽船、芝浦製作所各監査役を兼ねてゐた

二十二日（木）

◇機業商事會社の創立

資本金百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長紅林七五郎▽專務取締役高城正夫、小澤爲三郎▽取締役中川宗三、山口茂、峰尾熊太郎、平野松三郎▽監査役大貫常七、川村文助、北村庄藏

◇鮮人最初の外交官起用

問島その他に於ける鮮人を特別任用を以て外交官に任命する件は先般樞密院を通過し、鮮人最初の外交官として左の二名が副領事に任命された

任副領事（七等）金西英、楊在河

二十四日（土）

◇第百銀行西陣支店開業

京都西陣に新設された第百銀行西陣支店は本日開店、支配人には同行京都支店支配人代理小谷欣次郎が任命された

◇三菱銀行會長の更迭

三菱銀行會長岩崎小彌太辭任し、同行常務取締役串田萬藏が後任會長に選任された

◇三菱海上火災保險會長の更迭

三菱海上火災保險會社會長岩崎小彌太は辭任し、その後任會長として串田萬藏が選任された

二十五日（日）

◇出資電氣、中國電力を合併

資本金三十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した

出雲電氣會社（資本金三百五十萬圓）は臨時株主總會を開き、中國電力會社（資本金六百萬圓）を左の條件で合併と決定した
出雲電氣は六百萬圓に增資し、十二萬五十株拂込十萬株を中國電力三株に對し出雲二株の割合で交附

◇片倉生命保險會社の創立
資本金五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長今井五介▽專務取締役片倉備一▽取締役武居綾太郎、小口勝吉、田中新之助、片倉武雄、片倉直人▽監査役土橋源藏、宇治光治、關善一▽顧問片倉榮太郎

◇小西六本店の改組
寫眞機械の製造販賣商杉浦六右衞門商店は個人經營を改組、合資會社小西六本店（資本金百萬圓）を設立した。役員左の如し
▽代表杉浦六右衞門、杉浦千之助、大阪支店長杉浦宗次郎▽工場（六櫻社）主任杉浦誠次郎、杉浦由三郎▽相談役杉浦甚兵衞

◇第一信託會社の創立
資本金十五萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役小島銀次郎、榎本好之助、長門要三、野田榮左衞門▽監査役竹村儀市、石田米治

二十六日（月）

◇富山縣地方の★暴風雨
同地方に大暴風雨襲來し、夥ひ猛烈を極め富山灣に出漁中であつた漁船百三十五隻（乘組員合計約三百名）は行方不明となつた

◇愛知縣下大暴風雨の被害
愛知縣下に大暴風雨が襲來し、死者二十六名、重輕傷者十七名、行方不明四名、倒壞家屋百七十戸、破損家屋五百餘戸を出した

二十七日（火）

◇軍府會議帝國全權及顧問發表
ワシントン會議に出席すべき帝國全權及び隨員は本日左の如く發表された
▽全權委員海軍大臣加藤友三郎、駐佛原喜重郎、公爵徳川家達
▽全權隨員法政局長官横田千之助、外務次官埴原正直、駐米局長松平恒雄、外務省參事官林毅陸、總領事高尾亨、陸軍少將田中國重、海軍中將加藤寬治

◇鐵道勞働會社職工の罷業
待遇改善上の問題から同社の職工四千七百名は罷業に入り、横濱市内を示威行進して氣勢を擧げた

二十八日（水）

◇中央證券會社の創立
資本金一千萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長南波禮吉▽專務取締役村上賢二▽取締役德田昂平、鈴木常助、岩井猪三、堀江鐵五郎、片岡辰次郎、中村貫一郎▽監査役杉野喜精、前田二平、岡島延一、井上鄕助

◇安田善次郎暗殺さる
大磯天王山別莊に滯在中の銀行王安田善次郎（八二）は午前九時二十分頃朝日平吾（三一）と對談中、朝日のため兇漢八寸餘の日本刀で顏面、胸部等に斬りつけられ卽死した。犯人は翁の絶息を見濟まして剃刀で咽喉部を掻切つて自殺したが、現場には犯人の遺書四通があつた
翁は天保九年十月越中富山藩の貧家に生れ安政三年十九才の時、志を立てゝ江戸に出で安田商會を開いて兩替商を營んだ。これが今日の安田銀行の基礎である。爾來營々として安田王國の建設に努力し遂に日本の銀行王となつたもので、安田銀行顧問、保全社代表として表面第一線を退いてゐたが、事實上安田

川家の家業網は翁の手に握られてゐた。なほ朝日平吾は佐世保町榮町朝日龜吉の二男、早稻田の商科を中途退學、歩兵五十五聯隊の看護卒として青島に出征し、除隊後滿洲に漂浪新聞記者たりしことあり、常に政治や社會問題に興味を持つてゐた

二十九日（木）

◇東洋汽船社債三百萬圓發行
同社（資本金三千二百五十萬圓）は定時株主總會を開き、新造船建造費支拂未濟金の決濟をなすため社債三百萬圓を安田銀行の引受により左の條件で發行する件を可決した
▽額面百圓に付九十八圓▽利率年八分▽擔保與洋丸、鹽洋丸▽償還期限一ヶ年据置二年目百五十萬圓、三年目百五十萬圓銷却▽發行期十月十五日

◇勤電銀行、防長・讃岡兩農銀を合併
日本勤業銀行は株主總會を開き、福岡農工銀行及び防長農工銀行を合併し三百五萬圓增資の件を可決した

◇大日本文華會社、鐘ヶ淵紡績を合併
大日本文華會社（資本金二百萬圓）は臨時株主總會を開き、鐘ヶ淵紡績株會社（資本金五十萬圓）を一對一の對等條件で合併し、資本金を二百五十萬圓に增加し、名稱を株式會社正文社と變更する件を可決した

◇淺野造船所職工の要求提出
神奈川縣鶴見町の淺野造船所職工は鉄打取付工を中心に動搖してゐたが、本日午後に至り造船造機等の各工場職工三千名が之に合流し、七十一名の委員を選出して會社側に工場委員制度を設くること外六ヶ條の要求を提出した

三十日（金）

◇九州水力電氣會社（資本金三千七百萬圓）は、日本窒素肥料會社（資本金一千三百萬圓）の日出工場（大分縣日出港にあり）を六十萬圓で買收し、本日その引繼を終了した

◇東京綢毛會社の減資と改稱
同社は臨時株主總會を開き、資本金を二百五十萬圓に增加し、名稱を株式會社正文社と變更する件を可決した

◇淺野造船所職工の要求提出
神奈川縣鶴見町の淺野造船所職工は鉄打取付工を中心に動搖してゐたが、本日午後に至り造船造機等の各工場職工三千名が之に合流し、七十一名の委員を選出して會社側に工場委員制度を設くること外六ヶ條の要求を提出した

三十日（金）

◇九州水力電氣會社、日本窒素日出工場を買收
九州水力電氣會社（資本金三千七百萬圓）は、日本窒素肥料會社（資本金一千三百萬圓）の日出工場（大分縣日出港にあり）を六十萬圓で買收し、本日その引繼を終了した

◇東京綢毛會社の減資と改稱
同社は臨時株主總會を開き、資本金を二百五十萬圓に增加し、名稱を株式會社正文社と變更する件を可決した

◇淺野造船所職工の要求提出
神奈川縣鶴見町の淺野造船所職工は鉄打取付工を中心に動搖してゐたが、本日午後に至り造船造機等の各工場職工三千名が之に合流し、七十一名の委員を選出して會社側に工場委員制度を設くること外六ヶ條の要求を提出した

三十一日（土）

◇農具國庫補助費の交付
農商務省は、食糧農産物の生産增加の一策として農業勞力を節約し農産物の生産費を輕減するため、適切なる農用器具機械の普及を圖ることゝなり、優良農用器具機械普及奬勵に要する經費の補助として東京府、北海道外九縣に三千圓以下百圓以上を交付した

◇米價激騰す
米價は四十四圓十錢臺に暴騰したが、東京は前日迄の買方及び玄人筋が大いに資裕びせたので全國中の安場所となつた。このため四

◇帝國人造肥料會社の半額減資
同社は臨時株主總會を開き、財界不況のため現在の資本金五百萬圓を半額の二百五十萬圓に減資と決定した

◇鹽釜電鐵、豐川水力電氣を合併
資本金二千二百萬圓の阪神急行電鐵會社は豐川水力電氣會社を合併、二百萬圓を增資して資本金二千四百萬圓となつた（日不詳）

◇鹿島瓦斯電軌一千萬圓に增資
資本金六百萬圓の鹿島瓦斯電軌會社は四百萬圓を增資して資本金一千萬圓となつた（日不詳）

◇川崎造船所九千萬圓に增資
資本金四千五百萬圓の川崎造船所は倍額增資して資本金九千萬圓となつた（日不詳）

【十月】

一日（土）

◇農具國庫補助費の交付
農商務省は、食糧農産物の生産增加の一策として農業勞力を節約し農産物の生産費を輕減するため、適切なる農用器具機械の普及を圖ることゝなり、優良農用器具機械普及奬勵に要する經費の補助として東京府、北海道外九縣に三千圓以下百圓以上を交付した

◇米價激騰す
米價は四十四圓十錢臺に暴騰したが、東京は前日迄の買方及び玄人筋が大いに資裕びせたので全國中の安場所となつた。このため四

十六圓五十錢に跌出した地方から買物が入込み底堅は强硬であつた。正米も敏騰しこれ亦前日に比し上米六十錢、中米八十錢、下米五十錢、平均六十錢高となり、餅米は一圓以上奔騰したが、白米は組合で一等米九十錢、二等米八十錢、三等米六十錢方値上に決定した

◇鐵出羽二重の暴騰

鐵出羽二重市場は原料界の好況及び定期絲の暴騰に刺戟されて各方面共買入を逞めんとする傾向あるため實行は非常な良好を告げ、相場は關井、金澤品共五、七十錢方の暴騰を演じ、更に各方面の買煽りを加へて氣配は益益强含みを示した

◇日支聯絡運輸規定の改正

鐵道省は日支旅客及び手荷物聯絡運輸に關する諸規定を改正し、本日より實施した。改正の要點は從前の乘車券をカード式に改め往復乘車券は北京奉天間を二回往復することの出來る規定であり、小荷物は一般小荷物と同樣一箇ごとの計算に依つて荷造人から收受することゝしたものである

◇村井銀行、村井貯蓄銀行を合併

村井貯蓄銀行（資本金二十萬圓）は、貯蓄銀行條例改正に伴ひ村井銀行（資本金一千萬圓）と合併し、村井銀行は資本金を一千二百萬に增加することに臨時株主總會で決定した

◇大亞細亞協會の設會式

亞細亞民族は結束して絕對生存權を確立しなければならぬとのスローガンの下に小林勝民等によつて組織された大亞細亞協會は本日東京上野精養軒で設會式を擧げた

三　日　（月）

◇友愛會、日本勞働總同盟と改稱

友愛會創立十週年大會は、東京に於て開催され、幾多の波瀾を重ねた後、本日を以て終了した。「友愛會」の名稱は「日本勞働總同盟」と改稱することになり、鈴木文治は一應會長を引退したが、滿場一致を以て名譽會長に就任することゝなり、同盟の主事及び會計には松岡駒吉が再選された

◇鐵濱船舶の爭議調滯解決

橫濱船渠會社の職工四千七百名は、九月二十七日要求を提出して以來罷業を續けてゐたが、本日罷業團の總指揮者濱田國太郎他委員が警察官立會の上、重役側と會談の結果、會社側が自發的に左の條件を承認することゝなり圓滿解決した

▽十一月一日より一割以上增給する▽解雇手當は前回支給の倍額▽機牲者は出さないこと

◇英國の南極探檢船遭難す

英國の南極探檢家シヤクルトンの探檢船クエスト號は强風のためロサ岬沖で操縱の自由を失ひ救助を求めたので、ポルトガルのリスボンから曳船一隻が急派された

四　日　（火）

◇大正天皇御不例

宮內省は本日午前十時三十分、四月頃より御靜養中の　聖上陛下には御倦怠の御樣樣にて御容態は快方に向はせられざるを拜察し奉るは洵に恐懼に堪えないところであると公表した

◇聖上御不例に株式俄然惡化

東株市況は好調を呈してゐたが、後場立會劈頭　陛下御不例の報傳はるや氣配俄然惡化し諸株總崩れの慘狀を呈し瓦落の商況を示すに至つた

◇期米、正米暴落す

米價問題對策として取引所及び仲買人が、一、二兩期米の受渡範圍を擴張する協議をしたとの報あり、更に　聖上御不例のため人氣が凋衰してゐたところへ、各地から不味の報

が傳されたので商勢は頓に樣變りの成行きとなり、先限は四十二圓二十錢の安値引けとなり、高値から二圓七十九錢方慘落した。正米も平均六十錢安となつた

◇總絲の濫賣

杉の表定期總絲は前場小堅く持合つたが、後場に至り　陛下御不例の號外に俄然氣崩れを生じ利食急ぎと、投げに場面は物凄い慘落を呈し一、二節を通じて前場の高値に比較し十五圓乃至二十二圓安を演じた

◇朝日平吾の告別式

安田善次郎翁を刺殺した朝日平吾の告別式は本日東京小石川區大塚上町の西信寺に於て行はれた。葬場には小石川勞働會、立憲勞働黨、獨立黨その他會葬者二百餘名に及んだ

五　日　（水）

◇日本鋼材會社四十萬圓に減資

日本鋼材會社は臨時總會を開き現在の資本金百萬圓を拂込額たる四十萬圓に減少の件を可決し、次いで取締役一名、監査役一名の補缺選擧を行ひ取締役に西尾豐五郎、監査役に鋼山峰三郎が當選した

◇勤業貯蓄銀行、營業認可を取消さる

東京市麻布區新堀町の勤業貯蓄銀行は貯蓄銀行條例第八條の第二項に依り大藏大臣より營業認可を取消された

◇愛知時計電機職工の罷業

名古屋市の愛知時計電機會社の職工九百名は賃銀値上げその他解雇手當等に關する要求を提出したが、社長不在のため要領を得ず、職工側は同盟罷業を決行した

◇大本敎事件の判決

大本敎々主出口王仁三郎他二名に係る不敬及び新聞紙法違反事件は京都地方裁判所に於て左の如く判決言渡しがあつた

▽懲役五年出口王仁三郎▽同十ヶ月浅野和三郎▽禁錮三ヶ月罰金百五十圓吉田祐定

◇比律賓總督に新任一等を贈はる

比律賓に赴任の途次日本に立寄つた米國比律賓總督ウッド將軍は四日　皇后陛下に拜謁仰付けられ、終つて午餐を賜つたが、更に本日晨き邊より帝國ホテルに御使を遣はされ勳一等旭日大綬章を贈つた

七　日　（金）

◇浦賀船渠の爭議圓滿解決

浦賀船渠會社の職工四千五百名は待遇改善の要求を提出し不穩の形勢があつたが、本日社長山下龜三郎が職工側の意志を尊重して約一割の增給を斷行する旨を回答したので圓滿に解決した

◇五同業組合に協定價格撤廢を厳命

橫暴を極める各種同業組合に對し屢々警告を發してゐた東京府當局は、更に斷乎たる措置に出で、左記五同業組合に對し解散命令の前提として標準價格の撤廢と、これに關係ある定款變更の嚴命を下した

▽東京白米商同業組合▽東京牛乳商同業組合▽東京實肉同業組合▽東京洋服商工組合▽東京酒類仲買小賣商同業組合

◇艦艇、英商船に證地所讓す

浦鹽政府所屬の露國砲艦パタリヤ號（一二〇〇噸）は本日午後一時頃室蘭港外五浬沖合で英國汽船ラルフモーラー號（一七〇〇噸）に對し物資を供給せよとの信號をなして停船を命じたが、モーラー號が停船しなかつたので發砲した。モーラー號は遁れて室蘭港に避難し艦艇は行方を晦ました

八　日　（土）

◇名古屋市、名古屋電鐵市內線を買收

名古屋市會は名古屋電鐵市內線を一千百九十二萬七千三百六十二圓を以て買收する件を異議なく可決した

◇札幌水電の買收問題解決す
札幌區の札幌水電買收問題は價格の點に於て兩者の意見一致せず、紛糾を極めてゐたが本日會社代表者と區代表者が札幌逓信局長官邸で會見の結果、水電會社の郡部の配電と、會社所有の土地を除き、他の一切を五百萬圓で區が買收することに妥協成立した

十一日（火）

◇府縣制戸數割規則の改正
内務省では現行の戸數割制度に改正を加へ負擔の公平を期すると共に、これが統一を斷行すべく調査中であつたが、勅令を以て同改正規則が公布された

◇石炭礦業聯合會成立す
全國各地礦業會の聯絡を保ち、石炭礦業の統一進歩を圖る目的を以て石炭礦業聯合會が組織され日本工業倶樂部で初會合が催されたが、全國各地炭礦業者四十餘名出席し聯合會規約の原案を可決した後、左の評議員及び役員を選擧した

▽九州（十六名）三井鑛山、三菱、住友、古河、大正、貝島、藏内、三好、明治、中島各鑛業、帝國炭業、大辻岩屋炭礦（以上法人）岩崎久米吉、佐藤慶太郎、麻生太吉、松本健次郎（以上個人）

▽北海道（八名）北海道炭礦汽船、三井、田中各鑛山、三菱、山下、大倉各鑛業、坂太平洋各炭礦

▽常磐（五名）磐城、大日本各炭礦、古河鑛業、入山、茨城各採炭

▽會長麻生太吉▽副會長松本健次郎▽理事（四名）三井鑛山、三菱鑛業、北海道炭礦汽船、古河鑛業▽顧問副島琢磨、木村久壽彌太

十二日（木）

◇遠遊子爵一行の渡米
ワシントン會議の開催に當り國民外交の實を擧ぐ可く老軀を提げて渡米する遠澤柔一子爵は、添田壽一、保坂余明兩博士、堀越善重郎、矢板玄藩、增田明六、小畑久五郎等と共に來洋丸に便乘、横濱より出發した

十四日（金）

◇鴨すの貿鴨使用禁止條約に加入
我が帝國は、西暦一千九百六年九月二十六日ベルヌに於て締結された鴨すの製造に於ける黄燐使用の禁止に關する國際條約に加入した旨官報を以て公布された

◇御進五十年記念祝賀式擧行さる
御進五十年記念祝典は本日午前十一時より東京諏訪の式場で擧行され、台臨の御名代東宮殿下には有栖川勅語を御代讀遊ばされた。次で首相原敬、鐵相元田肇、東京市長後藤新平、東京商業會議所會頭藤山雷太の祝辭あり、閑院宮殿下其他各皇族、各元帥、各國大使の參列あり盛會を極めた

◇國有鐵道建設規程の制定
鐵道省令を以て國有鐵道建設規程（七十一ケ條）を制定告示した

十五日（土）

◇富山縣水電事業債二百萬圓發行
富山縣水電事業縣營工費として第二回縣債二百萬圓を左の條件で發行した
▽利率七分三厘▽發行價格額面▽期限十二年度末迄據置後七ケ年間に臨時償還

◇日魯漁業一千十百萬圓に減資
日魯漁業會社は臨時株主總會を開き資本金二千五百七十萬圓を一千七百萬圓に減資の件を可決した

◇九大に航空講座新設さる
九州帝國大學工學部は學科制度改正につき協議の結果、本年度より造船科の中に航空講座を新設することに決定した

◇勞農政府代表ヲアイトリンは共產黨のクーデター陰謀に加擔して浦鹽に滯在中何者かのため殺害された

◇軍備會議全權委員一行出立す
軍備制限問題を中心としてアメリカに開催される華府會議に參列する全權委員海軍大將男爵加藤友三郎、公爵徳川家達以下隨員一行三十一名は横濱解纜の鹿島丸で出立した

◇英米訪問實業視察團一行出發
英米訪問實業視察團の一行五十餘名は横濱解纜の鹿島丸で出發した。尚團長團琢磨は病氣のため出發を延期した

◇還幸皇弟來朝遊ばさる
還幸皇弟ビヤオフワユカラ殿下は皇族陸軍大佐アムラダ殿下御同伴、神戸入港の佛國郵船アンドレールボン號で御來朝遊ばされた

十七日（月）

◇チエコに帝國公使館開設
チエコ・スロヴアキアに帝國公使館設置され本日開館した

◇參滿鐵道の罷業解決
參滿鐵道職工全部八百餘名は英人技師長の處待を訴へ、賃銀の增加と勞働時間の短縮を要求し同盟罷工をなしたが、支那鐵道局の調歩により本日より復業した

十八日（火）

◇全國織物同業組合大會の決議と陳情
埼玉縣熊谷に開催された全國織物同業組合大會の決議に基き今治、三河、米澤、名古屋大里、足利、佐野、桐生各織物同業組合の名を以て、綿絲價格調節に關する陳情書を政府當局に提出した

◇現物證券信託會社の解散
同社（資本金三百萬圓拂込七十五萬圓）は東京株式取引所内に於て臨時總會を開き、今回中央證券會社設立されたるを以て解散に決した

◇關西水力、天龍川水力を合併
關西水力電氣會社は臨時總會を開き天龍川水力電氣會社を合併、七千四百三十八萬九千六百圓に拂資の件を可決した

◇石川島造船所職工、當局と衝突
賃銀拂給問題で爭議に入り、會社側は勞働者の要求を拒絶して無期休業中の石川島造船所の造機船工勞働組合では、本日示威運動を起し約一千名が大會を開き、警官が解散を命じたため街頭に於て多數の檢束者を出した

◇中法實業銀行救濟不能に陷る
中法實業銀行を救濟するため臨時に組織された英國銀行團は、支那政府にこの問題から手を引く旨を通告した。これは支那政府が契約した保證を實行しないためである

十九日（水）

◇小幡公使、支那政府に反省を促す
小幡駐支公使は支那外交部に顧總長を訪問し山東問題に關する第二回覺書を手交し、日支條約を蹂躙し、國際信義を無視せる支那政府の覺書に對する不滿を述べ反省を促した

◇白米漸く下る
暴騰を見せた白米相場は天候恢復と共に漸次低落を示すに至つた。本日東京市商工課で發表した市設市場の白米小賣價格は一斗に付き次の通りである
▽内地一等白米四圓五十錢▽同二等四圓四十錢▽同三等四圓二十錢▽同四等四圓▽朝鮮白米四圓▽臺灣白米三圓

◇鐵價問題で東京瓦斯敗訴
東京市を相手取る東京瓦斯會社報償契約不存在確認請求事件は、東京地方裁判所民事三部中島裁判長の係りで審理中のところ「原告の請求はこれを却下す」と會社敗訴の判決言渡しがあつた

◇安田家、東京市に三百五十萬圓寄附
安田家では善次郎翁が悲慘な最後を遂げて以來遺言執整理中のところ東京市長後藤新平との往復書信中に、東京市の大調査機關に要する會館建設及び市民館建設費として三百五十萬圓を寄附する意志のあつたことが判つたので、嗣子善之助は本日東京市役所に後藤市長を訪ひ故人の遺志に從ひ右金額寄附の申出をなした
二十日（木）

◇我が裝甲列車、パルチザンに爆破さる
ニコリスクの北方二十哩の地點に於てパルチザンは日本の裝甲列車を爆破した。機關車及び車輛二臺は微塵となつたが死傷者はなかつた

◇辻紡績會社二百五十萬圓に增資
辻紡績會社は株主總會に於て現在の資本金七十萬圓を二百五十萬圓に增資する件を可決した

◇內外石油會社の設立
同社は資本金七百五十萬圓を以て設立され社長に淺野總一郎、取締役に鈴木敎次郎、金子喜代太、橋本梅太郎、岩崎通興、監査役に江木譯夫、赤井靜太郎が選任された

◇總兵工廠職工、賃銀增額を要求
東京砲兵工廠に於ける日本勞働聯盟加入の職工代表は工場委員制度の確立、日給五割增給、公休日に日給の全額支給の三ケ條の要求を陸軍大臣に提出すべく、前日と本日の兩度に亘り官邸に押掛けたが、大臣は面會を拒絕した

◇揚子江の日本水先協會改組
日本人より成る揚子江水先協會は日本總領事館取締規則により組織を一新し本日その成立披露をなした。現在同協會に屬する日本水先案者は十七名である

◇支那關稅會議の成立
研究會及び政學會系の有志徐佛、蘇澤游等は、北京、上海の同志と共に聯省自治協會を組織し、聯省建國の方法を研究し國家の根本組織を協議することになつた
二十一日（金）

◇葡萄牙首相暗殺さる
葡萄牙政府の首相兼內相アントニオ・グラジョーは革命黨員のため暗殺された
二十二日（土）

◇國債五千五百萬圓借替發行
政府は來る十二月一日償還期限の到來する國庫債券五千萬圓借替のため五分利國庫債券五千五百萬圓を左の條件によつて發行する旨告示した
▽發行價格現金應募九十四圓二十五錢、乘換應募九十三圓七十五錢▽期限大正十六年三月一日▽利率年五分

◇石川島造船の罷業關再び警官と衝突
石川島造船所の罷業職工幹部約三百名は明治神宮に目的達成祈願のため隊伍を整へて行進中警官隊と衝突し、警官側五、六名、勞働者側十一名の負傷者を出した

◇勃牙利の陸相暗殺さる
勃牙利陸相ドミトロフ將軍は自動車で通行中暗殺された。下手人は不明である

◇獨逸內閣總辭職す
ドイツのヴイルト內閣は總辭職を決行した

◇英米佛實業團長團琢磨出發す
病氣靜養のため出發を延期してゐた英米訪問實業團長團琢磨は、橫濱解纜の加奈陀太平洋汽船エンプレス・オヴ・ルシア號で曉香坡に向け出發した
二十三日（日）

◇滿兵工廠の現業員、警官隊と亂鬪
日本勞働聯盟の後援により東京砲兵工廠の現業員約一萬人は、過日提出した五割の臨時手當增額要求其他日給增額の要求を貫徹せんと本郷區右京ケ原に集合したが高坂、本富士兩署が二百名の警官を派遣したため各所に衝突を起し檢束者を出し、解散を命ぜられた
二十四日（月）

◇鐵道公債三百萬圓發行
政府は鐵道事業費の財源に充てるため五分利國庫債券三百萬圓を左の條件で發行した
▽發行價格額面百圓につき九十三圓▽償還期限大正十八年六月一日まで▽利率年五分▽利子支拂期三月、六月、九月、十二月

◇地方鐵道補助法施行細則の改正
鐵道省令を以て地方鐵道補助法施行細則の一部改正が告示された

◇日本皮革會社五百萬圓に減資
日本皮革會社は臨時總會を開き、資本金一千萬圓を五百萬圓に減資の件を可決した
二十五日（火）

◇雲山鐵道の一部開通
鐵道省は、長野縣水內郡飯山町飯山鐵道會社の新線豐野、飯山間の運輸事業開始を認可した

◇臺東製糖會社の手數減覽

同社（資本金三百五十萬圓）は臨時總會を開き資本金を百七十五萬圓に減資の件を可決した

◇伊太利政府、フユーメ新政府を承認す
伊太利政府はサネラを大統領とするフユーメ新政府を正式に承認した
二十六日（水）

◇中華金融取引所の創立
同取引所（資本金一千萬圓）は創立總會を開き、左の重役を選任した
▽取締役橋本信次郎（會長）、鈴木圭三（理事長）、川又貞次郎、佐伯四郎次▽理事關田政之助、帶谷傳三郎、渡邊勝三郎、中島伊平、森崎義樹▽豐査役前川友兵衞、萩野芳藏、石井竹三郎、神谷忠雄

◇英國皇儲の親善御巡遊
英國皇太子殿下は本日正午ヴイクトリヤ街停車場御出發、印度及び極東御巡遊の途に就かせられた
二十七日（木）

◇太洋火災保險會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役指田義雄（社長）、高橋亟輔、峰道文藏、伊臣眞、安部午生、高倉爲三、小谷哲、大島長十郎▽豐査役榎本武憲、內藤傳藏、小平三郎
三十日（日）

◇風水害罹災者に御敎恤金下賜
天皇　皇后兩陛下には左の府縣に風水害のあつた趣聞召され罹災者御敎恤費として頒賜の如く下賜の御沙汰があつた
▽一萬圓沖繩▽一千七百圓鹿兒島▽一千三百圓大阪▽一千三百圓京都▽一千百圓兵庫▽一千百圓奈良▽一千圓三重▽二千六百圓愛知▽一千二百圓滋賀▽三千六百圓岐阜▽七百圓富山

◇宇治川電氣、大和電氣を合併
資本金三千百四十萬圓の宇治川電氣會社は大和電氣會社を合併し、六百二十五萬圓を增資して資本金三千七百六十五萬圓となつた
（日不詳）

【十一月】

一日（火）

◇絲出綿物組合聯合會の陳情
日本絲出綿物同業組合聯合會の總會に於ける決議に基き、同會副組長松井文太郎外實行

委員四名は、首相及び大藏、內務、外務、農商務各省を訪問し、左の問題に就き建議、陳情した

一、輸出絹織物の生產費節減並に勞働時間に關する建議
一、輸出絹紬を羽二重精練業法中に包含せしむる件
一、輸出絹織物の兩端へ製造者捺印を普及せしめる件
一、生糸生產取引實施促進に關する件
一、染料輸入稅率引上說に反對陳情の件

二日（水）

◇支那政府、第二次山東反駁書を交附

支那政府は第二次山東問題辯駁書を小幡駐支公使及び各國公使に交附した。全文は一千餘字からなり、鐵道合辦に對する不同意を述べてゐる

◇加藤、德川兩全權華府着

華盛頓會議に出席の加藤、德川兩全權一行は、本日午後四時半ユニオン・ステーションに到着、國務卿ヒューズ始め海軍卿デンビー、ブリス將軍、ウイルソン提督等が第一公式禮裝で出迎へた

◇小作爭議から學童同盟休校

埼玉縣大里郡佐谷田村の小作人二百八十餘名は本年の不作を見越し、地主に對して年貢米納入一反步につき二斗減少方を交涉したが地主側が應ぜぬため憤激の餘り太鼓を打ち鳴らし同村永福寺に集合、小學校生徒に同盟休校をなさしめるに至つたので、役場、學校、警察は紛擾鎭撫に乘出した

三日（木）

◇九州炭礦四百萬圓を減資

同社（資本金五百萬圓）は臨時株主總會を開き、百萬圓に減資し、同時に大阪の本社を東京に移す件を可決した

◇コロンビア議會、日英同盟廢棄を決議

英國コロンビア議會は日英同盟條約廢棄を加奈陀政府に要求する決議案を滿場一致を以て可決した

◇原首相、東京驛にて暗殺さる

內閣總理大臣原敬は、五日京都に於て開催される政友會近畿大會に列席するため、元田鐵相、中橋文相、鵜澤總務同伴本日午後七時二十五分東京驛改札口に近づかんとした際、一青年のため短刀を以て右肺部より心臟を貫かれ、直ちに應急手當を受けたが遂に一語を發することを得ず絕命した。享年六十六。原首相危篤の聽き天聽に達するや正二位勳一等に敍し大勳位菊花大綬章を賜はる旨御沙汰あらせられた。犯人中岡艮一は大塚驛の轉轍手を勤める十九歲の青年で、其場で直ちに捕へられたが、時局に憤慨してこの兇行に及んだものである

四日（金）

◇內田外相、臨時總理大臣に任ぜらる

原首相が兇變に斃れたので、首班を失つた內閣は取敢えず首席たる內田外務大臣を臨時總理大臣に奏請することに決し、夜中參內兇變の次第を奏上、直ちに親任式を擧げさせられ、內田外相が臨時總理大臣に任ぜられた

五日（土）

◇政友會內閣總辭職

內田臨時首相以下各大臣は臨時閣議を開き原首相の兇變による善後策を協議した結果、總辭職に決定、內田臨時首相參內して閣員の辭表を捧呈した。

陛下に於かせられては何分の沙汰あるまで留任其職に當るべしと上諭あらせられた

◇五分利國庫債券八百萬圓發行

五分利國庫債券八百萬圓は左の條件で發行された

▽發行價格九十三圓▽償還期限大正十八年六月一日迄

◇下關港修築の起工式擧行

下關市多年の宿望であつた同港修築工事は第四十四議會を通過し總工費三百六十一萬圓（內半額國庫負擔）を以て工事に着手することとなり、本日その起工式が擧行された

◇大阪府山林會の設立

大阪府下の林業及び林產物の發達、統一、整理を期する目的を以て大阪府山林會が設立され、會長に池松知事、副會長に兒玉產業部長が就任した

九日（水）

◇臨時國庫證券五千三百萬圓借替發行

臨時國庫證券五千三百萬圓借替のため同額の臨時國庫證券が左の條件で發行された

▽割引日步一錢八厘（年利六分五厘七毛）▽償還期日大正十一年五月九日

十日（木）

◇アナトール・フランスにノーベル賞

本年度のノーベル賞はフランスの文豪アナトール・フランスに授與された。著作に詩集「コリンスの花嫁」史傳「ジャンヌ・ダルク」「文藝評論集」小說「白い石」などがある。因にノーベル賞の規定が今年から改正されて、作品の他に、人道や社會に對して貢獻があり偉勳のあつた人に與へられることになつた

十三日（日）

◇東宮殿下、對抗特別演習御統監

本月十七日火蓋を切る特別大演習御統監の大任に當らせ給ふ東宮殿下には、富士裾野に於て擧行される第三師團（名古屋）と第十四師團（高田）の對抗特種演習御統監のため本日午後零時四十五分東京驛御發車、御殿場に行啓遊ばされた

◇大命高橋是清に降下す

原首相變死、閣員辭表捧呈に伴ひ、內閣組織の大命は大藏大臣高橋是清に降下した。而して閣僚は全部留任と決定したので、曩に捧呈せる辭表は却下された

◇南・北米への無電至急報開設さる

磐城無電局を經由する南北米への無電至急報は本日より開始された

◇大阪の社會主義者大檢擧

大阪府警察部特高課は安田善次郎及び原敬の暗殺によつて社會人心の動搖せるに乘じ不穩ビラを撒布せんとしてゐた社會主義者妹尾久一、高橋松南、武田傳次郎、逸見直藏、林忠義、岸井淸次其他を一齊檢擧した

◇東京の社會主義者續々檢擧さる

原首相の暗殺以來動搖せる社會狀勢に乘じ大阪、京都と連絡を取つて「軍備縮小」「勞働者稅一等の不穩文書を全國に配布せんとした東京巢鴨の結社「勞働者」を中心に、警視廳は社會主義者大檢擧を行ひ小林鹿造、新井邦之助、和田軌一郎、他男女數名を檢擧した

十四日（月）

◇西比利亞問題協議の大連會議開かる

西比利亞問題協議の大連會議は大連に開催され、チタ側からブリュツヘルが新に參加し（一）本協約審議の手續（二）日本の撤兵問題（三）特別委員會に對する勞農政府委員の參加問題等に就き意見の交換を行つた

十五日（火）

◇太平洋海上保險三百萬圓に增資

同社（資本金二百萬圓）は臨時株主總會を開き百萬圓增資の件を可決した

◇石川島造船の爭議解決

石川島造船所の爭議に對し、月島警察署長が調停の勞をとり、會社側の田中營業部長と職工側代表十五名が月島署長立會の下に會見の結果、圓滿解決するに至り、十八日より就

業に決定した

十六日（木）

◇皇室御下に画帖を奉つ

本日午後零時二分頃東京三田三丁目に於て、東京府に向はせ給ふ皇太子殿下に、年齢三十歳位、身長五尺一寸五分、厚さ一寸位の白羽二重の男が一尺に一寸五分、厚さ一寸位の白羽二重に包んだ書状を差出し画帖を奉つたが、警戒中の警官に捕へられた

◇支那の政界に暗雲漂ふ

支那政界に又も波瀾が突発した。原因については在留英米人の陰謀によるとの説が流布された

十七日（木）

◇皇室御用大演習、次年を以つ

東京市を中心とする陸軍御大演習は、今度下御統監の下に、本日未明より、それぞれの大演習を切つた

◇御親閲観覧の通知式

青山川崎造船所で建造中の御座船観覧は竣成したので、本日造船中並に見学被仰王殿下台臨の下に進水式を挙行した

◇国語調査会、国語辞書を編纂す

国語調査会は、明治四十三年名古屋市産業会議（国語調査会註の前身）の要請に応じ三年計画となり、従来、後、東京市麻布近の電気会社を合併して、来書を準立し資本金七千萬圓の会社となし、後圓の資ひがなくなつたので後進に金を圓くために改組会社を解散した

十九日（土）

◇ミラノに帝國領事館設置

伊太利ミラノに帝國領事館を設置し本日開始した

二十日（日）

◇露國領、北京公使式を挙行

露國領、北京公使式を挙行した。これは露國領が打つたものである

二十一日（月）

◇大豆及油の輸入税免除期間延期

大正九年勅令を以て公布された大豆、豆粕、鯨油及び鯨油の輸入税免除は大正十年十月三十日までの期間であるが、大正十一年十一月三十日まで延期する旨勅令を以て公布された

二十二日（火）

◇電話番號全國に亘り変更施行

（圓四番號全註の前身）の実施に従三年計画となり、従来、後、東京市麻布近の電気会社を合併して、来書を準立し資本金七千萬圓の会社となし、後圓の資ひがなくなつたので後進に金を圓くために改組会社を解散した

十九日（土）

◇ミラノに帝國領事館設置

伊太利ミラノに帝國領事館を設置し本日開始した

二十日（日）

◇露國領、北京公使式を挙行

露國領、北京公使式を挙行した。これは露國領が打つたものである

二十一日（月）

◇大豆及油の輸入税免除期間延期

大正九年勅令を以て公布された大豆、豆粕、鯨油及び鯨油の輸入税免除は大正十年十月三十日までの期間であるが、大正十一年十一月三十日まで延期する旨勅令を以て公布された

二十二日（火）

◇電話番號全國に亘り変更施行

電所令實參列帝國全權は、列國の総意に依り臨時議外交官中から任すること、になつてゐたが、本日全権委員として参列せしめることに決定した

◇五分利公債一千二百八十萬圓借換

左の五分利公債一千二百八十三萬二千六百圓を左の条件で換行し、成田鉄道会社に六百二萬圓を交付し、中越鉄道会社に六百八十萬圓を交付した

▽利率五分▽五年据置後五十年内償還

◇未成年者入税免税を廃す

勅令を以て未成法第二條の規定により未成年者の輸入税は大正十一年十月三十一日までで免除する旨公布された

◇大圓圓銀會社圓社章圓銀

大阪圓銀會社圓社長山岡圓太郎は辞任して、圓社長に就任した

二十三日（木）

◇内閣書記官、總裁職工の調査を圓査

帝國會議に提出された軍艦縮小案實施の結果、相當數の失業者を出す見込みであり、政府

に救済方面は打棄並大と震想されるので、内務省ではこれが對策を考究するため全國各府縣に命じて感銘所の事業内容及び職工數等を報告するよう通牒を發した

二十五日（金）

◇皇太子殿下、宮殿の御大任に就かせ給ふ

天皇陛下の御病悩久しきに亘らせ給ふため憲法第十七條及び皇室典範第十九條第二項並に第二十條の規定により皇族會議及び枢密院會議の議を經て攝政を置くことに決し、皇太子裕仁親王殿下がその大任に就かせられることゝ相成り、大詔渙發、高橋首相以下各國務大臣に拝謁仰付けられ候旨を賜はり、引續き之れを内外に宣示せられた

◇皇室大典更期

本日左の如く東宮大夫の更迭が發表された

樞密顧問官從二位勲一等　伯爵　東園基愛

樞密顧問官東宮大夫　兼宮内省一等官　特に現在官の儘

特旨を以て

樞密顧問官東宮大夫　男爵　浦尾新

依願免官

◇皇族會、子爵に圓授

從二位勲一等男爵浦尾新は多年東宮大夫として奉仕せる圓功に依り特に子爵に陞授せられ

れ旭日桐花大綬章を授けられた

二十六日（土）

◇露國領事館設置を圓意

皇太子殿下には二十六日大詔の御大任に就かせられたので、攝政令施行の政規定により本日午前十時宮中賢所大前に於て御奉告祭を行はせられた。各列者は各皇族殿下を始め大勲位、内閣總理大臣以下各國務大臣、その他文武高官で圓勅奏任官以上の者並に御開扉を許された。九條事務長官は特に御裳束着用で式部官を率ゐ束帯姿にて御前に參進、恭しく御勅語を捧げ奉つた。次で特に總理大臣に令旨を賜ひ、午後一時各國大公使、政府及び宮内高官に謁を賜つた

◇震災府圓工業圓圓圓圓圓

大正八年十月百萬圓を以て起工された東京府商工奨勵館は竣工し、本日開館式が挙行された

二十七日（日）

◇北清鉄道行事件の岩下清周上告す

北清鉄道行事件の岩下清周は懲役三年の判決に不服で上告した

二十九日（火）

◇日銀大圓支店西宮に圓圓五圓圓任

日本銀行大阪支店長結城豊太郎は任を解き、後任として日本銀行大阪支店長に就任する旨本日発令された

◇大圓配給會社の圓立

圓井圓商會支部の同社は資本金三百萬圓を以て設立され、創立總會に於て左の重役を選任した（日不詳）

▽社長山本条太郎▽常務取締役　岡崎邦輔▽同　津坂東介▽同　大越圓太郎▽同　鳥羽薫▽監査役　岡田口喜▽同　森賀三郎

◇大同電氣圓圓所の圓立

大同電力會社の製圓工場を分離独立せしめ資本金百萬圓を以て設立せる大同電氣圓所（大同製圓會社の前身）は創立總會を圓き左の重役を選任した（日不詳）

▽社長　岩垂川恒吉▽同社長　川岸令恒三▽取締役　久留島通彦、苅生善、村圓米一▽監査役　増田太郎、内藤圓事

【十一月】

一日（木）

◇東京電工鉄圓圓行の増資社圓と圓圓

東京電工鉄道圓行（資本金百萬圓）は前年

十一月十八日取付以来休業整理に努め日銀總裁、神田銀行其他の援助と同情によつて漸く整理成り、商號を丸の内銀行と改め、預金者に交附する優先配當株三百五十萬圓を增資して總資本を四百五十萬圓とし一年二ケ月振りで本日より開業、重役を全部改選して左の如く決定した

▽頭取國分三亥▽專務取締役松尾鐵五郎▽常務取締役加藤辰彌、加藤規術、中山貞雄▽監査役伊藤源三郎、竹下文藏

◇社會主義者の檢擧及檄烈を加ふ

全國に亘つて赤化宣傳の陰謀を企てた社會主義者の檢擧は益々峻烈を加へ、資文社々主近藤榮藏一味及び曉民會の川崎嘉次郎等の軟禁についで堺利彥、山川均の家宅捜索を行ひ各々證據書類を押收した

二一　日（金）

◇東京市電の救助網撤廢實行

東京市電氣局で多年懸案になつてゐた市營電車の救助網撤廢問題は鐵道、內務兩省の協議會に附議され、先づ運轉車輛の半數だけ撤廢して試驗することになつた。因に救助網を撤廢すれば年十萬圓乃至十二萬圓の節約が出來る

◇ブラジル企業調合の成立

南米ブラジルに十一萬町歩の地所を讓受け同地に植民を營むブラジル企業組合が結成され、山科鐵藏を委員長、淺野總一郎、馬越恭平等十四名を委員、內田嘉吉を相談役に推擧した

三　日（土）

◇アデンに日本商工品陳列館設置

日本內地の有力な製造業者及び商人百二十名の後援の下にギリシャのアデンに日本商工品陳列館が設置された

五　日（月）

◇我國にノーベル授賞者の推薦を依頼

瑞典のノーベル委員會は、九州帝國大學の高山、久保兩醫學博士に對しノーベル賞授與候補者の推薦方を依頼してきた。同委員會が授賞候補者推薦方を我國に依頼したのはこれを以て嚆矢とする

六　日（火）

◇攝政宮殿下、德川議長宮を東宮御所に御招待

本日より攝政宮殿下には今後當分の間同御所にあらせられることゝなり、高輪御所から御移轉遊ばされた

◇內務省の社會事業費金補助額決定

內務省本年度の社會事業費金の各府縣割當額が決定した。總額一千六百萬圓である

◇名古屋繪絲布取引所設立を認可さる

名古屋市の近藤榮八外四十數名より認可申請中であつた會員組織の名古屋繪絲布取引所に對し農商務大臣より認可の指令があつた

◇帝國電燈、埼玉電燈を合併增資

同社（資本金一千八百七十二萬五千八百圓）は臨時株主總會を開き、埼玉電燈會社（資本金八十五萬圓）を合併し、更に資本金を三千三百二十五萬二千五百五十圓に增加する件を可決した

◇眞柄、眞代の兩女收監さる

不穩文書の宣傳に關係して、幸德秋水に召喚された堺利彥長女眞柄と中曾根源和妻眞代の兩女は起訴され、東京監獄に收監された

七　日（水）

◇東京株式取引所、證券交換所を合併

東京株式取引所（資本金四千五百萬圓）は、株主總會を開き、證券交換所（資本金一千萬圓內拂込二百五十萬圓）を合併して、百五十萬圓增資する件を可決した

◇英米爲替騰高

華府會議の經過順調のため、英米の爲替は新高値を呼んで四弗八仙八分の五となつた

九　日（金）

◇全國の在米高發表さる

當に移動する在米高の調査は困難であり、調査に莫大な經費と勞力を要するので、從來は概略を調査するに過ぎなかつたが、このため市場に惡影響を及ぼすことが少くないのに鑑み、農商務省は各府縣その他の關係官廳及び自治團體に通牒して調査を進め、漸く完了して本年十一月一日現在の在米高は八百十五萬石と發表された

十　日（土）

◇勞働保險調査會官制公布さる

勞働保險調査會官制は勅令を以て公布、卽日施行された

◇官米拂下の不歲統と定期米の混亂

農商務省は貯藏內地米三十六萬石の內十二萬石を新米十二萬石と買替へることゝなり、本日東京、大阪、神戶の食糧局出張所に於て賣出しを開始したが、正米市場は人氣引立たず氣拔けの態であつたに引きかへ、期米市場は殺氣立つた混亂に陷り、遂に立會を停止するに至つた

◇東洋精子會社解散に決定

同社（資本金三十萬圓、內十二萬圓拂込）は機械炊の時代となつた今日製塲業を繼續することは不利益なため、重役會を開き解散に決定した

◇東京電燈、二電氣會社を合併

東京電燈會社（資本金一億七千一百萬圓）は高崎水力電氣會社及び熊川電氣會社を合併して一億七千七百二十五萬圓に增資することに決定した

十一　日（日）

◇臺灣正米市場規則の制定

臺灣總督府令を以て臺灣正米市場規則が制定公布された

◇左遷、生保內兩鐵道局長

左澤鐵道局長（羽前長崎、寒河江間二哩七分）並に生保內輕便線（羽前長崎、神代間三哩八分）は本日運輸營業を開始した

十二　日（月）

◇馬賊と交戰、我が將卒八名戰死

關東軍司令部附村井少佐、後藤大尉及び隨員四名、下士卒十名は、我が黑河特務機關に連絡のためチチハルより黑河に向ふ途中、本日午前十時頃チチハル北方約二十里附近の地點に於て四十五名の馬賊と遭遇、村井少佐、後藤大尉他兵六名は戰死した

◇帝國電絲會社、所有生糸賣却に決定

最近米國絹業界の活況につれて生絲の賣行良好となり、市中在荷も漸く拂底を訴へ絲價各種品共二千圓以上の高値に吹上げたため、帝國電絲會社は在荷の一部を處分することに決し、主務省の認可を得て第一回分として二百萬斤を賣出した

◇山陽中央水電の三社合併

山陽中央水電會社（資本金七百七十五萬圓）は臨時總會に於て赤穗電燈會社（資本金十萬圓）牛窓電氣會社（資本金十萬圓）及び西大寺電燈會社（資本金五十萬圓）を合併し八百四十五萬圓に增資の件を可決した

◇不逞鮮人結社・獨立青年團檢擧さる

平安北道義州に於ける秘密結社獨立青年團は鴨綠江對岸の不逞團と連絡し武器、不穩文書等の密輸入を行ひ、不逞團の潛入に際し道案內をなす等の事實發覺し、幹部十三名は平安北道警察部に檢擧された

十三　日（火）

◇國際協約の調印と日英同盟の廢棄

本日華盛頓會議に於て日、英、米、佛の四

ケ國間に締結された四國協約の調印が行はれ日本全權は加藤男、幣原男、徳川公の順序で署名した。内容は四ケ條にわたり平和確立と各國權益の尊重を協約してゐる。尚ほ同協約の効力發生と同時に二十年の歴史を有する日英同盟は脱棄された

◇産業勞働調査會の臨時大會と宣言

産業勞働總同盟は臨時大會を東京に開催し左の宣言をなした

今や軍縮の結果全國五十萬の勞働者及びその家族は飢餓に瀕しやうとしてゐる。軍縮は最高の理想であるが、當局は須らく的確なる失業防止と失業者救濟に萬全を期せられたい

十四日（水）

◇日本鑛業會社の解散

同社（資本金二百萬圓内拂込五十萬圓）は臨時株主總會を開き解散の件を可決した

十六日（金）

◇東京市設市場、白米値下を發表

東京市役所商工課は市設市場の白米販賣價格を左の如く一斗につき五錢づつ値下する旨發表した（單位圓）

▽内地一等白米四・六〇▽同二等四・五〇▽同三等四・三〇▽同四等四・一〇▽朝鮮白米

◇府縣滅稅期成大會の決議

東京京橋區區會副議長尾後貫朝五郎等發起の下に府縣滅稅期成大會を開催して左の決議をなし、發起人等は決議を齎して東京府に陳情した

吾人は大正十一年度府縣稅總豫算に對し府稅營業稅、人力車稅、自轉車稅、觀覽稅、自動車稅の輕減を期し、前人稅の全廢を至當と認む

十七日（土）

◇五分利國庫債券二千五百萬圓發行

政府は鐵道の建設及び改良費に充てるため大藏省預金部の引受を以て五分利國庫債券二千五百萬圓を左の條件で發行した

▽發行價格九十三圓▽償還期限大正十七年六月一日

◇東株取引所國債仲買委員の選擧

東京株式取引所國債仲買人組合は組合委員選擧を行ひ、片山繁雄、杉野喜精、菊池鈴太郎、岩井勝三、徳田昂平、神田鎌藏、山口增藏の七名が當選した

◇盛岡電燈、二會社を合併增資

盛岡電燈、二會社（青盛岡電氣工業會社、資本金五百六十萬圓）は花卷電氣、釜石電燈の兩社を合併し、六百五十萬圓に增資した

◇關東廳研究所の開所式

佐伯博士を所長とする東京小石川區駕籠町の國立榮養研究所は開所式を擧行、高橋首相以下各大臣、貴衆兩院議員其他約一千名參列榮養料理の接待を受けた。同所は工費十六萬圓、鐵筋コンクリート造りの建物で、日本最初の榮養研究所である

十八日（日）

◇華府會議反對の對米青年同盟大會

華府會議に於ける米國全權の橫暴と日本代表の屈從的態度に憤激せる對米青年同盟は、東京赤坂山王臺に大會を開き、左の決議をなした

一、國民は米國提議にかゝる不公正、不平等なる海軍々備の制限案を承認せず

二、華府會議に於ける幾多の屈辱的外交に對し吾全權並に政府は速かに自決すべし

◇白米小賣値段再び値下

東京市設市場白米小賣値段は各等十錢づつ値下げされ、一斗につき左の如く改正された（單位圓）

▽内地米一等四・五〇▽同二等四・四〇▽同三等四・二〇▽同四等四・〇〇▽朝鮮米四・〇〇▽臺灣米三・六〇▽田糯六・二〇▽烟糯五・〇〇

◇官業勞働者の罷輪失業救濟大會

午後一時東京飛鳥山に官業勞働大會が開かれた。日本勞働聯盟、官業勞働總同盟、大阪の向上會、八幡の同志會、横須賀の革新會、東京の日本勞働協會、小石川勞働、交通勞働などの諸團體參集、各代表の演說の後左の決議をなした

一、罷輪による失業者に對しては最低二ケ年分の日給を支給すること、年功勤續の比率は累進率により一切の支給方法を政府に一任すること

一、生産的産業の勃興、道路其他公益的土木工事の起工、勞働保險制度の實施、國民教育の充實を圖ること

一、八時間制度を實施すること

一、最低賃銀を制定すること（最低日給二圓五十錢）

十九日（月）

◇鑛業警察規則公布さる

農商務省令を以て左記に關する諸規則が公布され、いづれも明年一月一日より施行されることゝなつた

▽特許登錄令施行規則▽實用新案の登錄に關する件▽意匠登錄規則▽商標登錄規則▽鑛業警察規則

◇毛斯綸製絲同業會の設立總會

モスリン製絲同業會は名古屋市に臨時總會を開き、操業短縮五割即時實行の件及び輸出對策として各契約先に對し積出し未濟の分は取引延期を交涉する件を可決した

二十日（火）

◇東海電氣鐵道會社、愛知電鐵を合併增資

東海電氣鐵道會社（資本金五百萬圓）は定時株主總會を開き愛知電氣鐵道會社を合併して一千萬圓に增資の件を可決した

◇日本鑛業五十萬圓に減資

同社（資本金二十五萬圓）は臨時總會を開き七十五萬圓を減資して資本金五十萬圓とする件を可決した

◇我が實業視察團一行、倫敦に到着

日本實業視察團一行團塚虎太郎以下五十六名は本日倫敦に到着、商務官エー・エッチ・ホーンは海外貿易代表として一行を出迎へた。一行は英國聯合商業會議所主催の午餐會に招かれ、後英國政府の歡迎會に臨み、二十一日には英國皇帝陛下に拜謁仰付けられた

二十一日（水）

◇前總裁を犧牲せる政友會大會の宣言

原敬變死後、新たに高橋是清を總裁に推戴した政友會は、本日午後一時より本部に大會を開催、所屬貴衆兩院議員、地方代議員五百餘名出席、左の宣言をなした

内外多事の際原前總裁を失つたことは痛慨に堪えぬ。しかしこゝに高橋新總裁を迎へた我黨は毅然として國家に至誠を盡さねばならぬ。思ふに政友會の四大政綱は經國の大計である。而して各國は歐洲大戰後の經營に當り先進諸國は益々その國富を開發してゐる。故に我國民は益々智能を啓發して國光を顯揚し、產業を振興して列國と共に轡を並べ、平和の大道に驅馳することを期せねばならない

◇國民聯合會の華府會議反對決議

華盛頓會議國民聯合會では東京の同本部に實行委員會を開き、上泉中將、建部、上杉兩博士等二十餘名出席、華府會議に於ける海軍々備制限其他諸問題の進行狀態に關し左の決議をなした

吾人は華府會議に於ける現在の進行に滿足

せず

◇東株・大株現物仲買人設置認可

東京、大阪兩株式取引所より認可申請中の現物仲買人設置に關する定款變更の件につき農商務大臣より認可の指令があつた。現物仲買人とは直取引、延取引に限り賣買取引をなし得る仲買人の謂であつて、その定員は東京二百名以內、大阪二百五十名以內である

◇日本資本家と浦鹽政府間に借款成立

浦鹽政府は露西亞研究會大井幹事、山口代議士等の仲介により滯貨を擔保として東京、大阪の資本家との間に五百萬圓の借款契約を締結した

◇日米絹業協議會開催に關する決議

蠶絲中央會では日米絹業協議會開催に關する協議委員會を開き左の決議をなした

一、蠶絲業の發展に就き考究するため米國營業者を招待して日米絹業研究會を開き、日本側よりは標準織度變更の議を提出すること

一、我國に米國側よりの問題の提出を希望すること

一、會期は大正十一年平和博覽會開催を機として四月上旬開會すること

一、經費は約二萬圓とし中一萬圓は寄附に仰ぎ、一萬圓は會員二百名より募集し各一名より會費五十圓宛を徵收すること

二十二日（木）

◇秘露に帝國公使館設置さる

秘露に帝國公使館設置され本日開館した

◇日清印刷會社の倍額增資

同社（資本金五十萬圓）は定時株主總會を開き五十萬圓を增資して資本金を倍額の百萬圓とする件を可決した

二十四日（土）

◇山東鐵道交涉中止に決定

華盛頓會議に於て我全權委員と支那全權委員間に交涉中の山東還附問題に關し日本政府は、支那政府が眞に極東平和を希望する誠意を示し交涉繼續を求めるまで本問題の交涉を拒絕中止することに決定し、本日右の旨內田外相より我全權に訓令した

◇奧國公債會社の設立

資本金百萬圓（四分の一拂込）を以て設立された同社は創立總會に於て左の重役を選任した

▽取締役加藤平四郎（社長）、富坂與八（專務取締役）、島田倉吉、榊原爾三郎（以上常務取締役）、木村誠一、井上菊四郎、池田岩太郎外六名▽監査役大橋山松次郎、川田清次郎、久保田治一郎、亘理胤正、角田了海

◇早川電力、三會社を合併增資

早川電力會社（資本金四百萬圓）は臨時總會を開き、天龍電力、隅田電力及び東遠電氣の三社を合併し、資本金を一千五百萬圓に增加する件を可決した

二十五日（日）

◇自由通信社の組織變更

個人經營の自由通信社は資本金三十萬圓（全額拂込）の株式會社に改組し、創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役社長古谷新吉▽取締役金子貞治、鈴木義隆▽監査役志賀和多利、山本久七郎▽相談役飯村丈三郎、岩崎勲、岡崎邦輔、改野耕三、片岡辰次郎、鵜澤聰明、村野常右衛門▽支配人小高長三郎

二十六日（月）

◇攝政宮殿下、開院式に行啓

攝政宮殿下に於かせられては、議會開院式に行啓遊ばされ、優渥なる勅語を御朗讀あらせられ、諸員最敬禮の裡に御機嫌麗しく還啓遊ばされた

◇萬國郵便條約公布さる

大正九年十一月三十日スペインのマドリッドに於て締結された萬國郵便條約は大正十一年一月一日より實施する旨遞信省告示を以て公布された。その內容は外國郵便規則及び外國郵便爲替規則の制定等である

◇大日本セルロイド會社一千萬圓に減資

同社（資本金一千二百五十萬圓）は定時株主總會を開き、缺損銷却のため二百五十萬圓を減資して資本金を一千萬圓となす件を可決した

◇伊藤忠商事會社三百萬圓に減資

同社（資本金一千萬圓）は株主總會を開き二百七十餘萬圓の繰越損金整理のため七百萬圓を減資して、資本金を三百萬圓となす件を可決した

◇大日本電球會社八十萬圓に減資

同社（資本金二百萬圓）は定時株主總會を開き、損失補塡のため八十萬圓に減資の件を可決した

◇高田商會の始祖高田愼藏死去

高田商會代表、高田鑛業顧問高田愼藏は肺臟癌のため東京本郷三組町の本邸に於て死去した。享年七十。氏は立志傳中の人で、嘉永五年二月佐渡に生れ、佐渡民政廳の役人となり、外國語修得のため出京を命ぜられ、築地居留地獨逸商人經營のアーレンス社に入り後仕官して通譯官等を經て、明治十四年一月高田商會を設立、實業界に貢獻するところ少からず、日露戰役の功により勳三等旭日中綬章を授けられ、大正四年正五位に敍せられ、大正八年紺綬章を賜はり、危篤の報天聽に達するや從四位に敍せられた

二十七日（火）

◇小田原電鐵、製氷事業を兼營

小田原電氣鐵道會社は定時總會を開き資本二十萬圓を以て製氷事業兼營の件を可決した

◇全露勞農會議、レーニン政府を信任

全露勞農會議はレーニン政府の內外政策に對し信任投票を與へた

二十八日（水）

◇臺灣水利組合令制定さる

臺灣水利組合令が公布され、卽日施行となつた

◇東京市電の新線開通

東京市電の新線竣工し本日左の區間が開通した

▽駕籠町—大塚▽富士前—神明町

三十日（金）

◇箱根土地、グリーンホテルを合併

同社（資本金二千萬圓）は定時株主總會を開き株式會社グリーン・ホテルを合併して五十萬圓增資の件を可決した

◇帝國ホテルの倍額增資

帝國ホテル（資本金三百萬圓）は臨時總會を開き、倍額增資して六百萬圓となす件を可決した

◇日本セメントの倍額增資

資本金二百五十萬圓の日本セメント會社は倍額增資して資本金五百萬圓となつた（日不詳）

◇富士瓦斯紡績、三紡績會社を合併

資本金四千八百萬圓の富士瓦斯紡績會社は拂込二百四十萬圓の大分紡績會社、拂込七十萬圓の日華絹綿紡績會社及び拂込二十萬圓の東洋絹絲紡績會社の三社を合併し、三百三十萬圓を增資して資本金四千四百三十萬圓となつた（日不詳）

◇古河電氣工業、九州電線製造を買收

古河電氣工業會社（資本金二千萬圓）は九州電線製造會社を買收するに決定した（日不詳）

大正十年統計

日本銀行金融業務取扱高

月	割引手形 千圓	擔保貸付金 千圓	當座預金 千圓	發行銀券 千圓	兌換銀券 千圓	正貨準備 千圓	保證準備 千圓	制限外發行 千圓
一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
三月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
四月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
五月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
六月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
七月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
八月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
九月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一

外國爲替相場

月	上旬 賣	上旬 買	中旬 賣	中旬 買	下旬 賣	下旬 買
一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
三月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
四月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
五月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
六月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
七月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
八月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
九月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一

東京組合銀行金融業務

月	割引 手形 貸高	割引 手形 最低	割引 手形 平均	擔保貸付金 貸高	擔保貸付金 最低	擔保貸付金 平均
一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
三月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
四月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
五月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
六月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
七月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
八月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
九月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一

東京交換所手形交換高

月	枚數	圓
一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一、三五六、〇三一
二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一、三五六、〇三一
三月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一、三五六、〇三一
四月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一、三五六、〇三一
五月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一、三五六、〇三一
六月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一、三五六、〇三一
七月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一、三五六、〇三一
八月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一、三五六、〇三一
九月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一、三五六、〇三一
十月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一、三五六、〇三一
十一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一、三五六、〇三一
十二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一、三五六、〇三一

倫敦銀市場

月	上旬 高	上旬 低	中旬 高	中旬 低	下旬 高	下旬 低
一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
三月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
四月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
五月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
六月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
七月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
八月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
九月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一

紐育銀市場

月	上旬 高	上旬 低	中旬 高	中旬 低	下旬 高	下旬 低
一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
三月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
四月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
五月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
六月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
七月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
八月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
九月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一

巴里銀市場

月	上旬 高	上旬 低	中旬 高	中旬 低	下旬 高	下旬 低
一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
三月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
四月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
五月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
六月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
七月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
八月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
九月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十一月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一
十二月	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一	一、三五六、〇三一

上海宛 両 六〇3/4 五九 六〇1/2 五八 六二1/4 五九1/4

十一月
倫敦宛 志片 二、三3/8 二、三1/4 二、三1/4 二、四3/4 二、四7/8 二、四3/4
紐育宛 弗 四八1/8 — 四八1/8 — 四八1/8 —
上海宛 両 六二1/2 六〇1/2 六四 六二3/4 六五 六一3/4

十二月
倫敦宛 志片 二、四3/4 二、四 二、三3/4 二、三7/8 二、三1/2 二、三5/16
紐育宛 弗 四八1/8 — 四八1/8 — 四八1/8 —
上海宛 両 六四 六二1/2 六二3/4 六二1/2 六五1/4 六二1/2

銀塊相場

	倫敦 最高 片	倫敦 最低 片	紐育 最高 仙	紐育 最低 仙
一月	四二1/2	三五1/8	六八	六〇
二月	三七3/4	三一3/8	六五	五四1/2
三月	三四1/8	三〇5/8	五八3/4	五三3/4
四月	三六1/2	三三1/2	六二1/8	五六3/8
五月	三五1/2	三五1/8	六三	五七7/8
六月	三六3/4	三三1/2	六〇1/4	五七3/4
七月	三九1/2	三五1/4	六三3/8	六〇1/4
八月	三八7/8	三六1/4	六三5/8	六二3/4
九月	四〇3/8	三七3/4	七一5/8	六三3/4
十月	四二7/8	三九1/8	七二5/8	六八3/4
十一月	四〇1/2	三七3/8	七〇1/2	六六1/2
十二月	三七5/8	三四1/2	六八1/4	六五1/2

外國貿易月表

月	種別	金額（圓）
一月	輸出	七五、〇六七、〇六〇
	輸入	一〇五、二三〇、六四一
	輸入超過	三〇、一六三、五八一
二月	輸出	七六、六八九、三五八
	輸入	一一九、二六八、一五二
	輸入超過	四二、五七八、七九四
三月	輸出	九四、一〇四、八七三
	輸入	一三六、九五三、〇六七
	輸入超過	四二、八四八、一九四
四月	輸出	一一五、五三四、七九二
	輸入	一三九、四三八、八六〇
	輸入超過	二三、九〇四、〇六八
五月	輸出	一〇五、三七〇、二八五
	輸入	一四九、八八二、七九九
	輸入超過	四四、五一二、五一四
六月	輸出	一〇七、〇八六、三一三
	輸入	一四八、一一五、七三六
	輸入超過	四一、〇二九、四二三
七月	輸出	九八、六六二、五七〇
	輸入	一一〇、二七〇、四三六
	輸入超過	一一、六〇七、八六六
八月	輸出	一〇五、五二二、七四〇
	輸入	一三二、〇五八、八七四
	輸入超過	二六、五三六、一三四
九月	輸出	九五、八四三、七七〇
	輸入	一二九、一六六、〇八六
	輸入超過	三三、三二二、三一六
十月	輸出	一一一、五九六、八六九

月	種別	金額（圓）
十月	輸入	一三〇、三七四、九五〇
	輸入超過	一八、七七八、〇八一
十一月	輸出	一二一、二八八、二四二
	輸入	一五一、九五五、二七八
	輸入超過	三〇、六六七、〇三六
十二月	輸出	一四六、〇七〇、八四三
	輸入	一六一、四三九、九五三
	輸入超過	一五、三六九、一一〇
一月以降累計額	輸出	一、二五二、八三七、七一五
	輸入	一、六一四、一五四、五三二
	輸入超過	三六一、三一七、一一七

東京株式取引所定期相場

銘柄	拂込 圓	配當率 分	最高 圓	最低 圓	平均 圓
一月					
南滿洲鐵道	二〇〇	一〇・〇	一二七・〇〇	一〇六・〇〇	一一三・〇三
日本郵船	五〇	三〇・〇	一五八・五〇	一二七・八〇	一三五・〇三
北海炭礦	五〇	一五・〇	五八・九〇	五四・九〇	五六・五九
東京電燈	五〇	一四・〇	七九・五〇	七四・四〇	七六・〇六
鬼怒川水電	五〇	八・〇	五〇・一〇	四七・七〇	四九・〇四
王子製紙	五〇	二五・〇	九六・〇〇	九〇・七〇	九三・九〇
日本鋼管	五〇	—	二一・〇〇	一八・六〇	一九・四八
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	三四五・五〇	三〇九・九〇	三二四・〇六
東洋紡績	五〇	三〇・〇	一三四・九〇	一一〇・八〇	一二五・一一
大日本麥酒	五〇	三〇・〇	九八・四〇	八九・九〇	九四・〇〇
日魯漁業	五〇	—	二八・七〇	二〇・〇〇	二四・三三
鹽水港製糖	五〇	三〇・〇	九三・五〇	八四・五〇	八九・四六
明治製糖	五〇	六二・四	八九・八〇	八二・八〇	八六・五七
日清製粉	五〇	三〇・〇	七八・六〇	七七・一〇	七七・七三
人造肥料	五〇	一〇・〇	四五・一〇	四一・六〇	四三・八九
淺野セメント新	—	—	—	—	—
久原鑛業	五〇	—	三九・六〇	三二・五〇	三六・四八
日本石油	五〇	三五・〇	一四三・八〇	一三二・〇〇	一三七・八五
東京株式新	一二・五	七・七	八〇・九〇	七一・八〇	七七・四一
二月					
南滿洲鐵道	二〇〇	一〇・〇	一二三・九〇	一一四・五〇	一一九・五七
日本郵船	五〇	三〇・〇	一四六・七〇	一三八・五〇	一四〇・六五
北海炭礦	五〇	一五・〇	五八・六〇	五四・八〇	五六・五五
東京電燈	五〇	一四・〇	七九・五〇	七六・〇〇	七七・五一
鬼怒川水電	五〇	八・〇	五九・八〇	五〇・〇〇	五四・八〇
王子製紙	五〇	一五・〇	一〇五・〇〇	九五・五〇	一〇〇・六五
日本鋼管	五〇	—	二一・二〇	一九・六〇	二〇・三五
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	三二六・六〇	三一七・二〇	三二九・六一
東洋紡績	五〇	三〇・〇	一二四・〇〇	一一六・五〇	一二六・五九
大日本麥酒	五〇	三〇・〇	一一九・〇〇	九九・八〇	一〇九・七一
日魯漁業	五〇	—	二八・〇〇	二六・〇〇	二六・九八
鹽水港製糖	五〇	三〇・〇	一〇六・〇〇	九〇・八〇	九七・六七
明治製糖	五〇	六三・四	九六・七〇	八八・〇〇	九二・三三
日清製粉	五〇	三〇・〇	八三・五〇	七八・〇〇	七九・八三
人造肥料	五〇	一〇・〇	四四・九〇	四二・二〇	四三・五〇
淺野セメント新	—	—	—	—	—
久原鑛業	五〇	—	四〇・〇〇	三六・五〇	三八・四四
日本石油	五〇	三五・〇	一四二・六〇	一三五・五〇	一三七・五八
東京株式新	一二・五	七・七	一二〇・五〇	八一・五〇	九五・六五
三月					
南滿洲鐵道	二〇〇	一〇・〇	一三〇・六〇	一二〇・四〇	一二五・一九
日本郵船	五〇	三〇・〇	一四五・五〇	一三七・〇〇	一三九・六六
北海炭礦	五〇	一五・〇	五四・六〇	四七・六〇	五〇・四四
東京電燈	五〇	一四・〇	七七・五〇	七五・九〇	七六・五八
鬼怒川水電	五〇	八・〇	五八・五〇	五三・五〇	五五・九六
王子製紙	五〇	二五・〇	一〇四・五〇	九七・七〇	一〇〇・〇九
日本鋼管	五〇	—	二五・二〇	一七・六〇	二〇・〇七
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	二七一・九〇	二四四・五〇	二五七・〇五
東洋紡績	五〇	三〇・〇	一一三・五〇	一〇七・二〇	一一五・五〇
大日本麥酒	五〇	三〇・〇	一一三・五〇	一〇三・六五	一〇七・六五
日魯漁業	五〇	—	二七・〇〇	二一・一〇	二五・五五

東京株式新	11	0.11	0.11	0.10	0.11	0.11
東京日本石油	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
久ン渡人 日本鉱業 トモ斡メ新	—	—	—	—	—	—
日本石油	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東京株式新	11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11

五月

南満洲鉄道	100	0.10	0.11	0.10	0.11	0.11
日本郵船	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東北海炭鑛	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東京電燈	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
王子製紙	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
鬼怒川水電	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本興業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋紡績新	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
大日本麦酒	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋紡績	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本製糖	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
明治製糖	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本鉱業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
久ン渡人 トモ斡メ新	—	—	—	—	—	—
日本石油	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東京株式新	11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11

六月

南満洲鉄道	100	0.10	0.11	0.10	0.11	0.11
日本郵船	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東北海炭鑛	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東京電燈	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
鬼怒川水電	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
王子製紙	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本興業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋紡績新	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋紡績	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
大日本麦酒	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本製糖	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
明治製糖	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋鉱業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本鉱業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
久ン渡人 トモ斡メ新	—	—	—	—	—	—
日本石油	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東京株式新	11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11

七月

南満洲鉄道	100	0.10	0.11	0.10	0.11	0.11
日本郵船	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東北海炭鑛	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東京電燈	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
王子製紙	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
鬼怒川水電	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本興業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋紡績新	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
大日本麦酒	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋紡績	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本製糖	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
明治製糖	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋鉱業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本鉱業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
久ン渡人 トモ斡メ新	11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本石油	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東京株式新	11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11

八月

南満洲鉄道	100	0.10	0.11	0.10	0.11	0.11
日本郵船	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東北海炭鑛	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東京電燈	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
鬼怒川水電	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
王子製紙	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本興業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋紡績新	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
大日本麦酒	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋紡績	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本製糖	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
明治製糖	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋鉱業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本鉱業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
久ン渡人 トモ斡メ新	11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本石油	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東京株式新	11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11

九月

南満洲鉄道	100	0.10	0.11	0.10	0.11	0.11
日本郵船	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東北海炭鑛	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東京電燈	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
鬼怒川水電	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
王子製紙	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本興業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋紡績新	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
大日本麦酒	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋紡績	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本製糖	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
明治製糖	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋鉱業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本鉱業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
久ン渡人 トモ斡メ新	11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本石油	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東京株式新	11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11

十月

南満洲鉄道	100	0.10	0.11	0.10	0.11	0.11
日本郵船	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東北海炭鑛	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東京電燈	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
鬼怒川水電	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
王子製紙	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本興業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋紡績新	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
大日本麦酒	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋紡績	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本製糖	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
明治製糖	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東洋鉱業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本鉱業	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
久ン渡人 トモ斡メ新	11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
日本石油	50	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
東京株式新	11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11

東洋紡績	五〇	五〇・〇	一六四・七〇	一五三・〇〇	一五七・七六
大日本麦酒	五〇	二五・〇	一一七・五〇	一一一・五〇	一一四・七五
日魯漁業	五〇	—	二四・五〇	二一・一〇	二二・二六
鹽水港製糖	五〇	一〇・〇	七九・一〇	七一・五〇	七四・八八
明治製糖	五〇	一二・〇	七六・四〇	七〇・〇〇	七三・三三
日清製粉	五〇	三三・〇	一一六・〇〇	一〇三・七〇	一〇八・五〇
人造肥料	五〇	—	三九・八〇	三六・一〇	三七・六二
淺野セメント新	一二・五	二〇・〇	一九・六〇	一八・五〇	一八・九六
久原鑛業	五〇	—	三七・二〇	三五・一〇	三六・四〇
日本石油	五〇	四五・〇	一三七・〇〇	一二七・五〇	一三一・六九
東京株式新	一二・五	一三・〇	一三六・七〇	一二五・九〇	一三一・五七
十一月					
南滿洲鐵道	二〇〇	一〇・〇	一二六・三〇	一二五・一〇	一二五・三九
日本郵船	五〇	二〇・〇	一三七・〇〇	一二九・〇〇	一三一・七九
北海炭礦	五〇	一〇・〇	五五・六〇	四三・六〇	五〇・五七
東京電燈	五〇	一七・〇	七六・九〇	七五・二〇	七六・二一
鬼怒川水電	五〇	八・〇	六三・四〇	六〇・五〇	六一・一六
王子製紙	五〇	三五・〇	八九・七〇	八六・〇〇	八七・八八
日本鋼管	五〇	—	—	—	—
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	三四二・〇〇	三二七・〇〇	三〇九・九六
東洋紡績	五〇	五〇・〇	一五五・一〇	一三五・八〇	一四七・〇三
大日本麦酒	五〇	二五・〇	一一六・四〇	一一四・〇〇	一一五・四三
日魯漁業	五〇	—	二三・九〇	二一・〇〇	二二・八一
鹽水港製糖	五〇	一〇・〇	七四・三〇	七一・〇〇	七二・八九
明治製糖	五〇	一二・〇	七五・五〇	七一・六〇	七三・一三
日清製粉	五〇	三三・〇	一〇八・〇〇	一〇五・四〇	一〇七・〇〇
人造肥料	五〇	—	三七・〇〇	三五・五〇	三六・四九
淺野セメント新	一二・五	二〇・〇	二〇・〇〇	一九・〇〇	一九・五五
久原鑛業	五〇	—	三六・五〇	二八・二〇	三二・二一
日本石油	五〇	四五・〇	一二九・一〇	一〇六・九〇	一二三・〇七
東京株式新	一二・五	一三・〇	一三三・五〇	一二五・五〇	一二八・六五
十二月					
南滿洲鐵道	二〇〇	一〇・〇	一二八・九〇	一一一・六〇	一一三・七一
日本郵船	五〇	二〇・〇	一三三・五〇	一二九・〇〇	一三〇・六四
北海炭礦	五〇	一〇・〇	五〇・〇〇	四八・〇〇	四九・〇六
東京電燈	五〇	一四・〇	七七・一〇	七五・〇〇	七五・四四
鬼怒川水電	五〇	八・〇	六三・五六	六〇・五〇	六一・九〇
王子製紙	五〇	二〇・〇	八四・六〇	八二・五〇	八三・一七
日本鋼管	五〇	—	—	—	—
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	三三五・〇〇	三二一・五〇	三二六・七三
東洋紡績	五〇	三〇・〇	一六〇・〇〇	一三五・八〇	一四七・五四
大日本麦酒	五〇	二五・〇	一二一・〇〇	一一四・五〇	一一六・四八
日魯漁業	五〇	—	—	—	—
鹽水港製糖	五〇	一〇・〇	七四・〇〇	七〇・二〇	七二・六一
明治製糖	五〇	一二・〇	七四・七〇	七二・二〇	七三・四五
日清製粉	五〇	三三・〇	一〇三・五〇	九〇・九〇	九六・七〇
人造肥料	五〇	—	三六・九〇	三四・五〇	三五・九一
淺野セメント新	一二・五	二〇・〇	二三・九〇	二一・五〇	二二・〇七
久原鑛業	五〇	—	三五・六〇	三一・五〇	三四・五七
日本石油	五〇	四五・〇	一二一・七〇	一一一・六〇	一一四・六九
東京株式新	一二・五	一四・〇	一三〇・四〇	一二〇・五〇	一二五・八七

東京米穀取引所定期相場

一月		一月限 圓	二月限 圓	三月限 圓
	最高	二七・五〇	二七・七〇	二七・八三
	最低	二五・六〇	二六・〇七	二五・七〇
	平均	二六・三一	二六・九〇	二六・六六
二月		二月限	三月限	四月限
	最高	二六・七一	二六・五九	二六・二九
	最低	二五・三三	二五・五〇	二四・八八
	平均	二六・三三	二六・〇五	二五・六七
三月		三月限	四月限	五月限
	最高	二五・七〇	二五・六八	二五・五四
	最低	二四・五九	二四・八一	二四・六〇
	平均	二五・二二	二五・二七	二五・一五
四月		四月限	五月限	六月限
	最高	二七・八〇	二七・四七	二七・九五
	最低	二五・三〇	二五・二二	二五・四九
	平均	二六・六八	二六・六八	二七・二三
五月		五月限	六月限	七月限
	最高	二七・二七	二七・七五	二八・三〇
	最低	二六・一〇	二六・八一	二七・二六
	平均	二六・七五	二七・三六	二七・七九
六月		六月限	七月限	八月限
	最高	二七・二一	二七・七〇	二八・二四
	最低	二五・五九	二六・七一	二七・一九
	平均	二六・六九	二七・三六	二七・七六
七月		七月限	八月限	九月限
	最高	二八・六九	三〇・〇三	三一・六六
	最低	二七・〇一	二七・七二	二八・一九
	平均	二八・一〇	二九・一九	三〇・二五
八月		八月限	九月限	十月限
	最高	三三・六九	三三・八〇	三五・一一
	最低	三〇・四一	三一・三一	三三・四九
	平均	三一・八九	三二・八〇	三四・〇五
九月		九月限	十月限	十一月限
	最高	三九・〇〇	四一・七九	四二・八九
	最低	三六・一〇	三四・四一	三五・〇一
	平均	三七・三八	三七・〇〇	三八・一〇
十月		十月限	十一月限	十二月限
	最高	四二・五一	四三・三〇	四四・九九
	最低	三八・五〇	三八・七五	三九・四〇
	平均	四〇・三五	四一・二九	四二・四三
十一月		十一月限	十二月限	一月限
	最高	四三・八〇	四四・八九	四五・八五
	最低	四〇・三五	四一・三三	三九・八五
	平均	四一・八五	四二・九二	四二・二六
十二月		十二月限	一月限	二月限
	最高	四四・九八	四五・三九	四三・四九
	最低	三五・〇三	三六・二一	三七・五一
	平均	四〇・四三	三九・四八	三九・九二

東京卸賣物價指數

（明治三十三年十月——一〇〇）

	總平均指數	前年同月
一月	二六五・八四	三九八・〇〇
二月	二五七・九五	四一四・五九
三月	二五二・九八	四二五・二五
四月	二五一・一四	三九七・二五
五月	二五二・三六	三五九・七〇
六月	二五三・九三	三二七・六八
七月	二五九・八二	三一六・六三
八月	二六三・五二	三一一・〇四
九月	二七三・五〇	三〇四・九六
十月	二八九・八四	二九八・四五
十一月	二八三・二九	二九三・七三
十二月	二七六・九五	二七一・九八

大正十一年（紀元二五八二年 西暦一九二二年）

【一　月】

四　日（水）

◇華府會議、支那關稅會議設置決議を採擇
華府會議は支那の門戸開放問題を諮詢するため支那に諮議院を設置するの決議を第六本會議で正式に採擇した

◇三井銀行社長三井高保死去
三井銀行社長男爵三井高保は本日死去。享年七十三。京都府三井高福の五男に生れ、明治維新以來の多年の功績により大正四年男爵を授けられた

五　日（木）

◇華府會議、在支外國軍隊引上要求を承認
華府會議極東委員會は支那の外國軍隊撤退要求に對し正當なる理由ある場合は撤退要求に應ずる旨の決議を可決、二月一日の第五本會議で正式に採擇された

◇華府會議、支那關稅改正案を可決
華盛頓會議極東委員會は現行支那輸入稅率（三分五厘）を改訂し支那と關係國との通商條約に規定せる如く五分に引上げる案を可決、二月六日九ケ國全權委員間に條約として調印された

六　日（金）

◇カンヌ會議開催さる
賠償問題、歐洲經濟再建を協議するため全歐洲諸國の首相は本日から十三日迄佛國カンヌに於て會議を開催した

七　日（土）

◇軍備制限委員會、毒瓦斯禁止案を可決
華盛頓會議の軍備制限委員會は毒瓦斯戰を禁止し、潛水艇使用を制限するルート案を可決。なほ二月一日の第五本會議に於て正式決定、六日條約として調印された

九　日（月）

◇國民黨、師團半減論を發表
國民黨政務調査局は一年兵役制採用に依る師團數の半減論を發表した

◇會計規則の改正法公布
勅令を以て會計規則の改正法が公布された。改正要點左の如し
▽預金制度の採用▽第二豫備金支出事後承諾案提出期の繰上▽決算提出期の繰上▽決算提出期の繰上▽隨意契約の擴張▽權利義務消滅に關する時效

▽日本銀行の國庫金出納國債事務及び政府有價證券取扱に關する會計檢査院の檢査事項等

◇南阿金鑛に暴動起る
南阿金鑛坑夫約二萬人は賃銀引下に反對して罷業を起した

◇華府會議出席の幣田千之助等歸朝
華府會議に出席した日本全權首席隨員法制局長官横田千之助、憲政會特派の望月小太郎、政友會派遣の松岡俊三は本日横濱入港の大洋丸で歸朝した

十　日（火）

◇儀爵大隈重信死去
元首相侯爵大隈重信は腎臟病のため早稻田の自邸で死去した。享年八十五。佐賀藩に生れ藩儒枝吉弘道館に學び後關學を修め、維新後外國官副領事、大藏大輔、大藏卿に歷任、辭官後改進黨を組織した。二十二年外務大臣の時爆彈を投ぜられて負傷隻脚となる。三十三年憲政黨内閣に首相兼農・外相となり、大正二年再度組閣して内相を兼任、五年侯爵に陞り同十月下野した。青英に留意し早稻田大學を創設し現に總長であつた

十一日（木）

◇佛國ブリアン內閣辭職す
佛國首相ブリアンはカンヌ協定不滿のため本日辭職し、十五日ポアンカレー內閣が成立した

十四日（土）

◇蕪湖に領事館開設
支那の蕪湖に帝國領事館が開設された

十六日（月）

◇横濱定期生絲暴落す
横濱定期生絲市場は米國生絲商の日本絲不買同盟組織の報と定期取引轉賣買戻課税のため各限十二圓乃至十七圓方慘落し、先物は二百圓丁度、期近は何れも二百圓臺を割つた

十七日（火）

◇大隈侯國民葬を日比谷に執行
侯爵大隈重信の國民葬は日比谷公園に於て執行され參會者約十萬人に及んだ。遺骸は護國寺境內に埋葬

十九日（木）

◇憲政會の政策大綱發表
憲政會大會は東京上野精養軒に開催され加藤高明總裁の現內閣糾彈演說及び宣言があり左の政策を揭げて今議會に臨むことゝなつた
▽列國協調と世界平和確立▽綱紀肅正▽普選實行▽物價調節と產業振興▽行財政整理及び軍縮▽必需品課税の減免▽小學校敎育俸給國庫負擔額の增加▽勞働組合及び社會保險其他社會政策の實施▽國民負擔輕減

◇日銀總裁、コール濫用を警告
日本銀行總裁井上準之助は交換所新年祝賀會の席上、銀行間のコール濫用が市場を投機化させる點を强調し、本年の如く輸入超過による金融惡化の豫想せらるる際特に銀行家の自重を望む旨の警告をなした

二十日（金）

◇國民黨大會開催さる
國民黨大會が開催され、宣言、決議の後、犬養總裁は平和を基礎とする政治經濟政策を强調し熱辯を揮つた。なほ宣言及び決議は言文一致體で發表され、この種のものとしてはこれをもつて嚆矢とする

◇華府極東委員會、支那駐兵勸告案を可決
華府會議極東委員會は支那政府が各省督軍下の軍隊及びその維持費を削減するため有効な措置を執らんことを希望する旨の決議案を可決し、二月一日の第五本會議で全會一致の贊同を得た

◇ジョッフル元帥來朝す
我皇太子殿下佛國御訪問に對する答禮使として、歐洲大戰中特にマルヌ會戰に勇名を謳はれた佛國ジョッフル元帥は軍艦モンカルムに搭乘して今朝十時横濱入港、國賓として大歡迎裡に入京、宿所たる高輪の岩崎別邸に入つた

二十一日（土）

◇華府會議、在支勢力强化抑制案を可決
支那に勢力範圍を創設又は排他的機會を享有せんとする者を排除するルート案が華府會議極東委員會で可決された

◇公爵德川慶久死去
貴族院議員公爵德川慶久は本日死去した。享年三十九。公は十五代將軍德川慶喜の七男で、明治四十三年慶喜の隱居により襲爵、帝大卒業後直ちに貴族院に入り最近貴族院無所屬團組織運動中であつた。尙第一銀行取締役として實業界にも關係し、日支協會總裁に推されて兩國の親善に努めた

二十三日（月）

◇樺太町村制の公布
樺太に町村制を布くことゝなり同法令が公布された

◇横濱生絲取引所立會停止

休日前各限十圓內外暴落を演じた氣先、本日も二月限百七十五圓二十錢と七圓九十錢安三月限は更に暴落の氣配を見せたゝめ立會を中止し、二十五日再會した

◇東京實業組合の營業稅撤廢決議
東京實業組合聯合會は臨時大會を開き營業稅全廢の決議をなした

二十四日（火）

◇滿鐵疑獄事件の豫審記錄發表
かねて世間の注目を蒐めてゐた中西滿鐵副社長以下多數の關係者を網羅する滿鐵疑獄事件の豫審記錄が公表され、同事件の內容が白日下に曝け出された

二十五日（水）

◇五分利國庫債券八百萬圓發行
鐵道事業費充當のため五分利國庫債券八百萬圓は左の條件で發行された
▽發行價格九十三圓▽償還期限大正十七年六月一日迄

二十八日（土）

◇國有財產法施行令の公布
同令は本日公布され即日施行された

◇製紙聯合會一割操短を決議
日本製紙聯合會は三月一日から四月三十日まで二ケ月間現在の二割操短を一割に減縮することに決定した

三十日（月）

◇西比利亞問題に關する聲明を公表
本月二十四日華府會議極東總委員會に於ける幣原全權の西比利亞問題に關する陳述が公表された

◇山東問題の日支妥協成立
華府會議に於て山東問題に關する日支間の妥協が成立した。この結果日本は山東鐵道借款を放棄し、支那政府をして國庫債券によつてこれを買收せしめ、膠州灣租借地還附、公有財產移轉、日本駐屯軍撤退を行ふこととなつた

◇華府會議全權德川家達歸朝す
華盛頓會議全權委員公爵德川家達は本日横濱入港のコレヤ丸で歸朝、又澁澤榮一子爵も同船で歸朝した

◇中國水力電氣、津山電氣を合併
資本金五百五十萬圓の中國水力電氣會社は津山電氣會社を合併、二百七十五萬圓を增資して資本金八百二十五萬圓となつた（日不詳）

◇熊本電氣、綠川電力を合併
資本金一千萬圓の熊本電氣は綠川電力（資本金三百萬圓內拂込七十五萬圓）を合併、三百萬圓を增資して資本金一千三百萬圓となつた（日不詳）

【二　月】

一日（水）

◇國庫金取扱規程の公布
大藏省令を以て保管金取扱規程、預金部預金取扱規程、政府所有有價證券取扱規程、政府保管有價證券取扱規程、供託有價證券取扱規程、日本銀行國庫金取扱規程、日本銀行政府有價證券取扱規程を公布、四月一日實施された。その骨子は現在の金庫保管制を廢し、政府の收納する租稅其他一切の國庫金を日本銀行の預金とし、政府の支拂は日本銀行に於ける政府預金を引宛に小切手を振出すことの二點である

◇第一相互貯蓄銀行の創立
資本金百萬圓を以て設立された第一生命系統の同行は創立總會を開き、左の役員を選任した
▽取締役矢野恒太、後藤德太郎、石川莽太郎▽監査役濱口吉兵衞、鈴木六郎

◇九州水力、日本電化工業を合併

九州水力電氣會社（資本金三千七百萬圓）は臨時總會に於て日本電化工業會社（資本金二百萬圓）を合併し三千七百四十萬圓に増資の件を可決した

◇華府會議、在支外國無電局撤廢案を採擇

華府會議は支那の要求により、支那との協約に依り設立された無電局及び外國公使館内無電設備の通信を官報用に限定し、支那政府の許可なくして設立せられた官私立無電局を漸次支那政府に移管する決議を採擇した

◇華府會議、在支外國郵便局の撤廢案可決

華府會議第五本會議は支那に於ける日、英、米、佛四國の郵便局撤廢案を可決した

◇元帥公爵山縣有朋死去

元帥公爵山縣有朋は小田原の古稀庵で死去した。享年八十五、長州萩藩に生れ吉田松陰の門に學び維新の際は高杉晋作、大村益次郎等と奇兵隊を組織し功勞があつた。明治二十二年歐米視察から歸朝後第一次山縣内閣を組織し、三十一年元帥となり次いで第二次山縣内閣の首班となつた。日露戰役の功に依り公爵に陞叙、伊藤博文死後の元老政治は殆ど彼の獨舞臺であつた

二　日（木）

◇伯林に總罷業勃發す

賃銀問題から獨逸鐵道從業員の總罷業が開始された。同罷業は更に擴大して五日伯林市使用人の同盟罷業となり、瓦斯、水道、電氣の供給は全く停止され九日に至り漸く終熄した

三　日（金）

◇北陸線親不知の雪崩慘事

北陸線親不知で大雪崩のため列車粉碎され九十餘名の慘死者を出したが、内七十餘名は除雪人夫であつた

四　日（土）

◇山東條約調印さる

華盛頓に於て日支間に山東條約の調印が行はれた

六　日（月）

◇中央毛絲紡績會社の創立

資本金四百萬圓を以て大阪に設立された同社は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役淺田廣太郎（代表）、岩井勝次郎、豐田利三郎、塚口慶三郎、安野譲、西松喬米田龜吉▽監査役岩井英一郎、長島鷲太郎島德藏

◇海軍軍備制限條約の調印

華盛頓に於て日、英、米、佛、伊五ヶ國間に海軍々備制限條約の調印が行はれた

◇對支九ヶ國條約調印さる

華盛頓に於て支、日、英、米、佛、伊、蘭、白、葡の間に支那に關する九ヶ國條約の調印が行はれた　同條約は支那の領土保全と支那に於ける門戸開放、機會均等を規定したものである

◇華盛頓會議終了す

華盛頓に於て開催中の太平洋會議は本日を以て終了した

七　日（火）

◇國民黨、陸海軍大臣任用改正案を提出

國民黨は陸海軍大臣任用資格を大、中將に制限する現行官制を立憲政治の本義に悖るものとしてその改正を要求する建議案を衆議院に提出した

八　日（水）

◇憲政會・國民黨、豫算案返附に決定

憲政會及び國民黨は十一年度豫算を返附してその編成替を求めることに決定した

◇淸浦奎吾、樞府議長に親任さる

樞密院議長山縣有朋薨去に伴ひ、後任に子爵淸浦奎吾が親任された

◇伯爵樺山資紀死去

海軍大將伯爵樺山資紀は八十六歳を以て死去した。鹿兒島藩に生れ、明治十七年陸軍少將から海軍少將に轉じ、日清戰役に大將に昇進した。海相、内相、文相に歷任し現に樞密顧問官であつた

九　日（木）

◇日本官業勞働全國大會開催さる

東京大阪の砲兵工廠、八幡製鐵所其他の官業勞働者の組織する日本官業勞働總同盟は第五回大會を本日から三日間東京に開き失業防止、普選斷行の決議をなした

◇山縣公の國葬執行さる

公爵山縣有朋の國葬儀は東京日比谷公園廣場に於て執行された

十　日（金）

◇鐵道敷設法案、貴族院で論議

政府提出の鐵道敷設法案は貴族院に於て政友會の黨勢擴張の具に供するものであるとして論議された

◇松方幸次郎歸朝す

前年四月以來歐米視察中の神戶川崎造船所社長松方幸次郎は横濱入港の東洋汽船天洋丸で歸朝した

十一日（土）

◇普選斷行國民大會の開催

同會は東京芝公園に於て警官約一千名の嚴戒裡に開催、河野廣中議長となつて演說、決議が行はれた。會衆約一萬

◇南洋委任統治諸島の日米條約調印

ヤツプ島及びその他赤道以北の太平洋委任統治諸島に關する日米條約は本日華盛頓に於て調印された

十三日（月）

◇孫文、北伐を宣布す

孫文は徐世昌總統討伐を宣布した

十五日（水）

◇臨時國庫證券一億圓の借替發行

臨時國庫證券一億圓は日歩一錢九厘、償還期大正十二年二月十四日の條件で借替發行された

十六日（木）

◇英蘭銀行の利下

英蘭銀行は市中金利低落に順應して公定日歩を五分から四分五厘に引下げた

十九日（日）

◇普選斷行大演說會の開催

普選各派聯合主催の下に東京赤坂山王臺に普選斷行屋外演說會が開かれ、憲政會から若槻禮次郎、濱口雄幸、庚申普選派から森下龜太郎、國民黨から關直彥、無所屬から中野正剛、島田三郎その他院外團、新聞記者等多數出席、會衆約二萬に達し、一千五百名の警官が警戒に當つた

二十日（月）

◇日本の國富八百六十億圓と發表

國勢院の發表によれば我國の國富總額は八百六十億圓で大正二年末に比較すると五百四十億圓の激増である。最高額は土地の三百三十億圓で建物八十億圓、鑛山六十四億圓がこれに次いでゐる

◇外國郵便振替規則の公布

官報を以て郵便振替業務約定に基く外國郵便振替規則が發表された

二十一日（火）

◇コロンボに領事館設置

英領錫蘭コロンボに帝國領事館を設置し本日開館した

二十三日（木）

◇普選案、衆議院本會議で否決さる

安達謙藏外十名の提出にかゝる衆議院議員選擧法中改正法律案（普選案）は院内外の嚴戒裡に本日衆議院に上程され、賛成、反對兩派

の論戰があり、越えて二十七日採決の結果、九十六票の差を以て否決された

◇全國商議聯合會、營業稅全廢を決議

全國商業會議所聯合大會は東京商業會議所に開催、營業稅全廢に關する決議案を可決した。なほ日本綿絲布商聯合大會、東京貿業組合聯合大會、東京織物問屋同業組合等の經濟團體もこれに合流、營業稅撤廢運動をなした

◇東京電燈、鬼怒川電力を合併

東京電燈會社（資本金一億七千七百廿五萬圓）は臨時總會に於て桂川電力會社（資本金四千三百五十萬圓）を合併し資本金を二億一千九百七十五萬圓に增加の件を可決した

二十五日（土）

◇東京市、鬼怒電と電力供給豫約調印

東京市と鬼怒川水力電氣會社間に三萬七千キロワット（最高）を一キロワット時二錢五厘乃至三錢五厘を以て大正十二年一月十五日から大正二十二年三月三十一日まで供給する豫約が調印された

二十七日（月）

◇横濱船舶に勞働爭議起る

同盟職工約四千名は軍艦による失業者の根本的救濟を會社側に要求して怠業を開始、會社側は本日から休業を發表し休業中賃銀不拂を以てこれに對抗したので爭議は激化するに至り、職工側は三月五日日本勞働總同盟の應援を得て示威運動を行ひ警官隊との衝突を惹起するに至つたが、會社側の强硬な態度に惨敗し、三月十四日から無條件就業した。會社の損害は約七十萬圓

二十八日（火）

◇石井定七の破綻から大株立會停止

大株市場は買方主力石井定七の破綻から大株式暴落し、遂に立會を停止、神戸、京都兩取引所も立會を停止する不渡小切手振出から株式暴落、前場新鐘三十五圓圓九十錢安を示し、期米もこれを入れて崩落し四節以下立會を中止した。東株市場も諸株崩落、前場新鐘三十五圓四十錢安、東株五圓九十錢安を示し、期米も午限一圓四十七錢、先限二圓二十九錢方暴落した

◇日本鋼管二千百萬圓に增額增資

資本金一千五十萬圓の日本鋼管會社は倍額增資して資本金二千百萬圓となつた（日不詳）

◇東華紡績九百萬圓に減資

資本金三千萬圓の東華紡績會社は九百萬圓に減資した（日不詳）

【三　月】

一　日（水）

◇過激社會運動取締法案反對演說會

政府が議會に提出中の過激社會運動取締法案に對する反對演說會は神田青年會館に開催され、早大教授大山郁夫、法學博士末廣巖太郎代議士永井柳太郎、法學博士鵜澤總三等の演說があつた。聽衆約二千名

◇東圓期米市場立會停止

大阪期米市場は買方主力石井商店の追敷八十五萬圓未納のため立會不能となり、東京もこれを入れて崩落し四節以下立會を中止した

◇高知商業銀行の休業

高知商業銀行（資本金三百萬圓）は石井定七商店破綻の影響を受け本日から三週間の休業を發表した

◇北門貯蓄銀行の開業

同行は資本金五十萬圓を以て札幌に設立された。役員左の如し

▽取締役小竹文次郎（代表）、古谷辰四郎、篠原啓二▽監查役岡本康太郎、白石善雄

二　日（木）

◇高橋首相、一體托生主義を施策

首相高橋是清は貴族院豫算總會秘密會に於て、學校昇格案に對する中橋德五郎文相の責任問題に關し內閣の一連托生主義を施策する旨言明したゝめ、故原前首相の傳統的方針を履すものとして內外の非難を浴びた

◇陪審法案審議未了となる

政府提出の陪審法案は衆議院本會議に上程され委員附託となつたが、審議未了となり葬られた

三　日（金）

◇記者同盟會の通信運動取締法案反對

都下の各新聞通信社代表者四十名は過激社會運動取締法案は時勢の逆運に伴はず且つ憲文擁護に言論の自由を脅威するものとして反對決議をすることを決議した

◇五分利國庫債券五千萬圓の發行

政府は五分利國庫債券五千萬圓を發行價格九十三圓五十錢、償還期限大正十六年九月一日の條件で發行した

◇全國水平社創立大會開催さる

京都市岡崎公會堂に全國水平社創立大會が開催され、全國からの參會者二千名に及んだ

五　日（日）

◇內閣彈劾綱紀肅正民衆大會の開催

在野各派聯合主催の內閣彈劾綱紀肅正民衆大會は東京赤坂山王臺に演說會を開き綱紀頹廢、官紀紊亂に對する現內閣の處決を促す決議を行つたが、會衆と麹町署員との間に大衝突があつた

◇外務省、華府會議の對支決議を發表

外務省は華盛頓會議に於て決議した支那關係問題の內容を發表した。主なるものは次の如くである

▽支那鐵道統一に關する決議▽現存對支利權に關する決議▽支鐵道別段の決議▽東支鐵道に關する決議▽東支鐵道同社は臨時總會に於て本貨川發電所工事費に充當のため社債一千五百萬圓發行の件を可決した

六　日（月）

◇官立學校昇格竝增設、衆議院に提出さる

政府は官立學校昇格追加豫算第三百二十九萬七千七百圓を衆議院に提出した。同案は東京大阪兩高等工業學校を工業大學とし、神戸高等商業を商業大學とし、東京廣島兩高等師範學校を工業大學とし、東京廣島兩高等師範學校の創設、外、商科專門學校の創設、文理科大學を置く外、商科專門學校の專攻科增設等を含み總經費一千六百六十九萬二千餘圓を三ケ年繼續費として要求するものであり、衆議院は通過したが、貴族院に於て握り潰された

◇米國の對支武器輸出禁止

米國大統領は對支武器輸出を禁止する旨公布した

八　日（水）

◇研究會、政府支持に約束す

貴族院議長委員會で中橋文相の進退問題論戰中、研究會は突如大河內子爵の質問打切り動議を强行的に採決したゝめ、幸派以下席を蹴つて退場した

◇石井ランシング協定廢棄さる

米國大統領ハーディングは上院に對し、對支九ケ國條約は石井ランシング協定に代る旨通知した

◇人造肥料關係會、過燐酸操短を決議

人肥聯合會は、過燐酸の四割六分生產制限（現行二割）を十日から實施に決定した

九　日（木）

◇皇后陛下、筑紫へ行啓

皇后陛下には　天皇陛下の御惱平癒御祈願のため本日葉山御用邸御出發、筑前の香椎宮

に御参拜の途に就かせられ、三十日葉山に還啓遊ばされた

◇簡易保險最高額引上げに決定
閣議に於て簡易生命保險最高額を二百五十圓から三百五十圓に引上げに決定した

◇東株、國債賣引方法を改正
東株取引所國債仲買人組合は委員會を開き短期國債證券を二十日から左の方法で賣買することに決定した
▽償還期限別に依り分類する（償還期限十年以内の短期國債の取引は期限の同一のものを合同して一銘柄とす）▽合同した短期國債の名稱は償還年月を以て表示する▽短期國債は特殊銘柄として賣買を行ふ

十　日（金）

◇平和博覽會開會さる
約一年の歳月と六百萬圓の經費を投じて竣成した平和記念東京博覽會は本日閑院總裁宮殿下台臨の下に上野不忍池畔に開會された。期間は百四十四日間である

◇華府會議參列の加藤全權一行歸朝
華盛頓會議出席の我が全權加藤友三郎、埴原正直の一行は本日横濱入港の大洋丸で歸朝した。又同船で産兒制限論者のサンガー夫人（三十七歳）も來朝、上陸を許可された

十一日（土）

◇本邦最初の旅客飛行機送飛行
後藤飛行士の操縦する旅客機は旅客三名を乘せて本日各務ケ原を出發、途中着陸一泊の上、翌十二日無事代々木に到着した。本邦最初の旅客輸送飛行である

◇大阪電氣軌道、生駒鋼索鐵道を合併
大阪電氣軌道會社（資本金一千萬圓）は生駒鋼索鐵道會社（資本金三十萬圓）を合併し資本金を一千五十四萬圓に增加した

◇佛蘭西銀行の利下
佛蘭西銀行は金融市場緩漫化の傾向に順應し利率引下げによつて事業界の生産費を低減するため、公定割引歩合五分五厘を五分に引下げた

◇英國金屬機工場、閉鎖を斷行
英國聯合機械職工組合は雇主團と紛爭の結果、會社側は工場閉鎖を斷行し、ために五十萬の職工は失業するに至つた

十二日（日）

◇高橋首相、農林當局の釋疑を言明す
高橋首相は衆議院委員會の席上現在の農商務省を分割し農林及び商工の二省とする計畫がある旨發表した

十四日（火）

◇張家口に領事館設置
支那張家口に帝國領事館を設置し本日開館

十五日（水）

◇加藤海相、議會内容を說明
貴族院豫算委員會に於て帝國全權として華府會議に出席した加藤海相は同會議の內容を說明した

◇鐵道債券七百萬圓發行
鐵道事業費充當のため五分利國庫債券七百萬圓を價格九十三圓、償還期限大正十七年六月一日の條件で發行した

◇鐘紡工場の休業讓出す
神戸の鐘淵製絲、帝國製糖兩工場は不況對策として休業に決し、日本製糖大阪工場も本日から五月まで三分の二操短を實行すると發表した

◇帝鑿火災海上保險會社の創立
同社（資本金三百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役川崎肇（社長）、遠藤元三、錦戸右門、河合鐵二、山崎清▽監査役大槻忠三郎　高橋龍三

◇後藤、調立を宣言す
埃及王ファウドは英國議會の協賛を得て本日埃及の調立を宣言した

十六日（木）

◇政府不信任案否決さる
憲政、國民兩黨及び庚申、無所屬の一部聯合提出の現政府不信任案は衆議院本會議に上程され、二百五十四票對百四十一票を以て否決された

◇山下汽船、山下鑛業を合併改稱
山下汽船會社（資本金三千萬圓）は山下鑛業會社（資本金二千萬圓）を合併し山下汽船鑛業株式會社（資本金三千萬圓全額拂込）と改稱した

◇大白川電力會社の創立
同社（資本金二百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役東岡英光（社長）、倉松照（專務）、奥田正香、增田次郎、關澤駒吉、大塚榮吉
▽監査役成瀬正行、田中新七

◇曇裏川電化會社の創立
同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き社長に倉松照を選任した

十七日（金）

◇二重橋爆彈事件勃發す
滋賀縣人巖田留次郎（三十八）は、本日午後一時宮城二重橋を渡り通用門から宮城内に侵入を企てたが歩哨に阻止され自爆慘死した。本人所持の直訴上奏狀には內外の弊政を擧げ普選、貴族院及び華族制度改正、言論結社の自由、民族擁護、宗教改革、地方制度の改革、常備兵額小其他に就き記載してあつた

十八日（土）

◇大阪電燈會社の罷業
大阪電燈會社は社員、變電所職工三百二十餘名を解雇したため從業員一千二百名は解雇反對を叫んで同盟罷業に入つた

十九日（日）

◇全國農民大會の農務省新設決議
全國農民大會は東京丸の內鐵道協會に開催され、各地農業者代表者等五百餘名參集、農務省新設促進、農政研究會員、各府縣農會代表者、各地農業者代表者等五百餘名參集、農務省新設促進、農業者公課負擔輕減等に關する決議をなした

二十日（月）

◇富士製紙、化學紙料を合併
富士製紙會社（資本金三千五百十五萬圓）は臨時總會に於て化學紙料會社（資本金三百萬圓）を合併し三千七百五十五萬圓に增資の件を可決した

二十二日（水）

◇貴族院參無會連の政府糾彈
貴族院の公正會、同成會、茶話會、無所屬の幸無四派は聯合して綱紀肅正に關する建議案を提出、本日の本會議に於て公正會の阪谷芳郎、同成會の仲小路廉等が滿鐵事件、阿片問題、大連取引所問題、東京市疑獄事件、寶塚郵便局長事件、大連金建問題、敎師學生の學校昇格運動等に就き政府を糾彈したが、採決の結果、研究會反對のため否決された

◇横濱生絲貿易組合の生絲賣止決議
横濱生絲貿易商組合は輸出生絲相場低落傾向に鑑み市場回復まで最優一千七百二十圓、武州格一千五百八十圓以下の賣止めをなすことに決した

◇高知商業銀行の休業繼續
三月一日休業した高知商業銀行は更に本日より四月十日まで休業に決定した

二十三日（木）

◇製紙聯合會の操短中止決議
日本製紙聯合會では大正九年十二月一日から本年二月まで二割操短を實行し、三月以降は一割の操短を實施中のところ、本日の協議

會に於て五月一日から操短を中止しフル操業をなすに決定した
二十四日（金）
◇五分利國庫債券二百萬圓發行
五分利國庫債券二百萬圓は發行價格九十三圓、償還期限大正十七年六月一日の條件で發行された
◇東拓・大阪組合銀行、預金利上を決定
東京預金協定銀行は總會を開き左の預金利率引上げを四月一日から實施に決定、大阪組合銀行も同樣引上を決定した
▽定期甲種六分以下、乙種六分五厘以下（以上八厘引上）▽特別及び小口預金甲種日歩一錢一厘、乙種同一錢三厘（以上一厘引上）▽通知預金、別段其他雜預金、地方銀行コールマネー甲種一錢二厘、乙種一錢三厘（以上一厘引上）
◇神野川改修問題で村民大暴動情す
靜岡縣神野川沿岸田方、駿東兩郡關係十五ケ村民約一萬五千名は神野川改修促進に就き陣情のため大擧靜岡縣廳に押掛けた
二十五日（土）
◇國民黨幹部、重新倶樂部組織さる
大養毅の率ゐる國民黨は政界革新を實現するため解體し無所屬及び純無所屬一部と合して革新倶樂部を組織した
二十六日（日）
◇帝國議會開會
波瀾を繞めた第四十五帝國議會は本日閉院式を擧行した
二十七日（月）
◇內務省、東京都制案を議決
內務省は東京都制法案及び武藏縣設置に關する法案を決定案として發表した
二十七日（月）
◇德皇陛下、平和博覽會に行啓
攝政宮殿下には產業御奬勵の思召を以て上野不忍池畔に開催中の平和博覽會に行啓遊ばされた
◇高橋政友會總裁、文化促進を說く
政友會總裁高橋是清は政友會議員總會の席上、軍備制限に因る財政上の餘裕を以て經濟の發達及び文化の促進を期するため諸般の施設を急がねばならぬと述べた
◇國際條約修正案、米國上院を通過
米國上院は四國條約適用地域から日本本土を除外する追加留保を可決した
◇新高綿劍社長高島小金治死去
大倉系の重鎭として財界に活躍した高島小金治は六十二歳を以て死去した。葬前橋藩の出身で夙に大倉組支配人として令名あり、現に新高綿劍社長、大倉商事會社取締役の外二三會社の重役を兼ねてゐた
二十八日（火）
◇山東駐兵撤退の日支協定調印
山東鐵道沿線の日本軍撤退に關する日支協定は本日調印を了つたが主要點は次の如くである
（一）日本軍撤退に代つて支那巡警又は軍隊を配置す（二）日本軍撤退範圍は膠州租借地を含まず（三）撤退區域は女姑口驛以西の山東鐵道沿線とす（四）支那警備隊配置完了期は第一區四月十日、第二區四月二十日、第三區四月三十日とす（五）日本軍は支那警備隊配置の翌日から五日乃至十日間に撤退す
◇國有財產整理資金特別會計法の公布
同法は國有財產の整理處分に因る收入を以て國有財產整理資金特別會計を設置するもので大正十一年度から施行される
◇農林資金特別會計法の廢止
森林資金特別會計法は大正十年度限り廢止し、同會計に屬する資金及び債權は一般會計に移す旨公布された

◇朝鮮事業公債改正法の公布
朝鮮に於ける事業費支辨のための公債發行限度二億三千六十萬圓（明治四十四年公布）を三億四千四百八十萬圓に改正の旨公布された
◇樺太事業公債改正法の公布
大正七年公布の樺太事業公債發行限度一千九百六十萬圓を二千九百四十萬圓に改正の旨公布された
◇關東州事業公債法の公布
同法は本日の官報を以て公布、四月一日から實施された。關東州に於ける事業費支辨のため政府に三百十萬圓を限り公債發行權を附與するものである
◇臺灣總督府、礦油の輸入稅を免除
臺灣總督府は鑛業、工業、運輸業又は漁業のため使用する發動機用又は汽罐用礦油、精鍊用礦油、窯業用礦油及び金屬加熱用礦油の輸入稅を免除する旨公布した
◇東京組合銀行當座貸越日歩引上
三井、第一、三菱、十五の諸銀行は當座貸越日歩二錢三厘を二錢五厘に引上げ、四月一日から實施に決定した
三十日（木）
◇供託局官制の公布
各地方裁判所所在地に供託局を置き、司法大臣管理の下に法令による供託事務を掌らしむる旨公布、同時に朝鮮總督府供託局官制、臺灣總督府供託局官制、關東州に於ける供託に關する件を公布、何れも四月一日から實施された
◇未成年者飮酒禁止法の公布
未成年者は酒類を飮用することを得ざる旨公布、四月一日から實施
◇大正十一年度總豫算の公布
大正十一年度歲入歲出總豫算十四億六千六百五萬六千九百二圓は本日の官報を以て公布された
◇關、樺太及青銅の輸入稅引上
銅、鉛及び青銅の輸入稅は百斤に付一圓二十錢から七圓に引上げられた
◇臺灣私設鐵道補助法の公布
臺灣に於て公衆の用に供するため軌幅を有する私設鐵道にして二呎六吋以上の軌幅を有するものに對し、益金が建設費に對して年八分未滿の場合、臺灣總督は營業開始の日から十年を限り不足額を補給、而して補助金年總額は最高八十萬圓とし、四月一日から實施の旨公布された
◇東京市瓦斯競業事件の判決
東京市疑獄事件被告六十八名に對する判決言渡しがあつた。主なるもの左の如し
▽前市會議員代議士高橋義信（五九、懲役二年、追徵金六萬圓▽前警視總監保安部長龍谷髮（四〇）懲役四ケ月▽前東京瓦斯會社々長久米良作（五五）懲役六ケ月
三十一日（金）
◇南洋廳官制の公布
南洋群島が日本の委任統治に歸した結果、南洋廳官制が公布され、同時に南洋廳特別會計法、南洋廳部內臨時職員設置官制、南洋廳書院官制、臨時南洋廳採鑛所官制、南洋廳產業試驗場官制、南洋廳郵便局官制、南洋廳公學校官制が公布された
◇五分利國庫債券一千三百餘萬圓發行
朝鮮棒太兩事業費に充當する五分利國庫債券一千三百七十七萬九千三百二十五圓は發行價格九十八圓四十錢、償還期限大正十二年三月三十日の條件で發行された
◇野村合名會社の創立
野村銀行、南洋護謨栽培會社を統轄する野村總本店は資本金二千萬圓の野村合名會社に組織を變更し、社長に野村德七が就任した
◇東亞電氣軌道五百五十萬圓に增資

資本金二百五十萬圓の京王電氣軌道會社は三百萬圓を增資し、新株六萬株の内五萬株は舊一株に新一株を割當て、五千株は功勞株とし、殘り五千株はプレミアム付公募して、資本金五百五十萬圓となつた（日不詳）

◇新潟水力電氣七百萬圓に倍額增資

資本金三百五十萬圓の新潟水力電氣會社は倍額增資して資本金七百萬圓となつた（日不詳）

【四月】

一日（土）

◇南洋廳長官任命

南洋廳官制は本日實施され、同長官は左の如く任用された

任南洋廳長官（一等）海軍事務長官手塚敏郎

◇貴族院の公正會分裂す

公正會は男爵中川良長を除名して以來紛爭を生じてゐたが、男爵今園國貞外十九名は本日連袂脫退し、政權爭奪の渦中に投ずるは貴族院議員の本領を沒却するものであるとの脫會趣旨を發表した。同會の會員は六十一名であつたが、このため四十一名となつた

◇林業試驗場、同支場出張所の設置

農商務省は林業試驗場、同支場及び出張所を左の如く設置した

▽林業試驗場　東京府荏原郡目黑村▽同仙臺支場　仙臺市▽同熊本支場　熊本市▽同高萩出張所　茨城縣多賀郡高萩村▽同小笠原出張所　東京府小笠原島父島大村

◇南洋廳に產業試驗場を設置

政府は南洋廳内に產業試驗場を設置した

◇南洋廳に臨時採鑛所を設置

政府は南洋廳内に臨時採鑛所を設置した

◇全國記者大會の新聞紙法改正決議

第四回同大會は東京上野の平和博覽會第一會場平和館に開會、野澤枕城の挨拶あり、斯波貞吉を座長に推し左の決議をなした

現行新聞紙法は言論の自由を拘束すること甚だしく、現代文化の要求に副はざるものと認む。仍て吾人は極力これが改正を期す

◇三十二隻の廢艦決定

海軍省は軍費節約の聲明に基き十年末以來調査研究を進めてゐたが、本日水雷母艦千代田（二四三九噸、明治二十四年英國トムソン社建造）以下三十二隻、五萬七千噸の廢艦を決定發表した。華府會議協定に依る主力艦廢棄を除外すれば、我が海軍創設以來の大廢艦である

◇國庫預金制度の實施

議會を通過した改正會計法は關係法規の整理改廢等一切の準備を完了、金庫制度を廢止して本日から國庫預金制度を實施することゝなつた。國庫金取扱の方法は左の如し

一、國庫金取扱店　國庫金の出納取扱銀行は日本銀行とし、日本銀行は本、支店以外に各地に代理店を設け、之が取扱に當らしめる

二、政府の預金　國庫金として日本銀行が受入れたものは租稅其他の歲入たると、歲入外のものたるを問はず全部政府の預金となる

三、政府の小切手　政府の支拂は小切手を以てしその小切手は支出官の振出す小切手と出納官吏の振出す小切手との二種とす

◇國債規則改正法を公布

大藏省令を以て國債規則改正法を公布した同規則は七十五條から成り、同規則第二條により日本銀行國債事務取扱規程及び會計規則第九十六條によつて一般競爭に加はる資格を制定し、なほ從來行はれた證券面に押捺した契印を廢止することゝなつた

◇臨時國有財產整理部新設

大藏省は主計局分課規程を改正して臨時官有財產整理課を廢止し、同省に臨時國有財產整理部を新設し、同部を總務課、管理課の二課に分ち、同時に主稅局長西野元に同部長事務取扱を命じた

◇日本石油の製品統一

日本石油會社は商標を蝙蝠印のみとし、種別も減じ左の如く製品を統一することゝなつた（單位錢）

▽揮發油（新罐函入）一號物一五五〇、二號物一四五〇、ジーピー一三五〇、自動車用二二〇〇▽燈油（新裸）青八四三、白八三七、赤八二二▽輕油（新裸）青全勝七五五、赤全勝七三五▽發動機油七二五、五七五▽機械油（新裸）Aマシン油八六〇、Bマシン油七五〇、Cマシン油七六〇

◇日本郵船、近海部を新設

日本郵船は獨立會計の近海部を新設し、調査課長宍戶嘉惠夫が近海部長に任命されたなほ同社は十五日職制を變更して參事制を廢止し、從來の參事は本店課長又は支店長とし副參事は課副長及び支店副長と稱することゝなつた

◇中山太陽堂の創立二十周年祝賀會

クラブ化粧品本舗中山太陽堂は大阪中之島公會堂に創立二十周年記念祝賀會を開催し京阪神の有力者を招待した

二日（日）

◇日本軍、スパスカヤで赤軍と交戰

西比利亞のスパスカヤ駐屯の善通寺步兵四十三聯隊に所屬する野砲兵隊は林聯隊長指揮の下に赤衞軍と交戰これを擊退した。なほ我軍は新鋭の飛行機を利用し敵の頭上に爆彈を投下した。赤衞軍の兵數約二萬、我軍の戰死一名、負傷三名

◇米國炭坑夫四十九萬人の大罷業

賃銀値上要求を拒絕され總罷業を決行した米國の炭坑夫は四十九萬人に達し、二日午前零時一齊に坑夫が炭坑を退去したゝめ影響を被つた州は二十州に上り、休業した炭坑數は六千の多きに達した

三日（月）

◇獨逸染料廉賣のため染料市場混亂

獨逸染料の廉賣品殺到したため染料市場は忽ち大混亂を來し、東西の各染料會社中影響を受けて操業を休止し或は破綻を暴露するものが續出した。東京及び阪神の染料同業組合はその對策として、外國染料に對し輸入制限を實施すると同時に内地に於て製造し得る約十七種の染料に對し當局が手加減をなし救濟策を講ぜられたしと決議した。因みにこのダンピングのため我國染料會社は前年十月から本年四月に至る期間に於て前期と略ぼ同じく六十六萬圓餘の缺損を見るに至つた

◇列車、保津川鐵橋から墜落

午後五時二分山陰線園部發上り第百十號列車は京都府嵐峽第二號トンネル出口に於て故障を生じ、保津川鐵橋から河中に墜落し乘客中三十六名の死傷者を出した

◇京都財界の元老田中源太郎死去

前貴族院議員田中源太郎は本日午後五時保津川鐵橋から墜落した列車慘事のため死去した。享年七十。氏は京都商業會議所特別議員商工銀行頭取、京都織物會社々長、帝國製麻會社取締役、京都工商、京阪電氣鐵道の監査役、龜岡銀行の監督を兼ね京都實業界の元老であつた

四日（火）

◇朝鮮殖產銀行社債五百萬圓發行

朝鮮殖產銀行（資本金三千萬圓）は社債五百萬圓を小池、藤本、野村の三銀行及び東京

現物團の引受により利率八分の條件で本日から八日まで賣出した

◇東京市の隅田川改修工事決定

東京市は東京灣築港の前提として十一年度豫算中に工費六百八十萬圓を計上し五ヶ年繼續事業として隅田川改修工事に着手することに決定した

◇鐘井綿織物組合、罷業休業を決議

鐘井綿織物組合は組合總會を開き本月十六日から向ふ十五日間罷業休業し市價の恢復を圖ることを決議したが、二十一日更に臨時總會を開き本月三十日まで罷休を續行することに決定した

五　日（水）

◇公正會脫退組、調和會を組織

貴族院の公正會脫退者は親和會を組織し本日華族會館に於て發會式を擧行、創立趣旨を發表し左の幹事を選任した

平野長祿、藤堂高成、名和長憲、長松篤棟
南岩倉具威、中川良長

◇絲糸貿易組合の糸價維持決議

横濱絲糸貿易商同業組合は絲絹倶樂部に於て有志會を開き、糸價維持策として左の決議をなした

一、決議違反者に對する違約金として座糸百斤に付二千圓を保證金として納込ましむること

一、帶買會社に對して糸價維持につき建議すること

一、主なる製糸家と會見してその諒解を求めること

◇日本金融信託會社の破綻

パンクーバーの同社は二十四萬弗の負債のため破綻した。關係者は日本人で資産は二十二萬五千弗である

◇職業議員、行會五萬圓を橫領逃走

關門右衞門は行會四萬八千圓を拐帶逃走した

◇遊覽倶樂部サンガー夫人還來

米國のサンガー夫人は本朝退京し下關發關釜聯絡船で朝鮮に向つた。同夫人は日本に於て產兒制限運動をなすことを禁止されたため支那に於て自說を主張すると稱して新聞記者團との面會を避けた

六　日（木）

◇爭議交換所聯合會の擔保基金復活決議

第十九回全國手形交換所聯合會は東京銀行集合所に開會、左の議案を可決した

▽新潟、熊本、大連各交換所の聯合會加入の件▽減債基金制度を復活しその基金を五千萬圓以上とすること並に公債財源に依る新計畫は之を見合すことを政府に建議する件▽大藏省發行の各種證券及び政府の割引發行にかゝる臨時國庫證券の割引料に對する所得稅免除方建議の件

◇化學工業協會の不況對策決議

同協會は臨時大會を東京自治會に開催、左の建議案を可決した

各種工業の基礎をなせる化學工業の衰頽は延いて一般事業界並に經濟界の悲況を招くのみならず、歐米產業の復興に抗する能はざるに至り、國防上は勿論商工業の競爭に於て劣敗者たるを免れざるにより吾人は見ゆる方策を講じつゝあるも、政府も速かに本邦化學工業を保護助長すべき根本策を確立せられんことを望む

◇遠藤瓦斯會社の創立

大阪府三島郡吹田町に設立された資本金百萬圓の同社は、創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役　代表）木村字一郎、永田鈴二、村上武輔▽監査役　高木眞木彥、堀田宗一、伊

東衛次郎

◇倫敦に阿片賣買禁止會議開催

阿片賣買禁止協會の第一回會議は倫敦のウエストミンスター・セントラル・ホールに開かれ、司會者ウイリアム・コリンスは「列强はヴエルサイユ媾和條約調印當時阿片賣買に關するヘーグ條約の決定事項を實行する旨を約束したがその約束實行は一向遲滯してゐない」と述べた

七　日（金）

◇調田川關の人夫三百名罷業團結

東京府下隅田川關の仲仕三百名は公認運送組合に對し賃銀値上を要求し容れられぬため同盟休業を決行したが、三割値上（後降し一噸に付十七錢）を承認されて解決した

八　日（土）

◇公有水面埋立法施行令の公布

政府は三十七條から成る公有水面埋立法施行令を制定し勅令第百九十四號として公布した。同法は都市計畫法第十二條の土地區畫整理として施行する溝渠又は潤池の變更のため必要な埋立に關する法令で卽日實施された

◇山東守備兵撤退に決定

山東鐵道沿線守備兵撤退に關し委員長安田大佐外三名は濟南交渉公署に於て支那側委員と會見しその實行方法に就き「日支兩國委員は要店に到り同地に滯在して日本軍隊撤退の情況を視察す」外五ヶ條を決定、二十六日山東派遣軍全部の撤兵を完了した

◇正金銀行、對外爲替建値引下げ

橫濱正金銀行は米英爲替及び英伊爲替の基礎に順應するため對英爲替建値を十六分の三に引下げて二志一片十六分の三に、對佛を二參九リラに對印を二分の一留比引下げて百六十九留比半に變更した

◇紫織大會、兩取引解決の決議

第十五回大日本紫織大會は朝鮮の京城公會堂に開催、藤井貫太郎委員長となり左の議案を可決した

▽米穀に關する兩取引紛議の解決を圖る件（本部提出）▽米穀現量取引の實行を其筋に促す件（新潟提出）▽米穀取引所に於ける受渡米格付檢查方法の統一を其筋に建議する件（朝鮮提出）外五件

◇佐久譯訪電鐵會社の創立

內務大臣床次竹二郎の弟床次正廣を創立委員長とする同社（資本金五百萬圓）は長野縣の田中、茅野間三十五哩の電鐵を敷設經營するもので、株式十萬株中一萬株を公募することに決定した

◇矢野商店の組織變更

大阪の砂糖肥料綿糸商矢野慶太郎商店は資本金二百萬圓の合名會社矢野商店に組織を變更した。出資高は矢野慶太郎百八十萬圓、岡村淸次二十萬圓である

◇大阪證券會社の整理

同社（資本金百七萬五千圓）は整理結了したので百九十二萬五千圓を增資して資本金三百萬圓とし、新株の中三萬株はラサ燐礦、三千三百七十五株は古河鑛業、殘りは株主に於て引受けることゝなつた

九　日（日）

◇全國農民組合大會の農村問題決議

賀川豐彥主唱の日本農民組合本部は神戸基督青年會館に第一回全國農民組合大會を開き左の議案を可決した

一、小作紛爭調査に關する件
一、農村に於ける普選に關する件
一、地方農民組合と日本農民組合本部との聯絡に關する件
一、地主組合に對する態度の件

一、治安警察法に關する件

◇鹿田線で列車顚覆

本日午前十時成田線成田、高岡間において成田發列車が脫線顚覆し、四十八名の乘客が死傷した

十　日（月）

◇貴族會の內閣彈劾演說會

貴族會は東京神田青年會館に內閣彈劾演說會を開き穗積重遠、若槻禮次郎、江木翼、關和知、永井柳太郎等の痛烈なる內閣彈劾演說があつた

◇傳染病豫防法の公布

三十二條から成る家畜傳染病豫防法が公布された。同法は牛、馬、綿羊、山羊、豚、犬猫及び鷄の傳染病を豫防するため設けられたもので實施の期日は追つて勅令を以て定められる

◇東京市上下水道費國庫補助

東京市の上下水道費四千四百萬圓は內務、大藏兩大臣から本日認可された。同時に市債六百八十萬圓を左の條件で募集に決定

▽額面百圓▽手取九十圓▽利率年六分▽償還期限五ヶ年據置後大正六年募集の分は大正二十五年迄、新債は大正三十七年迄に償還▽償還財源水道料、國庫補助金、都市計畫特別稅

◇北海道地方鐵道及軌道補助法公布

北海道に於て經營する地方鐵道及び軌道の補助に關し四條から成る規則が本日の官報を以て公布された。同法は補助金は建設費に對し年八分に相當する金額を超ゆることを得ぬ點を制定したものである

◇ゼノア會議開催さる

伊太利にゼノア會議開催され參列國二十八ケ國の委員百五十名出席、伊太利首相ファクタは「ワシントンの軍備制限會議の精神は本會議を指導せねばはらぬ。太平洋上の雲は單に軍備制限會議の結果一掃された。ゼノアに會議を開くに當り歐洲の平和を害すべき功勞も亦同一の方法で行はれることを知らねばならぬ」と演說した

十一日（火）

◇都市計畫局新設に決定

本日の閣議に於て內務省の都市計畫課を昇格し都市計畫局とすることに決定し、局長に前計畫課長山縣治郎が內定した

◇船員職業紹介法の公布

遞信省は八條から成る船員職業紹介法を制定公布した。同法は船員職業紹介事業を行ふ者は如何なる名義を以て營むも報酬として手數料その他の財產上の利益を得ることを禁止したものである

◇瓦斯瓦斯及液化瓦斯取締法の公布

內務省は十二條から成る壓縮瓦斯及び液化瓦斯取締に關する法律を公布した。同法は壓縮瓦斯又は液化瓦斯の製造、貯藏又は販賣の業をなさんとする者は行政官廳の許可を受け安寧秩序を害する慮れありと認むる時は許可の取消し又は停止、若くは制限をなす旨制定したものである

◇鐵道敷設法の公布

五條から成る鐵道敷設法が公布された。同法は豫定鐵道線路を調査敷設せんとする時は經費の豫算を定め繼續費として帝國議會の協賛を求むべきことを制定したものである

◇樺太殖產會社の創立

樺太信託會社は創立總會を開き、名稱を樺太殖產會社（資本金一百萬圓）と變更に決し左の役員を選任した

▽取締役綾井忠彥（會長）、河上靜太郎（專務取締役）尾崎喜平（常務取締役）、高山直純、稻垣洋一郎、生越伊助、汐海助次郎▽監査役小倉基、中牟田五郎、野中萬助

◇獨佛の染料協定

佛國の染料會社と獨逸の染料トラストとの間に左の協定が締結された

一、獨逸は佛國に對してその市場を開放し佛國工場に對しては技術上の援助を與へること

一、佛國會社は獨逸に五割の利益を提供し且つ佛國は佛國本土及びその植民地に供給するに足るだけの染料を生產するに止めること

十二日（水）

◇農會法の公布

農商務省は農會法を制定公布した。同法は四十一條から成り農業の改良發達を圖る目的を以て制定されたものである

◇借地借家調停法の公布

司法省は借地借家法を制定公布した。同法は三十一條から成り土地又は建物の借地、地代、家賃、その他借地借家關係につき紛爭を生じた際、當事者は爭議の目的である土地又は建物の所在地を管轄する區裁判所に調停の申立を爲すことを得と規定したものである

◇世界一周飛行のロツス・スミス僚死

濠洲の飛行家ロツス・スミスは本月二十五日世界一周飛行のためクロイドンを出發する豫定であつたが、ブルークランドに於て試驗飛行中墜落、同乘者ベンネット中尉と共に慘死を遂げた

◇英國皇太子殿下御來朝

本日午前九時四十分英國のプリンス・オブ・ウエールス殿下には橫濱入港の御召艦レナウン號にて御來朝、長くも我攝政宮殿下には東京驛頭に御出迎へ遊ばれた。二十二日英國皇太子殿下には御退京あらせられた

十四日（金）

◇植民地協議會開催

同協議會は首相官邸に開かれ、首相高橋是清以下田臺灣總督、水野朝鮮政務總監、山縣關東廳長官、神野大藏次官、川村拓殖局長官、永井樺太長官、手塚南洋廳長官等出席し、各植民地三土內閣書記官長、馬場法制局長官、川村拓殖局長官における政務に關し協議をなした

◇ワルソーに帝國領事館設置

帝國政府は本日ポーランドの首都ワルソーに領事館を設置した

◇貴族院議員互選

貴族院は本日議員互選を行ひ、左の通り當選した

▽伯爵　大河內正敏、松平康荘

▽子爵　阪谷芳郎、清水澄

▽男爵　有馬賴寧、井上賴圀、江木翼、大木遠吉、岡部長職、小笠原長生、小笠原長幹、小原駩吉、加藤恭平、木下廣次、久保田政周、黑田長和、佐佐木行忠、佐竹義理、清水谷實英、關和知、高木益太郎、高木正年、高田早苗、竹內綱、田健治郎、谷干城、千家尊福、千賀鐵之丞、土方久元、戶田氏共、中川小十郎、永井柳太郎、永田秀次郎、中村啓次郎、中山孝麿、野田卯太郎、野村靖、長谷場純孝、原嘉道、平賀敏、平山成信、福原俊丸、藤村義朗、堀田正養、堀田正倫、本多正復、前田利定、松平賴壽、松平賴孝、松平直亮、松本烝治、三浦安、三室戶和光、三室戶隆光、村田保、森俊德、山內確三郎、山川端夫、山崎直胤、山田三良、山田信藏、山本達雄、湯淺倉平、吉川重國、若槻禮次郎、渡邊千冬

◇貴族院議員補缺選擧

貴族院は本日議員補缺選擧を行ひ、左の通り當選した

▽伯爵　柳原義光

▽子爵　有馬賴寧

▽男爵　井上賴圀

◇樺太廳稅改正令の公布

政府は樺太所得稅を改正制定し本日の官報を以て公布した

◇酒稅煙草稅令の公布

政府は關東州酒稅令、煙草稅令を制定し本日の官報を以て公布した。酒稅令は四十六條煙草稅令は二十九條から成り夫々稅率を制定したものである

◇貴有財產貸付規程の廢止

內務省は明治四十五年七月三日發布した貴有財產貸付規程を廢止する旨本日の官報を以て公布した

◇滿蒙銀行會社の工場燒失

小樽の同社（資本金三百萬圓）工場機械室から發火し工場全部を燒失した。損害は百五十萬圓。同社は大正八年創立以來每期缺損續きに加へてこの火災のため株主間に解散說が擡頭した

十五日（土）

◇日露大連會議決裂す

日露大連會議は八ケ月に亘つて我が全權松島肇とチタ政府代表ペトロフとの間に會議を續けたが、日本側の要求である西比利亞撤兵後に於ける國境脅威に對する保障及び日本人の經濟的活動に對する保障の基本協定に對しチタ側が同意せぬため決裂し、我政府は松島全權に引揚げを命じた

を以て公布した。同法は五十三條から成り樺太に住所を有し又は一年以上居所を有する者は所得稅を納むる義務あることを制定したもので即日施行された

◇大同電力社債一千萬圓發行

同社の第二回社債一千萬圓は日本興業銀行外二行引受けの下に左の條件で發行することに決定した

▽利率年七分▽發行價格九十六圓五十錢▽償還方法大正十三年六月一日、同十二月一日、十四年六月一日、同十二月一日の四回に每回二百五十萬圓以上宛抽籤償還

◇電氣協會の聯合會

電氣協會は東京上野精養軒に舊日本電氣協會、中央電氣協會、九州電氣協會と合併後の第一回總會を開き、左の役員を選任した

▽常務理事山本源太郎▽評議員廣瀨久久、鈴鹿利右衞門、遠山克太郎

◇全國實業會の生產制限決議

同會は東京に於て春季總會を開き、從來の六割五分生產制限を五分減の六割とする件を可決し、常任委員を左の如く改選した

▽常任委員副東陵會、ラサ島燐礦、日本化學肥料、旭電化、北海實業▽交代委員橫濱化學肥料、東海實業

◇支那全國銀行會議會の決議

同會は浙江省杭州に開かれ、內國公債整理並にその善後策に關する建議案等を可決した

十六日（日）

◇ホワイトシテイ・會社の創立

同社（資本金百萬圓）は神奈川縣川崎に遊園地を經營する目的を以て設立され、創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役皆川芳造、尾崎長六、神谷忠雄、櫛引弓人、益田信世、藤本良多、清瀨規矩雄▽監査役萩原博、葉谷英夫、金谷賢三

◇帝國ホテル全燒す

東京麹町區山下町の帝國ホテル玄關正面待合室の床下から本日午後三時三十四分出火し木造三階建洋館（客室、大ホール等約六十室總建坪千六百坪）を全燒した。同ホテルは明治二十三年の建築で保險會社の評價は建物三十五萬圓であるが時價は二百萬圓以上と稱され、保險金は大倉組保險部その他に五十萬圓の契約があつた。宿泊客中希臘人の通信員ミルワルシーはバルコニーに於て燒死し、消防手その他六十餘名の死傷者を出した

十七日（月）

◇少年法並に矯正院法の公布

司法省は少年法並に矯正院法を制定、本日の官報を以て公布した。少年法は七十四條から成り十八歲に滿たぬ少年の保護處分、刑事處分を規定し、矯正院法は少年審判所から送致された者及び民法第八百八十二條の規程に依り入院の許可のあつた者の收容に關し制定したもので即日實施された

◇大藏省所管國有財產取扱規程公布

大藏省は同省所管國有財產取扱規程を制定公布した。同規定は七十三條から成り國有財產に關する事務の管理監督の件その他の取扱規程を制定したもので、同時に明治四十四年公布された取扱規程は廢止された

◇株式一齊に暴落

金融業者の警戒と會社の業績惡化のため株式に對する買氣萎縮し、東京株式市場の定期相場は郵船二圓安の百四圓九十錢、鐘紡八、九圓方暴落して二百八十六圓、東株舊三圓二十錢安の百十五圓六十錢、新は五圓八十錢方崩落し百九十一圓となつた

◇露獨通商條約調印

露獨の通商條約及び外交恢復に關する條約

はラッパロに於て露西亞委員チチェリン、獨逸委員ラテナウの間に調印された

十八日（火）

◇所得稅法、其他の改正法律公布

政府は所得稅法、登錄稅法、印紙稅法、相續稅法中改正法律を制定、本日の官報を以て公布した。右法律はいづれもその規定の適用についてその一部分を夫々改正したものである

◇上海線、外二線の電報略號海命令

遞信省は上海線、北支那線、樺太線につき左の補助航海命令書を交付した

▽上海線（一）長崎上海線一週二回以上一年百四回以上（二）神戸上海線一週二回以上一年百四回以上（三）橫濱上海線每月五回以上一年六十回以上、命令期間自大正十一年四月一日至同十二年三月末日一ケ年間、受命者日本郵船

▽北支那線（一）神戸天津間一週一回以上一年五十二回以上（二）神戸牛莊間一週一回以上一年五十二回以上（三）橫濱牛莊間每三週日二回以上一年三十六回以上、受命者日本郵船

▽樺太線（函館大泊間）四月三回以上、五月より十一月まで七ケ月に每月五回以上、十二月二回、計一年四十回以上、受命者日本郵船

十九日（水）

◇簡易國勢調查法の公布

第四十五議會の協賛を經た明治四十五年法律第四十九號の改正法律は本日官報を以て公布された。この規定によつて國勢調查後五年目に簡易な國勢調查を施行することゝなつた

◇統計資料實地調查法の公布

政府は統計資料實地調查に關する法律を制定、本日の官報を以て公布した。同法は五條から成り勞働に關する統計資料蒐集のため必要ある時は、特に期日を定め全國に亘り又は一定の區域を畫して實地調查を行ふことを制定したものである

◇駐米大使幣原喜重郎歸朝

駐米大使幣原喜重郎は勝石病のため華府會議終了後六ケ月の賜暇歸朝を許され橫濱入港のコレア丸で歸朝した

二十日（木）

◇取引所法及同所得稅法の改正

農商務省は取引所法及び同所得稅法中改正法律を公布した。取引所法は有價證券を賣買取引する市場は取引所と看做し本法に依らねば設立することを得ぬ規定を設け、同所得稅法は賣買を解約するもその稅金はこれを免除せぬことを制定したものである

◇稅制整理特別委員會、財產稅調查可決

稅制整理特別委員會は藏相官邸において開會、委員田中隆三、三土忠造、添田敬一郎、濱口雄幸から各意見を述べ、財產稅を新設し地租營業稅の半額を地方に移讓する件を可決した

◇火保協會、調查機關設置を可決

大日本聯合火災保險協會は第五回地方委員聯合會を東京海上ビルに開き、協會に調查機關（各種工業、原料商品、建築、機械その他火災保險に關する件）設置の件外十五件を可決した

◇度量衡協會大會の決議

日本度量衡協會春季大會を東京丸ノ內工業俱樂部に開き、營業稅中改正をなし計量器の營業に對しても度量衡器同樣營業稅を免除すること外六件を可決し、左の名譽會員を選任した

寺尾新、井口在屋、長岡半太郎

◇金圓石炭礦業調查會、評議員決定

同會の評議員總會は東京丸ノ內工業俱樂部

に開かれ、佐賀礦業會、宇部礦業組合加入の件、評議員一名（茨城無煙炭、理事一名（磐城炭礦）を增加し、滿俵に對し同會へ加入方を勸誘する件を可決した

◇全國產業組合の功勞者表彰

同大會は東京開國の國技館において開會、左の功勞者に功勞章を授與した

▽紅綬功勞章　顧問赤星典太、同木田川奎彦、同山脇春樹、同富永鴻、長野支會長竹井貞太郎、同支會副會長深井功、副島支會副會長龜井光政、同吉野則太郎▽同追贈　元評議員故小田島琢、同元代議員故矢板武

◇三菱銀行本店落成

大正十年五月着工し、東京丸ノ内東京市役所前に建築中の同銀行本店は今回落成、本日關係者を招待し場内を觀覽させた。建坪八百五十三坪、四階建で正面の丸柱には花崗岩を用ひた

◇土佐銀行の取付

高知の土佐銀行（資本金三百萬圓拂込濟）は預金約五百萬圓の取付に遭つたが、安田銀行から三百萬圓を送金して援助することゝなつたため鎭靜した

◇サロニカ市外彈藥庫の爆發

サロニカ市の西北八十五哩を距てるモナスチール驛附近に貯藏された砲彈が爆發、敎會堂が破壞され兵士と兒童等約二千名が生埋めとなつた

二十一日（金）

◇信託法及信託業法の公布

政府は信託法及び信託業法を制定し本日の官報を以て公布した。信託法は七十三條から成り、財產權の移轉、その他の處分をなし他人をして一定の目的に從ひ財產の管理又は處分をなさしむるを信託と稱する規定で、信託業法は主務大臣の免許を得なければこれを營むことを得ぬ件その他の條項を制定したものである

◇東京十二銀行、鯖昇鯡鰮を協議

日本銀行は金融梗塞し有價證券市場の激落を憂慮し左の十二シンヂケート銀行代表を招致し財界對策に關する協議會を開いたが、具體的方法は未決に終つた

正金、興銀、臺銀、鮮銀、第一、三井、三菱、第三、十五、安田、第百、川崎

◇八王子織物組合の同盟休業

同織物組合は織物組合事務所に協議會を開き、織物不況對應策として來る五月一日から一ケ月間同盟休業する件を決定した

◇理博本多光太郎、英國最高賞牌を受く

英國鐵鋼協會は東北帝國大學敎授、同大學附屬鐵鋼研究所々長理學博士本多光太郎に對しその世界的鐵の研究に對し最高賞牌ベッセマーを授與することに決定し、來る五月四日の同會總會において贈呈することゝなつた

二十二日（土）

◇敎物檢查補助規則の公布

農商務省は敎物檢查補助規則を制定し本日の官報を以て公布した。同規則は五條から成り敎物檢查に關し道府縣の費用又は補助金に對し每年度豫算の範圍内において補助金を交付する件を制定したものである

◇鑛業保險法の公布

同法は九十一條から成り保險者が被保險者の疾病、負傷、死亡、又は分娩に關し療養費の給付、又は傷病手當金、埋葬料、分娩費、若くは出產手當金の支給をなすべきことを制定したものである

◇朝鮮無盡業令の公布

制令第七號を以て朝鮮無盡業令を公布し八月一日より實施することゝなつた

◇全國水產大會、漁港漁業獎勵を決議

大日本水產會主催の全國水產大會は東京自治館において開會、左の議案を可決した

一、海國の國是として海洋の開拓に勞め遠洋漁業を奬勵すること

二、水產食料を以て國民保健の基礎とし水產の奬殖、貯藏、漁撈、販賣の方法を改良し國民の文化生活の向上を圖ること

三、水產の製造を改良し國際貿易を振興し以て國富の增進を圖ること

◇朝鮮銀行東京支店落成

東京麹町區永樂町に新築中の朝鮮銀行東京支店は本日落成した。鐵筋コンクリート六階建で總延坪一千三百十九坪二合である

◇日本ペニー訪綿會社の改稱と減資

同社（資本金三百萬圓）は臨時株主總會を開き資本金を二百萬圓に減資し、同時に社名を日本絹糸紡績會社と改稱する件を可決した

◇ゼノア會議、露國承認を擴張

ゼノア會議は、露國の舊外債承認を條件として露國を卽時正式承認せよとの要求を、英國の提言によつて全會一致拒絕した

二十四日（月）

◇帝國水產會の創立

帝國水產會は創立總會を開き、京都府外二十三府縣水產會代表者出席し、會則制定、創立費用及びその費用償却方法承認の件、第一回通常總會開催の件を議決した

二十五日（火）

◇破產法並に和議法の公布

破產法並に和議法が制定公布された。破產法は三百九十一條から成り第一條に破產はその宣告の時より効力を生ずる旨を制定し、和議法は七十條から成り破產豫防の方法として强制和議をなすために設けられた法律である施行期日は追つて勅令を以て公示

◇臨時代水力電氣の借額增資

同社は定時總會を開き資本金二千五百萬圓を倍額の五千萬圓に增資する件を可決した

◇日本鐵道會社職工の同盟罷業

東京芝區白金三光町の同社職工は八時間制の卽時斷行と日給値上を要求して拒絕され同盟罷業を決行した

◇社會主義者等の判決

近藤榮藏等十五名に對する朝憲紊亂並に治安維持法違反事件は東京地方裁判所に於て左の判決言渡があつた

▽禁錮八ケ月罰金五十圓近藤榮藏▽同八ケ月高津正道、中曾根源和、川崎悅行、山上正義、平田晉作▽罰金三十圓浦田武雄、寺田賀▽無罪武良二、藤岡淳吉、堺利彥、中曾根貞代、大島義明、荒井淳一郎、高津たよ

◇蜂印葡萄酒の神谷傳兵衛逝去

本日夕刻東京向島の別莊で逝去した。享年六十八。安政三年二月十二日三河國に生れ、明治十三年淺草區花川戸において洋酒の一杯賣りをなし次で蜂印香竄葡萄酒を釀造賣出して成功し、神谷商店を經營、日本製粉、神谷貿易等の重役を兼ねてゐた

二十八日（金）

◇改正貨幣法の公布

政府は貨幣法中改正法律を制定し本日の官報を以て公布した。同法は五十錢銀貨一圓三分二厘、二十錢銀貨五分二厘八毛と改正し卽日實施された

◇大阪商船にブラジル移民輸送を許可

大阪商船會社はブラジル移民の輸送を出願中のところ本日外務省から許可された

◇淺野造船所閉鎖す

神奈川縣鶴見の淺野造船所は職工代表を重役室に招致し財界不況と軍備縮小のため經營困難となり四月末日限り工場を閉鎖する旨言渡し、一千八百名の職工を解雇することゝな

つた

二十九日（土）

◇關西勞働組合同盟會組織さる

總同盟の方針に反對する京阪地方の各勞働團體は大阪に幹部會を開き關西勞働組合同盟會を組織することに決定した

三十日（日）

◇大株、三社を合併増資

大阪株式取引所は臨時總會において大阪證券交換所、大阪現物取引所、株友會を合併し五百萬圓增資して資本金四千五百萬圓とすることに決定した。合併の條件は左の如し

▽證券交換所（一株十二圓五十錢拂込）五株に對し同額拂込一株 ▽大阪現物取引所（同）十株に付同額拂込一株七五▽株友會五十圓拂込三株に付二株五（一株十二圓五十錢拂込）を交付

◇三菱の元老豊田平五郎死去

氣管支炎に肺炎を併發し本日午前二時三十五分東京小石川區林町の自邸で死去した。享年七十六。氏は弘化四年十月一日大分縣杵築町に生れ、慶應義塾に學び、明治四年三菱が太平洋汽船會社の支那航路をその所有船舶と共に讓受けた當時から手腕を揮ひ、明治十八年三菱、共同運輸の兩社が合併し日本郵船會社が創立されるに至つて重役に就任、東京海上、明治生命、太洋生命、明治火災等の重役を兼ね海員掖濟會、鐵道協會等に盡力するところ多かつた

◇大阪電氣軌道九百四十六萬圓に増資

同社は臨時株主總會を開き資本金五百五十萬圓を九百四十六萬圓に增資する件を可決した（日不詳）

【五　月】

一　日（月）

◇帝蠶會社、生糸滯荷處分決定

帝國蠶絲會社は總會を開き、現在の生絲持荷二百二十萬斤を一ヶ月二十萬斤宛輸出向として賣却することに決定した

◇愛知縣知多織布業者の休業

愛知縣知多郡の織布業者は織布界不振のため一日から一ヶ月間同盟休業をなすことに決定、營業者三分の一は工女の解雇を斷行した

◇太陽海運會社の減資

神戶の同社（資本金五百萬圓）は重役會を開き海運界不況の打開策として會社の內容充實を圖るため資本金を二百六十六萬六千六百五十圓（拂込百十六萬六千六百五十圓）に減資することに決定した

◇三重合同電氣會社の創立

同社（資本金一千二百五十萬圓）は津市に創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役（代表）川喜田久太夫、川喜田四郎兵衞、葛﨑登次郎、松本恒之助、小島惣右衞門、濱池仁三郎、德力喜藏、長﨑精一、安保庸三、白塚大三郎、河村清兵衞、田中善助、太田光熈、川北榮夫、野上菊太郎、小島源三郎▽監査役中川藤右衞門、村田眞一、谷口源八、後藤友之助、鈴木藤兵衞、澤瀉久富、阿竹喜六、秋田喜助、小林嘉平治

◇盛岡電氣工業、二會社を合併

盛岡電氣工業會社（資本金六百六十萬圓）は株主總會を開き、遠野水力電氣會社及び溫泉軌道會社を合併し資本金を六百六十七萬圓に增加し、同時に支店を岩手縣遠野町に設置する件を可決した

◇加州土地修正法無效の判決

米國カリフホルニア高等法院は、一千九百二十年の土地修正法を無效とする旨の判決を言渡した。これによつて加州に於ける農場に

對し日本人の所有權獲得が認められることになつた

二　日（火）

◇五分利國庫債券五千二百萬圓借替發行

六月一日償還期に相當する五分利國庫債券（は號）五千二百萬圓は左の條件で借替發行することに決定した

▽發行價格現金及び證券拂込九十三圓五十錢、爲替證券九十三圓▽償還期限大正十五年十二月一日迄▽初期利子大正十一年九月十日渡一圓三十六錢

◇第二關東紡績會社の創立

第二關東紡績會社（資本金三百九十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役土屋興（社長）岩崎幸治郎、大江元起、長倉巳之吉、板倉順治▽監査役佐藤博愛、石井泰造、渡邊榮次、松尾晴見

◇立敎大學外四校に新大學令適用

立敎、大谷、專修、龍谷の四大學及び熊本醫學專門學校は新大學令に依つて設立を認可された

◇支那奉天軍飛行機、保定城を爆擊

奉天軍の飛行機四臺は五十二個の爆彈を搭載し保定に向ひ城內の旗竿を目標として一齊に爆彈を投下したゝめ、城內は非常な混亂を呈した

三　日（水）

◇京都の三高生全部停學

三高生徒は不穩な決議をなし學校當局の訓諭に從はぬため同校敎授會は三日から九日まで全校生徒の停學處分を決定した

四　日（木）

◇臺灣酒類專賣令の公布

政府は三十四ヶ條から成る臺灣酒類專賣令を制定し、臺灣總督府の律令として本日公布した

◇樺太廳に臨時森林作業所設置

政府は本日樺太廳內に臨時森林作業所を設置した

◇鬼怒電、東京市との電力供給再契約

東京市會は鬼怒川電氣會社が東京市に對し大正十二年一月十五日から一キロワット時水力電氣二錢五厘、火力電氣三錢五厘に引上げ契約期間を十ヶ年とする再契約を可決した

五　日（金）

◇鐵道工務改良費の割當決定

第四十五議會の協贊を經た大正十一年度の鐵道省工務關係改良費六千四百四十萬圓の割當は左の如く決定した（單位萬圓）

▽東京改良事務所一〇六〇▽神戶同六一〇▽東京鐵道局八二〇▽名古屋同五一〇▽神戶同六一〇▽門司同七三〇▽仙臺同五四〇▽札幌同五六〇▽熱海線八〇〇▽本省保留額一九〇

◇支那の奉直戰終熄す

支那奉天軍の直隷派に對する戰は各方面の戰況不利となり中立軍隊が調停をなさんとする形勢にあるため主力部隊の交戰をなす力なく奉天軍は敗走し、張作霖は軍糧城を出發し奉天に逃げ去つたゝめ奉直戰は終熄した

六　日（土）

◇高橋首相、內閣改造中止を聲明

內閣改造問題に關し與黨政友會內に動搖を來す虞れあるを以て總理大臣高橋是清は、本日の定例閣議に左の趣旨の覺書を提出し內閣改造中止を宣明した

時局の重大なるに鑑みて內閣の一大改造を斷行し新陣容を整へなければならぬと思ひ閣僚諸公に諮つたのであるがその後四圍の形勢は兎角政情の安定を缺き到底改造を行ふに適せぬため一と先づ改造を斷念しこれを中止する

なほ閣議の席上において取纏めた左の申合を發表した

改造の協議を繼續するは今日は時機宜しからずと考ふる故他日協議することゝし各自國家の大局より考慮することゝせり

◇臨時國庫證券五千二百萬圓借替發行

前年十一月九日割引發行した臨時國庫證券額面五千三百萬圓は來る九日償還期に相當するため、政府は同日左の條件で借替發行することに決定、日本銀行本支店で賣出すことゝなつた

▽割引歩合日歩一錢八厘▽償還期日大正十一年十一月九日▽額面種類十萬圓、一萬圓一千圓

◇日清紡績社長宮島清次郎等歸朝

英米實業視察團の一行に加つて歐米視察中であつた日清紡績會社々長宮島清次郎、富士瓦斯紡績會社常務取締役持田巽は神戸入港の郵船吉野丸で歸朝した

七　日（日）

◇金錢登錄器社長パターソン死去

米國オハイオ州デートンのナショナル金錢登錄器製造會社々長ジョンパターソンは本日死去した。享年七十七。金錢登錄器の製造を以て知られ米國實業界の代表的人物であつた

八　日（月）

◇石井定七の債權誤行、辭職を勸告

石井定七商店整理に關し債權者たる加島、十五、臺灣、朝鮮、百三十、村井、左右田、第一、第三、山口、住友外二十銀行の代表者は銀行集會所に協議會を開き、石井定七をして貸借對照表を提出せしめることに意見一致したゝめ、成行の惡化を慮れた石井は關係銀行に對し從來の態度を一變し十五日までにバランスシートを提出することを申出でた。十七日石井定七から日本銀行、住友、山口、日本信託銀行の四行宛に提出された貸借對照表は總債務額五千六百七十九萬七千七百九十三圓八錢、資產總額五千五百十一萬三千七百五圓九十九錢、差引負債額百六十八萬四千八十七圓である

九　日（火）

◇行政整理準備調查委員の任命

政府は新政策の一つである行政整理に着手準備調査に着手することに決定し、準備委員並に補助委員を左の如く任命した

▽行政整理準備委員　內閣書記官長　三土忠造、法制局長官　馬場鍈一、大藏次官　神野勝之助、主稅局長　西野元▽同補助內閣書記官　下岡忠治、法制局參與官　黑崎定二、同金森德次郎、大藏書記官　柯田烈、同太田喜太郎

◇ゼノア會議で日本陳述書を發表

ゼノア會議において露國代表チチェリンは伊太利代表シャンツェルに對し西比利亞並に朝鮮における日本政府の態度に關し非難をなしたゝめ、日本代表は日本は露國の不幸なる境遇に乘じて侵略政策を採るものにあらず、又朝鮮に關することは全然日本の內政的問題であるとの抗議的陳述書を發表した

◇英國皇太子殿下御歸國

英國のプリンス・オブ・ウエールスは御召艦レナウン號にて鹿兒島灣を御出發、一路御歸國の途に就かせられた

十　日（水）

◇正金紐育支店、印度に金塊五十萬弗讓渡

紐育の橫濱正金銀行支店は紐育銀行に預け入れてあつた五十萬弗の金塊を引出し日印貿易の差額を決濟するため孟買に轉送した。かく多額の金塊を印度に送ることは久振りで、歐洲大戰後これは三回目の轉送である

◇淺野造船所、社員を海汰

神奈川縣鶴見の淺野造船所は「註文が悲況に陷つたから」との理由を以て社員百四十名中九十六名に解雇を言渡した

十一日（木）

◇憲政會の內閣改造中止攻撃演說會

憲政會は東京神田青年會館に演說會を開き高橋內閣が改造を中止した職責を攻撃し鎭海木挂吉、三木武吉、鈴木富士彌、望月小太郎濱口雄幸は交々起つて民心は既に現內閣を離反したと痛烈な舌鋒を向けた

◇臨時財經調查會、石油鑛油稅廢止を決議

臨時財政經濟調查會稅制整理特別委員會は例會を開き、石油消費稅、普通油稅、自家用普通油稅はこれを廢止し、酒稅、麥酒稅、酒精及び酒精含有飮料水稅の各稅率の引上げを決議した

◇支那治外法權撤廢委員會の設置延期

華府會議の決議に基く支那の治外法權撤廢に關する委員會設置を一年間延期されたいとの支那政府の要請に對し、日・英・米三國政府はこれを承諾したので同委員會は一千九百二十三年秋迄開會を延期することに決定した

◇勞農・露東、經濟同盟條約に調印

極東共和國代表マドウエフと勞農代表カラハンとの間に經濟同盟條約の調印を完了し即日効力發生、自由貿易を開始する旨チタ政府は公表した

十二日（金）

◇鐵道省の鐵道電化計劃成る

鐵道省は東京、橫須賀及び大船、小田原の鐵道電化の計畫を樹て大正十一年度から着手大正十二年度を以て完成することに省議決定した。電化速成の豫算は左の如し（單位圓）

▽大正十一年度　電氣費三、六八三、〇〇〇、車輛費三、一四〇、〇〇〇▽同十二年度　電氣費五八九、〇〇〇、車輛費六、八六六、〇〇〇、工事費一、四、三七八、〇〇〇、合計

◇電子業者大會、富連友關稅撤廢を決議

全國硝子業者大會（旭硝子會社を除く）は東京上野の平和博覽會內平和館において開會二百五十名參集し「硝子業の振興を圖るためには重要原料である曹達灰の關稅撤廢を以て刻下の急務なりと認む」との決議をなした

◇支那國務總理錢士能等亡命

支那の國務總理錢士能、交通總長葉恭綽、財政總長張弧の三名は神戸入港の日本郵船芝罘丸で天津から亡命して來た

十三日（土）

◇帝國瓦斯協會の役員改選

帝國瓦斯協會は東京上野精養軒に第十回定時總會を開き、左の如く役員の改選を行つた

▽會長奧繁三郎▽副會長杉浦宗三郎、渡邊千代三郎▽常任理事參木錄郎、谷口守雄

◇淺野造船所の積立金問題解決

淺野造船所の解雇職工一千七百名は工友會に屬する金六萬三千圓の中職工等の積立金二千八百四十六圓の拂戾しを受け、殘りの基金六萬餘圓の處分について約二週間紛擾を重ねたが、委員長富田富太郎等の盡力によつて右六萬餘圓は神奈川縣の公共事業に全部寄附することに決定し解決した

十四日（日）

◇浦鹽在留邦人大會の宣言

浦鹽の日本人大會は本日開會し七百餘名參集、左の宣言と要望を可決した

▽宣言　浦鹽在留邦人は數年間に亘る極東露領の政變に晒され經濟的存立の基礎を失ひ極度の窮境に陷つた結果、現在では我軍の駐屯すると撤退するとに拘らず早晩引揚げざるを得ない狀態にあることを宣明す

▽要望　在留民の引揚げに伴ふ損害に對し

速かに時價的救濟をなすこと、在留民の歸來に於ける對露貿易の地盤恢復のため速かに經濟的援助をなすこと

十五日（月）

◇農業教育補助費增額要求の決議

市町村義務教育費國庫負擔金增額期成同盟會は帝國教育會に於て開會、教育會理事野口援太郎同會の下に市町村義務教育費負擔金を大正十一年度より增額し、右增額は少くとも五千萬圓を下らぬことを要望するとの決議をなした

◇全國町村長會、戸數割反對の決議

全國町村長會は帝國教育會において開會し前年十一月勅令第二百四十四號で公布された府縣稅戸數割（本年四月から實施）に對し、本規則は實行不能につき當分これを延期するか又は適當の修正をして實ひたい」との決議をなした

◇南洋航路、日本郵船に落札

南洋マーシャル群島、內地間の航路は日本郵船會社が補助航路として年五百萬圓の支給を受けてゐたが、本年四月南洋廳の開廳と共に山下汽船、南洋貿易の兩社が同航路を引受けんと運動を開始したゝめ、南洋廳は入札を行つた結果、日本郵船が最低の八十萬圓で落札した

◇我國最初の婦人政談演說會開催

第四十五議會の協賛を經た改正治安警察法によつて五月十日から女子も政談演說の會合と發起をなすことが許されたので、本日東京神田靑年會館に新婦人協會主催の日本最初の婦人政談演說會が開催され、與むめを、奈良井安子、坂本眞琴、何本かめ子等の演說があつたが、坂本は夫子が山川菊榮の演說草稿を代讀中、不穩の點があるとの理由で解散を命ぜられた

◇石川島造船所の職工二千名整理

石川島造船所の職工二千名は造機船工勞組合員を會社が解雇したのは不當であるとし幹部の不信任と會社の非を鳴らして田中管業部長と會見したが、不得要領に終つたゝめ本日午後一時から一齊に怠業狀態に入つた

十六日（火）

◇瀨戸陶工の賃銀値下

愛知縣瀨戸の陶器製造業者は荷拂不振のため、輸出向陶器を內地向に代へた結果、內地向の生產過剩に陷り勞銀輕減の止むなきに至り職工三割、日雇二割の賃銀値下げを決定し十七日から實行することゝなつた

◇議會最初の婦人政談演說會開催

第四十五議會の協賛を經た改正治安警察法によつて五月十日から女子も政談演說の會合と發起をなすことが許されたので、本日東京神田靑年會館に新婦人協會主催の日本最初の婦人政談演說會が開催され、與むめを、奈良井安子、坂本眞琴、何本かめ子等の演說があつたが、坂本はま子が山川菊榮の演說草稿を代讀中、不穩の點があるとの理由で解散を命ぜられた

◇石川島造船所の職工二千名整理

石川島造船所の職工二千名は造機船工勞組合員を會社が解雇したのは不當であるとし幹部の不信任と會社の非を鳴らして田中管業部長と會見したが、不得要領に終つたゝめ本日午後一時から一齊に怠業狀態に入つた

十六日（火）

◇瀨戸陶工の賃銀値下

愛知縣瀨戸の陶器製造業者は荷拂不振のため、輸出向陶器を內地向に代へた結果、內地向の生產過剩に陷り勞銀輕減の止むなきに至り職工三割、日雇二割の賃銀値下げを決定し十七日から實行することゝなつた

◇議會最初の婦人政談演說會開催

第四十五議會の協賛を經た改正治安警察法によつて五月十日から女子も政談演說の會合と發起をなすことが許されたので、本日東京神田靑年會館に新婦人協會主催の日本最初の婦人政談演說會が開催され、與むめを、奈良井安子、坂本眞琴、何本かめ子等の演說があつたが、坂本はま子が山川菊榮の演說草稿を代讀中、不穩の點があるとの理由で解散を命ぜられた

◇石川島造船所の職工二千名整理

石川島造船所の職工二千名は造機船工勞組合員を會社が解雇したのは不當であるとし幹部の不信任と會社の非を鳴らして田中管業部長と會見したが、不得要領に終つたゝめ本日午後一時から一齊に怠業狀態に入つた

十七日（水）

◇大藏省官制中銀行その他金融機關に關する檢査官增員及び決算課設置の件は本日の樞密院會議に於て決定した。これによつて從來の豫算決算課は豫算課、決算課の二課となり、經費五萬四千十七圓は既に十一年度豫算として協賛を經た

◇簡易保險積立金の運用法決定

簡易保險積立金運用委員會は遞信大臣邸に開會、遞信大臣野田卯太郎以下各委員出席し左の如く運用することに決定した

一、簡易保險積立金貸付規則第一條に依る貸付總額は九百五十萬圓

二、貸付目的は住宅、共同宿泊所、簡易食堂、公益市場其他

三、貸付利率は年四分八厘、但し小學校、

傳染病院、農業倉庫に對する貸付利率は年六分五厘

◇二圓七十萬圓詐欺事件の擔當決定

京都市の金箔王といはれた岩坪五兵衞、岩坪五兵衞商店上海出張所主任金田安次郎、神戸市の貿易商兼印刷業本田政吉、京都市の會社員山下留治郎の四名が共謀し橫濱正金銀行東京支店及び上海支店から合計二百七十萬圓を詐取した事件は、東京地方裁判所で審理中のところ豫審終結し有罪と決定した

十八日（木）

◇ゼノア會議、最惠國條約を決議

ゼノア合同政治委員總會議は不侵略條約を決議案の形式を以て提出し、參加國をしてこれを採擇すべきことを約せしむることを全員一致議決した

十九日（金）

◇高橋首相、研究會常務委員と會談

總理大臣高橋是清は貴族院研究會常務委員を東京京橋木挽町の待合に招待し「議會最終日に於て諸君に御迷惑をかけたについては謹んで謝意を表します」と挨拶を述べた。三月下旬高橋首相の招待を拒絕して以來政府對研究會の關係は圓滑を缺いてゐたが、第四十五議會の閉會間際において生じた行違ひはこれによつて或程の諒解が成つたと噂されたゝめ政府は右は單なる一夕の晩餐會であると辯明し、研究會の一部幹もこれで諒解が出來たと思つたら政府の大きな間違ひで現在の有樣では到底政策の談合は出來ないと聲明した

◇全國敎育大會、社會敎育徹底の決議

同大會は東京高等師範學校に開かれ、全國の敎育關係者三千八百名參集し、名譽會長岡都長職員會の挨拶を述べ、左の決議案を可決した

現時の情勢に鑑み廣く社會敎育の振興を圖るを急務と認む。政府は速かに統一の法規を制定し之が機關を特設して社會敎育の徹底を期せられんことを望む

◇政府、外米買增を決定

政府はその所有外米中約四萬九千石を新米と買替へるため本月二十六日東京に於て約二萬石、大阪に於て約九千石、神戸に於て約二萬石を賣却し、二十七日賣却濟み外米と同數の外米新穀を東京に於て二萬四千石、神戸に於て二萬五千石買付けることに決定し、本日農商務省は賣却と買入の方法に關しその條件を發表した

◇東京組合銀行、生糸資金利率を協定

東京組合銀行は生絲資金の利率を協定するため東京丸ノ內銀行集會所に三井、三菱、第一、十五、第百、正金の各代表者參集し左の如く決定した

一、製絲家振出、問屋引受、銀行裏書證書日歩二錢六厘

二、製絲家振出、銀行又は問屋裏書證書日歩二錢七厘

三、銀行及問屋振出證書日歩二錢八厘（前年に比しいづれも一厘高）

◇日本製絲聯合會、一割減産を決議

同聯合會は東京丸ノ內の事務所に定時總會を開き、一割の操業短縮を六、七の兩月繼續實行することに決定した

◇ゼノア會議、暫定休戰の協定成立

ゼノア會議に於て暫定休戰の協定成立し、ロイド・ジョージは右休戰條約は歐洲諸國と同樣亞細亞にも適用せんとするは英國の希望する處であると說明し、各員一致を以て可決し、議長ファクタは各全權に代り署名、これを以てゼノア會議は正式に終了した

二十日（土）

◇山東懸案御親裁

樞密院會議は山東懸案の解決に關する日支兩國條約批准の件を審議し原案通り可決　攝政宮殿下には即日御裁可あらせられた

二十三日（火）

◇立命館外二大學の昇格決定

教育評議會は文部大臣官邸に開會、立命館大學、關西大學、拓殖大學の新大學令による設立認可を可決した

二十四日（水）

◇醸造協會大會、醸造法令改正の決議

日本醸造協會大會は東京上野平和博覽會内平和館において開會、協會員一千二百名、來賓二百二名參集、左の決議案を可決した

醸造に關する現行法令中實情に適せざるもの尠からずと認む。依つて政府は速かにその調査を遂げ相當改正せられんことを望む

◇横濱蠶絲貿易商組合、蠶糸家に警告

横濱蠶絲貿易商同業組合は有志會の決議に基き全國の製絲家に對し繭價暴騰の際、新繭の買入に深甚の注意を拂はねば災禍を招く虞れありとて八ヶ條に亘つて注意すべき事項を指示した警告書を發送した

◇支那浦東の日清汽船倉庫燒失

上海浦東の日清汽船會社の倉庫二棟は火災のため燒失し、倉庫中の支那紙、大豆、豆粕等は全部類燒した。損害約五十萬元

二十五日（木）

◇臨時軍事費公債五千五百萬圓借替發行

政府は本年六月一日償還期に相當する臨時軍事費公債借替のため大正五年法律第四號に依り五分利國庫債券（て號）五千五百萬圓を左の條件で發行する旨官報を以て告示した

▽發行期日大正十一年六月一日▽發行價格九十八圓五十錢▽償還期限大正十二年六月一日▽利廻歩合六分六厘強▽券面種類二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、一千圓、五千圓、一萬圓の七種

二十七日（土）

◇府縣税戸數割規程の勅令公布

政府は勅令を以て府縣税戸數割規則に對する除外例規程を公布した。同規程は納税義務者の資産の狀況を斟酌して資力を算定し、特別の事情ある府縣に於ては當分の內これを總額の十分の四以內となすことを得と緩和され町村長會議の決議はこれに依つて貫徹されたわけである

◇「日本財政經濟史料」の刊行

大藏省の編纂した「日本財政經濟史料」の第一卷は本日刊行され、爾後大正十四年に至る間に全十一卷を逐次刊行することゝなつた

◇過燐酸肥料減産の協定成立

過燐酸肥料の三割五分生産制限協定は成立行惱み中のところ、ラサ島燐礦會社が持荷燐礦石販賣の關係上各社との提携の必要に迫まられ、右協定に加盟する旨各社に回答したので、關東側の減産協定は玆に成立を見るに至つた

◇株式會社北辰會、北樺太油田を增掘

株式會社北辰會（資本金五百萬圓、日石、久原、三菱、大倉の共同出資）は本年度は海軍省から百五十萬圓の補助を受け、なほ三井物産と鈴木商店の加入申込を承諾し、北樺太油田增掘をなすことに決定した

◇宇治川電氣の熊野電氣合併認可

宇治川電氣會社（資本金三千七百六十五萬圓）が熊野電氣會社を合併、百五萬圓を增資する件（去る三月七日の總會に於て決議）は本日遞信大臣から認可された

◇內務省、東京市の自治會館建設に反對

東京市政調査會が安田家の寄附金三百五十萬圓を基本金とし日比谷公園に自治會館を建設せんとする計畫に對し、內務省は東京市唯

一の中央公園に建設することは反對であると市長後藤新平に對し通牒を發した

二十八日（日）

◇全國生保大會、建議案を可決

同大會は東京上野平和博覽會内東京自治會館において開會、四十二社の代表參集、福原有信座長席に着き、生命保險の發達促進に對する施設をなすことを政府に建議する件を可決した

◇奥羽貯蓄銀行同盟會の成立

同會第一回總會は盛岡市の岩手縣會議事堂に於て開會、同盟規程を制定し、結成を見るに至つた

二十九日（月）

◇獨逸政府、賠償協定を承認

獨逸政府は大藏大臣ヘルメスと聯合國賠償委員との間に締結した賠償問題に關する巴里協定を承認した

三十日（火）

◇支那漢口の日本駐屯軍撤退に決定

我政府は漢口の日本駐屯軍撤退を決定し、同時に外務省は「支那駐屯外國軍隊撤退の希望に滿腔の同情を表し偏へに支那上下の誠意と努力とに信頼する」旨の聲明書を公表した

◇南洋群島關税法外三勅令公布

南洋群島に於ける關税に關し關税法及び關税定率法等に依る勅令及び南洋群島出港税令南洋群島間接税、犯則者處分令の三勅令は官報を以て公布され、いづれも六月一日から實施された

◇臺南製糖四十四萬三千圓の缺損

臺南製糖會社は定時總會を開き、當期損失金二十九萬二千八百七十一圓、前期繰越缺損金十五萬四百九十五圓、合計金四十四萬三千三百六十七圓の缺損金を次期に繰越す件を承認した

◇支那關税改正委員會、我國の修正案を可決

上海に開會中の支那關税改正委員會（本年三月三十一日第一回總會を開く）は本日第四回總會を開き、日本委員の提出した綿布及び綿絲の市價算定方法に就て除外例を設けよとの修正案に對し、列國委員は別に小委員會を開きこれを承認可決した

三十一日（水）

◇横濱生糸會社の整理

同社（資本金一千萬圓）は臨時株主總會を開いて整理案を附議、三百七十五萬圓に減資し更に六百二十五萬圓を增資して資本金一千萬圓とし、相談役に和田豊治を推薦することに決定した

◇熊本電氣二千六百萬圓に增資

資本金一千三百萬圓の熊本電氣會社は倍額增資して資本金二千六百萬圓となつた（日不詳）

【六月】

一日（木）

◇廢川敷地處分令の公布

政府は明治三十二年勅令第三百九十一號河川法第四十四條に依り河川敷地の公用を廢止した土地の處分に關する件を改正し、本日の官報を以て廢川敷地處分令を公布した。同令は九ヶ條から成り、廢川敷地の處分はその所在地を管轄する府縣知事がこれを行ふことゝしたものである

◇南洋日本領事會議開催

南洋方面日本領事會議は新嘉坡總領事館官邸に於て開會され、在留邦人の取締に關し討議を重ねた。右領事會議は同地に於て最初の會合であり、十三日を以て閉會となつたが、貿易の發展、公衆の利益、現在の同地財界の沈衰に關する打開策等に關し連日討議した

◇雜種財産取扱規程公布
大藏省訓令を以て雜種財産取扱規程が公布された。同規程は三十二ケ條から成り、雜種財産の管理及び處分は別に定むるものを除くの外本規程に依り稅務監督局長これを取扱ふべき旨を規定したものである

◇皇國製鋼所、職員百六十名解雇
室蘭製鋼所は社員百六十名を解雇し、解雇手當として最高四千圓、最低百圓、總額十一萬圓を支給した

◇支那大總統徐世昌辭表を提出
支那大總統徐世昌は辭表を提出し、大總統の印綬を約法によつて國務總理周自齊に手交した

◇支那王內閣成立
王士珍を首班とする新內閣は本日左の如く成立した
▽國務總理王士珍▽外交顧惠慶▽內務曹錕▽農商周自齊▽交通高恩洪▽司法王寵惠▽陸軍鮑貴卿▽教育汪庸▽財政董康▽海軍李鼎新▽秘書長惲毓鼎

◇米國政府、ヘーグ會議に不參加公表
米國政府はヘーグ會議を以てゼノア會議の延長と認めざるを得ずとの理由に基き、これに對する聯合國の參加招請に應じ難い旨本日公表した

二一 日（金）

◇山東條約批准交換
山東條約は本日北京の支那外交部に於て日支代表の間に批准交換が行はれ、型三日山東條約實施に關し官報號外を以て左の如く公表された
一、山東懸案解決に關する條約（加藤高明幣原喜重郎、顧維鈞、王龍惠の日支兩全權委員にて締結）
一、山東懸案解決に關する條約の締結につき日本國及び支那國委員が一致したる議事錄記載の了解事項（一）舊獨逸膠州租借地の還附（二）公有財産の移轉（三）日本國軍隊の撤退（四）青島海關移管（五）青島濟南府鐵道移管（六）青島濟南府鐵道の延長線の協定（七）鐵山の引渡（八）製鹽業（九）海底電信（十）無線電信局

三 日（土）

◇大阪鐵工所、爭議のため休業
大阪鐵工所櫻島工場の職工は解雇手當に對する不平のため勞働歌を高唱して工場內を練り歩き、電氣工三百名、造船部職工一千三百名は一齊に怠業したため、會社側は形勢不穩と認め全工場の休業を發表した

五 日（月）

◇五分利公債百五十萬圓發行
大藏省は五分利公債（き號）百五十萬圓を左の條件で發行することに決定した旨官報を以て告示した
▽債還期限五年据置その翌年より五十年內
▽利子起算日大正十一年四月二十日

◇東濱電鐵社債元百萬圓發行
京濱電氣鐵道會社は臨時株主總會を開き、手形借入金並に事業擴張資金に充當するため社債五百萬圓を左の條件で六日から公募することに決定した
▽發行價格九十八圓五十錢▽利率八分▽償還期限一ケ年据置爾後二ケ年間に隨時償還▽最終利廻八分六厘三毛

六 日（火）

◇高橋內閣、辭表を捧呈
內閣總理大臣高橋是清は內閣改造に失敗し時局が紛糾した以上內閣總辭職の外なしと閣僚全部の同意を求め午前十一時三十五分謁ケ閣御所に參內、攝政宮殿下に拜謁、辭表を捧呈した

◇政友會、六代議士を除名
政友會は黨則を紊し黨內の紛糾を釀したとの理由を以て黨則第十二條に依り左の六代議士を除名に決定した旨公表した
元田肇、中橋德五郎、吉植庄一郎、木下謙次郎、田邊熊一、田村順之助

◇鐘淵紡績、日本綿布を合併
鐘淵紡績會社は臨時總會を開き、日本綿布會社（資本金五十萬圓）を合併し資本金一千七百四十三萬圓を一千七百九十三萬圓に增資する件を可決した

七 日（水）

◇伏見宮博恭王殿下、內務省を御視察
海軍中將伏見宮博恭王殿下には本日午前十時內務省に成らせられ、既に辭表を捧呈した內務大臣床次竹二郎、同次官小橋一太の御案內で省內の執務振り其他を御視察遊ばされた

◇滿洲里に帝國領事館設置
外務省は支那滿洲里に帝國領事館を設置し本日開館した

◇清水回漕店の組織變更
東京日本橋小網町の同店は資本金二十萬圓全額拂込の株式會社に組織を變更、創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役辻尾定吉（專務）、豐永政吉、豐浦宗太郎、山尾敬次郎、宮地新松▽監査役木谷太四郎、藤井卯三郎

八 日（木）

◇五分利國庫債券一千萬圓發行
政府は鐵道事業費に充當するため五分利國庫債券（あ號）一千萬圓を左の條件で發行するに決定した
▽發行日大正十一年七月一日▽參面種類二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、一萬圓▽償還期限大正十七年六月一日

◇南洋諸島開港を指定
南洋諸島は總合を以て左の如く南洋の開港たるべき地及びその取扱貨物を制定公布した
▽開港　サイパン、パラオ、アンガウル、ヤルート
▽アンガウル港に於ては關稅定率法別表繪入稅法第一類貨物の輸入をなすことを得

◇茨城無盡增資二百五十萬圓に增資
同社は臨時株主總會を開き資本金を二百五十萬圓に增加する件を可決した

◇手塚南洋廳長官以下職員赴任
新南洋廳長官手塚敏郎以下職員五十名の一行は本日午前八時三十分東京驛を出發、門司より筑後丸に便乘赴任した

十一日（日）

◇加藤友三郎大將に組閣の大命降下
前海相男爵加藤友三郎は御召しにより本日午後一時三十分謁ケ閣の攝政宮御所に參內、攝政宮殿下より內閣組織の大命を拜受した

◇黎元洪、大總統に就任
黎元洪は支那大總統に就任し、國務總理には段祺瑞が推されて受諾した

十二日（月）

◇加藤友三郎內閣の成立
加藤友三郎を首班とする新內閣の顏觸は左の如く決定し、本日午後二時三十分攝政宮御座所に於て親任式を行はせられた

內閣總理大臣	男爵	加藤友三郎	
外務大臣		伯爵	內田康哉（留任）
內務大臣			水野錬太郎
大藏大臣			市來乙彥
陸軍大臣			山梨半造（留任）
海軍大臣			加藤友三郎（兼任）
司法大臣			岡野敬次郎
文部大臣			鎌田榮吉
農商務大臣			荒井賢太郎
遞信大臣		子爵	前田利定

鐵道大臣　伯爵　大木　遠吉（轉任）
内閣書記官長（鳥取縣知事）　宮田　光雄
警視總監（内務省土木局長）　堀田　貢

◇日露實業會社の社長代行決定
日露實業會社は社長市來乙彦が入閣し大藏大臣に就任したゝめ取役會を開き、社長代行として專務取締役今村久吉が統率し、當任監査役田邊熊一が監督の任に當り、當分社長は缺員のまゝとすることに決定した

◇原敬暗殺犯人中岡艮一無期懲役
原首相を暗殺した犯人大塚驛轉轍手中岡艮一（二〇）同教唆並幇助役橋本榮五郎（三六）の控訴公判は東京控訴院刑事第三號法廷に開かれ、中岡は無期懲役、橋本は無罪の判決言渡があつた

◇鮮滿視察内閣成立
王士珍に代る支那の新内閣は顧惠慶を首班とし左の如く組閣が決定した
▽總理兼外交顧惠慶▽財政薛廣圻▽海軍李鼎新▽教育黃炎培▽交通高恩洪▽内務譚延闓▽陸軍吳佩孚▽司法王子惠▽農商務張國淦

十二日　（火）

◇後藤内相歸朝、閣議を召さる
攝政宮殿下には英米訪問實業團々長團琢磨を召され、英米視察の情況について御聽取あらせられた

◇閑院宮載仁親王に小笠原長幹謁任
陸軍省參事官伯爵小笠原長幹は岡參院總裁に親任された

◇鮮滿鐵道會社に有吉忠一謁任
兵庫縣知事有吉忠一は朝鮮總督府政務總監に親任された

◇鮮滿鐵道會社の火災
鳴松市板屋町の日本樂器製造會社の舊工場から出火し工場二十棟、ピアノ二百臺、オルガン五百臺、ハーモニカ五ダースを燒失した損害約百萬圓

十五日　（木）

◇加藤首相、施政方針を聲明
總理大臣加藤友三郎は施政方針につき左の聲明を發表した
社會問題に對しては時勢の趨運に鑑み愼重の考究を遂げ適當な方策を決定せねばならぬ。又綱紀を肅正し、民心を作興し、行政及び財政整理し財界の安定を圖ると共に教育及び産業を振興し、以て一般國民の生活安定を期せんとするものである

◇加藤首相、外交方針を聲表
總理大臣加藤友三郎は帝國外交の方針として左の聲明を發表した
隣邦支那の平和統一を切望し、國際聯盟規約、華府會議諸條約及び決議の精神に基き各國と協力して列國間の親交を增進すると共に着々軍備の縮小を實現し、人類の艱苦負擔を輕減せんことを期す

◇鮮滿政務總監に有吉忠一謁任
兵庫縣知事有吉忠一は朝鮮總督府政務總監に親任された

◇臨時財經調査會の稅整調査委
臨時財政經濟調査會稅制整理特別委員會は首相官邸に最終の例會を開き地租、營業稅並に所得稅改正及び政府から諮問された直接間接兩國稅、地方稅制全般に亘る整理案の審議を完了したので、特別委員會の決定案全部を印刷に附し、七月中旬總會に附議した上政府に答申することゝなつた

◇佛國債券五千萬圓の借替發行決定
本年七月八日償還期限の佛國政府國拂國庫債券五千萬圓の借替に關し東西引受銀行團は幹事銀行たる横濱正金銀行東京支店に協議會を開き、左の條件で借替發行をなすことに決定した
▽發行價格九十八圓二十五錢▽利率六分▽新債券利廻七分八厘八毛餘▽期限一ヶ年

◇東京實業組合聯合會、脫出組合創設を協議
東京實業組合聯合會は鮫川共同販賣組合並に金融會社創設に關し協議會を開き、三十五組合の代表者參集し、副會長山崎龜吉議長席に着き左の二件を可決した
一、各組合は急速に本計畫賛成者を取纏め聯合會へ報告すること
二、七月初旬右賛成者の協議會を開き具體的協議をなすこと

◇富山ラミー會社六十萬圓の缺損
同社（資本金五百萬圓）は當期缺損金六十萬圓に達したゝめ本年五月の第二回拂込未濟者二百數十名に對し拂込を督促し、應ぜざる場合は失權處分に附する旨を通告した、株主二百餘名は協議會を開き會社側の要求を不當とし絕對に拂込をなさざる決議をした

◇箱根ホテル、富嶽ホテルを合併
株式會社箱根ホテルは創立總會を開き株式會社函嶺ホテル（資本金五萬圓）を合併し資本金五十萬圓とする件を可決した

◇支那大總統、停戰命令を發布
大總統黎元洪の名を以て全國各方面一律に戰爭を停止せよとの命令を發布した

◇ヘーグ會議開會さる
露西亞との協定を基礎とし歐洲列國の改造をなさんとするヘーグ會議は本日開會された が、英・佛・伊・白が對露協定を遂げる意向であるにも拘らず英佛の扞格甚だしく秘密會となつた。因みに獨逸の産業王スチンネスは本日の會議に列席し注目を惹いた

◇獨逸政府賠償金五千萬金馬克支拂
獨逸政府は本日支拂期限の聯合國に對する賠償月賦金五千萬金馬克の支拂ひをなした

◇英國銀行の利下
英國銀行は本年四月十三日以來四分であつた公定割引歩合を三分五厘に引下げた

十六日　（金）

◇大日本絹撚糸會の創立
全國絹撚糸業者大會は東京京橋第一生命相互館に開會、兩毛撚糸聯合會總代前原悠一郎司會者となり、座長に上毛撚糸社長島田由五郎を推し、規約を制定し、會名を大日本絹撚糸會とし、事務所を第一相互館内に置く件を決定した

◇明治貯蓄銀行、二銀行を合併增資
名古屋の明治貯蓄銀行（資本金百萬圓）は株主總會を開き丸八貯蓄（資本金三十萬圓）伊藤貯蓄（資本金二十萬圓）の兩銀行を合併し二百三十萬圓に增資する件を可決した

◇孫文、廣東市を追はる
孫文は陳炯明の統率する軍隊のため廣東市を追はれ、孫の軍隊は武裝を解除された

十八日　（日）

◇東都帝大創立二十五年記念式
京都帝國大學創立二十五年式は本日同大學内に於て擧行され、長き邊りにおかせられては久邇宮邦彦王殿下を御差遣あらせられた

十九日　（月）

◇内務省所屬國有財産取扱規程公布
内務省訓令を以て二十二ヶ條から成る内務省所管國有財産取扱規程が公布された

◇日英醫會社の重役改選
同社は臨時總會を開き、大株主杉野喜精、石山賢吉の調停案を容れ會社内部の陣容建直しに決し左の役員を選任した
▽取締役石本惠吉、作田高太郎、星野重作
菱谷久三郎▽監査役辻村楠造、根岸鉾二郎

◇英米訪問實業團、十一年會を組織

前年十月英米諸國を訪問した園琢藤（團長）以下中島久萬吉、大橋新太郎、原邦造、瀧川儀作、南條金雄、串田萬藏、馬越幸次郎、松本健次郎、藤原銀次郎、阪井徳太郎、宮島清次郎、持田巽等は東京丸ノ内工業倶樂部に參集し「十一年會」と稱する社交機關を設立し三ケ條の規約を制定した

二十日（火）

◇攝政宮、良子女王兩殿下の御結婚勅許

攝政宮殿下と久邇宮良子女王殿下の御結婚の御儀は勅許あらせられ本日正午宮內省から左の如く公表された

皇太子殿下と良子女王殿下と御結婚の儀本日勅許あらせられたり

◇大和毛織會社の創立

同社（資本金二百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役小山長壽（專務）、中原岩三郎（常務）、渡邊勝三郎、永井米藏、本間健彌、越山太刀三郎▽監査役伊東三郎、平田豐次郎山屋德三郎

◇萬圓紡績業營大會、鍋姫に於き決議

ストックホルムにおいて開催中の萬國紡績業者大會は、操業短縮實行に關し萬國の紡績業者は同一の歩調をとるべきであるが、操業時間を法規に依つて取締るは不可なりとの意見に一致し、これに關する決議案起草に關し委員を選出した

二十一日（水）

◇ヤップ島其他の日米條約可決

樞密院本會議に於てヤップ島その他赤道以北に於ける委任統治諸島に關する日米條約批准の件が可決された

◇經濟聯邦準備銀行利下

紐育聯邦準備銀行は前年二月以來四分五厘であつた公定割引歩合を四分に引下げた

二十二日（木）

◇遠府縣農會關廳補助金交附

農商務省は北海道、東京府以下四十四道府縣農會に對し大正十一年度の國庫補助金九千三百圓を交附した

◇日墨漂民保險會社の設立認可

同社（資本金一百萬圓、代表川崎肇）は設立を認可された

◇神中鐵道百萬圓に增資

同社（資本金三十萬圓）は株主總會を開き百萬圓に增資する件を可決した

◇露東外交總長伍廷芳死去

廣東外交總長伍廷芳は肺炎のため死去した享年八十一。黎元洪が第一次大總統に就任した時國務總理となり、その後、臨時政府の外交總長に任ぜられた政界の長老である

◇英國のウイルソン元帥暗殺さる

英國下院統一黨議員サー・ヘンリー・ウイルソン元帥は倫敦の自邸にてシンフェン黨員のため暗殺された。享年五十九。下院は全員一致弔意を表し休會を可決した

二十三日（金）

◇名古屋鐵道六百三十萬圓に增資

同社（資本金四百八十萬圓）は臨時株主總會を開き資本金六百三十萬圓に增加する件を可決した

二十四日（土）

◇西比利亞撤兵に關する聲明發表

帝國政府は西比利亞駐兵全部の撤退を二十三日の閣議に於て決定し、更に臨時外交調査會の諮問を經て、本日外務省から左の聲明を發表した

帝國政府は本年末迄に浩海州より全部撤兵することに決定せり。居留民の保護に就いては機宜の措置を講ずべし

◇函館水電、八雲電氣を合併

函館水力電氣會社（資本金一千二百七十五萬圓）は定期總會を開き八雲電氣會社（資本金十萬圓）を合併し、同時に一千六百十萬圓に增資する件を可決した

◇帝國棉花會社百圓十萬圓の缺損

同社は株主總會を開き營業損失九十三萬六千九百圓、商品評價損失四十一萬圓、合計百四十萬三千圓の損失補填について協議し、株主側から損失金補填に必要な程度の減資を要求し遂に紛擾を惹起するに至つたゝめ未決定のまゝ總會を終つた

◇獨逸外相ラテナウ暗殺さる

獨逸外務大臣ドクトル・オルター・ラテナウは伯林の自邸から外出せんとする刹那暗殺された。享年五十二。一九二一年改造卿として入閣し、本年一月外務卿に任命され、その著「時局批判」は社會批判の名著として喧傳された

二十五日（日）

◇東邦電氣工作所の創立

株式會社東邦電氣工作所（資本金百萬圓）は創立總會を開き本店を東京麹町區永樂町一丁目に設置する件を可決し、左の役員を選任した

▽取締役横木亮三、鵜田稔、鵜田豐▽監査役松永安左エ門

◇伊豆ホテルの創立

株式會社伊豆ホテル（資本金二十五萬圓）は創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役南川貞次郎（專務）、杉山義雄、佐藤龜次郎、土屋政治郎、江連力一郎▽監査役諸角芳三郎、松平淳平

◇青島企業信託、青島取引所を合併

同社（資本金八百萬圓）は青島の信行社に株主總會を開き、青島取引所（資本金八百萬圓）を合併し一千六百萬圓に增資する件を可決し、理事長に松井伊助を選任した

◇哈爾賓取引所の開業

支那政府は北滿に於ける日支合辦事業を承認せぬとの理由で哈爾賓取引所（資本金一千萬圓）の日本人重役を拘留し紛糾中であつたが、取引所に限り日支合辦を認めることに協定成立し同取引所は本日から開業した

二十六日（月）

◇東伏見宮依仁親王殿下薨去

海軍大將、軍事參議官東伏見宮依仁親王殿下には胸腔內の腫瘍に罹らせられ、本日午後十一時二十五分葉山の御別邸で薨去あらせられた。御年五十六。殿下は故一品伏見宮邦家親王殿下の第十七子に御在し、明治十八年兄宮小松宮彰仁親王殿下の御繼嗣となられ給ふた。二十七日特旨を以て元帥府に列せられた

◇憲政會、加藤總裁內閣打破演說會

憲政會は東京神田の青年會館に加藤總理內閣打破憲政擁護演說會を開き、鈴木梅四郎、加藤高明、頭山滿、永井柳太郎等交々起つて加藤友三郎を首班とする內閣の變態である所以を力說し憲政擁護を絶叫した

◇鳩石漁獵債三百五十萬圓發行

同社は東京丸ノ內日本工業俱樂部に總會を開き、擔保付社債三百五十萬圓を左の條件で發行する件を可決した

▽利率年八分▽償還期限二ケ年据置後三ケ年間に年二回每回五十萬圓宛抽籤償還

◇關西電氣、八社を合併、東邦電力と改稱

資本金七千百三十九萬圓の關西電氣會社は山城水力電氣（資本金五十萬圓拂込濟）、北勢電氣（資本金五百二十四萬圓內拂込三百八十六萬六千六百五十圓）、愛岐電氣興業（資本金百萬圓拂込五十八萬五千圓）、時水力（資本金二十萬圓內拂込十三萬三千三百二十五圓）、九州電燈鐵道（資本金三千四百三十一萬二千五

百圓拂込濟)、八幡水力電氣(資本金四萬五千圓內拂込濟)、尾州電氣(資本金百二十萬圓內拂込六十萬圓)名古屋瓦斯(資本金六百萬圓內拂込四百五十萬圓)の八社を合併、六千八百四十三萬一千二百圓を增資して總資本一億三千九百八十二萬一千二百圓となり東邦電力會社と改稱、左の如く重役を選任した

▽副社長松永安左エ門▽專務取締役久留島政治▽常務取締役横木亮三、竹岡勝一

◇宇治川電氣、大正水電を合併

宇治川電氣會社(資本金三千七百六十五萬圓)は臨時總會を開き神戸市の大正水力電氣會社(資本金一千萬圓)を合併し二百六十六萬六千六百五十圓增資する件を可決した

◇日米信託會社三千萬圓に減資

同社(資本金五千萬圓)は株主總會を開き三千萬圓に減資する件を可決した

◇東京市政調査會の發會式

故安田善次郎の寄附金三百五十萬圓、三井岩崎兩家の寄附金四十萬圓を以て設立された財團法人東京市政調査會は東京丸ノ內工業俱樂部において發會式を擧行した。會長以下の役員左の如し

▽會長男爵後藤新平▽副會長岡實▽理事池田宏、岡實、渡邊銕藏、松本幹一郎、前田多門、後藤新平、小林丑三郎、佐野利器▽監事安田善次郎、有賀長文▽評議員磯村豐太郎外百二十一名

なほ後藤會長は「本會は市民の幸福を增進し市民の患害を除き全國の模範市たらしむるために實際問題の調査考究を遂げ、必要な參考資料を市及び市民に供給するのが主眼である」と演說した

◇侵友伸銅所、職工一千圓名を解雇

住友伸銅所は依願解雇職工六百八十名、解雇申渡し職工五百名に對し最高七千圓、最低四百圓の解雇手當を支給したが、職工團は不滿を唱へ同伸銅所紛擾演說會を大阪中之島中央公會堂に開き賀川豐彥、西尾末廣等の演說があつた

二十七日 (火)

◇全國商業會議所聯合大會の決議

全國商業會議所聯合大會は東京商業會議所において開會、東京以下六商業會議所から提出された物價引下、產業振興に關する決議案及び京都商業會議所提出の國費節減に關する決議案を附議し、いづれも委員附託となつた

◇東京市街自動車三圓萬圓に減資

同社(資本金五百萬圓)は定時總會を開き自動車及び建物の評價切下げと四十二萬八千圓の火災損害のため三百萬圓に減資する件を可決した

二十八日 (水)

◇間島領事館襲撃さる

本日午前三時間島の頭道溝に張魁武一派の馬賊團襲來して放火掠奪を行ひ、我頭道溝分館から武器彈藥全部を掠奪し、なほ郵便局分室と支那商埠局を燒打ちしたので、間島領事館は支那側に應急處置を講ずることを嚴重に抗議すると同時に應援隊を派遣した

◇新京阪鐵道會社の創立

京阪鐵道會社の子會社たる新京阪鐵道會社(資本金二千五百萬圓)は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役岡崎邦輔(社長)、太田光熙(常務)滝邊嘉一、村井貞之助、永田仁助、井上周大野啓郁▽監査役濱崎健吉、島村安次郎、湯淺喜右衛門

二十九日 (木)

◇樞府、五國海軍制限條約を可決

本日の樞密院會議は華府會議に於て協定せる英・米・日・佛・伊五國の海軍々備、潛水

艦及び毒瓦斯使用制限に關する條約批准を審議しいづれも可決した

◇東京瓦斯電氣工業會社の缺損

同社(資本金二千萬圓)は定時總會を開き當期の缺損金十九萬八千圓に達したゝめ無配當とする件を可決した

◇日本綿毛會社百二萬八千圓の缺損

同社は東京に株主總會を開き當期缺損金百二萬八千百二十四圓を次期へ繰越す件を可決した

二十日 (金)

◇羽越北線の一部開通

國鐵羽越北線羽後本莊、象潟間十五哩六十五鎖の工事完成し、本日から運轉營業を開始した

◇郵船、綿貨積取相互競約廢棄さる

日本郵船會社と大北鐵道、大阪商船會社、市俄古ミルオウーキー鐵道との間に締結された載貨積取相互契約は、米國船舶院の干渉のため本日限り廢棄されることに決定した

◇東京古河銀行、古河銀行と改稱

東京古河銀行(頭取古河虎之助)は古河銀行と改稱した

◇勸業銀行、九銀工銀行を合併

資本金四千四百七十三萬圓の日本勸業銀行は、島根、鳥取、讃岐、兩羽、福井、富山、石川、土佐、沖繩の九農工銀行を合併、六百九十三萬四千七百五十圓を增資して資本金五千百六十六萬四千七百五十圓となつた(日不詳)

◇大分セメント、旭セメントを合併

資本金三百萬圓の大分セメント會社は旭セメント會社を合併して五十萬圓を增資し、更に三百五十萬圓を增資して總資本七百萬圓となつた(日不詳)

【七 月】

一 日 (土)

◇行政裁判所長官更迭

行政裁判所長官岡野敬次郎は司法大臣に親任されたので、評定官窪田靜太郎がその後任に親任された

◇久留米師團 滿口より撤退

支那漢口に駐屯中の久留米第十八師團の混成部隊は七月九日御用船東郷丸に便乘、撤退することゝなつた

◇全國消費同盟會の活躍

東京市神田に本部を置く全國消費同盟會は物價調節の一方法として贅澤品の非買同盟を企て、全國知名の士一萬名に賛否を求めたところ六千二百五十三名の賛成を得たので、向ふ三十日間に亘り本格的の活動をなすことゝなつた

◇米國上院海軍縮小案可決

米國上院は海軍縮小案を可決したが、議員キングは「日本が列國に率先して海軍條約に制限されない補助艦を建造してゐるのは米國にとつて脅威である」と力說した

◇米國鐵道工機組合罷業開始

待遇改善その他を要求して米國鐵道工業組合員四十萬の職工は今朝罷業に入つた

◇米國禁酒違反激減

米國禁酒違反は、ウイスキーの激減高七百萬ガロンで前年度より約三百萬ガロン減少、他の酒類及びアルコールの激減高は前年度の二千四百八十五萬六千三百八十八ガロンに比して約一千七百萬ガロンの減少である

◇米國炭坑罷業に大統領警告

罷業繼續中の米國炭坑主と炭坑夫の代表者に對し、大統領ハーヂングは遠かに解決せざれば政府は干渉すると警告した

一一 日 (日)

◇北京政府、聯省自治を確認
北京政府は過般來國内統一問題に就て湖南四川、雲南、廣東方面と意見交換中であつたが、地方自治を承認することに決定、大總統黎元洪は國會の正式開會を待つて憲法に規定すると聲明した

◇英國、歐洲の陸軍縮小を提議
英國軍縮委員イーシャー卿は、國際聯盟軍備制限委員會に歐洲各國陸軍縮小案を提出した。同案は佛國陸軍十八萬、波蘭、伊太利十二萬、英國、ギリシヤ、ルーマニア、ユーゴー・スラヴィア、西班牙、チエコ・スロヴアキア九萬、ベルギー、スイスを六萬に縮小し、ゼノアに聯合國參謀本部を設置し、歐洲領海外の作戰計畫を掌るものである

◇米國海軍團の一行橫濱入港
東洋漫遊中の米國海軍卿エドウイン・デンビー夫妻外五十九名は米國汽船ヘンダーソン號に便乘、本日橫濱に入港した

三　日（月）

◇東伏見宮御薨去・謹悼御出さる
故元帥海軍大將東伏見宮依仁親王殿下の御葬儀は豐島丘に於て嚴かに行はれた。なほ、葬儀宮殿下には謹悼御出され、御哀悼の意を表せられた

◇橫濱商業銀行の仆れ
橫濱市辨天通りの同行（資本金二十五萬圓）は財界不況の影響を受け營業不振に陷り、本日より六日間帳簿整理のため休業する旨發表した

◇東三省總兵官罷免決定
北京政府は東三省巡兵官張作霖を、同會辨に孫烈臣、吳俊陞を任命した

四　日（火）

◇陸軍の整理方針發表
第四十五議會に於ける衆議院の建議案即ち「在營年限一年四ケ月、經費四千萬圓の節約」に對し、陸軍當局はこの建議を尊重し種々具體案を考究中であつたが、本日その方針を發表した。その要點は現有勢力より下士以下約五萬六千人、馬匹約一萬頭を減ずるものであるが、政友會は、これに對し陸軍當局は誠意なしと不滿を表明した

◇鳥子前へ軍隊急派要請
三百餘名の馬賊襲來し支那局子街及び龍井村の在留邦人に危險が迫つたので龍井村總領事は、邦人保護のため軍隊出動方を朝鮮軍司令官に要請した

◇實業家賀田金三郎死去
前年來肺患に罹り療養中のところ遂に死去した。享年六十六。贈位を設け土葬橫行當時の臺灣にあつて國庫金の輸送に努力し、現に朝鮮電氣興業會社々長の職にあつた。危篤の趣天聽に達するや特旨を以て從六位に叙せられた

五　日（水）

◇東京市經濟公債一千五百萬圓發行
東京市參事會は、水道擴張工事費に充當するため日本興業、第一、十五、三井、三菱、第三の各銀行引受の下に左の條件で一千五百萬圓の短期公債を發行することに決定した
▽利率六分（利廻七分五厘八毛）▽發行價格九十七圓二十五錢▽發行期日大正十一年八月一日▽償還期大正十三年八月一日

◇借遣露銀行六十五萬圓に減資
福島縣の同行は臨時株主總會を開き資本金百萬圓を六十五萬圓に減資と決定した

六　日（木）

◇攝政宮殿下、北海道へ御出發
攝政宮殿下には、北海道の教育、拓殖、社會事業等を御視察のため午前八時十分上野驛を御出發遊ばされた

◇李鍝公殿下御東上
李鍝公殿下には學習院初等科に御入學のため御東上と決定した

◇支那、日本の出兵中止を要求
支那政府は間島の馬賊問題に關し、吉林第一混成旅團、第五混成旅團等を間島地方に出兵するに決した故、日本軍は出兵を中止されたしと堺總領事に通達してきた

七　日（金）

◇泉棉花會社の創立
株式會社日比谷商店棉花部及び西松商事會社（資本金三百萬圓）の事業一切を繼承し資本金百萬圓を以て設立された泉棉花會社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長日比谷任次郎▽常務取締役日比谷結藏、日比谷平吉、江波利三郎▽取締役西松友吉、上松悅郎、淺田稠松▽監査役十河善貞、島田宏

◇中央生命保險會社々長更迭
同社（資本金五十萬圓）は臨時評議員會を開き、社長前田利定が遞相に就任のため後任に前田利功を選任した

◇日本石油の財界不況對策
日本石油會社（資本金八千萬圓）は財界不況に鑑み經費節減のため六百五十名の社員中六十名を減首し、重役を始め殘留社員全部七月以降の給料、手當等を一割宛減ずることに決定した

◇鬼怒川改修工事遠慮の陳情
栃木縣選出代議士高田耘平、石川玄三、植竹龍三郎、田村順之助、松岡俊三等は鬼怒川改修工事速成に關する同縣治水調査會の決議を齎し、水野內相、川村次官、長谷川土木局長を歷訪して陳情した

◇最野縣下の大暴風雨
同縣下伊那郡に大暴風雨襲來し、材木伐出中の人夫百餘名は行方不明となつた

八　日（土）

◇實業會、陸軍の整理案に反對
實業會は陸軍縮小案に關し、本部に武富、河野、濱口、江木、安達外數名が參集し協議したが、今回の陸軍當局發表の整理案は衆議院一致を以て可決された建議とは相當距離があり、寧としては飽くまで院議を尊重して建議同樣の軍縮斷行に努力すべしと決議した

◇日本、委任統治領の報告を提出
日本は國際聯盟委任統治委員會に對し、赤道以北の前獨領太平洋諸島民地の行政に就ての第二回の報告を提出した。右報告は受任國が作製提出した最初のものである

◇綿糸布聯合會の營業稅全廢運動
日本綿糸布聯合會は本部に委員總會を開き現行營業稅は行爲的課稅であつて而もその課稅率は公平を缺いてゐるから、今回の稅制整理に際して是非共營業稅を全廢されたしとの陳情書を作成し、各方面に極力運動することを申合せた

◇獨逸、賠償金支拂不能を通告
獨逸政府は七月十五日期限の賠償金支拂は現在の狀態では不可能であると聯合國賠償委員會に通達した

九　日（日）

◇鴎外、森林太郎博士死去
病氣中のところ本日死去した。享年六十三。氏は萬延元年一月島根縣に生れ、明治十四年東京醫科大學を卒業、陸軍に入り獨逸に留學陸軍々醫總監に昇進し、多年醫務局長の職にあつた。鴎外と號し、文藝上の著書も夥からず、この方面にも多大の功績がある

十　日（月）

◇我海軍唯一の航空船爆發
午前十一時五十五分橫須賀航空隊航空船格

納庫より發火、航空船は一大爆音と共に爆發友艦に歸した。死傷者は無かつたが、右航空船は　東宮殿下の台覽に供し、東京市上空にも屢々飛來したもので、このため我國に航空船は皆無となつた

十一日（火）

◇朝鮮の大豆及び米穀檢査規則改正
朝鮮の大豆檢査規則及び米穀檢査規則改正令は本日の官報を以て公布、卽日施行された

◇關西銀行員の總辭職騷ぎ
同行（資本金五百萬圓）の大學、專門學校出身行員十二名は、突然連袂辭表を提出して行內に動搖を來した。原因は同行は從來給仕上りの行員のみを採用してゐたが、納富陳平が常務取締役就任と共に學校出身者を採用したところ、給仕上りの石田支配人は兎角學校出身者との間に圓滿を缺き、遂に學校出は厭目であると放言したので、學校出身の中堅行員は憤然として連袂辭職を決行するに至つたものである

十二日（水）

◇帝室林野局長官決定
缺員中の帝室林野局長官に約二年半振りで九州帝國大學教授、農學部長　本田幸介が任命された

◇東支鐵道運賃改正
東支鐵道運賃改正に關し、ハルビン總務商會を始め主なる支那商團體は聯合協議會を開き、王督辦に對し、大要左の如き意見書を提出した
今回の改正運賃率は甚だ不公平にして現浦鹽ハルビン間及び浦鹽安達間の距離に於て百十露里の差あるに拘らず之を同額の運賃とせる結果、從來當地に集散せる松花江以北の特產物の大部分は何れも當地を素通りし、浦鹽に向け輸送されつゝあり。財界不況の今日もし現狀の儘にせんか、當地一般商人は悉く破產に瀕すべし。我等は絕對に斯の如き不公平なる運賃を承認せず

◇米國鐵道優業、三千哩運轉中止
米國鐵道工場職工の罷業のためウアバッシュ鐵道會社は遂に三千哩の運轉を中止した

◇ヘーグ會議解散に決定
ヘーグ會議は露國代表との間に協定成立の見込み立たず解散と決定した

◇米國大統領、鐵道罷業者に布告を發す
鐵道罷業者が、郵便列車の運轉を防害するとの報道が頻々とあるので、大統領ハーデングは布告を發し、交通及び郵便運搬事務を防害することなく、法律を支持して生命財產に必要缺くべからざる行動を容易ならしむるための協力を求めた

十三日（木）

◇朝鮮戶口調査規程の公布
同規程は本日の官報を以て公布、卽日施行された

◇華盛頓會議の日米條約公布
樞密院の諮詢を經たヤップ島及び赤道以北の太平洋委任統治諸島に關する日米條約批准の件及び附屬公文書は本日の官報號外を以て公布された

◇關東廳長官、廳長會議
支那國務總理顧惠慶は閣員間に意見の衝突あるを理由として、黎總統の下に辭表を提出した

◇英國銀行の利下
同行は公定割引步合を三分五厘から三分に引下げた

十四日（金）

◇外務省、樺太對岸撤兵を公表
外務省は樺太對岸の日本軍撤兵に關し左の公表をなした

帝國政府はこの際露哈嗹州內に於ける占領地域を縮小するを適當と認め、本年九月までに樺太島の對岸地方より全部撤兵することに決定せり。北部樺太の占領は尼港虐殺事件の解決を俟つてこれを解除すべし

◇愛知電鐵社債二百萬圓發行
同社（資本金五百萬圓）は臨時株主總會を開き、大阪帝國證券引受の下に左記條件で社債二百萬圓發行を決定した
▽利率年八分▽發行價格九十八圓▽償還期限一ヶ年据置後二ヶ年抽籤償還

◇帝國紡織會社百八十萬圓に減資
同社は臨時株主總會を開き營業不振のため資本金三百萬圓を百八十萬圓に減資するに決定した

◇關連事件に關し大總統令發布
支那政府は大總統令を以て、曙案事件未だ十分解決せざるに、又もや頭道溝に馬賊蜂起して日本領事館を燒き館員數名を傷つけた事件が發生したことは、眞に遺憾であり、今後は特に努力して斯かる不逞の徒を討伐し、外人の生命財產を保護す可き旨布告した

◇米國、有害瓦斯製造を禁止
米國陸軍省は戰爭用有害瓦斯に關するワシントン條約に基き有害瓦斯の製造を禁止する調令を發した

十五日（土）

◇五分利國庫債券八百七十餘萬圓發行
政府は臺灣事業公債（五分利國庫債券あ號）三百七十二萬六百二十五圓、樺太事業公債（同き號）五百萬圓、合計八百七十二萬六百二十五圓を左の條件で發行した
臺灣事業公債▽發行價格九十三圓▽償還期限大正十七年六月一日迄▽利拂期三月、六月、九月、十二月
樺太事業公債▽發行價格九十五圓五十錢▽償還期限大正十四年九月一日▽利拂期三月、六月、九月、十二月

◇青島取引所の日支共同經營決定
青島取引所と合業信託會社との合併は先般開社の株主總會で可決され、軍政當局は支那人の交易所設立を考慮して合併許可を躊躇してゐたが本日許可を與へた。尙附帶條件として支那人の舊物產仲買人は四百萬圓の委任會社を設立すれば、これを現在の取引所に合併せしめることゝしたが、財界不況の際その成立は困難視される

十七日（月）

◇富豪擁護大會の內閣倒壞決議
野黨の憲政擁護大會は午後二時より東京市芝公園で開催された。會衆は約八千、憲政會の小泉、橫山（勝太郎）、降旗、三木、鎌母木等が貴族院內閣攻擊の熱辯を振ひ、左の決議をなした
吾人は憲政の本義に照し國家の實勢を慮り現內閣の存立を認めず、奮つて之が倒壞を期す

◇曼陀羅糸組合の操短
長野縣生糸同業組合聯合會は、橫濱より交渉のあつた生糸操短問題（現在の一日十三時間操業を九時間に短縮する案）に就て協議し右操短は全國同一步調をとらねばならぬといふ建前から全國的に協定すれば異議なしと橫濱へ回答した

◇重要輸出組合の操短
青連硝粉同業會は八月分の生產制限率に就いて委員會を開き、七月と同樣六割五分操短と決定した

◇滿運賃數滯運動起る
戰後財界不況のため莫大の打擊を受けた本邦海運業者は、經費の節約及び航路の整理等種々對策を講じてゐたが、本日山下、內田、

静田、國際、帝國、太洋、海運を始め阪神間の重なる社外船主五十二名は神戸海運倶樂部に會合、左の決議をなした

戰後財界の惡化、年一年惡增し、落潮今やその止まる處を知らず。我が海運界の打撃最も甚だし。而も未だ何等の對策あるを見ず。斯の如くんば大戰を機として占め得たる世界海運國の第三位を放擲せざるべからざるは勿論、遂には衰滅の悲境に沈淪するの外なからん。玆に吾人日本船主協會々員は本會定款第十二條（本會は會員相互に協力して本邦海運業の發達を圖るを目的とす）の明文に從ひ相當の處置を採られんことを切望す

◇日本亞鉛會社の解散

今井五介を取締役會長とする日本亞鉛會社（資本金百萬圓）は臨時株主總會を開き不況のため解散と決定した

◇廣東に戒嚴令布告

孫文、陳炯明の兩派對峙のため物情騷然たる廣東市に對し、同市地司令葉擧は戒嚴令を布告した

十八日（火）

◇湯川住友理事引責辭職

住友銀行常務取締役理事湯川寬吉は、石井定七商店不渡事件に關する同行員の不正事件の責を負うて役員を辭任した

◇獨逸共和議會選擧

獨逸の共和擁護案は、三百三票對百二票の絶對多數を以て獨逸議會を通過した

◇米大統領、炭坑作業命令を發す

大統領ハーヂングは、罷業のため停止中の全米炭坑の坑主に打電し速刻作業を開始すべしと命じた。なほ大統領は、若し州軍隊だけで不足の場合は聯邦軍隊をも出動せしめるとの意向を洩した

十九日（水）

◇米國勞働組合の罷業援助指令

米國勞働組合幹部會は全國各種勞働者に對し、機道工場破工の罷業を援助し鐵道關係以外の勞働者と雖も罷業を決行して最後の目的を達成せよと飛檄した

二十日（木）

◇獨政官廳下、王子製紙工場を御巡覽

北海道の産業、敎育等を御視察中の摂政宮殿下は、王子製紙會社の苫小牧工場に成らせられ、工場内を御巡覽遊ばされた

◇五分利國庫債券八千八百五十萬圓借替

日本銀行に東西シンヂケート銀行代表者、井上日銀總裁、市來藏相等參集、借替公債八千八百五十萬圓は左記條件で發行と決定した

▽發行價格現金應募九十三圓二十五錢、乘替應募九十二圓七十五錢▽償還期限大正十六年十二月一日▽利廻現金應募六分七厘餘乘換應募六分九厘餘

◇鴻飛電氣社債七十五萬圓發行

同社（資本金三百萬圓）は臨時株主總會を開き、社債七十五萬圓を神田銀行引受の下に左記條件で應募と決定した

▽利率年九分▽發行價格額面▽償還期限一ケ年据置後六ケ年償還

◇鐵父電鐵會社十三萬三千圓に減資

同社は臨時株主總會を開き資本金三十八萬圓を十三萬三千圓に減資と決定した

◇內國商業銀行支拂停止

東京市日本橋區の同行（資本金五萬圓）は整理のため一週間の支拂停止を發表した

◇米國鐵道罷業の鋼停失敗

米國鐵道勞働局は鐵道罷業に對して鋼停に乘出したが失敗に歸し、解決の望みなしと公表した

◇愛蘭自由軍、叛徒と會戰

愛蘭自由軍と叛徒との間にリメリック、ゼーターフオー間七十哩に亙つて激戰行はれ、戰死者二十名、負傷者四十名を出した

◇露國政府、私立銀行創立を許可す

露國政府は私立興業銀行創立案を可決した右は主としてトルキスタン地方の棉花栽培に對する金融機關として設立されるもので、その資本は露獨兩國の製造業者が支出するものである

二十二日（土）

◇大阪市債九百四十四萬圓發行

大阪市は都市計畫費、築港費等支辨のため山口、第三、三十四、近江、加島、藤田、十五の諸銀行引受の下に左の條件で市債九百四十四萬圓を發行と決定した

▽利率年八分▽發行價格額面▽償還期限一ケ年据置後大正十七年三月三十一日迄に償還▽利子支拂期三月、九月

◇北海道拓殖債券三百萬圓發行

同行（資本金一千萬圓）は株主總會に於て左の條件で債券三百萬圓發行の件を可決した

▽利率年八分▽發行價格額面▽償還期限三ケ年

◇綿紡、失業者救濟に三十萬圓支出

倉洞紡績會社は定時株主總會を開き、失業者救濟のため繰越金から三十萬圓を支出する件を可決した

◇英國、在支郵便局を閉鎖

英國政府はワシントン會議の決議に基き本年限り無條件で在支郵便局を撤廢するに決し本日上海英國郵便局長はその旨布告した

◇高峰讓吉博士死去

世界的に名聲を博した高峰讓吉博士は病氣のため紐育市ドクトル・アイ・アインホルンの病院で客死した。享年六十九。長州の藩醫高峰精一の長男に生れ、十六歳で長崎に留學、明治十二年工部大學校を卒業、型十三年英國に留學を命ぜられ、グラスゴー大學及びアンダソニアン大學に於て應用化學を研究、同十六年歸朝、同二十三年渡米して高峰研究所を設立し、一時歸朝したが、再渡米して醸造法を大成したもので、ジヤスターゼの創製者である

二十三日（日）

◇露米共同販賣所を設置

本邦の製麻事業は財界反動以來、相場暴落取引萎縮の惡材料により聲振不振に陷らんとしつゝあるに鑑み、帝國製麻、日本製麻、日本麻糸の三社は、販賣方法改善の具體案として東京市京橋區第一相互館内に麻糸共同販賣所を設置することになつた

◇論旨て鄙船の仲仕盟休

日本郵船會社函館支店專屬仲仕百三十餘名は賃銀二割五分の値上を會社側に要求したが拒絶されたため同盟罷業を決行した

◇野田醬油會社職工の大罷業

會社側に對し待遇改善その他の要求を提出してゐた野田醬油會社職工一千五百名は、一齊に罷業を決行した

二十五日（火）

◇攝政宮殿下、北海道より還啓

北海道を御觀察中の摂政宮殿下には本日東京に還啓あらせられた

◇國鐵急行電鐵從業員の罷業

會社側に對し待遇改善の要求を提出中の阪神急行電鐵會社（資本金二千四百萬圓）從業員三百四十名は罷業を開始した

◇有島武郎、所有農場を無償提供

有島武郎は北海道の所有農場四百町歩を全部無償で小作人に提供し、全道の地主を驚愕せしめた

二十六日（水）

◇東京電燈、日本水力電氣を合併
東電（資本金二億一千九百七十五萬圓）は臨時株主總會を開き、左記條件により日本水力電氣會社（資本金二百二十五萬圓）を合併して二百二十五萬圓增資する件を決定した
合併による增加株式は合併期日に於ける日本水電株主に對し、日本水電の額面五十圓拂込の株式十株に付東電の五十圓拂込の株式九株の割合を以て交付し、合併期日は十月一日とす

◇長岡商業銀行、長岡信託會社を買收
同行（資本金百萬圓）は臨時株主總會を開き、長岡信託會社（資本金二十萬圓）を七月三十一日現在の資產狀態で買收する件を可決した

◇日本綿花、帝國紡績の證券を申請
大阪市の日本綿花會社（資本金五千萬圓）代表實多又藏は愛知縣の帝國紡績會社（資本金百萬圓）代表者和田保太郎を相手取り、名古屋地方裁判所へ硫產の申請をなした。理由は日本綿花が帝紡振出しの爲替手形十二通（額面內萬二千五百圓）の支拂を求め拒絕されたためである

◇山陽ホテル全燒す
午前零時半、竣築中の鐵道省經營下關山陽ホテル新館二階より出火、瞬く間に新館を燒き盡して本館に延燒、約八百坪の同ホテルを全燒して燼火した。死傷者は無く、原因は漏電。損害約百萬圓

◇米國鐵道職業、日本鋼鐵事に罷論
罷業中の米國鐵道工場勞働者代表は日本總領事に對し、加州ベイカースヘイルドに於ける日本勞働者が罷業破りの仲間とならざるよう要請した

二十七日（木）

◇鐵道會議新官制公布さる
鐵道敷設法に伴ふ鐵道會議新官制は本日勅令を以て公布、即日施行され、同時に鐵道會議規則は廢止された

◇米國炭坑罷業暴化す
米國オクラホマ・テキサス及びアーカンサス諸州に於ける炭坑の機關手、排水夫、火夫等が總同盟罷業を宣言し、炭坑罷業の形勢は益々重大となつた

◇米國、英國に石炭註文
米國は英國に對し本年九月中旬受取の約束で七十萬噸の石炭を註文し、米國船舶局は繫船中の貨物船中二十五隻を選び、石炭輸送船として使用することになつた

◇米國、在支那便局を廢止
米國政府はワシントン會議の決議に基き在支那便局撤廢の準備として、本日以後上海米國郵便局宛以外の郵便物は受理せずと上海米國郵便局長の名で告示した

◇愛蘭政治犯人百餘名釋放
愛蘭ダンダルク監獄に收監されてゐた政治犯人百五名は、同志が監獄の外壁を地雷を以て爆破したので續々逃走した。この破獄事件に續いてダンダルク市內に正規軍と叛徒との間に市街戰が再發した

二十八日（金）

◇亞港在留民の警兵增加請願
亞港在留民は町民大會を開き、左の決議をなし政府當局に電請した
吾人は薩哈嗹州の現狀と我國の國狀に鑑み北樺太に現數以上の駐兵を緊要と認む

◇神奈川牧炭會社と東京瓦斯提携
神奈川牧炭會社（資本金百五十萬圓）は東京瓦斯會社（資本金四千五百萬圓）と瓦斯供給方に付交涉中であつたが、左の條件で契約を締結した
▽供給量一日平均二百三十五萬立方呎▽一千立方呎一圓五十錢の割▽供給開始時期本年末▽契約期間十ヶ年

◇東京瓦斯會社々長決定
同社（資本金四千五百萬圓）は定時株主總會を開き、取締役全員任期滿了のため後任を互選し、社長に小池國三、常務に杉浦宗三郎、松方乙彥が就任と決定した

◇丸の內銀行四百五十萬圓に增資
東京の同行（元農工貯蓄銀行）は臨時株主總會を開き資本金百萬圓を四百五十萬圓に增加と決定した

◇支那河南省の兵變
河南省の東方馬牧集に兵變勃發し、これに土匪約五千名が加り、勢ひ猛烈を極めたので河南督軍馮玉祥は第十一師の主力を率いて討伐に向つた

二十九日（土）

◇儀式官殿下、京都へ行啓
摂政宮殿下には明三十日明治天皇十年式年祭山陵の儀御親修のため、午前六時四十五分東京驛より御發車、京都に向はせられた

三十日（日）

◇明治天皇十年式御儀典執行
明治天皇十年式年祭は、宮中皇靈殿及び伏見桃山御陵に於て、嚴かなる御祭典を行はせられた

三十一日（月）

◇取引所改正令の公布
取引所法に附隨する取引令及び取引所法施行規則は本日の官報で公布、九月一日施行

◇王寵惠、代理國務總理となる
支那大總統は、王寵惠を代理國務總理に任命した

【八　月】

一日（火）

◇農會法實施令公布さる
同令は本日の官報を以て公布、即日施行
一月一日より實施

◇南洋諸島磁稅令の公布
同令は本日の官報を以て公布、即日施行された

◇名古屋市債二百五十萬圓發行
同市は電鐵市營のため養に市債六百萬圓の發行を決定、そのうち三百五十萬圓は既に發行濟であるが、殘額二百五十萬圓を神田銀行引受の下に左の條件で發行と決定した
▽利率年七分▽發行價格九十七圓▽償還期限一ヶ年据置後三ヶ年償還

◇名古屋電鐵の引繼決了
名古屋電鐵は名古屋市營となり、川崎名古屋市長は富田名鐵社長と授受證書を交換、引繼事務を完了した

◇日本經濟聯盟會組織さる
全國各地實業團體統一に關する經濟機關設置問題は漸く進涉し、本日午後二時より東京銀行集會所に於て創立總會を開いた。東京、大阪、神戸、横濱、名古屋、京都等六大都市の實業家代表五十餘名參集し、會名を日本經濟聯盟會と決定、役員の選擧を行ひ、常務理事十二名、理事四十名、評議員五十名を選任したが、常務理事は左の如くである
▽東京　和田豐治、藤山雷太、鄉誠之助、串田萬蔵、團琢磨、大橋新太郎、井上準之助、池田謙三▽大阪　湯川寛吉、菊池恭三　堀啓次郎▽横濱　原富太郎

◇鐘川鐵行六十萬圓に增資
群馬縣の同行は臨時株主總會を開き、資本金二十四萬圓を六十萬圓に增資と決定した

◇武昌に戒嚴令布告
支那湖南省長問題に關し、武昌及び漢口に不穩の民衆運動が勃發したため湖北督軍蕭耀

南は武昌に戒嚴令を布告した

◇伊國新內閣の閣員決定

伊國新內閣は、左の顏觸で組織された。首相ファクタ、外相シャンツエル、植民相アメンドーラ、藏相ベルトーネ、海相デヴイト、文相アニーレ、土木相リッチオ、農相ベルチニ、商工務相ロッシ、勞働相スパルバ、遞相フルチ、新領土相ルチアニ、內相ダッデイ、法相アレッショ、陸相ソレーリ

二一日（水）

◇電話說明者ベル死去

電話の發明者として有名なバラハム・ベルは本日病死した。享年七十五

二二日（木）

◇丸入貯蓄銀行資本金に增資

同行は臨時株主總會を開き、資本金三十萬圓を百萬圓に增資と決定した

五日（土）

◇パルプ工業の不況對策決定

製紙原料パルプ工業の不振を救濟するため王子、富士、樺太工業、鳴綠江製紙の四社は協議の結果、生產條件の不利な工場の操業を全部中止することを申合せた

◇機工から賃銀値下要求

福井縣絹業の不振は益々惡化し破產者續出するに至り、同縣大野郡大野町の機業地職工を以て組織してゐる機友會員四十名は資本家側に同情し、工賃一割乃至一割五分の引下方を工場主に要求した。職工側からの工賃引下要求は絹業界最初のことで注目を惹いた

六日（日）

◇支那內閣總倒內閣成立

支那の新內閣は左の顏觸で組織された

國務總理唐紹儀、外交總長顧惟鈞、內務總長張耀曾、陸軍總長蔡紹會、財政總長高凌霨、司法總長徐代理總理王寵惠、教育總長張國淦、農商總長盧信、交通總長高恩洪

七日（月）

◇高松宮殿下、海軍工廠を御巡覽

高松宮宣仁親王殿下は、東京築地の海軍兵廠（御成遊ばされ、御熱心に廠內を御巡覽遊ばされた

◇聯合五大國の倫敦會議開會

聯合五大國（日本・英國・佛國・白耳義・伊太利）會議は倫敦の英國首相官邸に開催され、獨逸賠償金支拂延期問題等を討議した

八日（火）

◇割引興業債券一千五百萬圓發行

日本興業銀行は左の條件により興業債券一千五百萬圓を發行することゝなつた。大正九年同行が割引發行の特權を得て以來最初の割引興業債券である

▽割引日步二錢▽發行價格九十二圓七十錢▽償還期限一ヶ年▽券面一千圓、五千圓、一萬圓、五萬圓

◇阿片事件の判決言渡し

阿片事件及び大連取引所事件の判決は旅順高等法院に於て左の如く言渡された

▽阿片事件關係

懲役一年四ヶ月中野有光、同一年小畠貞次郎、同一年梶井盛、無罪古賀廉造

▽大連取引所關係

懲役六ヶ月（三年間執行猶豫）古賀廉造、無罪森上卯平

▽附帶私訴

左の三名 連帶責任にて十四萬三百三十八圓二十錢賠償すべし、中野有光、小畠貞次郎、梶井盛

九日（水）

◇金屬材料研究所官制の公布

東北帝國大學理學部の鐵鋼研究所を擴張して設立される金屬材料研究所の官制は本日の官報を以て公布された

◇大日本實業聯合會の金融出張調査團

大日本實業聯合會は委員會を開き武藤委員長を始め、福本、庄司、兒玉、八木、莞木、竹內、中村の各委員出席、金輸出解禁を政府に建議する件を決議した

◇日本鐵道建設會社一千五百萬圓に增資

同社は臨時株主總會を開き、資本金一千萬圓を一千五百萬圓に增資と決定した

◇旭石油會社、帝國石油を合併

旭石油會社（資本金六百萬圓）は臨時株主總會を開き帝國石油會社（資本金七百二十萬圓、內拂込三百六十萬圓）を合併し九百六十萬圓に增資する件を決定した

◇淺野セメント、二社を合併

同社（資本金五百萬圓）は臨時株主總會を開き名古屋セメント（資本金二百萬圓）及び佐賀セメント（資本金五十萬圓）の兩社を合併し七百五十萬圓に增資する件を可決した

◇露艾、上海に亡命す

支那廣東港外に碇泊中の軍艦永豐にあつて形勢を觀望してゐた孫文は、自派の軍隊が陳炯明軍のために破られ身邊の危險を感じたので、英國軍艦に搭乘して上海に亡命した

◇米國、砂糖關稅引上げ

米國上院は砂糖輸入稅一割五分引上を可決し砂糖關稅は玖瑪糖一・八四弗（舊一・六〇弗）外國精二・三〇弗（舊二・〇〇弗）となつた

十日（木）

◇揚川製紙百萬圓に增資

靜岡縣の同行は臨時株主總會を開き資本金四十五萬圓を百萬圓に增資と決定した

十二日（土）

◇軍艦のため三艦臨時解隊

軍縮斷行のため鴻の臺野戰砲兵第十四、十五、十六各聯隊は解隊式を擧行した

◇第一銀社債二千萬圓發行

第十六回南滿洲鐵道會社々債二千萬圓は シンヂケート銀行團に於て左の條件で引受と決定した

▽利率年七分▽發行價格九十六圓五十錢▽期限三ヶ年▽利廻八分四厘六毛

◇實業家木村長七死去

本日病死した。享年七十一。嘉永五年五月木村十兵衞の四男として京都に生れ、十二歳の時小野組糸店に入り明治二年同組の東京支店長に拔擢され、爾來生糸の輸出取引に先鞭をつけ、後繼業に轉じ、銅山王古河市兵衞を扶けて、よく鑛業の開發に貢獻した先覺者である

十四日（月）

◇國際聯盟帝國代表決定

ジュネーブの國際聯盟總會第三回會議に出席する帝國代表は左の如く任命された

特命全權大使 男爵 林 權助

同 子爵 石井菊次郎

同 安達峰一郎

◇東京紫織商品取引所新定款可決

同所は臨時株主總會を開き取引所法改定に伴ふ定款改正の件を滿場一致可決した

◇三井得右衞門死去

本日病死した。享年五十二。明治四年十月三井元之助の弟として京都に生れ、幼名を守之助と稱し、一族三越則兵衞の家督を繼ぎ三越姓を名乘つたが明治二十六年三井姓に復歸して越後屋呉服店の經營に全力を注ぎ、今日の三越王國を建設した。鐘紡創設者の一人である

十五日（火）

◇浦鹽派遣軍、撤退を聲明

日本浦鹽派遣軍司令官は本日左の如く聲明

した
日本軍は八月二十六日撤兵行動を開始す。
日本軍の撤兵行動を防害するもの及び制限違反者に對しては斷乎たる措置を執るべし
◇川崎造船所社債一千萬圓發行
同社（資本金九千萬圓）は臨時株主總會を開き左の條件で社債一千萬圓發行の件を可決した
▽利率年七分五厘▽發行價格九十六圓五十錢▽償還期限一ヶ年據置後四ヶ年償還
◇國營鐵道會社の創立
同社（資本金六百萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長指田義雄▽取締役根津嘉一郎、大川平三郎、靖井恒平、綾部利右衞門、山崎覺太郎、永田保之助、佐藤秀松、脇田貞三▽監査役柿原定吉、山崎嘉七、探口慶三郎
◇淺野貯蓄夜銀行、日本貯蓄夜銀行と改稱
同行（資本金一千萬圓）は臨時株主總會を開き營業權を安田家に讓渡し、日本貯蓄夜銀行と改稱する件を可決、顧取に安田善四郎、專務に安田保善社調査部長齋藤恂が就任した
◇詔勅、宣言を發表
上海に亡命した孫文は、本日大要左の如き宣言を發表した
護法を擧直する北軍の諸氏と提携して統一を圖らんとせしも廣東事變のため意を果さず。廣東事變は余の不德の致すところであるが、こゝに至つては國會を解散して辭職するの途なし。陳炯明は國賊である。余は民國のため飽迄奮斗すべく、余の主義に贊成するものと提携せん
十七日（木）
◇日清製粉四百六十八萬圓に增資
同社は臨時株主總會を開き資本金四百五十萬圓を四百六十八萬圓に增資と決定した
十九日（土）
◇農商務省の物價引下令
農商務省は各地方長官に對して物價引下の訓令を發した
二十一日（月）
◇五分利公債二十六萬七千六百圓發行
五分利公債（き號）二十六萬七千六百圓は左の條件で發行と決定した
▽償還期限五ヶ年據置後五十年以內▽利子支拂三月、六月、九月、十二月
◇鐵道同盟大會の決議
全國鐵道同盟大會は鐵道協會に開催され、出席者百餘名、左の決議をなした
政府當局が財政緊縮方針の下に鐵道豫算を律せんとするは謬見の甚だしきものなりと認む。鐵道普及に對し政府は宜しく積極政策を樹立すべし
◇北海道拓殖銀行臨時總會決定
同行は臨時株主總會を開き定款を變更して副頭取を置く件を決定し、取締役會互選の結果副頭取に豐川三四郎が就任した
二十二日（火）
◇三越吳服店常務取締役の異動
同店の常務取締役藤田一松は後進に途を開くため辭任したので、取締役會の互選により取締役營業部長濱田四郎が常務取締役に就任と決定した
二十五日（金）
◇第百一銀行、靜川信託を合併
鳥取縣の同行（資本金五十萬圓）は臨時株主總會を開き同縣の梁川信託會社（資本金五萬圓）を合併する件を可決した
◇浦鹽訓政府の動員令
浦鹽訓政府は日本軍撤退後沿海州治安維持のため、本日午後動員令を布告した
二十六日（土）

◇軍艦新高カムチヤツカで沈沒す
カムチヤツカ方面警備中の軍艦新高は本日早朝オゼルナヤ附近に於て大暴風のため遭難沈沒した。同艦は明治三十五年十一月吳軍港に於て進水した排水量三千四百二十噸、速力二十節の二等巡洋艦で、乘組員は艦長大佐古賀琢一以下三百名である
◇視濱漁業會社の解散
同社（資本金二百二十萬六千五百圓）は臨時株主總會を開き業績不振のため解散と決定した
二十七日（日）
◇鄕山電氣社債百五十萬圓發行
同社（資本金一千六百二十萬圓）は臨時株主總會を開き郡山平間の送配電線の建設費に充當するため左の條件で社債百五十萬圓發行の件を可決した
▽利率九分▽發行價格額面▽償還期限一ヶ年據置後二ヶ年內
二十八日（月）
◇大連の教育貯蓄銀行支拂停止
大連の同行（資本金五十萬圓）は業務不振で整理のため支拂停止（期間未定）を發表した
◇越後電氣、松本電燈兩社の合併
新潟縣の越後電氣會社（資本金三百萬圓）及び長野縣の松本電燈會社（資本金百五十萬圓）は何れも臨時株主總會を開き、兩社を合併して資本金四百五十萬圓の中央電氣會社を設立する件を可決した
二十九日（火）
◇大連金融界の恐慌
大連敎育貯蓄銀行破綻の影響を受け本日旅順銀行（資本金百五十萬圓）及び平和銀行（資本金十萬圓）等も取付のため危險に瀕し、同地金融界は大恐慌を來し正金、朝鮮の各行は援助に乘り出した
◇日本電力社債五百萬圓發行
同社（資本金五千萬圓）は臨時株主總會を開き左の條件で社債五百萬圓發行を決定した
▽利率七分五厘▽發行價格百圓に付九十七圓▽償還一ヶ年據置後二ヶ年內▽利廻約八分八厘
二十日（水）
◇全國商工大會の營業稅全廢決議
營業稅全廢に關する全國商工業者大會は東京府立商工奬勵館に於て開催され、東京、大阪、橫濱、名古屋等の常設委員出席、第四十七議會に對し營業稅全廢の請願書を提出する件を決議した

【九　月】

一日（金）
◇立憲國民黨解散式擧行
同黨所屬代議士及び黨員等三百餘名は本部に參集「吾等は同黨を解散し天下と共に新時代の新氣運に沿ふべき新政黨を樹立せん」との宣言書を發表して解散式を擧行した
◇郵便貯金利子五分四毛に引上
政府は物價調節の一策として郵便貯金利子の引上を決定、本日の官報を以て公布卽日實施され、內地の利子は五分四毛、朝鮮、臺灣滿洲等は五分二厘八毛となつた
◇南洋商工業補助規則の創定
同規則は本日の官報を以て公布、卽日施行された
◇名古屋綿糸布取引所開業
會員組織の同取引所は開業祝賀會を開き、參列者一千餘名、場會裡に閉會、立會に移り初立會は前場のみであつたが、取引高は一千一百棚であつた
二日（土）
◇中外製紙會社の解散

同社（資本金百五十萬圓）は臨時株主總會を開き業績不振のため解散と決定した

◇內國運輸會社の創業總會

同社（資本金五百萬圓）は鐵道事業として集金部を設置、取締役吉村佐平を主任として全國的に實掛代金、各種月賦等の集金事務を取扱ふことゝなつた

四　日（月）

◇樺太に商業會議所法施行

本日の官報を以て公布、即日施行された

◇日露長春會議開かる

日露長春會議は、日本側松平歐米局長、松島總領事、露國側ヨッフエ、ヤンソンの外三名出席し長春に開會されたが、露國代表は日露問題を根本的に解決せんとし、日本は單にシベリヤ問題を解決せんとしたので、兩者間に相當な意見の相違あり、早急解決は困難を豫想された

◇漢口軍引所閉鎖觸決

支那官憲より營業停止を命ぜられた漢口取引所は「日本政府の許可の下に設立され露國租界に於て營業するものであるから斯る不當なる支那官憲の命令には斷じて服從する必要なし」との見地から營業を繼續してゐたが、支那側の壓迫は日を追ふて烈しくなつたため小幡公使は右問題に關して北京政府と交涉しその結果、支那側は漢口取引所に對して今後一切干渉せざることに決定、同問題は無事落着した

◇長岡銀行、見附銀行を合併

新潟縣の長岡銀行（資本金一千百萬圓）は臨時株主總會を開き同縣の見附銀行（資本金百萬圓）を對等條件で合併と決定した

八　日（金）

◇關東長官更迭

關東長官山縣伊三郎辭任し、從三位勳一等男爵伊集院彥吉が後任に決定、本日親任式を行はせられた

九　日（土）

◇朝鮮殖産債券五百萬圓發行

朝鮮殖産銀行（資本金三千萬圓）は臨時株主總會を開き左の條件で債券五百萬圓發行の件を決定した

▽利率八分▽發行價格百圓に付九十九圓▽償還期限　發行後二ヶ年間以內

十二日（火）

◇文相、飾職調令を發す

文部大臣は飾職調令を發し、各府縣知事に通達した

◇公設市場改善、中央市場設置を建議

公設市場の改善と中央市場の設置に關する方針を決定すべき社會事業調査總會は、水野內相を始め各委員出席の下に內務省に開かれ兩案共滿場一致可決、政府當局に建議することゝなつた

十三日（水）

◇五分利國庫債券一千萬圓發行

國鐵建設改良費に充當するため五分利國庫債券一千萬圓を左の條件で發行と決定した

▽發行日大正十一年十月二十日▽償還期限　大正十七年六月一日▽利子支拂期三月、六月、九月、十二月▽利廻六分七厘五毛餘

◇米國の鐵道罷業解決す

米國內四十の鐵道會社は、鐵道工場員の同盟罷業が無事解決した旨公表した

十四日（木）

◇唐紹儀內閣辭職と決定

唐紹儀內閣に對する信任案は支那參議院に於て不受理と決定したので、王代理總理は總辭職を決意、閣員の辭表を取纏めて黎總統に提出した

◇李烈鈞、上海に亡命す

支那北伐軍總司令官李烈鈞は、孫文失脚し北伐計畫が水泡に歸したため江西省から湖南省に入り、漢口を經て日淸汽船會社の鳳陽丸に便乘、上海に亡命した

十五日（金）

◇日本船主協會の燃料引下運動

日本船主協會の常任理事勝田銀次郎、內田信也は農商務省に荒井農相を訪問し、同協會委員會に於て決議した燃料引下案を提出陳情した

十八日（月）

◇內大臣更迭

內大臣侯爵松方正義退官し、從二位勳一等子爵平田東助がその後任に親任された

十九日（火）

◇支那政府、對露賠償支拂を停止

支那政府は大總統令を以て露國に對する國匪事件賠償金の支拂を停止する旨布告した

二十日（水）

◇五十銀行五百萬圓に增資

同行は臨時株主總會を開き資本金百五十萬圓を五百萬圓に增資と決定した

◇鐵道運輸會社五十五萬圓を增資

同社は臨時株主總會を開き資本金五百萬圓を五百五十五萬圓に增資と決定した

◇支那內閣正式任命

本日の大總統令を以て王內閣成立が發表された。閣員左の如し

總理王寵惠、外交顧維鈞、內務孫丹林、財政羅文幹、陸軍張紹曾、海軍李新、司法徐謙、敎育湯爾和、農商高梁蔚、交通高恩洪

二十二日（金）

◇南滿鐵道會社五千萬圓に增資

同社は臨時株主總會を開き資本金二千二百萬圓を五千萬圓に增資と決定した

二十三日（土）

◇關道溝事件の賠償要求

政府は支那外交部に對し、頭道溝事件の損害賠償要求をなした。要求額は十萬圓である

二十四日（日）

◇青島牛肉の運賃引下

政府の日用品物價引下に關聯し、郵船、商船兩社は青島積牛肉運賃を左の如く引下げ、十一月一日より實施と決定した

▽十一月一日より十二年四月十五日まで百斤に付銀三弗▽同四月十六日より十月三日迄百斤に付銀六弗

二十五日（月）

◇日露長春會議決裂す

日露長春會議は開會以來日本側は絕えず誠意を披瀝し和衷協同の態度を以てしたが、露國側は誠意を示さず、徒らに問題を紛糾せしめ遂に決裂するに至つた

◇東株商議員會正副會長決定

東京株式取引所商議員會は正副會長を互選し左の如く決定した

▽會長岡崎國臣▽副會長沼間敏朗、片岡辰次郎、神田鐳三

◇橫濱取引所商議員會役員決定

同取引所は商議員會を開き役員選舉の結果左の如く決定した

▽會長井坂孝▽副會長岡島政藏▽總代松浦積、矢島善七、上甲信弘

◇支那政府公債一千萬元發行

支那政府は左の條件で短期公債一千萬元を發行する旨發表した

▽名稱中華民國十一年短期八厘公債▽利息八厘▽償還十二年より五ヶ年間每年二回宛抽籤償還▽擔保支拂中止の露西亞關匪事件賠償金

二十六日（火）

◇內外水產會七十萬圓に減資改稱

内外水産會社は臨時株主總會を開き不況のため資本金五百五十萬圓を百七十萬圓に減資し、社名を內外產業と改稱する件を可決した

二十七日（水）

◇東京乘合自動車會社二割萬圓に減資

同社は臨時株主總會を開き資本金五百萬圓を二百萬圓に減資と決定した

◇遠東瀘水電會社の創立

資本金百萬圓を以て設立された同社は創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長本多貞次郎▽取締役利光丈平、五十嵐正道、高津仲次郎、小澤信三、廣瀨爲久小澤儀平▽監査役雨宮豐治郎、若尾吉造

◇ギリシヤ王退位す

ギリシヤは土耳古に大敗し、ギリシヤ王コンスタンチンは退位して皇太子ジオージ親王が王位に即いた

二十九日（金）

◇日豐瀨田電鐵會社の創立

資本金五百萬圓を以て設立された同社は創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役竹田政智（代表）、緒明圭造、澁澤秀雄、五島慶太、篠原三千郎▽監査役伊藤欣二、石川善太郎

三十日（土）

◇關係聯盟、討議貸付案を決定

塩地利に對し財政上の援助をなす件に付き協議した國際聯盟委員會は、同國に六億五千萬金クローネを貸付けることに決定した

◇白耳義、關係賠償延期を承諾

白耳義政府は支那の關係賠償金二ヶ年支拂延期を承諾した

◇佛國海員の罷業

佛國政府が海員一日八時間勤務制撤廢を布告したゝめ、海員は之に不服を唱へて同盟罷業を開始した

◇大阪鐵道會社三百萬圓に增資

資本金二百萬圓の同社は臨時總會を開き百萬圓に增資する件を可決した（日不詳）

◇全國實業聯合會の總罷業鐵鑛運動

全國實業聯合會は全國商工業者大會を組織し本日から十日間「營業稅全廢デー」として營業稅撤廢運動の蜂火を擧げた

◇臺本銀行の創立

熊本縣山鹿町の臺本銀行は資本金百萬圓を以て設立されたが、本日創立總會を開き宇美常吉を取締役頭取に擧げた

◇東京市に虎疫蔓延す

關東に發生した虎疫は、千葉縣を經て本日東京市に蔓延し、十日には罹病者百六十名に達した。三日東京府は府令を以て銚子方面からの生魚介類搬入を禁止、日本橋魚市場は五日から九日まで休業した

◇露國派遣領事、日本公使館から認定

北京日本公使館に保護中の段祺瑞の部下露安福派の領袖曹汝霖、王郁臣、陸宗輿の三名は本日拂曉脫走した

二一日（月）

◇六大都市の行政權限擴張

東京、大阪、京都、橫濱、神戸、名古屋の六大都市の行政權限を擴張する目的を以て六大都市行政監督に關する勅令が公布された

三一日（火）

◇出雲電氣、濱田・温泉津兩電氣を合併

【十月】

一日（日）

◇東京市債一千九百萬圓發行

東京市は上下水道費支辨のため短期市債一千九百萬圓を年利六分、發行價格九十三圓、大正十二年十月一日迄据置後四ヶ年に償還の條件で發行した

◇日露漁業條約調印

日露漁業條約は本日午後二時北京日本公使館に於て調印された

◇日露漁業會議

日露漁業會議は本日第一回會議を開き、日本側は漁區の制限撤廢を要求した

◇日本製粉會社工場の火災

東京府下大島町の日本製粉工場及び倉庫八棟を燒失、損害約百三十萬圓、保險契約高は百四十五萬圓である

◇大阪瓦斯會社のタンク爆發

大阪市西區岩崎町大阪瓦斯會社の原料入瓦斯タンクが爆發した。損害約百萬圓

九日（月）

◇軍新俱樂部に婦人入營す

東京市社會局保護課嘱託の河本龜子（二十六歳）は革新俱樂部に入營した。我國の政治結社に婦人が入營したのはこれが嚆矢である

十日（火）

◇海軍工廠職工の解雇

軍備縮小の結果左の如く海軍工廠職工六千名が解雇されたが、總手當額は三百五十萬圓である

▽吳工廠四、四〇〇人▽橫須賀工廠一七〇人▽佐世保工廠一一〇人▽舞鶴工廠九〇人▽造兵廠一、〇〇〇人▽其他各要港部及び支廠三三〇人

日本勤業銀行總裁志村源太郎辭任し、梶原仲治が總裁に就任した

八日（日）

◇獨逸の馬克紙幣暴落

獨逸馬克紙幣は賣崩しのため又も新安値に落ち一磅に付一萬二千六百馬克となつた

十一日（水）

◇秘國政府、日秘通商航海條約を廢棄

秘國政府は本日附を以て秘國政府から明治二十八年三月二十日調印の日秘通商航海條約は大正十二年十月十一日失効すべき旨の廢棄通告に接した

◇石井定七に破産宣告

住友銀行他十九行に七千餘萬圓の債務を有する石井定七は此等債權銀行の申請により大阪地方裁判所に於て審理中のところ本日破産を宣告された

◇ムダニヤ休戰條約の調印

トルコ希臘間の戰爭は土國側の勝利に歸し英佛伊の斡旋の下に兩國間にムダニヤ休戰條約が成立した。同條約は一九二〇年八月聯合國對トルコ間に締結されたセーブル條約改訂のため平和會議開催を約束するものである

十二日（木）

◇物價調査會の公正價格發表

物價調査會は物價騰勢調節のため公正價格を發表し、乾燒純百匁九錢、食パン一片十八

出雲電氣會社（資本金九百五十萬圓）は濱田電氣會社（資本金百二十萬圓）及び温泉津電氣會社（資本金十五萬圓）を合併して總資本金一千六十萬圓に增資した

五日（木）

◇石炭鑛業聯合會、送炭制限緩和を協定

石炭鑛業聯合會は九州、宇部、北海道各地炭礦に於ける送炭制限現行率一割七分を八分五厘に、常磐の現行率一割二分五厘を六分二厘五毛に改訂し、十二年三月末まで實行することを協定した

六日（金）

◇徐樹錚の獨立宣言

支那の徐樹錚は福州に於て獨立を宣言し北京政府を否認した

七日（土）

◇軍縮解雇職工特別手當の件公布

軍備制限又は整理に因り解雇せられる陸海軍職工の特別手當に關する件が公布された。支拂方法は第二豫備金から三百六十八萬四千圓を支出して、解雇の際差當り必要とする金額（約四ヶ月分）以外は五分利公債を交付するものである

◇日本勤業銀行開業の夏逃

銭、煮煙草五十匁二銭と二三割安となり、即は不正賣りを取締ることゝした

十二日（金）

◇滿鐵社長早川千吉郎死去

貴族院議員滿鐵社長早川千吉郎は率天に於て死去した。享年六十。石川縣に生れ東京帝國大學卒業後大藏省に入り、次いで三井銀行專務理事となり大正九年貴族院議員に勅選されて三井を辭し、大正十年滿鐵社長となり現在に至つたもので、我が財界一方の大立物であつた

十四日（土）

◇東京市會、全國市會に慮税運動勸誘

東京市會は營業稅及び通行稅撤廢運動を起し全國七十六市會に對し勸誘狀を發した

十五日（日）

◇和歌山綿ネル業者の休業決議

和歌山綿ネル製造業者は本日から十日間の全休を決議した

◇柔遠織物の繰短

未澤織製造部會は織物不況對策として明十六日から向ふ三十日間夜間の操業休止を決議した

十六日（月）

◇地方官の大更迭說表さる

政府は三十二府縣長官及び四十四府縣事務官の大更迭を發表した

◇武器問題に關する內閣の聲明發表

所謂武器問題に關し內閣から大要左の如き聲明書が發表された

軍部が浦鹽派遣軍の監視又は押收にかゝる軍需品を歐西亞側又は支那側に供給して何等かの企賚を行つてゐるとの風評は全然事實無根で

（一）若干の貨車に搭載した兵器が長春から率天に到着した事實はあるが、我軍は關與せず

（二）派遣軍監視のチエコ軍殘留軍需品が紛失したのは事實であるが眞相は軍法會議で判明するであらう

◇滿鐵副總裁事件の判決

前滿鐵副社長中西清一の背任事件、撫順炭礦庶務部長小日山直登にかゝる僞證事件は、東京地方裁判所に於て中西に懲役十ケ月、小日山に懲役二ケ月（二ケ年間執行猶豫）の判決があつた

十八日（水）

◇日本水電三百萬圓に增資

資本金二百萬圓の日本水電會社は六十萬圓を減資して百四十萬圓とし、更に百六十萬圓を增資して、總資本を三百萬圓とすることに決定した

十九日（木）

◇大日本實業聯合會地租兩稅撤廢決議

大日本實業聯合會は大阪に於て稅制改革に關する大會を開催、營業稅及び地租の撤廢を決議した

◇日本商工銀行の休業

京都の日本商工銀行（資本金百萬圓）は西陣織の不況から破綻を暴露し、本日より向ふ一週間の休業を發表した。尙同行破綻以來十二月二十五日までの同地方に於ける取付銀行數は二十九行に及んだ

◇英國首相ロイド・ジョージ辭職す

英國のロイド・ジョージ內閣は總辭職を決行し、二十日ボナー・ローが後繼內閣を組織した

二十日（金）

◇普選調査會の設置

政府は普選調査會を設置し、委員長に內相水野錬太郎を任命した

◇武器紛失問題の責任者原少佐に判決

本年二月二十七日浦鹽に於ける我派遣軍監視に係るチエコ軍軍需品を格納した貨車十九輛を捕虜へ、これを沿海州政府部員ミハイロフ大佐を通じて白露軍に供給した所謂武器問題の責任者歩兵少佐原淨一は、本日熊本師團軍法會議に於て懲役一年六ケ月、二ケ年間執行猶豫の判決を言渡された

◇五分利國庫債券一千萬圓發行

政府は鐵道建設改良費財源に充當するため五分利國庫債券（み號）一千萬圓を發行價格九十三圓、償還期限大正十七年六月一日迄の條件で發行した

◇横須賀工廠百十五名を解雇

横須賀工廠は軍縮による第二次淘汰として職工百十五名の解雇を發表した

二十一日（土）

◇横濱取引所の合百師走

横濱取引所で前場立會中十數名の合百師が檢擧された

二十二日（月）

◇蠶絲組合、生絲總短撤廢に決す

蠶絲同業組合中央會は本年八月一日の全國製絲業操短決議を本月限りで撤廢に決定

◇神奈川縣工場新增

同行は臨時株主總會に於て資本金二百萬圓を四百萬圓に增加の件を可決した

二十四日（火）

◇五分利國庫債券五千萬圓發行

朝鮮事業公債四千五百萬圓借替のため政府は五分利國庫債券（ひ號）五千萬圓を現金應募九十二圓七十五錢、乘換應募九十二圓二十五錢、償還期限大正十七年三月一日、ろ號朝鮮事業公債及びろ號臨時國庫證券よりの乘換應募許可等の條件で發行した

◇滿鐵社長に川村竹治任命

早川滿鐵社長死去に伴ふ後任として內務次官川村竹治が任命された

二十五日（水）

◇樞密院議長、理研へ行啓

樞密院議長倉富勇三郎男爵閣下、理研へ行啓研究所へは東京本鄉上富士前の理化學研究所へ行啓遊ばされた

◇浦鹽派遣軍の撤退完了

我浦鹽派遣軍は本日撤退を完了し、同時にチタ軍が浦鹽に入つた

二十七日（金）

◇原敬暗殺犯人の控訴判決

前首相原敬を刺殺した中岡艮一に對する控訴判決は一審通り無期懲役、敎唆者橋本榮五郎も一審同樣無罪の言渡しがあつた

二十八日（土）

◇富士瓦斯紡會社五十萬圓に減資

同社は株主總會に於て資本金二百萬圓を五十萬圓に減資の件を可決した

三十日（月）

◇勸銀、興農工銀行を合併

日本勸業銀行（資本金五千四百六十六萬四千七百五十圓）は臨時總會に於て京都、靜岡、新潟、秋田の四農工銀行を合併して資本金を五千九百七十三萬四千七百五十圓に增加の件及び臺灣に勸銀支店設置の件を可決した

◇三州平和銀行の創立

鹿兒島縣の三州平和銀行（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役男爵島津長丸（頭取）、濱田直助、平田藤彥外四名▽監査役岩月高明外三名

◇ムソリーニ內閣成立す

前日羅馬入りをなした伊太利のファシスト首領ベニト・ムソリーニは本日ファッショ單獨內閣を組織して首相となつた

三十一日（火）

◇東支・西比利亞兩鐵道に關する對支通告

日本政府は西比利亞駐屯軍撤退に伴ひ東支

鐵道及び西比利亞鐵道に關する聯合國共同管理協約が十月三十一日限り消滅した旨及び東支鐵道管理を支那政府に移すも依然列國は支那の責任につき今後關與する權利を保留する旨申入れた

【十一月】

一日（水）

◇國勢院を廢止し內閣統計局を設置

本日の官報を以て國勢院を廢止し內閣に統計局を設置する旨公布された。統計局は內閣總理大臣の管理に屬し(一)行政各部統計の統一(二)人口統計及び行政各部に屬せざる國勢の基本統計(三)統計報告の刊行及び內外統計表の交換(四)統計職員の養成並に各官廳統計主任者の招集及び命議に關する事務を掌り勅任局長、奏任及び判任官二十九名の專任職員を置くものである

◇社會局官制の公布

社會局官制は本日官報を以て公布、卽日實施された。社會局は內務大臣管理に屬し勞働工場法施行、鑛業法中鑛夫、社會保險、失業救濟及び防止、國際勞働事務統轄、賑恤救濟兒童保護、軍事救護、其他社會事業、勞働統計に關する事項を掌り、勅任長官、勅任部長二人、奏任及び判任官七十三名の專任職員を置くものである

◇拓殖局廢止と拓殖事務局設置

拓殖局を廢止し拓殖事務局を設置したが、同局は內閣總理大臣の管理に屬し朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳、關東廳及び南洋廳に關する事務を掌り、職員に勅任局長、奏任及び書記官專任三名、判任屬專任十名を置くものである

◇米穀關稅復活さる

米及籾の輸入關稅の免除を廢止し、關稅定率法に基き一石二圓五十錢の輸入稅を賦課する件は本日より實施された

◇國債償還金に自動交換機を使用

從來試驗中なりし電話の自動交換機を遞信省內に設置し本日より使用した

◇北京國會、日支條約無效を決議

北京國會は日支間に締結せる所謂二十一ケ條々約を無效とする旨の決議をなした

◇土耳古王朝廢止さる

土耳古アンゴラ國民議會は國家統治權を國民議會に歸屬せしめ、土耳古王朝を廢止する件を可決した

二日（木）

◇人口動態調査令の公布

人口動態を調査するため婚姻、離婚、出生、死亡及び死產につき動態調査票を用ひ、市町村長をして每月これを提出せしめ、十二年一月一日から實施の旨官報を以て公布

◇大島製鋼所罷業團、會社を壓迫す

東京府下大島町大島製鋼所の罷業中の職工約二百名及び誠首職工六十名は大島工場を襲撃し、警官隊出動して鎭壓に努め、百二十名の檢束者を出した

三日（金）

◇鐵道職員の手當の勅令公布

軍備の制限若くは整理又は行政整理に際し職を離れた軍人及び文官に對して特別賜金を支給し、囑託員、雇員、傭人、職工に對しては特別手當を支給する勅令が本日官報を以て公布された

◇東京大阪間の定期郵便飛行開始

東京大阪間に定期郵便飛行が開始され、東京から高橋信夫、大藏清三の二機、大阪から後藤勇吉機が出發、後藤機の所要時間二時間四十五分、大藏機四時間二十七分、高橋機は途中不時着した

◇徐樹錚議員を辭す

衆に獨立を宣言した徐樹錚は議州を退去し議定國軍政府は自然消滅に歸した

五日（日）

◇遞信省、發電水力調査を廢止

遞信省は發電水力調査を廢止することゝなり、これに伴ひ同省電氣局水力課は廢止となつた

◇葡西通商條約を廢棄

西班牙政府から明治三十三年三月二十八日調印の日西特別通商條約は大正十二年十一月五日を以て失効すべき旨の廢棄通告に接した旨發表された

八日（水）

◇神戸市の湯屋業者同盟休業す

兵庫縣當局の湯錢値下命令（現在五錢を四錢に）に反對して神戸全市の湯屋三百五十餘軒は同盟休業を斷行した

九日（木）

◇臨時國庫證券五千三百萬圓發行

臨時國庫證券五千三百萬圓は割引歩合日歩一錢八厘五毛、支拂期日大正十二年五月九日の條件で發行された

◇議會登山間無線電話完成す

內地・朝鮮間の無線電話計畫中のところ設備完成し本日より釜山、福岡間の無線電話が開通した

◇米國下院議員選擧で共和黨勝つ

米國下院議員の選擧が行はれ本日開票の結果、共和黨二百二十五名、民主黨二百七名で共和黨の勝利に歸した

十日（金）

◇生牛肉、鳥卵等の輸入稅免除期間延長

大豆、生牛肉、鳥卵、綿絲及び綿織物の輸入稅は勅令により大正十一年十一月三十日まで免除することになつてゐたが、その期間を大正十二年十一月三十日まで延長する旨勅令を以て公布された

◇三田土ゴム會社職工の罷業

東京本所區業平町の三田土ゴム會社職工七百名は賞與金問題から怠業に入り、首謀者が解雇されたゝめ日本勞働總同盟援助の下に本日より罷業に入つたが、會社側からの一萬圓提供で解決し二十三日から就業した

十一日（土）

◇第四十六議會召集期日公布

第四十六帝國議會は十二月二十五日を以て召集する旨本日官報で公布された

十二日（月）

◇勞農政府、我北滿木駐兵に抗議

露國勞農政府代表ヨッフェは日本軍の北樺太駐兵に關して抗議を申込んだ

◇青島取引所に整理命令

軍司令官の名を以て青島取引所に對し資本金一千六百萬圓を一千四百萬圓に減資し整理を行ふ樣命令を發した

◇米國で歸化權否認さる

米國最高法院は日本人は米國に歸化する權利なしと判決した

十四日（火）

◇チタ共和國、勞農政府に合併

チタ極東共和國々民議會は本日の會議に於て自主的に解散して勞農政府に合併することを決議した

十五日（水）

◇肥料聯合會の過燐酸操短擴張決議

肥料聯合會は過燐酸肥料操短協定を本日限りで撤廢することを決議した

十七日（金）

◇司法受驗生、大擧司法省に押寄く

司法試驗受驗者約三千五百名は本日試驗終了後貴族院構內に集合し、司法試驗制度革新

聯盟會を組織して司法省に赴き、當局に試驗制度改革を要望した

◇アインシュタイン奏樂來朝す

相對性原理の發見者アインシュタイン博士夫妻は神戸入港の郵船北野丸で來朝、十八日入京した

十八日（土）

◇製鐵所現業員共濟組合規則の制定

官報を以て製鐵所共濟組合規則が制定公布されたが、同共濟組合は製鐵事業に從事する製鐵手及職員以下の現業員の相互救濟を目的とし、毎月給料の百分の五・五乃至百分の十を積立て、公傷、疾病、療養、退職、遺族、災厄、分娩に共濟費を給付するものである

◇職員職業紹介事業に補助金交輸

船員職業紹介事業に對して經常費を限度として補助金交附を行ふ旨公布された

◇横濱取引所、東米合併問題に反對

横濱取引所と東京米穀商品取引所合併問題進頭に就き、横濱取引所員組合及び横濱取絲貿易商組合では夫々反對運動を起した

二十日（月）

◇ローザン又會議開催さる

歐洲大戰の聯合國對トルコ媾和條約改訂のため瑞西ローザンヌに於て日、英、佛、伊、希臘、ブルガリア、ユーゴー・スラヴイア、トルコ及びオブザーヴアーとして米國出席のもとにローザンヌ會議が開催された

二十一日（火）

◇建府記念業試驗場規定の公布

原蠶種の製造及び配付、試驗及び調査、講習、講話、桑苗配付其他の事業を行ふため、北海道地方費又は府縣費を以て蠶業試驗場を設立する場合の規定が公布された

二十二日（水）

◇臺灣帽子原料取締規則の公布

臺灣産帽子原料は臺灣總督府の檢査に合格したものに非ざれば營利の目的を以て之が移輸入をなすことを許可しない旨の取締規則が公布された

二十四日（金）

◇全國農會大會、農村振興策を協議

全國農會大會は東京丸之內商工奬勵館で矢作榮藏博士司會の下に開かれ、米價暴落により沈衰の極にある農村振興のため統一運動をなすことを宣言した

二十五日（土）

◇關西銀行大會開催さる

大阪に關西銀行大會を開催、市來藏相及び井上日銀總裁の演說があつた

◇官業勞働組合同盟、賠償五億萬圓を要求

官業勞働總同盟關東聯合會は軍縮失業者に二ヶ年分の手當要求及び砲兵工廠當局の賃銀値上擧明會言に對する賠償五百萬圓要求の決議をなした

二十六日（日）

◇高橋政友會總裁、普選斷行を聲明

宇都宮市に開催された政友會關東大會に於て高橋總裁は產業立國と普選斷行の演說をなした

◇希臘前首相等死刑に處せらる

希臘前首相ダーナリス始め前閣僚五名及びラジヤネスチス將軍は希臘敗戰責任者として死刑に處せられ、その結果英希國交は斷絕するに至つた

二十八日（火）

◇對支武器供給を閣議で決定

支那側の希望に依り青島行政權引渡後同地の治安維持に任ずべき支那側に對し大正八年の武器對支不賣申合の除外例として列國の承諾を經て武器供給に應ずることに閣議で決定した。數量は（一）步兵銃一千五百挺及び附屬

品一切（二）騎兵銃百挺、彈藥一揃に付二百乃至五百發（三）機關銃八門（四）爭銃若干である

二十九日（水）

◇關東廳道路取締規則の公布

關東廳は道路取締規則を公布した。右は市街道路上に的看板、幟突類を突出す場合、道路を使用する場合、道路に於て特殊な物を運搬する場合の許可制並に道路交通及道路保護に關する規則を制定したものである

◇大北漁業會社の創立

同社は日魯漁業及び北洋漁業の兩社共同出資のもとに資本金六百萬圓を以て設立され、本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役南新吾（社長）、田中丸祐厚、平塚常次郎、三宅川百太郎、堤野豐助▽監査役高橋錬造、堤清六

◇日本興業銀行の休業

京都の日本積善銀行（資本金五百萬圓）は取付に遭ひ二週間の休業を發表した。同行常務取締役高倉傳三等一派に對する不良貸附及び日本商工銀行破綻の影響を受け不正の內狀を暴露したものである

◇帝國公業農行の取付

東京の帝國公業銀行（資本金五十萬圓）及び帝國公業貯蓄銀行（資本金三十萬圓）は日本積善銀行破綻の餘波を受けて兩行とも取付に遭つた

◇愛蘭自由國の獨立承認さる

愛蘭自由國憲法案は、さきに英國下院を通過、本日更に上院を通過し、同國の獨立は承認された

三十日（木）

◇鄕制廢止關係の勅令公布

本日の官報を以て鄕制廢止に伴ふ勅令が公布された

◇軍縮による海軍の整理發表さる

海軍大異動が發表されたが、そのうち軍備制限による整理數は士官五百名、準士官五百名、下士官兵八千人である

◇九州銀行の休業

熊本市の九州銀行（資本金百萬圓）は取付に遭ひ整理のため本支店共二週間の休業を發表した

◇近江帆布、近江紡績を合併

資本金六百萬圓の近江帆布會社は拂込資本金百六十二萬五千圓の近江紡績會社を合併、百十萬圓を增資して資本金七百十萬圓となつた（日不詳）

【十二月】

一日（金）

◇信託業法施行細則の公布

本日の官報を以て信託業法施行細則が公布された。主要點は信託財產の管理又は處分方法を記載する必要のないこと、金錢信託一口の最低金額を五百圓となしたこと、保證利益歩合の最高利率を年五分五厘となしたこと等である

◇山東細目協定調印さる

山東問題に關する日支細目協定は鐵道に關する件を除き全部調印を見た。同協定文は、（一）租借地の還附（二）日本軍隊の撤退（三）土地（四）公有財產（五）電信電話（六）製鹽業（七）公有財產及び鹽業補償金（八）膠山（九）青島關稅の九章から成る

◇臨時國庫證券五千萬圓發行

政府は臨時國庫證券五千萬圓を發行價格九十七圓十錢、償還期限大正十三年九月一日迄利率年五分の條件で發行した

◇帝國製絲會社解散す

帝國製絲會社（資本金一千六百萬圓）は橫濱製絲俱樂部に株主總會を開き解散及殘餘財

産處分の件を可決した。財産處分案の大要は(一)株主配當金(二)重役及び評議員慰勞金四十五萬圓(三)鐘紡業同業組合中央會寄附五十五萬圓(四)横濱取引所寄附二十萬圓(五)生絲檢査所擴張費寄附百二十萬圓(六)横濱生絲絹物專用倉庫設置費として農商務省へ百八十萬圓納付等

二一日（土）

◇陸軍工廠職工三分の一解雇を聲告

陸軍省では軍備整理による陸軍職工解雇の聲告をなしたが、關東に於ける職工一萬四千六百名中四千四百名を大正十二年三月末解雇せんとするものである

◇萬有遺傳說は詐術と判明

九州帝大工學部敎授丸澤常哉博士は自己の研究中の萬有遺傳說は全く詐術に罹つたもので、實驗中に助手が銀塊を投入したものと判明した旨發表した

二二日（日）

◇ニュー・オルレアンスに領事館設置

北米ニュー・オルレアンスに帝國領事館を設置し、本日開館した

五日（火）

◇山東鐵道細目協定の調印

山東鐵道細目協定は本日北京に於て日支兩國間に調印された。同協定は膠濟鐵道の引渡及び膠濟鐵道補償金の二章から成り、引渡期は大正十二年一月一日、補償金は四千萬圓である

◇帝國製麻一千八百萬圓に減資

帝國製麻會社は臨時總會に於て資本金三千萬圓を一千八百萬圓に減資の件を可決した

◇東和銀行の本支店取付

東京に本店を有する京和銀行（資本金五百萬圓）の京都支店、奈良支店は取付のため休業、東京本店も之に刺戟されて取付に遭ひ遂に休業を發表した。又九州方面の支店も支拂を停止した

七日（木）

◇日濠通商航海條約の調印

日本、濠洲間に通商航海條約の調印が行はれた。本條約は專ら日英通商條約に採り、居住通商に關する諸般の事項を包含せるものである

八日（金）

◇九州地方に大地震

本日早曉長崎縣島原地方を中心に大地震があり、死傷者數十名を出した

九日（土）

◇日支郵便協定調印さる

華府會議により滿鐵附屬地を除く在支日本郵便局六十五、切手賣捌所九十三、郵便箱百四十八が本年中に撤廢されるため、その後の聯絡不便を補ふ目的を以て日支郵便協定が成立、本日北京に於て調印を見た。同協定は普通郵便、小包郵便、郵便爲替、價格表記及び箱物郵便の四協定を含んでゐる

◇勸業銀行、青森・和歌山兩農工合併

日本勸業銀行は臨時總會に於て青森農工銀行（資本金百二十萬圓）及び和歌山農工銀行（資本金百萬圓）を合併して資本金五千九百七十三萬四千七百五十圓を六千百八十三萬四千七百五十圓に增資の件を可決した

十日（日）

◇日支間に青島行政權引渡

青島行政權は本日正午日本から支那に引渡された

◇青島に總領事館設置

支那青島に帝國總領事館を設置し本日開館

十一日（月）

◇大阪銀行休業す

大阪市の大阪銀行（資本金十萬圓）は日本

積善銀行破綻の影響を受けて取付に遭ひ、手形交換不能に陷つたため二週間の休業を發表した

十二日（火）

◇砂糖聯合會協議會に於て砂糖減産協定が成立

砂糖聯合會協議會に於て砂糖減産協定が成立した。該協定は(一)精製糖內地供給製造數量を本月十五日から一ケ年間四百二十八萬七千二百五十七擔、臺灣耕地白糖內地供給製造數量を六十五萬擔(二)大正十一、十二年臺灣產糖賣惹を五百萬擔と見做し、二百十二萬三千二十一擔を原料糖に使用、剩餘を直接消費に供給するものである

◇東京電燈、猪苗代・忍野兩水電を合併

東京電燈會社（資本金二億二千五百萬圓）は臨時總會に於て猪苗代水力電氣會社（資本金五千萬圓）及び忍野水力電氣會社（資本金五百萬圓）を合併し二億五千八百萬圓に增資の件を可決した

十三日（水）

◇村井銀行大阪天滿支店の取付

村井銀行（資本金一千二十五萬圓）大阪天滿支店は積善銀行破綻の餘波を受けて取付に遭ひ、本日中に四十萬圓の支拂をなした

◇行政整理による內務省所管の減員數

行政整理による內務省並に地方廳の減員數は六百十人と確定した

十四日（木）

◇報德銀行の休業

東京に本店を有する報德銀行（資本金二百萬圓）は大阪支店が積善銀行破綻の餘波で取付に遭つたゝめ、本日から本支店共二週間の休業を發表、又同行の分身たる報德貯蓄銀行（資本金百萬圓）並びに密接な關係のある下谷銀行（資本金十萬圓）も同樣影響を受け休業を發表した

十五日（金）

◇銀行取付破綻續出の對策

日本積善銀行破綻以來、各銀行の取付休業等續出せるを以て日本銀行は出來る限りの援助を行ふが、預金者に於ても預金引出に愼重な考慮を拂ふ樣要望する旨本日大藏省から公表があつた。尙東京有力銀行代表者は日本銀行に參集、一般金融界安定のために協力援助すべき旨を申合せた

◇高平銀行の休業

兵庫縣の高平銀行（資本金五十萬圓）は積善銀行破綻の餘波を受け取付に遭ひ二週間の休業を發表した

十六日（土）

◇海軍下士官兵整理大略完了す

海軍省は、大正十年十二月一日から一ケ年間の海軍下士官兵減員數は一萬一千九百十八名に及び、これによつて下士官兵の整理は大略完了した旨發表した

◇愛島取引所戒告を受く

前大阪堂島取引所理事長高倉爲三は本年七月以降數回に亘つて取引所財產を私用に流用したことが取調の結果判明したので、本日農商務省は同所に對して嚴重戒告した

◇增本錢行の休業

神戸の岸本銀行（資本金百萬圓）は十五日取付のため百萬圓の支拂をなし、本日に至り遂に休業したが、日銀の救濟により十八日開業した

◇四谷錢行の休業

東京の四谷銀行（資本金五十萬圓）は帳簿整理のため休業を發表した

十七日（日）

◇青島の日本守備軍撤退完了す

青島に於ける日本軍隊は本日を以て全部撤退した。尙青島守備軍司令部條令は之に先立

つて十五日廢止された

◇東濱電車從業員、待遇改善を要求

京濱電車從業員二百餘名は會社に對し待遇改善の要求書を提出した。その大要は(一)初任給一圓五錢を一圓二十錢に引上げ(二)一日勤務時間を十時間以内とす(三)七日毎に一日の休業日を與へること等である

十九日（火）

◇東京商業會議所、電柱稅減免を建議

東京商業會議所では電柱稅は本邦電氣事業の普及發達を阻害するものとし、その全廢乃至は輕減方を關係當局に建議した

◇國民銀行の休業

東京の國民銀行（資本金百萬圓）は交換不能から取付に遭ひ本支店共一週間の休業を發表した

◇江連力一郎等東京に護送さる

我が北洋漁業權益に壓迫を加へる勞農政府の不法なる態度を痛憤し北洋海上に於て露國漁船を襲つて彼等を殺害したること發覺し、海賊團長として逮捕された江連力一郎及その一味は北海道から護送されて着京した

◇門野重九郎、支那から歸京

山東鑛山合辦會社設立の用件で渡支中の大倉組副頭取門野重九郎は本日歸京した

二十日（水）

◇勸銀・興銀の不動產金融應急策決定

勸業銀行及び興業銀行では從來商業銀行の不動產貸付を戒告してゐたが、最近銀行界の不安な情勢に鑑み、この際に限り兩行經營の許す範圍に於て不動產貸附の肩代りをなすことに決定した

◇小濱線全通す

小濱線若狹高濱・新舞鶴間九哩六分が開通し、小濱線は全通を見た

二十一日（木）

◇大分銀行の休業

大分銀行（資本金四百三十萬圓）は交換不能のため本支店共二週間の休業を發表した

◇東京會館の開館式擧行

總工費二百九十一萬圓を以て大正九年四月東京丸の内に起工した東京會館は開館式を擧行した

二十三日（土）

◇埴原正直、駐米大使に親任

外務次官埴原正直は駐米大使に親任された

二十五日（月）

◇富士瓦斯紡績、金華紡績を合併

富士瓦斯紡績會社（資本金四千百萬圓）は株主總會に於て金華紡績會社（資本金七百萬圓）を合併し四千五百二十萬圓に增資の件を可決した

◇住友の元老、鈴木馬左也死去

住友合資會社前總務理事鈴木馬左也は兵庫縣御影の自邸で死去。享年六十二。文久二年日向に生れ、明治二十年東大政治科卒業、内務省に入り、農務省に轉じて特許局審判官兼法制局參事官に就任、同二十九年住友の元老伊庭貞剛の招きに應じて住友に入り、歐米を視察、鋼山監督、理事、支配人を經て總理事兼住友總取締役に進み、住友の獨裁宰相となつた

二十六日（火）

◇五分利公債五十六萬圓發行

政府は大湯鐵道會社及び魚沼鐵道會社所屬の鐵道買收資金に充當のため五分利公債（き號）五十六萬九千三百五十圓を五ケ年据置後五十年以内償還の條件で發行

二十七日（水）

◇勸業銀行利率の改定

日本勸業銀行は左の如く利率を改定した

▽年賦貸附(一)公共團體七分三厘(二)各種

組合及び聯合會七分六厘(三)田畑抵當八分五厘(四)宅地建物抵當八分五厘

▽定期貸附、年賦貸附利率より全部三厘增

◇報德信行の休業續續

整理のため休業中の報德銀行は本日より更に二週間休業を繼續する旨發表した

◇日本積善銀行、解散に決定

日本積善銀行は臨時總會を開き同行損失金一千五百八十二萬三千七百餘圓を承認し次いで整理解散に決定した

◇出雲製絲、中央紡織を合併

資本金三百五十萬圓の出雲製絲會社は中央紡織會社を合併、五十二萬圓を增資して資本金四百二萬圓となつた

二十八日（木）

◇信託財產に關する法律の公布

有價證券の信託財產表示及び信託財產に屬する金錢の管理に關する法律が公布された。信託財產なることの表示は委託者又は受託者の請求に因り公債、株式又は社債に就ては發行者又は公證人、その他の有價證券に就ては公證人が之をなし、國債に就ては日本銀行をしてなさしめることを得と規定し、信託財產に屬する金錢の運用は原則として(一)公社債の應募、引受又は買入(二)有價證券擔保貸附(三)郵便貯金(四)貯蓄銀行及び銀行への預金の方法に依ると規定したものである

◇吾妻川電力會社の創立

同社（資本金八百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長臼井哲夫▽副社長中原岩三郎▽常務取締役浦山助太郎其他▽監査役島田俊雄、村井眞雄其他

二十九日（金）

◇楓府會議て外相に警告の上奏案可決

臨時楓密院會議に於て日支郵便協定に關し内田外相に對する警告的上奏案が可決された。これに對し政府は翌三十日楓府に反對の上奏案を作成するに決定した

◇東京瓦斯電氣工業會社は

資本金二千萬圓の東京瓦斯電氣工業會社は一千四百萬圓を減資し資本金六百萬圓となつた（日不詳）

大正十一年統計

日本銀行兌換券發行高

	兌換券發行高	正貨準備	保證準備	制限外發行
	千圓	千圓	千圓	千圓
一月	一、五七七、四九〇	一、二五〇、八七五	一三六、六一七	一六、六一七
二月	一、二四六、〇九〇	一、二三五、七三五	二三、二五四	—
三月	一、二八九、四一〇	一、二三一、九〇一	六七、五一八	—
四月	一、三一六、九五七	一、二三四、三三七	二、九二九	—
五月	一、二〇三、五六四	一、二〇三、五六四	—	—
六月	一、二四四、五七八	一、二三三、四三四	二三、一五五	一、一五五
七月	一、二一四、五六五	一、二一〇、七六三	三、八〇〇	—
八月	一、二八〇、二七八	一、一三一、九六八	一四八、三〇九	二八、三〇九
九月	一、二三五、四三一	一、〇六九、〇三七	一六八、四三四	四八、四三四
十月	一、二三六、九九二	一、〇六八、八一三	一六八、一七七	四八、一七七
十一月	一、二四一、九三二	一、〇六六、一〇四	一七五、八二七	五五、八二七
十二月	一、二五八、四〇三	一、〇六五、八八六	一九四、五一三	七四、五一三

東京組合銀行金利表

一月	預金 最高	預金 最低	預金 平均	貸付金 最高	貸付金 最低	貸付金 平均	手形割引 最高	手形割引 最低	手形割引 平均
月年 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五
同前 二 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五
同前 三 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五
同前 四 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五
同前 五 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五
同前 六 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五
同前 七 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五
同前 八 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五
同前 九 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五
同前 十 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五
同前 十一 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五
同前 十二 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五	四・〇〇	一・〇〇	二・六五

東京交換所手形交換高

一月	交換高	交換尻	交換日数	一日平均
月年 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇
同前 二 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇
同前 三 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇
同前 四 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇
同前 五 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇
同前 六 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇
同前 七 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇
同前 八 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇
同前 九 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇
同前 十 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇
同前 十一 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇
同前 十二 月	三・六〇	一・四〇	二・六五	四・〇〇

外國爲替相場

一月	上海宛 為替	銀行宛 四六一/八	倫敦宛 三ヶ月一志片
月年 月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
同前 二 月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
同前 三 月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
同前 四 月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
同前 五 月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
同前 六 月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
同前 七 月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
同前 八 月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
同前 九 月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
同前 十 月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
同前 十一 月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
同前 十二 月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六

銀相場

五月	倫敦 最高	倫敦 最低	紐育 最高	紐育 最低
四月	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
三月	三三五一/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
二月	三三四一/八	三三一一/二	六六六一/二	六四一/二仙
一月	三三四一/八	三三一一/二	六六六一/二	六四一/二仙
大正十年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正九年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正八年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正七年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正六年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正五年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正四年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正三年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正二年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正元年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙

外國爲替相場

十一月	上海宛 為替	銀行宛 四六一/八	倫敦宛 三ヶ月一志片
十月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
九月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
八月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
七月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
六月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
五月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
四月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
三月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
二月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
一月	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
大正十年	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
大正九年	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
大正八年	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
大正七年	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
大正六年	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
大正五年	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
大正四年	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
大正三年	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
大正二年	六一・三	四六一/八	三・一五/一六
大正元年	六一・三	四六一/八	三・一五/一六

銀相場

十一月	倫敦 最高	倫敦 最低	紐育 最高	紐育 最低
十月	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
九月	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
八月	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
七月	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
六月	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
五月	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
四月	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
三月	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
二月	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
一月	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正十年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正九年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正八年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正七年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正六年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正五年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正四年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正三年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正二年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙
大正元年	三三五七/八	三三四一/二	六六六三/八	六四一/二仙

六月	三六 1/8	三五 1/4	七二 1/8	七〇
七月	三六 5/8	三五	七一 5/8	六九 1/2
八月	三五 1/8	三四 1/2	六九 7/8	六八 1/2
九月	三五 1/2	三五 5/16	七〇 3/4	六八 1/2
十月	三五 7/16	三三 3/4	六九 3/8	六六 3/4
十一月	三四 1/16	三一 7/8	六七 3/8	六三 1/2
十二月	三七 5/8	三四 1/2	六八 1/4	六三 1/2

外國貿易月表

月		圓
一月	輸出	八七、二七〇、九六九
	輸入	一七八、八〇六、七一九
	輸入超過	九一、五三五、七五〇
二月	輸出	一〇一、四二〇、一九二
	輸入	一九七、五四二、九一七
	輸入超過	九六、一二二、七二五
三月	輸出	一一四、九七八、一〇三
	輸入	二〇七、三四四、五一九
	輸入超過	九二、三六六、四一六
四月	輸出	一二九、六七八、七八五
	輸入	一八八、八九一、〇八四
	輸入超過	五九、二一二、二九九
五月	輸出	一五五、四八一、六七五
	輸入	一七三、七八六、八一六
	輸入超過	一八、三〇五、一四一
六月	輸出	一四七、一一三、八三四
	輸入	一五九、三三二、七七一
	輸入超過	一二、二一八、九三七
七月	輸出	一四四、六六九、二七五
	輸入	一四三、二〇一、七〇二
	輸出超過	一、四六七、五七三
八月	輸出	一四五、九九八、六三二
	輸入	一三八、五四八、一四一
	輸出超過	七、四五〇、三九一
九月	輸出	一四九、九八一、四五四
	輸入	一三五、一三二、一二八
	輸出超過	一四、八四九、三二六
十月	輸出	一六一、九三九、三二七
	輸入	一〇六、六八六、〇六二
	輸出超過	五五、二五三、二六五
十一月	輸出	一四〇、四七二、七七四
	輸入	一一六、八七五、五二六
	輸出超過	二三、五九七、二四八
十二月	輸出	一五八、四四六、七九八
	輸入	一四四、一五九、八四七
	輸出超過	一四、二八六、九五一
一月以降累計額	輸出	一、六三七、四五一、八一八
	輸入	一、八九〇、三〇八、二三二
	輸入超過	二五二、八五六、四一四

東京株式取引所定期相場

銘柄	拂込(圓)	配當率(分)	最高(圓)	最低(圓)	平均(圓)
一月					
南滿洲鐵道	一〇〇	一〇・〇	一一九・五〇	一一五・五〇	一一七・四〇
日本郵船	五〇	二〇・〇	一三六・五〇	一三〇・〇〇	一三三・五九
北海炭礦	五〇	一〇・〇	五二・九〇	四八・五〇	五〇・四五
東京電燈	五〇	一四・〇	八〇・一〇	七七・五〇	七八・五三
鬼怒川水電	五〇	八・〇	六五・五〇	六〇・一〇	六二・〇七
王子製紙	五〇	二〇・〇	八七・五〇	八五・一〇	八六・五六
日本鋼管	五〇	—	—	—	—
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	三五八・〇〇	三三一・五〇	三四八・六一
東洋紡績	五〇	三〇・〇	一四二・七〇	一三八・二〇	一四〇・八一
大日本麥酒	五〇	三〇・〇	一三〇・九〇	一二五・九〇	一二八・七〇
日魯漁業	五〇	—	—	—	—
鹽水港製糖	五〇	一〇・〇	七四・九〇	七〇・二〇	七三・二四
明治製糖	五〇	一二・〇	七六・七〇	七三・三〇	七四・五二
日清製粉	五〇	一三・〇	一〇〇・七〇	九四・九〇	九六・三〇
人造肥料	五〇	—	四一・〇〇	三六・九〇	三八・一九
淺野セメント新	一二・五	二〇・〇	二二・三〇	二〇・六〇	二一・三八
久原鑛業	五〇	—	四一・〇〇	三六・五〇	三八・五九
日本石油	五〇	四五・〇	一二四・九〇	一一九・〇〇	一二二・〇〇
東京株式新	一二・五	二四・〇	一三九・九〇	一二六・九〇	一三三・四六
二月					
南滿洲鐵道	一〇〇	一〇・〇	一一八・〇〇	一一七・〇〇	一一七・五九
日本郵船	五〇	二〇・〇	一三二・一〇	一二七・二〇	一二九・五九
北海炭礦	五〇	一〇・〇	四九・五〇	四六・五〇	四八・一八
東京電燈	五〇	一四・〇	八〇・一〇	七八・七〇	七九・四六
鬼怒川水電	五〇	八・〇	六五・〇〇	六一・一〇	六三・三七
王子製紙	五〇	二〇・〇	八六・八〇	八一・五〇	八三・六七
日本鋼管	五〇	—	—	—	—
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	三五九・〇〇	三三六・四〇	三四三・九〇
東洋紡績	五〇	三〇・〇	一四一・九〇	一二八・五〇	一三五・一三
大日本麥酒	五〇	三〇・〇	一三三・二〇	一二七・二〇	一二九・〇七
日魯漁業	五〇	—	—	—	—
鹽水港製糖	五〇	一〇・〇	七五・九〇	七一・三〇	七三・四五
明治製糖	五〇	一二・〇	七五・二〇	七三・六〇	七四・二〇
日清製粉	五〇	一三・〇	一〇三・〇〇	九八・五〇	一〇〇・五九
人造肥料	五〇	—	三八・二〇	三四・一〇	三六・三七
淺野セメント新	一二・五	二〇・〇	二二・六〇	二一・五〇	二一・九八
久原鑛業	五〇	—	三八・二〇	三五・〇〇	三六・七五
日本石油	五〇	四五・〇	一二一・八〇	一一五・五〇	一一七・四七
東京株式新	一二・五	二四・〇	一三二・五〇	一一八・六〇	一二四・〇三
三月					
南滿洲鐵道	一〇〇	一〇・〇	一一七・七〇	一一三・〇〇	一一五・〇九
日本郵船	五〇	二〇・〇	一二五・八〇	一一三・〇〇	一一六・九〇
北海炭礦	五〇	一〇・〇	四六・四〇	四三・六〇	四四・六八
東京電燈	五〇	一四・〇	七七・九〇	七六・〇〇	七七・二四
鬼怒川水電	五〇	八・〇	六一・五〇	五六・八〇	五八・七七
王子製紙	五〇	二〇・〇	八一・五〇	七七・五〇	七八・八五
日本鋼管	五〇	—	一七・五〇	一四・八〇	一五・八七
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	三〇一・二〇	二七四・五〇	二八九・九五
東洋紡績	五〇	三〇・〇	一二九・五〇	一一七・〇〇	一二四・〇〇
大日本麥酒	五〇	三〇・〇	一二六・八〇	一二〇・五〇	一二四・一八
日魯漁業	五〇	—	—	—	—
鹽水港製糖	五〇	一〇・〇	六八・一〇	六一・四〇	六四・〇九
明治製糖	五〇	一二・〇	七四・五〇	六六・八〇	六九・六五
日清製粉	五〇	一三・〇	九九・五〇	九六・九〇	九八・二〇
人造肥料	五〇	—	三五・一〇	三一・〇〇	三三・一五
淺野セメント新	一二・五	二〇・〇	二一・九〇	二〇・六〇	二一・二一
久原鑛業	五〇	—	三九・〇〇	三五・〇〇	三七・〇九
日本石油	五〇	四五・〇	一一四・〇〇	一〇九・四〇	一一一・一一
東京株式新	一二・五	二四・〇	一一五・七〇	九五・四〇	一〇三・三九
四月					
南滿洲鐵道	一〇〇	一〇・〇	一一五・五〇	一〇一・〇〇	一〇八・〇四
日本郵船	五〇	二〇・〇	一一七・八〇	九五・六〇	一〇五・六五
北海炭礦	五〇	一〇・〇	四四・二〇	三八・四〇	四〇・六一
東京電燈	五〇	一四・〇	七七・一〇	七一・五〇	七四・三六
鬼怒川水電	五〇	八・〇	五八・七〇	五〇・八〇	五四・八五
王子製紙	五〇	二〇・〇	七八・七〇	六六・〇〇	七一・七一
日本鋼管	五〇	—	一四・〇〇	一四・〇〇	一四・〇〇
鐘淵紡績新	四〇	七〇・〇	三〇六・五〇	二六四・〇〇	二八二・八一
東洋紡績	五〇	三〇・〇	一三〇・〇〇	一一五・〇〇	一二二・五五
大日本麥酒	五〇	三〇・〇	一二五・〇〇	九八・四〇	一一二・七〇
日魯漁業	五〇	一〇・〇	二六・〇〇	二一・〇〇	二四・一七
鹽水港製糖	五〇	一〇・〇	六三・五〇	四五・五〇	五一・六八
明治製糖	五〇	一二・〇	六七・五〇	五四・〇〇	六〇・六〇
日清製粉	五〇	一三・〇	九七・〇〇	七三・〇〇	八二・一六